

令和2年度 予算の概況

藤 沢 市

目 次

1. 藤沢市の概要	2
2. 予算の概要	2
(1) 会計別総括	2
(2) 予算規模推移（一般会計）	4
3. 歳入の状況（一般会計）	6
(1) 歳入の内訳	6
(2) 市税の状況	8
(3) 他市との人口一人当たり比較	10
4. 歳出の状況（一般会計）	12
(1) 性質別歳出の状況	12
ア 性質別歳出	12
イ 性質別歳出の目的別内訳	14
(2) 充当財源の内訳とその割合	16
ア 目的別歳出からみた割合	16
イ 性質別歳出からみた割合	17
(3) 他市との人口一人当たり比較	18
(4) 消費税率引上げによる増収分（地方消費税交付金）が充てられる社会保障 施策に要する経費	18
5. 款別、節別集計（一般会計）	20
6. 年度別予算規模の状況（一般会計・特別会計）	22
7. 年度別市債借入・償還及び残高の状況（普通会計）	23
8. 特別会計の状況	24
9. 市政運営の総合指針2020体系別「予算の概況」掲載事業一覧	34
10. 主要な施策の概要	38
(1) 議会費	38
(2) 総務費	39
(3) 環境保全費	89
(4) 民生費	101
(5) 衛生費	163
(6) 労働費	180
(7) 農林水産業費	184
(8) 商工費	197
(9) 土木費	216
(10) 消防費	244
(11) 教育費	247
(12) 特別会計	282

※1 主要な施策の概要における事業費及び財源内訳欄の単位は千円

※2 主要な施策の概要における将来にわたる費用において記載した金額は、
見込額であり、当該年度の実際の予算額とは異なる場合がある。

1. 藤沢市の概要

人 口			面 積	内 訳				人口密度
				年	田 畑	宅 地	そ の 他	
国 調 推 計	H27. 10. 1	423,894 人	km ² 69.56	R 元	10.80 km ²	33.10 km ²	25.66 km ²	人/km ² 6,094
	H22. 10. 1	409,657		H 30	10.87 km ²	32.97 km ²	25.73 km ²	
	R2. 1. 1	434,769		差引面積	km ²	km ²	km ²	
	H31. 1. 1	432,095			△ 0.07	0.13	△ 0.07	

※令和2年1月1日現在

2. 予算の概要

(1) 会計別総括

会 計 区 分		令 和 2 年 度			
		予 算 額	歳 入		歳 出
			経常的収入	臨時的収入	経常的支出
一 般 会 計		148,056,000	124,962,745	23,093,255	122,435,608
特 別 会 計	北部第二(三地区)土地区画整理事業費	2,680,125		2,680,125	
	墓 園 事 業 費	617,614	404,106	213,508	336,068
	国 民 健 康 保 険 事 業 費	37,850,180	35,005,156	2,845,024	37,819,780
	湘 南 台 駐 車 場 事 業 費	53,276		53,276	
	介 護 保 険 事 業 費	29,101,615	28,181,814	919,801	29,096,215
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 費	6,414,178	6,372,381	41,797	6,412,178
	小 計	76,716,988	69,963,457	6,753,531	73,664,241
	公営企業会計 下 水 道 事 業 費	20,210,070	16,603,853	3,606,217	16,668,329
	市 民 病 院 事 業	23,581,553	23,266,295	315,258	22,488,033
	小 計	43,791,623	39,870,148	3,921,475	39,156,362
計		120,508,611	109,833,605	10,675,006	112,820,603
合 計		a 268,564,611	234,796,350	33,768,261	235,256,211

純計予算額 = a - b = 252,689,731

産 業 構 造						財政力指数		職 員 数	
区 分			第 1 次	第 2 次	第 3 次	年 度	指 数	年 度	職員定数
就 業 人 口	人	H	人	人	人	R 元	1.092	R 元	3,543 人
	口	27.10. 1	2,059	43,451	137,037	H 30	1.062	H 30	3,514
	割		%	%	%	H 29	1.043	H 29	3,487
	合		1.1	23.8	75.1	H 28	1.052	H 28	3,459

※条例定数 3,600 人

(単位 千円)

	純 計		令和元年度予算額		前 年 度 対 比	
出	他会計受入	他会計支出	当初予算額	最終予算 見 込 額	%	
臨時的支出					当 初	最 終
25,620,392		15,874,880	149,022,000	157,112,237	99.4	94.2
2,680,125	1,419,375		2,776,527	2,814,198	96.5	95.2
281,546			604,554	571,619	102.2	108.0
30,400	3,117,025		38,594,942	39,093,801	98.1	96.8
53,276	53,276		59,981	59,981	88.8	88.8
5,400	4,488,945		28,130,643	29,247,793	103.5	99.5
2,000	798,262		5,717,635	5,846,144	112.2	109.7
3,052,747	9,876,883		75,884,282	77,633,536	101.1	98.8
3,541,741	4,537,602		21,761,527	20,037,993	92.9	100.9
1,093,520	1,460,395		22,527,704	22,590,151	104.7	104.4
4,635,261	5,997,997		44,289,231	42,628,144	98.9	102.7
7,688,008	15,874,880		120,173,513	120,261,680	100.3	100.2
	b					
33,308,400	15,874,880	15,874,880	269,195,513	277,373,917	99.8	96.8

(2) 予算規模推移 (一般会計)

区 分			平成28年度	平成29年度
当初予算	予算規模	予 算 総 額	138,390,000	152,784,000
		前年度当初予算対比	101.8	110.4
		前年度最終予算対比	99.2	105.3
	うち市税	市 税 総 額	78,214,000	79,801,000
		前年度当初予算対比	99.5	102.0
		前年度最終予算対比	99.5	101.4
最終予算	予算規模	予 算 総 額	145,045,539	155,568,759
		同年度当初予算対比	104.8	101.8
		前年度最終予算対比	104.0	107.3
	うち市税	市 税 総 額	78,670,000	79,801,000
		同年度当初予算対比	100.6	100.0
		前年度最終予算対比	100.1	101.4

(注) 令和元年度の最終予算は見込み

(単位 千円：%)

平成30年度	令和元年度	令和2年度
138,553,000	149,022,000	148,056,000
90.7	107.6	99.4
89.1	102.4	94.2
79,203,700	81,822,000	81,873,000
99.3	103.3	100.1
99.3	101.4	99.4
145,554,497	157,112,237	—
105.1	105.4	
93.6	107.9	
80,723,800	82,399,200	
101.9	100.7	
101.2	102.1	

3. 歳入の状況（一般会計）

（1）歳入の内訳

区 分		令和2年		
		予 算 額	内 訳（1）	
			経常的収入	臨時的収入
自主財源	市 税	81,873,000	75,816,380	6,056,620
	分 担 金 及 び 負 担 金	940,972	940,942	30
	使 用 料 及 び 手 数 料	3,531,956	3,378,365	153,591
	財 産 収 入	680,063	112,233	567,830
	寄 付 金	371,388	0	371,388
	繰 入 金	3,124,901	0	3,124,901
	繰 越 金	2,000,000	0	2,000,000
	諸 収 入	4,255,770	2,551,201	1,704,569
	計	96,778,050	82,799,121	13,978,929
依存財源	地 方 譲 与 税	867,288	867,288	0
	利 子 割 交 付 金	79,000	79,000	0
	配 当 割 交 付 金	376,000	376,000	0
	株式等譲渡所得割交付金	227,000	227,000	0
	法 人 事 業 税 交 付 金	290,000	290,000	0
	地 方 消 費 税 交 付 金	9,080,000	9,080,000	0
	ゴルフ場利用税交付金	17,000	17,000	0
	環 境 性 能 割 交 付 金	238,000	238,000	0
	地 方 特 例 交 付 金	503,000	503,000	0
	地 方 交 付 税	10,000	0	10,000
	交通安全対策特別交付金	47,000	47,000	0
	国 庫 支 出 金	24,945,855	21,598,195	3,347,660
	県 支 出 金	10,260,807	8,841,141	1,419,666
	市 債	4,337,000	0	4,337,000
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	—	—	—
	計	51,277,950	42,163,624	9,114,326
合 計		148,056,000	124,962,745	23,093,255
（ ）内は構成比 %		(100.0)	(84.4)	(15.6)

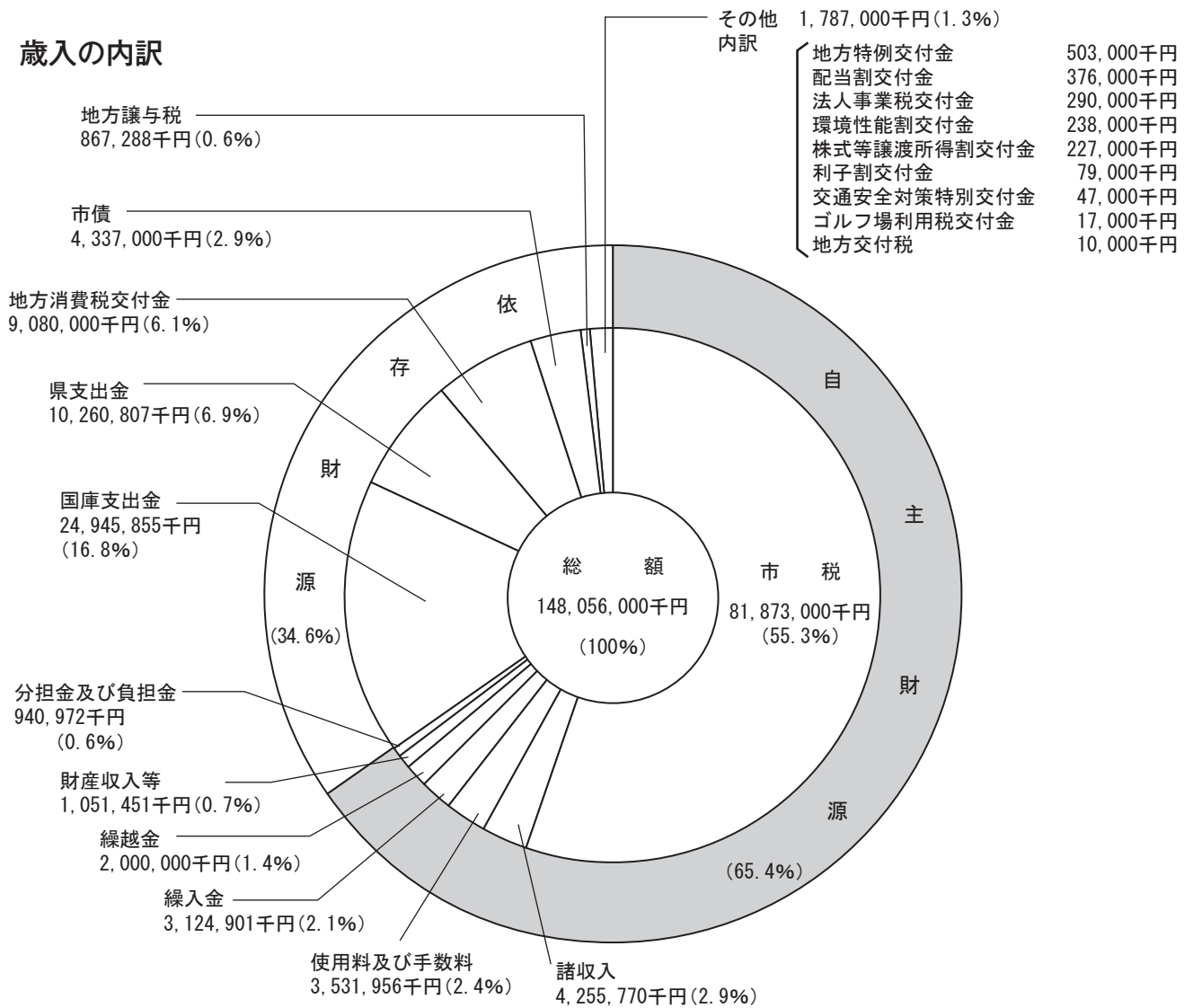
(単位 千円)

度			令和元年度		前 年 度
内 訳 (2)		構 成 比	当初予算額	構 成 比	対 比
一般財源	特定財源	%		%	%
81,873,000	0	55.3	81,822,000	54.9	100.1
0	940,972	0.6	1,732,098	1.2	54.3
322,680	3,209,276	2.4	3,694,272	2.5	95.6
657,060	23,003	0.5	690,295	0.5	98.5
310,000	61,388	0.2	327,088	0.2	113.5
1,600,000	1,524,901	2.1	3,675,628	2.5	85.0
2,000,000	0	1.4	2,000,000	1.3	100.0
413,169	3,842,601	2.9	4,039,827	2.7	105.3
87,175,909	9,602,141	65.4	97,981,208	65.8	98.8
867,288	0	0.6	768,000	0.5	112.9
79,000	0	0.1	104,000	0.1	76.0
376,000	0	0.3	486,000	0.3	77.4
227,000	0	0.2	266,000	0.2	85.3
290,000	0	0.2	—	—	—
9,080,000	0	6.1	7,474,000	5.0	121.5
17,000	0	0.0	18,000	0.0	94.4
238,000	0	0.2	102,000	0.1	233.3
503,000	0	0.3	460,000	0.3	109.3
10,000	0	0.0	10,000	0.0	100.0
47,000	0	0.0	51,000	0.0	92.2
0	24,945,855	16.8	22,538,305	15.1	110.7
0	10,260,807	6.9	9,542,087	6.4	107.5
0	4,337,000	2.9	8,992,400	6.0	48.2
—	—	—	229,000	0.2	—
11,734,288	39,543,662	34.6	51,040,792	34.2	100.5
98,910,197 (66.8)	49,145,803 (33.2)	100.0	149,022,000 (100.0)	100.0	99.4

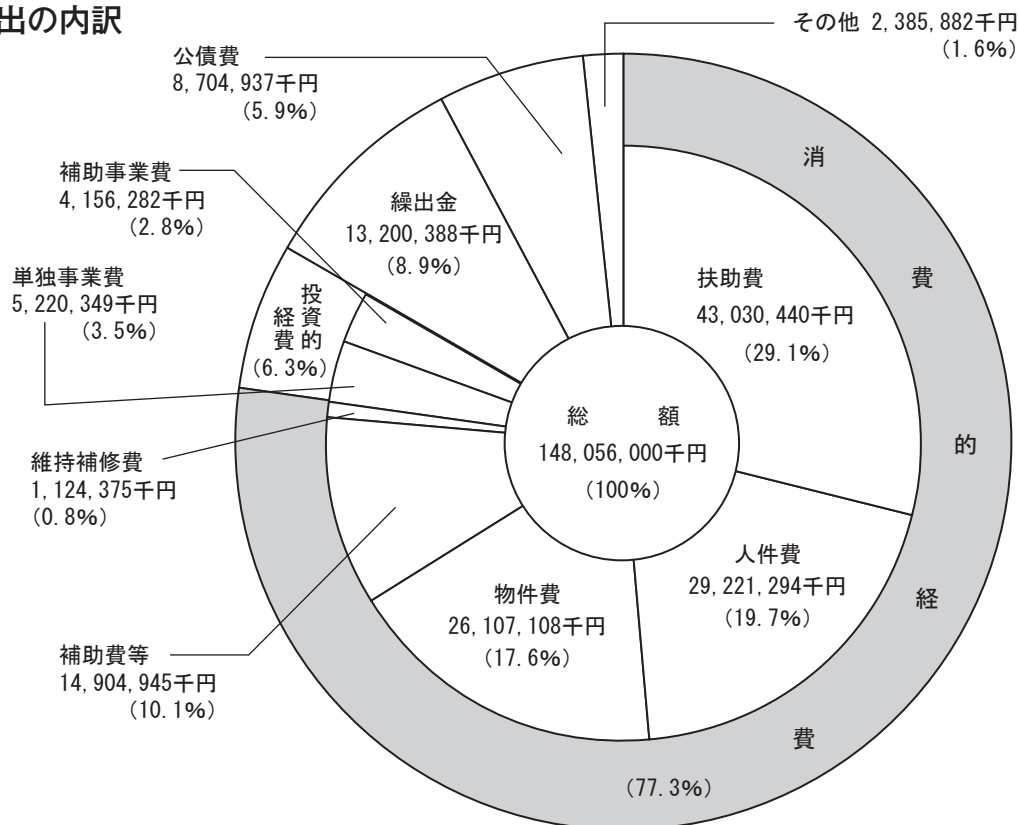
(2) 市税の状況

区 分			予 算 額 (千円)	構成比 (%)		前年度比 (%)	人口一人当 たり額 (円)
				税目内	税目間		
市民税	総	額	37,928,530	100.0	46.3	99.0	87,238
	内	個 人	33,074,290	87.2		101.5	
	訳	法 人	4,854,240	12.8		85.1	
固定資産税	総	額	32,560,190	100.0	39.8	100.9	74,891
	内	土地・家屋	27,939,200	85.8		100.7	
		償却資産	4,518,890	13.9		101.8	
		訳	交付金	102,100		0.3	
その他の 税	総	額	11,384,280	100.0	13.9	101.3	26,185
	内	軽自動車税	535,690	4.7		107.2	
		市たばこ税	2,379,500	20.9		102.0	
		特別土地保有税	3,150	0.0		262.5	
		入湯税	7,970	0.1		99.6	
		事業所税	2,401,350	21.1		100.6	
		都市計画税	6,056,620	53.2		100.8	
		市	税	81,873,000		100.0	

歳入の内訳



歳出の内訳



(3) 他市との人口一人当たり比較

区 分		藤 沢 市			平
		人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額
人 口 (令 2.1.1)		434,769	-	100.6	257,113
自 主 財 源	市 税	188,314	55.3	99.4	167,395
	分 担 金 及 び 負 担 金	2,164	0.6	54.0	2,202
	使 用 料 及 び 手 数 料	8,124	2.4	95.0	6,540
	財 産 収 入	1,564	0.5	97.9	382
	寄 付 金	854	0.2	112.8	140
	繰 入 金	7,187	2.1	84.5	7,303
	繰 越 金	4,600	1.4	99.4	5,056
	諸 収 入	9,789	2.9	104.7	12,415
	計	222,596	65.4	98.2	201,433
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	1,995	0.6	112.3	1,917
	利 子 割 交 付 金	182	0.1	75.5	155
	配 当 割 交 付 金	865	0.3	76.9	856
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	522	0.2	84.7	778
	法 人 事 業 税 交 付 金	667	0.2	-	972
	地 方 消 費 税 交 付 金	20,885	6.1	120.7	20,302
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	39	0.0	92.9	156
	環 境 性 能 割 交 付 金	547	0.2	231.8	894
	地 方 特 例 交 付 金	1,157	0.3	108.6	778
	地 方 交 付 税	23	0.0	100.0	3,306
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	108	0.0	91.5	117
	国 庫 支 出 金	57,377	16.8	110.0	57,836
	県 支 出 金	23,601	6.9	106.9	26,080
	市 債	9,975	2.9	47.9	24,815
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	-	-	-	-
	計	117,943	34.6	99.8	138,962
合 計		340,539	100.0	98.7	340,395
比 較		100.0			100.0

※人口については、平成27年国勢調査を基準とした推計人口としています。

(単位 円)

塚 市		茅ヶ崎市			鎌倉市		
構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%
-	99.7	242,012	-	100.0	172,293	-	97.7
49.2	98.9	148,748	48.7	100.4	207,903	55.9	103.3
0.6	53.8	2,598	0.8	66.3	1,953	0.5	66.3
1.9	109.9	3,452	1.1	102.0	7,101	1.9	103.6
0.1	104.4	2,591	0.8	101.7	2,492	0.7	111.6
0.0	120.7	195	0.1	130.9	5,919	1.6	200.3
2.1	227.9	7,507	2.5	197.6	19,096	5.1	111.7
1.5	130.4	3,306	1.1	0.0	3,483	0.9	102.4
3.6	105.6	12,396	4.0	93.1	5,550	1.5	83.5
59.0	101.4	180,793	59.1	103.2	253,497	68.1	104.1
0.6	105.2	1,692	0.6	115.7	1,823	0.5	114.7
0.0	100.0	74	0.0	32.0	128	0.0	45.1
0.3	100.4	773	0.3	73.1	1,172	0.3	86.2
0.2	87.2	384	0.1	38.1	1,277	0.3	86.6
0.3	-	521	0.2	-	702	0.2	-
6.0	122.6	17,863	5.8	118.5	20,867	5.6	124.6
0.1	100.6	190	0.1	102.2	139	0.0	97.9
0.3	-	731	0.2	260.1	559	0.1	256.4
0.2	100.3	1,384	0.5	44.5	807	0.2	21.7
1.0	155.0	5,991	2.0	94.8	168	0.1	102.4
0.0	100.9	87	0.0	100.0	122	0.0	102.5
17.0	111.2	54,046	17.7	111.2	50,101	13.5	115.7
7.7	116.7	23,316	7.6	111.2	23,834	6.4	119.2
7.3	156.0	17,842	5.8	86.3	17,476	4.7	123.4
-	-	0	0.0	0.0	-	-	-
41.0	121.3	124,894	40.9	104.5	119,175	31.9	114.9
100.0	108.7	305,687	100.0	103.7	372,672	100.0	107.4
		89.8			109.4		

4. 歳出の状況（一般会計）

（1） 性質別歳出の状況

ア 性質別歳出

区 分		令 和 2 年 度			
		予 算 額	内 訳		構成比 %
			経常的経費	臨時的経費	
消 費 的 経 費	人 件 費	29,221,294	29,129,285	92,009	19.7
	物 件 費	26,107,108	20,092,839	6,014,269	17.6
	維持補修費	1,124,375	1,124,375		0.8
	扶 助 費	43,030,440	41,115,724	1,914,716	29.1
	補 助 費 等	14,904,945	10,491,757	4,413,188	10.1
	計	114,388,162	101,953,980	12,434,182	77.3
投 資 的 経 費	補 助 事 業 費	4,156,282		4,156,282	2.8
	単 独 事 業 費	5,220,349		5,220,349	3.5
	計	9,376,631		9,376,631	6.3
公 債 費		8,704,937	8,704,937		5.9
繰 出 金		13,200,388	10,271,691	2,928,697	8.9
そ の 他		2,385,882	1,505,000	880,882	1.6
合 計		148,056,000	122,435,608	25,620,392	100.0

(単位 千円)

令和元年度		前年度
当初予算額	構成比 %	対比 %
27,095,399	18.2	107.8
26,074,043	17.5	100.1
1,137,545	0.8	98.8
41,934,239	28.1	102.6
11,947,686	8.0	124.8
108,188,912	72.6	105.7
5,695,829	3.8	73.0
11,410,741	7.7	45.7
17,106,570	11.5	54.8
8,535,944	5.7	102.0
12,694,862	8.5	104.0
2,495,712	1.7	95.6
149,022,000	100.0	99.4

イ 性質別歳出の目的別内訳

性質別 目的別	消 費 的 経 費					
	人件費	物件費	維持補修費	扶助費	補助費等	計
議 会 費	590,059	53,332			42,369	685,760
総 務 費	8,255,463	5,470,263	71,467	233,075	1,056,231	15,086,499
環 境 保 全 費	482,427	464,822	11,679		205,810	1,164,738
民 生 費	5,018,773	2,460,039	39,635	42,486,608	5,152,535	55,157,590
衛 生 費	3,110,405	7,587,358	132,122	48,028	2,362,659	13,240,572
労 働 費	77,000	34,031			34,778	145,809
農林水産業費	214,901	38,329	18,660		106,207	378,097
商 工 費	224,396	349,391	20,720		439,564	1,034,071
土 木 費	2,333,104	2,553,438	588,473		4,831,897	10,306,912
消 防 費	4,476,137	358,324	13,167		83,314	4,930,942
教 育 費	4,438,629	6,736,922	228,452	262,729	589,581	12,256,313
公 債 費		859				859
予 備 費						
合 計	29,221,294	26,107,108	1,124,375	43,030,440	14,904,945	114,388,162
構 成 比 %	19.7	17.6	0.8	29.1	10.1	77.3

(単位 千円)

投 資 的 経 費			公債費	繰出金	その他	合計
補助事業費	単独事業費	計				
						685,760
	2,014,442	2,014,442			10,454	17,111,395
8,308	56,949	65,257			118,570	1,348,565
355,729	243,525	599,254		11,727,737	35,264	67,519,845
797,245	412,311	1,209,556			652,191	15,102,319
					280,000	425,809
93,786	69,298	163,084				541,181
	35,264	35,264			1,168,000	2,237,335
2,438,622	2,087,896	4,526,518		1,472,651		16,306,081
264,900	167,034	431,934				5,362,876
197,692	133,630	331,322			21,403	12,609,038
			8,704,937			8,705,796
					100,000	100,000
4,156,282	5,220,349	9,376,631	8,704,937	13,200,388	2,385,882	148,056,000
2.8	3.5	6.3	5.9	8.9	1.6	100.0

(2) 充当財源の内訳とその割合

ア 目的別歳出からみた割合

(単位 千円)

区 分	国庫支出金	県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	一般財源 構成比 %
議 会 費					685,760 (100.0)	0.7
総 務 費	314,831 (1.8)	1,013,967 (5.9)	1,503,300 (8.8)	898,872 (5.3)	13,380,425 (78.2)	13.5
環 境 保 全 費	6,697 (0.5)	29,171 (2.2)	36,600 (2.7)	98,004 (7.2)	1,178,093 (87.4)	1.2
民 生 費	23,297,346 (34.5)	8,728,165 (12.9)	167,100 (0.3)	1,581,446 (2.3)	33,745,788 (50.0)	34.1
衛 生 費	276,554 (1.8)	82,268 (0.5)	604,900 (4.0)	3,360,734 (22.3)	10,777,863 (71.4)	10.9
労 働 費	2,223 (0.5)			280,000 (65.8)	143,586 (33.7)	0.1
農林水産業費	37,000 (6.8)	49,210 (9.1)	46,500 (8.6)	22,938 (4.3)	385,533 (71.2)	0.4
商 工 費		22,787 (1.0)	15,900 (0.7)	1,441,465 (64.4)	757,183 (33.9)	0.8
土 木 費	766,478 (4.7)	275,858 (1.7)	1,632,900 (10.0)	609,115 (3.7)	13,021,730 (79.9)	13.2
消 防 費	111,468 (2.1)	34,830 (0.7)	281,300 (5.2)	21,389 (0.4)	4,913,889 (91.6)	5.0
教 育 費	133,258 (1.1)	24,551 (0.2)	48,500 (0.4)	1,288,178 (10.2)	11,114,551 (88.1)	11.2
公 債 費					8,705,796 (100.0)	8.8
予 備 費					100,000 (100.0)	0.1
合 計	24,945,855 (16.8)	10,260,807 (6.9)	4,337,000 (2.9)	9,602,141 (6.6)	98,910,197 (66.8)	100.0

イ 性質別歳出からみた割合

(単位 千円)

区 分		国庫支出金	県支出金	市 債	そ の 他	一般財源	一般財源 構成比 %
消 費 的 経 費	人 件 費	129,212 (0.5)	852,136 (2.9)		158,005 (0.5)	28,081,941 (96.1)	28.4
	物 件 費	456,344 (1.8)	428,358 (1.6)	3,200 (0.0)	5,506,184 (21.1)	19,713,022 (75.5)	19.9
	維持補修費				54,613 (4.9)	1,069,762 (95.1)	1.1
	扶 助 費	20,963,423 (48.7)	5,991,116 (13.9)		1,289,297 (3.0)	14,786,604 (34.4)	14.9
	補 助 費 等	1,722,674 (11.5)	1,160,603 (7.8)		174,037 (1.2)	11,847,631 (79.5)	12.0
	計	23,271,653 (20.3)	8,432,213 (7.4)	3,200 (0.0)	7,182,136 (6.3)	75,498,960 (66.0)	76.3
投 資 的 経 費	補助事業費	1,284,445 (30.9)	116,941 (2.8)	1,883,700 (45.3)	144,956 (3.5)	726,240 (17.5)	0.7
	単独事業費		215,396 (4.1)	2,450,100 (46.9)	713,434 (13.7)	1,841,419 (35.3)	1.9
	計	1,284,445 (13.7)	332,337 (3.5)	4,333,800 (46.2)	858,390 (9.2)	2,567,659 (27.4)	2.6
公 債 費						8,704,937 (100.0)	8.8
繰 出 金		389,757 (3.0)	1,496,257 (11.3)		25,505 (0.2)	11,288,869 (85.5)	11.4
そ の 他					1,536,110 (64.4)	849,772 (35.6)	0.9
合 計		24,945,855 (16.8)	10,260,807 (6.9)	4,337,000 (2.9)	9,602,141 (6.6)	98,910,197 (66.8)	100.0

(3) 他市との人口一人当たり比較

区 分		藤 沢 市			平
		人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額
人 口 (令 2.1.1)		434,769	－	100.6	257,113
消 費 的 経 費	人 件 費	67,211	19.7	107.2	67,540
	物 件 費	60,048	17.6	99.5	44,413
	維 持 補 修 費	2,586	0.8	98.3	4,434
	扶 助 費	98,973	29.1	102.0	95,161
	補 助 費 等	34,282	10.1	124.0	40,811
	計	263,100	77.3	105.1	252,359
投 資 的 経 費	補 助 事 業 費	9,560	2.8	72.5	6,250
	単 独 事 業 費	12,007	3.5	45.5	27,528
	計	21,567	6.3	54.5	33,778
公 債 費		20,022	5.9	101.4	22,047
繰 出 金		30,362	8.9	103.3	23,448
そ の 他		5,488	1.6	95.0	8,763
合 計		340,539	100.0	98.7	340,395

※人口については、平成27年国勢調査を基準とした推計人口としています。

(4) 消費税率引上げによる増収分（地方消費税交付金）が充てられる社会保障施策に要する経費

区 分		(単位：千円)	
(歳入)		令和2年度予算額	
地方消費税交付金（社会保障財源化分）		4,756,000	
(歳出)		事業費	一般財源
社会福祉費（障がい者福祉、国民健康保険等）		15,536,895	6,842,193
老人福祉費		9,482,947	8,552,923
児童福祉費		24,928,244	8,821,986
生活保護費		9,312,061	2,235,043
保健衛生費（各種予防接種、感染症対策等）		2,090,823	1,924,652
合計		61,350,970	28,376,797
※歳出の事業費・一般財源は、人件費、物件費等を除く金額			

(単位 円)

塚 市		茅ヶ崎市			鎌倉市		
構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%	人口一人 当たり額	構成比 %	前年度 対比%
-	99.7	242,012	-	100.0	172,293	-	97.7
19.8	110.7	63,316	20.7	103.2	79,866	21.4	104.5
13.0	96.5	44,833	14.7	95.2	73,339	19.7	107.0
1.3	105.9	1,291	0.4	102.5	3,270	0.9	107.2
28.0	104.1	78,396	25.6	100.3	84,247	22.6	110.4
11.9	107.4	38,518	12.6	111.3	13,730	3.7	105.8
74.0	104.9	226,356	74.0	101.7	254,452	68.3	107.2
1.9	97.7	8,380	2.7	106.5	10,808	2.9	125.5
8.1	198.1	11,557	3.8	120.3	21,485	5.7	127.0
10.0	166.5	19,938	6.5	114.1	32,293	8.6	126.5
6.5	105.2	20,315	6.6	107.2	22,264	6.0	99.4
6.9	103.4	27,903	9.2	103.5	56,882	15.3	105.6
2.6	100.7	11,176	3.7	126.2	6,781	1.8	84.7
100.0	108.7	305,687	100.0	103.7	372,672	100.0	107.4

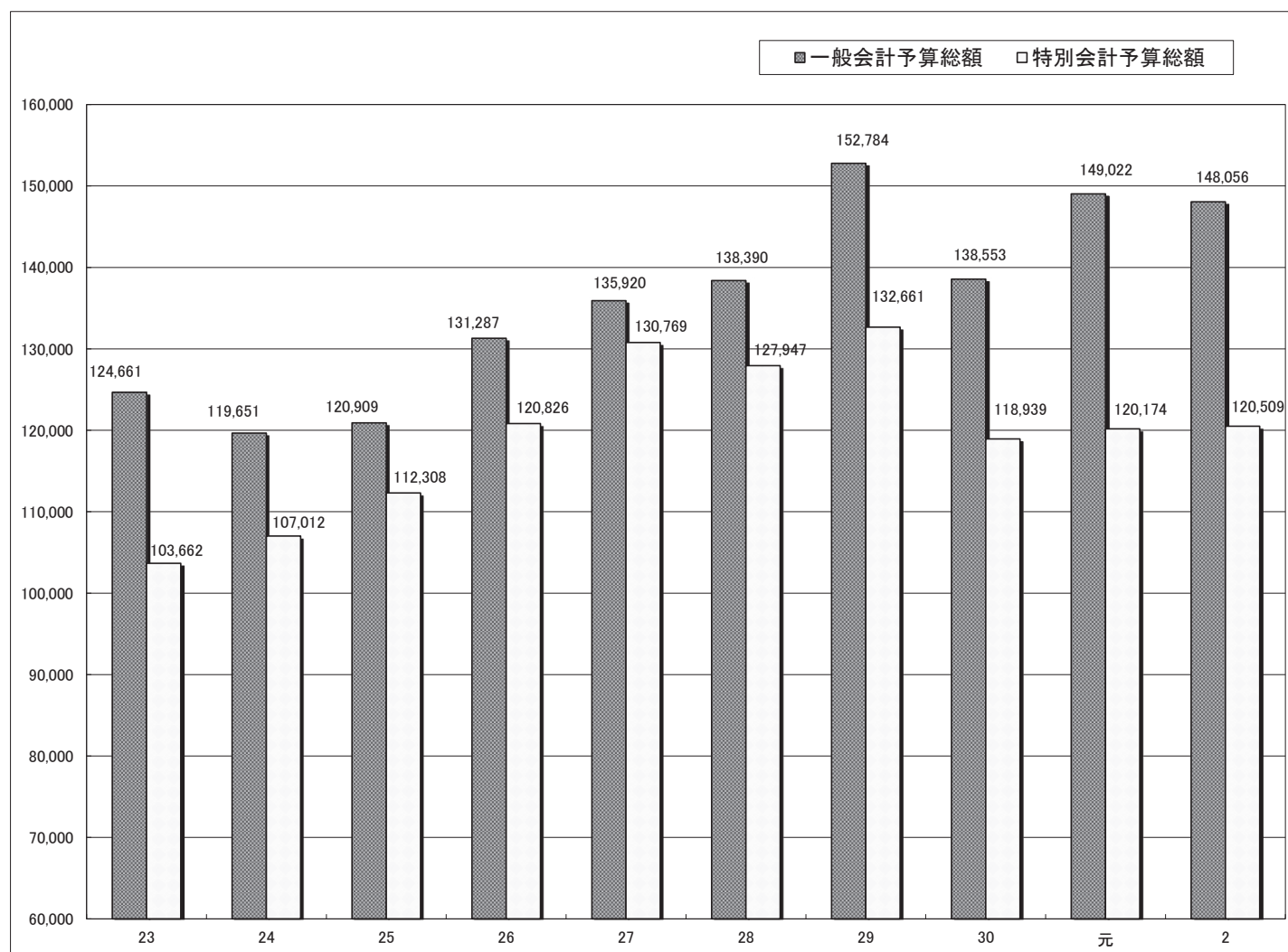
5. 款別、節別集計（一般会計）

節 \ 款	議会費	総務費	環境保全費	民生費	衛生費	労働費
1 報酬	252,150	647,082	31,030	701,544	89,457	24,434
2 給料	64,983	2,694,159	196,400	1,886,679	1,341,533	18,647
3 職員手当等	159,933	4,054,181	176,248	1,623,534	1,154,983	22,170
4 共済費	112,993	1,117,607	78,749	807,016	524,432	11,749
5 災害補償費		356				
6 恩給及び退職年金						
7 賃金						
8 報償費	3,157	38,264	43,523	41,840	24,675	2,809
9 旅費	8,162	36,827	2,211	62,492	6,781	1,199
10 交際費	1,450	3,095			15	
11 需用費	15,202	841,390	55,572	283,113	1,155,806	1,338
うち食糧費	198	1,161				
12 役務費	2,524	352,635	52,257	148,855	180,539	42
13 委託料	23,707	2,531,771	282,216	11,244,114	6,230,173	31,261
14 使用料及び賃借料	2,287	1,768,530	91,413	289,615	166,476	191
15 工事請負費		1,933,622	36,729	59,352	1,172,666	
16 原材料費		206	438	1,286	1,146	
17 公有財産購入費						
18 備品購入費		24,015	7,331	10,534	18,153	
19 負担金補助及び交付金	39,212	602,386	175,878	10,088,766	2,334,119	31,969
20 扶助費				31,831,595	48,028	
21 貸付金				20,000		280,000
22 補償補てん及び賠償金		10,116			36	
23 償還金利子及び割引料		441,891				
24 投資及び出資金						
25 積立金		10,454	118,570	15,264	652,191	
26 寄付金						
27 公課費		2,808		14	1,110	
28 繰出金				8,404,232		
予備費						
計	685,760	17,111,395	1,348,565	67,519,845	15,102,319	425,809

(単位 千円)

農林水 産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	諸支出金 予 備 費	計
13,213	1,688	20,210	71,744	1,216,481			3,069,033
90,979	96,229	1,126,289	1,694,269	1,288,710			10,498,877
76,591	88,905	1,010,060	1,991,472	1,333,624			11,691,701
34,118	37,574	437,466	700,675	599,814			4,462,193
			2,071				2,427
							0
							0
631	748	6,004	35,564	170,695			367,910
436	895	6,160	7,705	70,801	53		203,722
33				543			5,136
21,695	29,001	821,612	188,299	2,718,729	544		6,132,301
				337			1,696
9,318	4,864	117,592	28,492	175,315			1,072,433
25,169	334,309	2,388,040	83,025	3,000,481			26,174,266
6,647	1,260	513,012	38,440	1,150,974	162		4,029,007
131,786	28,556	2,730,730		187,638			6,281,079
		23,011		4,839			30,926
3,347		227,198					230,545
		15,722	460,998	31,850			568,603
122,488	445,306	5,103,831	57,002	374,244	100		19,375,301
				262,729			32,142,352
	1,168,000						1,468,000
4,730		217,331		18			232,231
		69,055		150	8,704,937		9,216,033
							0
				21,403			817,882
							0
		107	3,120				7,159
		1,472,651					9,876,883
						100,000	100,000
541,181	2,237,335	16,306,081	5,362,876	12,609,038	8,705,796	100,000	148,056,000

6. 年度別予算規模の状況（一般会計・特別会計）

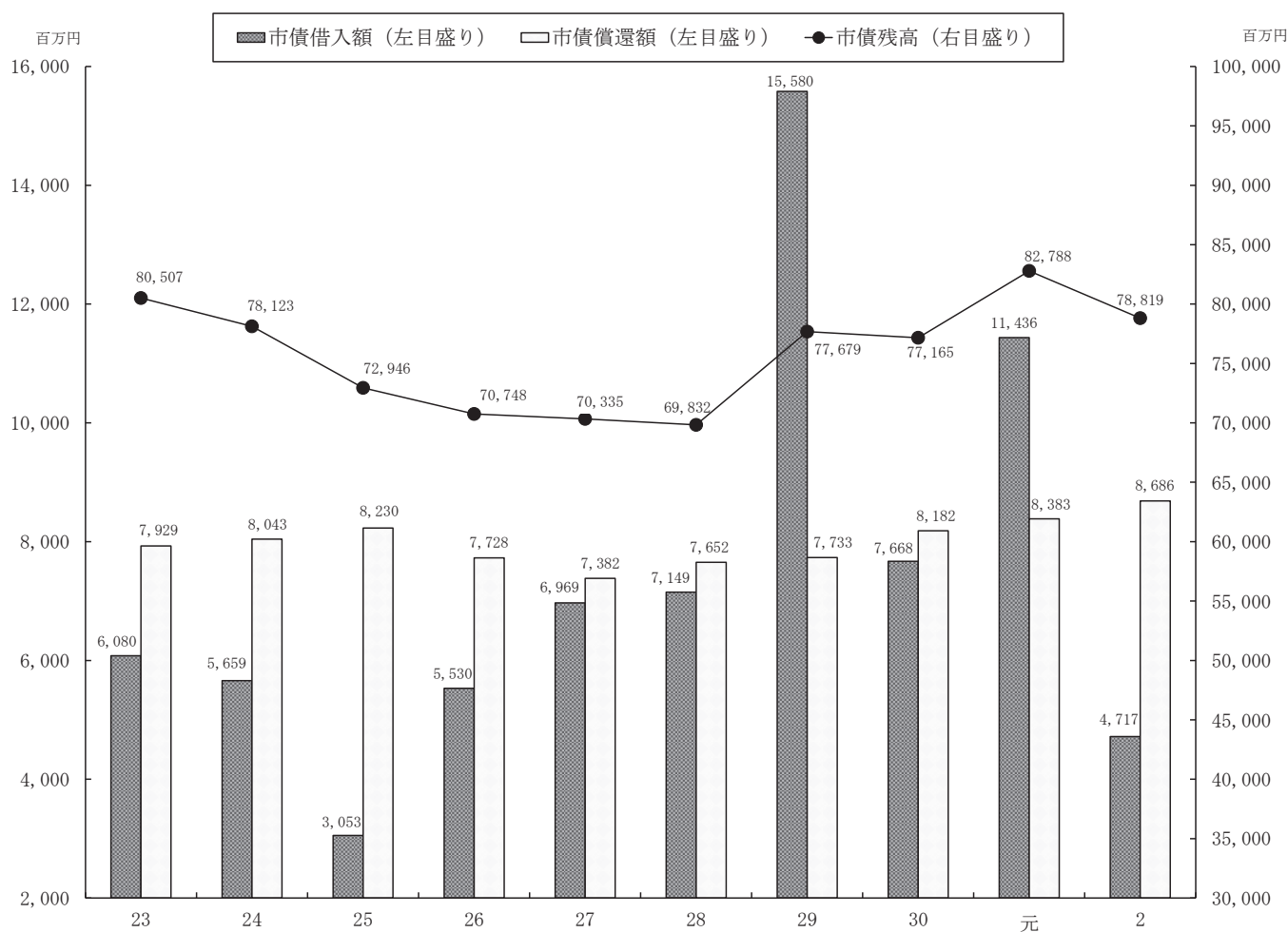


（単位 百万円）

年度	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
一般会計予算総額	124,661	119,651	120,909	131,287	135,920	138,390	152,784	138,553	149,022	148,056
特別会計予算総額	103,662	107,012	112,308	120,826	130,769	127,947	132,661	118,939	120,174	120,509

※特別会計については、下水道事業費、市民病院事業の公営企業会計を含む予算総額です。

7. 年度別市債借入・償還及び残高の状況（普通会計）



(単位 百万円)

年度	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2
市債借入額	6,080	5,659	3,053	5,530	6,969	7,149	15,580	7,668	11,436	4,717
市債償還額 (元金)	7,929	8,043	8,230	7,728	7,382	7,652	7,733	8,182	8,383	8,686
市債残高	80,507	78,123	72,946	70,748	70,335	69,832	77,679	77,165	82,788	78,819

(借換債を除く)

※ 平成30年度までは決算額、令和元年度は2月補正後予算額、令和2年度は当初予算額です。

8. 特別会計の状況

(1) 北部第二（三地区）土地区画整理事業費

歳 入				
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
国 庫 支 出 金	441,600	16.5	79.6	
県 支 出 金	180,000	6.7	100.0	
繰 入 金	1,419,375	53.0	112.2	
諸 収 入	50	0.0	100.0	
市 債	380,100	14.2	65.9	
繰 越 金	100,000	3.7	111.1	
保 留 地 処 分 金 収 入	159,000	5.9	144.5	
合 計	2,680,125	100.0	96.5	

(2) 墓園事業費

歳 入				
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
使 用 料 及 び 手 数 料	397,183	64.3	103.3	
財 産 収 入	441	0.1	54.0	
繰 越 金	25,000	4.0	99.4	
諸 収 入	6,923	1.1	118.6	
繰 入 金	188,067	30.5	99.8	
合 計	617,614	100.0	102.2	

歳 出				
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
区 画 整 理 事 業 費	2, 273, 886	84. 8	93. 5	
公 債 費	406, 139	15. 2	118. 3	
予 備 費	100	0. 0	100. 0	
合 計	2, 680, 125	100. 0	96. 5	

歳 出				
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
墓 園 管 理 費	328, 639	53. 2	103. 9	
墓 園 事 業 費	106, 649	17. 3	96. 4	
基 金 積 立 金	179, 926	29. 1	102. 7	
諸 支 出 金	1, 900	0. 3	100. 0	
予 備 費	500	0. 1	100. 0	
合 計	617, 614	100. 0	102. 2	

(3) 国民健康保険事業費

歳 入				
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
保 険 料	8,655,943	22.9	91.2	
国 庫 支 出 金	14,483	0.0	94.3	
県 支 出 金	26,020,810	68.8	101.2	
財 産 収 入	400	0.0	44.4	
繰 入 金	3,117,025	8.2	94.5	
諸 収 入	41,519	0.1	130.4	
繰 越 金	0	—	0.0	
合 計	37,850,180	100.0	98.1	

(4) 湘南台駐車場事業費

歳 入				
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
繰 入 金	53,276	100.0	88.8	
合 計	53,276	100.0	88.8	

歳		出		
区	分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
総	務 費	484,235	1.3	89.2
保	険 給 付 費	25,597,542	67.6	100.9
国民健康保険事業費 納 付 金		11,297,658	29.8	92.4
保	健 事 業 費	371,427	1.0	101.9
基	金 積 立 金	400	0.0	44.4
公	債 費	2,124	0.0	100.0
諸	支 出 金	66,794	0.2	100.0
予	備 費	30,000	0.1	100.0
合	計	37,850,180	100.0	98.1

歳		出		
区	分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
公	債 費	53,276	100.0	88.8
合	計	53,276	100.0	88.8

(5) 介護保険事業費

歳		入		
区	分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
保	険 料	6,261,774	21.5	101.0
国	庫 支 出 金	6,165,703	21.2	103.4
支	払 基 金 交 付 金	7,499,728	25.8	103.2
県	支 出 金	4,048,477	13.9	102.4
財	産 収 入	1,000	0.0	100.0
繰	入 金	5,102,300	17.5	107.7
諸	収 入	22,433	0.1	827.8
繰	越 金	200	0.0	2,000.0
合	計	29,101,615	100.0	103.5

(6) 後期高齢者医療事業費

歳		入		
区	分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
保	険 料	5,595,116	87.2	112.3
繰	入 金	798,262	12.5	111.7
諸	収 入	20,800	0.3	100.0
合	計	6,414,178	100.0	112.2

歳 出				
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
総 務 費	751,935	2.6	115.7	
保 険 給 付 費	26,225,322	90.1	102.9	
地 域 支 援 事 業 費	2,108,935	7.3	106.4	
基 金 積 立 金	1,000	0.0	100.0	
公 債 費	1,233	0.0	100.0	
諸 支 出 金	11,190	0.0	101.8	
予 備 費	2,000	0.0	100.0	
合 計	29,101,615	100.0	103.5	

歳 出				
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
総 務 費	92,177	1.5	112.7	
後期高齢者医療広域 連 合 納 付 金	6,299,601	98.2	112.2	
諸 支 出 金	20,400	0.3	100.0	
予 備 費	2,000	0.0	100.0	
合 計	6,414,178	100.0	112.2	

(7) 下水道事業費

	収 入				
	区 分		予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
収 益 的 収 入	営 業 収 益		10,401,387	80.7 (63.0)	104.8
	内 訳	下 水 道 使 用 料	6,298,549	48.9 (38.2)	102.2
		他 会 計 負 担 金	4,064,072	31.5 (24.6)	109.0
		受 託 事 業 収 益	38,766	0.3 (0.2)	101.3
	営 業 外 収 益		2,303,929	17.9 (14.0)	95.3
	内 訳	他 会 計 負 担 金	285,706	2.2 (1.7)	75.8
		そ の 他	2,018,223	15.7 (12.3)	98.9
	特 別 利 益		184,300	1.4 (1.1)	73.6
	計		12,889,616	100.0 (78.1)	102.3
	支 資 本 的 収 入	資 本 的 収 入		3,606,217	100.0 (21.9)
内 訳		企 業 債	2,750,200	76.3 (16.7)	72.6
		受益者負(分)担金	51,969	1.4 (0.3)	121.3
		国 県 補 助 金	614,905	17.1 (3.7)	100.0
		他 会 計 負 担 金	187,824	5.2 (1.2)	—
		そ の 他	1,319	0.0 (0.0)	77.2
		他 会 計 出 資 金	0	— (—)	0.0
合 計		16,495,833	(100.0)	95.1	

() 内は合計に対する構成比を示す。

支 出				収支差引額 千円
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
営 業 費 用	11,100,441	90.6 (54.9)	99.8	△ 699,054
営 業 外 費 用	957,306	7.8 (4.7)	82.1	1,346,623
特 別 損 失	184,300	1.5 (0.9)	73.6	0
予 備 費	10,000	0.1 (0.1)	100.0	△ 10,000
計	12,252,047	100.0 (60.6)	97.6	637,569
資 本 的 支 出	7,958,023	100.0 (39.4)	86.4	△ 4,351,806
内 訳	建 設 改 良 費	3,536,141	44.4 (17.5)	
	企 業 債 償 還 金	4,416,282	55.5 (21.9)	
	貸 付 金	5,500	0.1 (0.0)	
	予 備 費	100	0.0 (0.0)	
	そ の 他	0	－ (－)	
合 計	20,210,070	(100.0)	92.9	△ 3,714,237

(8) 市民病院事業

	収 入				
	区 分		予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %
収 益 的 収 支	医 業 収 益		18, 993, 562	94. 0 (92. 6)	104. 4
	内 訳	入 院 収 益	12, 383, 740	61. 3 (60. 3)	103. 4
		外 来 収 益	5, 558, 659	27. 5 (27. 1)	107. 7
		他 会 計 負 担 金	565, 140	2. 8 (2. 8)	103. 7
		そ の 他	486, 023	2. 4 (2. 4)	94. 7
	医 業 外 収 益		1, 209, 811	6. 0 (5. 9)	111. 2
	内 訳	他 会 計 負 担 金	808, 309	4. 0 (3. 9)	105. 5
		そ の 他	401, 502	2. 0 (2. 0)	124. 8
	特 別 利 益		0	－ (－)	0. 0
	計		20, 203, 373	100. 0 (98. 5)	104. 8
資 本 的 収 支	資 本 的 収 入		315, 258	100. 0 (1. 5)	61. 5
	内 訳	企 業 債	229, 100	72. 7 (1. 1)	46. 5
		負 担 金	83, 937	26. 6 (0. 4)	478. 6
		国 県 補 助 金	2, 221	0. 7 (0. 0)	100. 0
	合 計		20, 518, 631	(100. 0)	103. 6

() 内は合計に対する構成比を示す。

支 出				収支差引額 千円
区 分	予 算 額 千円	構 成 比 %	前年度対比 %	
医 業 費 用	21,330,795	96.9 (90.5)	105.0	△2,337,233
医 業 外 費 用	517,573	2.3 (2.2)	106.1	692,238
特 別 損 失	166,540	0.8 (0.7)	133.6	△166,540
予 備 費	2,000	0.0 (0.0)	100.0	△2,000
計	22,016,908	100.0 (93.4)	105.2	△1,813,535
資 本 的 支 出	1,564,645	100.0 (6.6)	98.2	△1,249,387
内 訳	建設改良費	1,091,520	69.8 (4.6)	
	企業債償還金	471,125	30.1 (2.0)	
	予 備 費	2,000	0.1 (0.0)	
合 計	23,581,553	(100.0)	104.7	△3,062,922

9. 市政運営の総合指針2020体系別「予算の概況」掲載事業一覧

体系コード 事務事業名 課名 頁

まちづくりテーマ1 「安全で安心な暮らしを築く」

1 災害対策の充実

11	防災設備等整備事業費	防災政策課	87
21	危機管理対策事業費	危機管理課	88
31	建築物等防災対策事業費	建築指導課	216
51	橋りょう改修費	道路維持課	223
61	橋りょう架替事業費	道路維持課	224
71	一色川改修費	河川水路課	228

2 危機管理対策の推進

11	大規模震災等対策強化事業費	警防課	246
----	---------------	-----	-----

3 防犯・交通安全対策の充実

11	街頭防犯カメラ設置推進事業費	防犯交通安全課	99
21	商店街経営基盤支援事業費（街路灯LED化・防犯カメラ）	産業労働課	202
31	自転車駐車場整備費	道路河川総務課	226

まちづくりテーマ2 「『2020年』に向けてまちの魅力を創出する」

1 市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援

11	オリンピック開催準備関係費	東京オリンピック・パラリンピック開催準備室	281
21	（公財）藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費（オリンピック・パラリンピック関連事業費分）	スポーツ推進課	280
31	ビーチバレー大会開催関係費	スポーツ推進課	277
41	都市親善費	人権男女共同平和課	39

2 オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力（レガシー）の創出

11	シティプロモーション関係費	観光シティプロモーション課	215
21	誘客宣伝事業費	観光シティプロモーション課	210
31	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費	観光シティプロモーション課	213
41	藤澤浮世絵館運営管理費	郷土歴史課	267
51	（公財）藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費（文化プログラム等事業費分）	文化芸術課	275
61	文化行事費	文化芸術課	273
71	アトスペース運営管理費	文化芸術課	274
81	江の島地区周辺整備事業費	江の島地区周辺整備担当（新課名：道路整備課）	235
91	観光施設整備費	観光シティプロモーション課	214

まちづくりテーマ3 「笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる」

1 子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進

21	校務支援システム構築事業費（小学校）	教育総務課	257
22	校務支援システム構築事業費（中学校）	教育総務課	257
23	校務支援システム構築事業費（特別支援学校）	教育総務課	257
31	教育情報機器関係費	教育総務課	250
41	教育情報化推進事業費	教育総務課	254

2 子どもの健やかな成長に向けた支援の充実

11	法人立保育所等施設整備助成事業費	子育て企画課	150
31	法人立保育所運営費等助成事業費	保育課	146
41	放課後児童クラブ整備事業費	青少年課	158
51	小児医療助成費	子育て給付課	142

3 支援を必要とする子ども・若者への支援の充実

11	子どもの生活支援事業費	子ども家庭課	161
21	子ども・若者育成支援事業費	青少年課	157
31	就労支援事業費(ユースワークふじさわ)	産業労働課	180
41	奨学金給付事業費	教育総務課	247

まちづくりテーマ4 「健康で豊かな長寿社会をつくる」

1 多様な主体による支援の充実

11	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費	地域包括ケアシステム推進室	114
21	生活困窮者自立支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	111
31	地域生活支援事業費（相談支援事業）	障がい福祉課	126
41	介護人材育成支援事業費	介護保険課	109
51	成年後見制度等推進事業費（中核機関の設置）	地域包括ケアシステム推進室	110
61	包括的支援体制推進事業費 （コミュニティソーシャルワーカーの配置の充実）	地域包括ケアシステム推進室	112
71	地域福祉プラザ運営事業費	福祉健康総務課	104

2 健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進

11	健康づくり推進事業費	健康増進課	166
21	がん検診事業費	健康増進課	167
31	公園改修費	公園課	239

3 コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進

11	市民活動支援施設運営管理費	市民自治推進課	77
21	ミライカナエル活動サポート事業費	市民自治推進課	78

体系コード	事 務 事 業 名	課 名	頁
41	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費	地域包括ケアシステム推進室	115
51	六会地区まちづくり事業費	六会市民センター	55
61	片瀬地区地域まちづくり事業費	片瀬市民センター	56
71	明治地区まちづくり事業費	明治市民センター	57
81	御所見地区地域まちづくり事業費	御所見市民センター	58
91	遠藤まちづくり推進事業費	遠藤市民センター	59
101	長後地域活性化事業費	長後市民センター	60
111	辻堂地区地域まちづくり事業費	辻堂市民センター	62
121	善行地区まちづくり事業費	善行市民センター	63
131	湘南大庭地域まちづくり事業費	湘南大庭市民センター	64
141	湘南台地域まちづくり事業費	湘南台市民センター	65
151	鵠沼地区まちづくり事業費	鵠沼市民センター	66
161	藤沢地区まちづくり事業費	藤沢公民館	67
171	村岡いきいきまちづくり事業費	村岡公民館	68

まちづくりテーマ5 「都市の機能と活力を高める」

1 都市基盤の充実と長寿命化対策の推進

31	善行市民センター改築事業費	市民自治推進課	70
41	辻堂市民センター改築事業費	市民自治推進課	71
51	一般廃棄物中間処理施設整備事業費	北部環境事業所	179
61	鵠南小学校改築事業費	学校施設課	260
71	六会中学校屋内運動場改築事業費	学校施設課	262
81	公共施設再整備関係費	企画政策課	48
111	藤沢駅周辺地区再整備事業費	藤沢駅周辺地区整備担当	233
121	健康と文化の森整備事業費	西北部総合整備事務所	230
131	長後地区整備事業費	都市整備課長後地区整備事務所	234
141	市道新設改良費（藤沢652号線）	道路整備課	221
151	市道新設改良費（バリアフリー事業）	道路整備課	221
171	市民会館整備費	文化芸術課	72

2 誰もが移動しやすい交通体系の構築

11	総合交通体系推進業務費	都市計画課	229
----	-------------	-------	-----

3 自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進

11	健康の森保全再生整備事業費	西北部総合整備事務所	232
21	自然環境共生推進事業費（生物多様性地域戦略推進事業）	みどり保全課	92

体系コード	事務事業名	課名	頁
31	地球温暖化対策関係事業費	環境総務課	89
4	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備		
11	住宅政策推進費	住宅政策課	242
21	空き家対策関係費	住宅政策課	243
31	新産業創出事業費	産業労働課	197
41	ロボット産業推進事業費	産業労働課	199
51	地域密着型商業まちづくり推進事業費	産業労働課	201
61	担い手育成支援事業費	農業水産課	186
71	藤沢ものづくりブランド応援事業費	産業労働課	204

10. 主要な施策の概要

議会費

<新規事業>

事業名	(新) 議会史編さん事業費					
予算科目	款 1	項 1	目 1	細目 04	説明 07	議事課
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	4,210					4,210
令和元年度	0					0
対前年度	4,210					4,210

【施策等を必要とする背景】

市制町村制以後の藤沢町会・市会・市議会と時代の変遷にしたがって展開された行政を背景に、これまで市制施行の節目の年にあわせて昭和45年、平成2年と2度にわたり、議会活動・住民活動等を客観的に記述した藤沢市議会史の編さんを行ってきた。

昨年5月に改元が行われ、本年には市制施行80周年を迎えること、また、前回の議会史の編さんからおよそ30年が経過していることを踏まえ、平成元年から30年間にわたる議会の歴史をまとめ、引き続き次世代に伝えることにより、本市の発展に寄与する。

【提案に至るまでの経緯】

令和元年9月24日の議会運営委員会での合意を受け、10月8日に議会史編さん委員会を設置し、平成元年以降の議会史の編さんに向けた協議を開始した。

10月21日の同委員会において、編さん体制の構築及び環境整備にあたり、所要の予算要求を行っていくこととなった。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、藤沢市議会の歴史や活動内容を広く周知するとともに、藤沢市議会の活動記録をわかりやすく次世代に伝えることで、本市の発展に資する。

また、過去の貴重な歴史的資料の散逸を防止し、アーカイブとしての保存、整理及び周知を行うことで、市政運営をはじめ幅広い分野での活用を促す。

2. 将来にわたる費用

議会史の仕様や発行部数により、監修者・執筆者謝礼や発刊にかかる経費等が今後も必要となる。

【事業概要】

市制施行80周年を契機に、平成元年からの30年間の藤沢市議会の記録を、藤沢市議会史として編さんする。

1. 議会史編さんに係る費用

4,210 千円

・監修者等謝礼

2,880 千円

・旅費

850 千円

・消耗品費

480 千円

総務費

事業名	都市親善費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 細目 10 説明 01	人権男女共同平和課				
指針体系コード	2-1-41	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	12,736				12,736	
令和元年度	22,137				22,137	
対前年度	△ 9,401				△ 9,401	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				12,736

【事業概要】

姉妹友好都市を中心とした海外等諸都市との友好関係を深めるとともに、市民の国際理解の推進を図るため、都市親善交流を行う。

1. 姉妹友好都市等との親善事業 9,460 千円

姉妹友好都市をはじめとする諸都市との親善交流を目的とした事業を、藤沢市都市親善委員会に委託して実施する。

 - (1) マイアミビーチ市との交流
 - (2) 昆明市との交流
 - ・公式訪問団派遣 8月（予定）
 - (3) ウィンザー市との交流
 - (4) 保寧市との交流
 - ・公式訪問団派遣 7月（予定）
 - (5) 東京2020大会への姉妹友好都市招待

江の島における東京2020大会セーリング競技の開催に合わせて、姉妹友好都市の方々を招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。
 - (6) 湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市招待

姉妹友好都市の方々を湘南藤沢市民マラソンへ招待し、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。
2. ふじさわ国際交流フェスティバルの開催 881 千円

外国人市民との交流や異文化への理解を深めるための事業を、ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会へ委託して実施する。

 - ・開催時期：10月（予定）
3. 聶耳記念碑保存会への助成 250 千円
4. 事務経費 2,145 千円

 - ・旅費 1,030 千円
 - ・報償費、需用費、役務費 1,115 千円



湘南藤沢市民マラソン
ステージセレモニー



ふじさわ国際交流フェスティバル

総務費

総務課

事業名		広報ふじさわ発行費				
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 01		広報課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	89,613				7,350	82,263
令和元年度	88,180				7,372	80,808
対前年度	1,433				△ 22	1,455
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				7,350

【事業概要】

市民の市政への理解を深め市民参加による市政運営を図るため、市の施策や催しなど市民生活に必要な情報を「広報ふじさわ」を発行することにより提供する。

1. 「広報ふじさわ」の作成及び配布

83,236 千円

月2回、1号当たり約165,000部発行

・ 広報ふじさわ印刷製本費

56,022 千円

・ 広報ふじさわ等梱包配布及び郵送準備業務委託料

10,471 千円

・ 広報紙編集等業務委託料

16,743 千円

2. 「点字版広報ふじさわ」及び「声の広報」作成及び配布

5,285 千円

視覚障がいのある方等を対象に、「点字版広報ふじさわ」と「声の広報（音声版広報ふじさわ）」を作成し配布する。

月2回、1号当たり点字版約28部・音声版約66部発行

3. 事務経費

1,092 千円

総務費

総務局

事業名		CATV等視覚広報事業費										
予算科目	款	2	項	1	目	5	細目	01	説明	02	広報課	
指針体系コード				まちづくりテーマ								
				重点施策名								
区分	事業費		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
令和2年度	52,795								24		52,771	
令和元年度	52,316								24		52,292	
対前年度	479								0		479	
特定財源の内訳	(その他)		広告料収入								24	

【事業概要】

ケーブルテレビ等を利用し、市の施策や事業、市内の出来事、地域で活躍する人物等を広く市民に周知紹介するため、映像による広報番組を制作し放映する。

1. CATV放映広報番組制作委託

50,701 千円

市広報番組「ふじさわ情報ナビ」を制作し、放映する。また、災害等緊急時には、被害状況や避難案内、ライフラインの復旧状況等きめ細かい情報提供を行う。

- ・ 20分番組年52回制作（毎週更新）

2. tvk放映広報番組制作委託

2,032 千円

tvkで放送中の番組「猫のひたいほどワイド」内で、藤沢市のイベントや事業の告知を行う。

- ・ 毎月1回（年12回）放映

3. 事務経費

62 千円

総務費

事業名	FM放送事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 03	広報課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	45,949					45,949
令和元年度	46,565					46,565
対前年度	△ 616					△ 616

【事業概要】

FM放送を媒体として、市の広報番組を制作・放送するほか、災害等緊急時には、きめ細かい災害情報を提供する。

1. FM放送藤沢市広報番組制作委託 45,949 千円
市広報番組・特別番組の制作、放送、及び緊急時のための訓練放送を行う。
 - (1) 藤沢市広報番組
 - ・ハミングふじさわ（30分番組：月～金曜日 1日2回放送）
 - ・ハミングインフォメーション（5分番組：毎日 1日3回放送）
 - ・ラジカルなび（外国語講座）（5分番組：月～金曜日 1日2回放送）
（英語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語・中国語）
 - (2) 特別番組（60分番組：年5回放送）
各地域や団体等が行っているさまざまな取組やイベント等の公開収録・放送を行う。
 - (3) 緊急放送
 - ・緊急割込放送
震度4以上の地震が発生したとき又は津波注意報（警報）が発表されたとき
 - ・特別放送
震度5弱以上の地震により大規模な被害が発生したとき
 - ・緊急割込訓練放送（毎月第2木曜日）
 - ・その他災害発生時の情報提供（随時）

総務費

事業名		ホームページ運営管理費				
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 04			広報課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	12,563				750	11,813
令和元年度	17,401				750	16,651
対前年度	△ 4,838				0	△ 4,838
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				750

【事業概要】

ホームページを媒体として、市民等の市政への理解と周知を図るため、各課がホームページを作成するためのコンテンツマネジメントシステム（ウェブページを構成するテキストや画像、レイアウト情報などを一元的に保存・管理しサイトを構築・編集するシステム）の運営、管理等を行う。

- インターネット活用業務委託 1,634 千円
 - ・特殊なページの公開作業やアクセス数集計などを業務委託により実施
 - ・ホームページの改ざん防止や情報の暗号化など、ウィルス対策を実施
- 気象情報の提供業務委託 1,023 千円

日本気象協会から提供される防災気象情報をPC版ホームページや携帯版ホームページ等に掲載する。
- ウェブサイト管理システム利用料 9,597 千円

各課がホームページを作成するためのコンテンツマネジメントシステムサービスを利用する。
- 事務経費 309 千円

総務費

事 業 名		コールセンター関係費				
予算科目	款 2 項 1 目 5 細目 01 説明 05		市民相談情報課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	106,686					106,686
令和元年度	103,120					103,120
対前年度	3,566					3,566

【事業概要】

藤沢市に関する情報や行政サービスの内容、申請や手続きなどの問い合わせに、休日、夜間にも対応し、迅速に回答や案内を行うコールセンター業務と市役所代表電話番号の電話交換業務を一括して業務委託する。

1. コールセンター及び代表電話交換室運營業務委託 106,656 千円

	コールセンター	代表電話交換室
電話番号	0466-28-1000	0466-25-1111
運営時間	年中無休	平日
	午前8時から 午後9時まで	午前8時30分から 午後5時15分まで

2. その他事務経費 30 千円
普通旅費、消耗品費

総務費

事 業 名	ふるさと納税関係事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 6 細目 02 説明 01	財政課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	60, 000					60, 000
令和元年度	30, 000					30, 000
対前年度	30, 000					30, 000

【事業概要】

ふるさと納税制度を活用した寄附金募集を行い、シティプロモーションに資するお礼品等を寄附者に贈呈する。

1. ふるさと納税関係事務に係る委託料 60,000千円
インターネット上での寄附金の受付・決済・お礼品の選択等を行うサイト運営、また寄附金の収納管理、お礼品の発注・配送・問い合わせへの対応等を行う。



総務費

事 業 名		広域行政推進関係費				
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 01 説明 01			企画政策課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	237					237
令和元年度	269					269
対前年度	△ 32					△ 32

【事業概要】

藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で構成する湘南広域都市行政協議会において、住民サービスの向上、地域の活性化及び行政の合理化と効率化の実現を目指して、将来的に広域化することが望ましい事務事業や広域的な行政課題の解決に資する事務事業などの新たな広域連携施策に関する調査研究及び既存の広域連携事業の取組を進める。

また、その他の近隣市との間でも、共通課題に対する理解と認識を深めるための情報共有と課題解決に向けた検討、協議を行う。

1. 湘南広域都市行政協議会（2市1町）での取組 140 千円

各市町の関係部署の職員で構成する専門部会や企画担当部長で構成する幹事会を開催し、広域連携施策の調査研究や連絡調整などを行う。また、協議会の取組に関する基本的な事項を決定する定例会や連携懇談会を実施する。

2. 事務経費 97 千円

総務費

事業名	企画業務関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 01 説明 02	企画政策課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	9,862					9,862
令和元年度	5,676					5,676
対前年度	4,186					4,186

【事業概要】

国・県の動向や社会経済情勢の急激な変化、多様化する市民ニーズに対応するため、政策の総合調整、重要施策に係る企画立案を行うとともに、緊急性の高い重要な課題に対し、迅速な対応を図る。

1. 藤沢市市政運営の総合指針の改定 1,311 千円

変化する社会情勢や市民ニーズに対応し、長期にわたって行政計画を継続できる仕組みとして重点化プログラムである「藤沢市市政運営の総合指針」を推進するとともに、４年に１度の改定を行う。

また、施策評価を行うため、市民満足度等の意識調査を実施する。

2. 藤沢市総合教育会議の運営 493 千円

市長と教育委員会の円滑な意思疎通により、本市の教育の課題やあるべき姿を共有し、次代を担うすべての子どもたちを市全体で見守り、育む取組を協議するため、「藤沢市総合教育会議」を運営する。

教育大綱の基本的な考え方や方針への理解を深めるため、中学生等を対象とした啓発物を作成し、配布する。

(新) 3. 市制施行８０周年記念事業の実施 2,871 千円

１０月１日に市制施行８０年を迎えることから、例年実施している市表彰式とあわせて、記念式典等を実施する。

また、各課の記念事業に使用するためののぼり旗等を作成する。

4. 緊急課題への対応 3,000 千円

年度途中に発生した緊急かつ重要な特定課題に対し、必要な調査研究を実施し、様々な課題に対応する施策等の総合調整を図る。

5. 事務経費 2,187 千円

- ・講師謝礼 506 千円
- ・旅費 300 千円
- ・その他 1,381 千円

総務費

事業名	行政改革等推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 02 説明 01	行財政改革推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	3,281					3,281
令和元年度	3,296					3,296
対前年度	△ 15					△ 15

【事業概要】

社会経済情勢の急激な変化や本市の現状と将来課題を踏まえ、限られた財源を効率的かつ効果的に活用し、行政運営の一層の向上を図ることを目的として、行財政改革等を推進する。

1. 行財政改革の推進 1,128 千円
「藤沢市行財政改革２０２０基本方針」に基づく「実行プラン」の取組を着実に進めるため、藤沢市行財政改革協議会を開催し、その進捗管理等を行うとともに、次期行財政改革の基本方針及び実行プランの案を策定する。

2. 行政評価の推進 40 千円
行政が実施する事務事業の現状や成果を確認し、事業の見直しや質的向上を図るため、事務事業評価及び外部評価を実施する。

3. 指定管理者制度の総括及び出資団体への指導 1,243 千円
指定管理者制度の円滑な運用を図るため、制度全体を総括するとともに、市民サービスの質的向上を図る観点から指定管理者に対する第三者評価を実施する。
また、「藤沢市第三次出資団体改革基本方針」に基づき、出資団体改革を推進するとともに、同基本方針の見直しを検討する。

(新) 4. 議事録作成ソフト導入経費 644 千円
各課等において行っている議事録作成業務について、業務効率の向上等に一定の効果が期待できる議事録作成ソフトを導入する。

5. 事務経費 226 千円

総務費

事 業 名		公共施設再整備関係費				
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 03 説明 02			企画政策課		
指針体系コード	5－1－81	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	5,500				5,500	
令和元年度	5,500				5,500	
対前年度	0				0	
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				5,500

【事業概要】

旧藤が岡職員住宅、旧市民病院看護師寮及び藤が岡保育園の敷地を一体的に活用し、周辺地区で賃借している施設及び当該地域に不足している行政サービス機能を含めた複合施設としての再整備を行う。

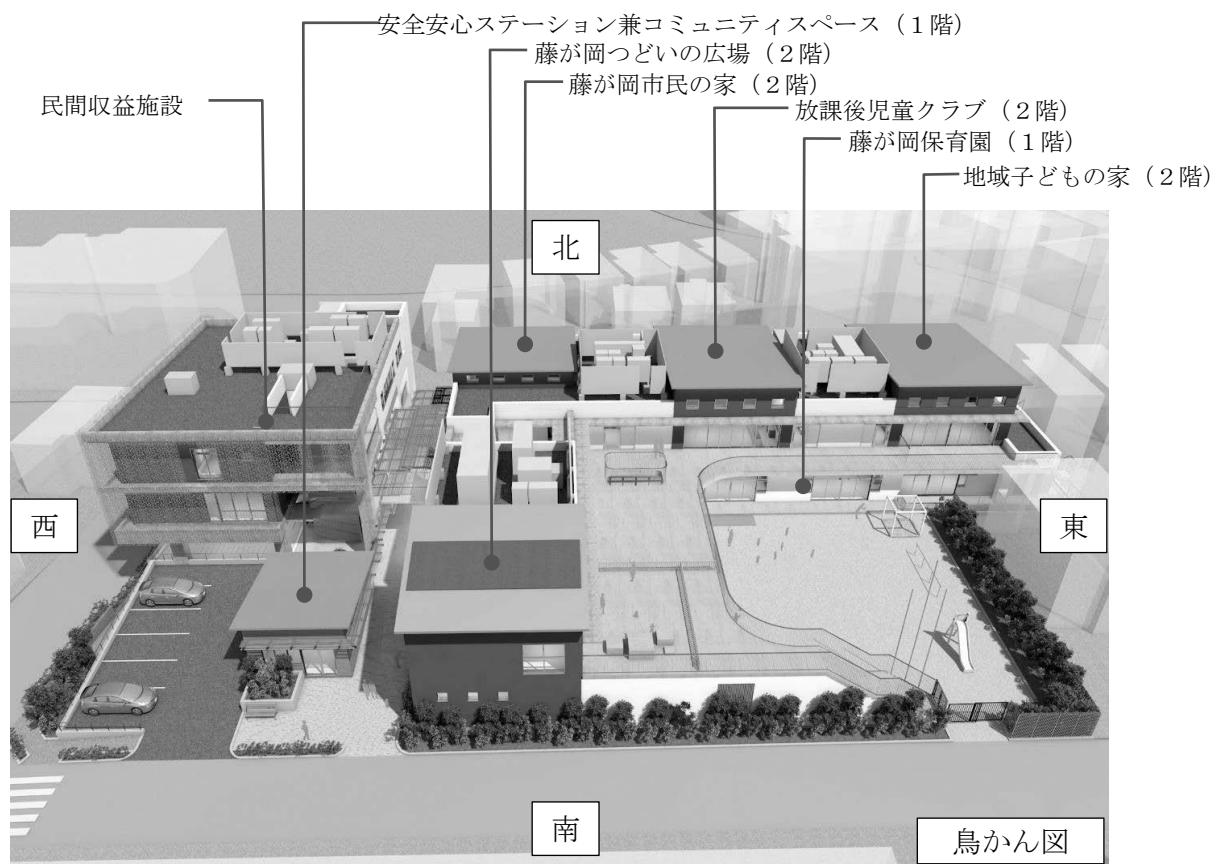
本再整備にあたっては、民間事業者の資金、運営能力及び技術力などのノウハウ等を導入し、運営方法を含め、より効果的かつ効率的なサービスの提供が可能となるPFI事業として構築することにより財政支出の削減及び平準化を図る。

1. 藤が岡二丁目地区再整備PFI事業モニタリング業務 5,500 千円

PFI事業として整備するにあたり、要求水準書、提案書及び事業契約書に従って整備されていることを確認するため、建設期間におけるモニタリング業務を専門業者に委託する。

施設供用開始は令和3年4月予定

(藤が岡保育園については、令和3年5月に新園舎への移転・供用開始を予定)



総務費

事 業 名		内部統制推進費				
予算科目	款 2 項 1 目 9 細目 04 説明 02	内部統制推進室				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,343					1,343
令和元年度	1,429					1,429
対前年度	△ 86					△ 86

【事業概要】

平成31年1月に策定した「藤沢市内部統制基本指針」及び令和元年6月に策定した「藤沢市内部統制推進のための運用ガイドライン」に基づき、継続的な内部統制の取組を推進し、適正な事務執行を実現するため、内部統制制度の充実及び公正な職務の推進を図るとともに、法令に基づく各審査会の運営を行う。

- 内部統制制度及び公正な職務の推進の総括 300 千円
内部統制制度の充実、職員の倫理の保持及び法令の遵守を図るため、研修会や外部有識者による評価の実施など、制度の総括を行うとともに、不祥事防止に取り組む。
- 藤沢市行政不服審査会の開催 593 千円
市民の権利利益の救済を図るとともに、行政の適正な運営を確保するため、行政不服審査法に基づき調査・審議する藤沢市行政不服審査会を開催する。
- 藤沢市公正職務審査会の開催 260 千円
職員の倫理の保持及び法令の遵守並びに公正な職務の執行を確保するため、藤沢市における法令の遵守に関する条例に基づく調査・勧告を行う藤沢市公正職務審査会を開催する。
- 事務経費 190 千円

総務費

事業名	基幹系システム関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 01 説明 01	I T 推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	252, 446	33, 934				218, 512
令和元年度	353, 565	32, 044				321, 521
対前年度	△ 101, 119	1, 890				△ 103, 009
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会保障・税番号制度システム整備費補助金				7, 042
	(国庫支出金)	国民年金事務委託金				26, 892

【事業概要】

住民情報業務や税情報業務、国民健康保険業務等定型 3 4 業務を対象に、市役所内の事務処理の効率化を図るため、常に大型コンピュータ等を正常に稼働させるとともに、事務処理の改善等、行政内部における情報化を推進する。

1. 大型コンピュータ及びオンライン機器等の賃借 103,047 千円
大型コンピュータ機器、各業務系オンライン端末機等(2 1 2 台)の賃借
(基幹系定型業務)

 - ・税務業務 市県民税、固定資産税、軽自動車税、収納管理、滞納管理等
 - ・住民業務 住民記録、印鑑登録、選挙等
 - ・福祉業務 国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険、国民年金等
 - ・その他業務 管理企画業務、オンライン業務、運用管理、ソフト開発
2. 基幹系システムの運用、管理業務 132,049 千円
入力データ作成業務委託、派遣 S E (8 人) の経費等
3. 基幹系システムのセキュリティ対策業務 4,010 千円
セキュリティコンサルティング、ウイルス対策機器の賃借等
4. 自治体中間サーバー・プラットフォームの運営に係る交付金 13,340 千円
社会保障・税番号制度において各種情報連携を行うため、地方公共団体情報システム機構が整備・運用する中間サーバー・プラットフォームの共同利用に関連する事務を同機構に委任することに伴う交付金

総務費

事業名	情報系システム関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 01 説明 02	I T 推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	514,968					514,968
令和元年度	480,120					480,120
対前年度	34,848					34,848

【事業概要】

庁内の事務効率の向上及び情報セキュリティの確保のため、庁内の I T 環境（庁内ネットワーク、職員ポータルシステム、セキュリティ対策等）の整備、運用管理を行うとともに、職員に対する情報セキュリティ研修を実施する。

1. 情報系パソコン、ネットワーク機器等の賃借 288,502 千円
職員が日常的に使用する情報系パソコン、サーバ、ネットワーク機器、アプリケーション等の賃借
パソコン 2,480 台、サーバ 29 台、ネットワーク機器、基本ソフト・ライセンス、職員ポータルシステム（文書管理・財務会計システム、グループウェア）等
2. 職員ポータルシステム等の運用、管理業務 128,237 千円
運用サポート、複合機（210 台）の管理・保守、インターネット接続専用機器の保守、ネットワーク機器の保守、基本ソフト・アプリケーションのアップデート等の業務、テレワーク検証に伴う回線使用料
3. 職員情報化研修 5,245 千円
全職員を対象とした e ラーニング研修、コンピュータ利用管理者・I T 推進リーダー研修、システム取扱い課職員研修、新採用職員研修等の実施
4. 情報系システムのセキュリティ対策業務 12,998 千円
入退室管理機器（監視カメラ等）、磁気データ消去装置等の賃借、磁気媒体消磁・破砕処理業務、I SMS（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証継続の手数料等
5. 神奈川情報セキュリティクラウド（K S C）利用料 79,986 千円



（参考）I SMS（ISO27001）認証シンボル

○認証登録番号：JQA-IM1515

○認証登録範囲：

総務部 I T 推進課における、情報政策の総合企画及び調整、地域及び行政の情報化の推進、情報システム・ネットワークの運用管理業務

市民自治部市民窓口センターにおける、戸籍法及び住民基本台帳等の各種関係法令に基づく業務（平成27年2月2日付適用宣言書第2版）

○有効期限日：令和3年7月31日

総務費

事業名	基幹系業務適正化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 0 細目 01 説明 03	I T 推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	198,526					198,526
令和元年度	114,438					114,438
対前年度	84,088					84,088

＜拡充事業＞ 次期基幹系システムの構築・導入

【施策等を必要とする背景】

本市では、住民情報や税、福祉等の定型的かつ大量の処理が必要な基幹系システムについて、昭和６１年に大型コンピュータによるシステムを構築し、現在まで３０年以上にわたり各個別業務の効率化を図るために、積極的な改修を行ってきた。

これにより個々の業務処理の操作性や信頼性は高くなったが、一方でプログラムの複雑化やシステム改修費の高騰、頻繁に起こる制度改正の際の職員の負担増、社会保障・税番号制度の開始によるシステム間連携の複雑化、大型コンピュータを扱うＳＥの高齢化による人材不足等の問題が顕著になってきている。

【提案に至るまでの経緯】

現行の大型コンピュータの賃貸借期間が、令和２年１２月末で終了する。それに先立ち、平成２９年度に次期基幹系システムの方向性について最適化計画を策定し、平成３０年度末に次期基幹系システムのパッケージの選定作業を実施した。

令和元年度は、システムの調達に向け、要件定義及びデータ移行の準備作業を行った。

【市の策定する計画や条例との整合性】

次期基幹系システム最適化計画

【将来にわたる効果及び費用】

大型コンピュータのオープン化及びパッケージシステムの導入を行うとともに、標準パッケージの内容に即した業務改善（ＢＰＲ）を図ることで、大型コンピュータを継続利用した場合と比較し、１０年間で約１３億円の費用削減効果を見込む。この効果額には、今まで各事業課で予算化されてきた法改正等のシステム改修費を含む。

【事業概要】

次期基幹系システムの調達及び次期基幹系システムを運用するための環境整備等を行う。

- １．賃借料 144,029 千円
 次期基幹系システムの賃借料及び次期基幹系システム導入に伴い各事業課で増設が必要となる端末等の賃借料
 - ・基幹系システム賃貸借 139,060 千円
 ※令和３年１月からの賃借料
 - ・基幹系システム端末等機器（追加分） 4,969 千円
 ※令和２年１０月からの賃借料
- ２．委託料 54,497 千円
 次期基幹系システム構築等のプロジェクト管理、端末増設に係るＬＡＮ配線等を行うための業務委託、システム変更に伴う市側の運用手順書・チェックリストの作成等の業務委託、納付書の様式変更に伴うＯＣＲ読取り機器の設定変更の業務委託
 - ・次期基幹系システム構築等支援業務委託 14,025 千円
 - ・本庁舎ネットワーク追加配線作業業務委託 8,682 千円
 - ・次期基幹系システム運用構築業務委託 29,920 千円
 - ・ＯＣＲ機器改修業務委託 1,870 千円

総務費

事業名	市史編さん事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 1 細目 02 説明 01	市民相談情報課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,689					7,689
令和元年度	8,709					8,709
対前年度	△ 1,020					△ 1,020

【事業概要】

歴史とその資料を後世に伝え、市民と歴史・文化を共有し、市民意識の高揚を図るとともに、市の将来像形成のための歴史文化情報を提供するため、地域歴史資料調査、収集、整理等を実施し、その成果として令和2年度は市制施行80周年記念誌を刊行するほか、講座を実施する。

1. 市史編さん委員会の開催経費 468 千円
市史編さん委員会：年5回開催

2. 市史関係資料の調査経費 787 千円
市史関係資料を継続的に収集・整理・保存し、それに基づく調査及び研究結果を刊行物や展示等の方法で情報提供する。

3. 市史講座等の開催経費 180 千円
市制施行80周年記念市史講座：年4回実施
藤沢市史子ども夏期講座：1回実施

(拡) 4. 市制施行80周年記念誌の刊行経費 4,880 千円
市制施行80周年に際し、戦前・戦中・戦後と大きく変化を遂げてきた過程や特徴を捉え、多くの写真やデータなどを掲載した記念誌を刊行する。
作成部数 1,000部 令和3年2月刊行予定

5. 市史編さん事業事務経費 1,374 千円
複写機等機器賃借料及び事業用消耗品等

総務費

事業名	郷土づくり推進会議関係費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 01 説明 01	市民センター・公民館・市民自治推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	8,862				572	8,290
令和元年度	10,281				570	9,711
対前年度	△ 1,419				2	△ 1,421
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				572

【事業概要】

地域の特性を生かした郷土愛あふれるまちづくりを推進するため、市民センター・公民館を拠点として市内13地区に設置した郷土づくり推進会議を運営する。

1. 推進会議関係事業費等

8,862 千円

<内訳>

(単位：千円)

地区名等	事業費内訳			予算額
	会議費	事務費	事業費	
六会地区	97	120	828	1,045
片瀬地区	70	198	811	1,079
明治地区	72	48	375	495
御所見地区	28	113	477	618
遠藤地区	72	20	22	114
長後地区	39	133	599	771
辻堂地区	64	241	491	796
善行地区	74	58	509	641
湘南大庭地区	70	134	521	725
湘南台地区	100	144	328	572
鵜沼地区	28	100	334	462
藤沢地区	52	95	279	426
村岡地区	74	45	908	1,027
市民自治推進課	0	0	91	91
合 計				8,862

<対象経費>

- (1) 郷土づくり推進会議の運営に要する経費
- (2) 郷土づくり推進会議が実施する事業の企画及び実施に要する経費
- (3) 地区内の地域活動の支援に要する経費
- (4) 地区集会の開催に要する経費
- (5) 郷土づくり推進会議に関する地区内の広報活動に要する経費
- (6) 郷土づくり推進会議の運営に必要な学習又は調査研究活動に要する経費

総務費

事業名	六会地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 01	六会市民センター				
指針体系コード	4-3-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,003					2,003
令和元年度	1,576					1,576
対前年度	427					427

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「素的なふるさと 六会」を実現するため、さまざまなまちづくり事業を行い、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 花の植栽活動による美しいまちづくり事業 278 千円
地区内の公園、小・中学校、特別支援学校及びボランティア団体への花の植栽活動の支援や「六会の美しい庭・風景の写真展」を行い、自然とのふれあいを深めるとともに、美しいまちづくりを進める。
・花苗配付、写真展の開催等（消耗品費・印刷製本費）
2. 交通不便地区解消検討事業 10 千円
西俣野地区で運行する予約型乗合タクシーの利用者拡大を図るためチラシを作成する。
・チラシ作成（消耗品費）
3. 六会人材センター推進事業 1,053 千円
地域の人材発掘を行うとともにボランティア先とのコーディネート事業等を行い、住民相互のつながりを深め、地域活動の推進を図る。
・六会人材センター運営（委託料）
4. 六会まちおこし活動支援事業 662 千円
地域の子どもから高齢者、障がいのある方まで楽しめるイベント等の掘り起こしや支援を行い、活気あるまちづくりを目指す。
・六会日大前駅ロータリーにイルミネーションの設置（光熱水費・手数料）
・あいさつ啓発運動看板4カ所の修繕（施設修繕費）



花の植栽活動による美しいまちづくり事業



六会まちおこし活動支援事業
(イルミネーションの設置)

総務費

事業名	片瀬地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 02	片瀬市民センター				
指針体系コード	4-3-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,918					1,918
令和元年度	2,140					2,140
対前年度	△ 222					△ 222

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史の薫りと潮の香りがただようふれあいのまち 片瀬・江の島」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 片瀬地区人材・情報バンクセンター事業 1,652 千円
地域のまちづくり活動の推進を図るため、ボランティア活動をしたい人と地域のボランティア活動とをつなぐコーディネート事業やボランティア活動への関心を醸成する機会となる講演会などを企画・実施する。
・コーディネーター謝礼等、事業運営に関する経費（委託料）
2. まちかど相談事業 206 千円
子育て世代や高齢者などの生活支援の充実を図るため、身近な地域の居場所等を活用し臨床心理士等の専門家による相談事業を支援する。
・臨床心理士謝礼等、まちかど相談事業に関する経費（補助金）
3. 民俗文化財等継承事業 8 千円
制作職人の不在により、一旦は途絶えた地域の伝統民芸品である片瀬こまの保存活動を支援し、更なる普及・発展を図るため、体験会や大会用のこまを購入する。
・片瀬こま（消耗品費）
4. 緑と花いっぱい推進活動事業 52 千円
日本有数の観光地である江の島入口の景観の向上を図るため、江の島弁天橋植栽帯の花植え活動を支援する。
・花苗、肥料、上下水道代等（消耗品費・光熱水費）



まちかど相談事業
(高齢者困りごと相談)



民俗文化財等継承事業
(片瀬こま大会)

総務費

事業名	明治地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 03	明治市民センター				
指針体系コード	4-3-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	908					908
令和元年度	1,101					1,101
対前年度	△ 193					△ 193

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「明るく楽しい未来を創るまち、めいじ」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 歴史・文化継承事業 500 千円

明治地区の歴史文化を継承していくための学習・啓発の場として、明治郷土史料室の企画運営を明治郷土史料室運営委員会に委託し実施する。

明治地区の郷土の偉人である小笠原東陽の書物、書簡を調査し、その内容を記録して現代人にもわかりやすい形で報告書としてまとめることで、地域、次世代への継承を図る。

 - ・明治郷土史料室の運営（委託料）
 - ・小笠原東陽に係る書物等資料の調査（報償金・消耗品費）
2. 明治地区マナーアップ推進事業 92 千円

自転車運転、歩きタバコ、ごみのポイ捨て等、さまざまな分野で地域のマナー向上を図るため、地域団体や住民・学校等が連携し、地域一丸となり街頭キャンペーンをはじめとする啓発活動を実施する。

 - ・啓発グッズ、ポスター等（消耗品費・印刷製本費）
3. 子育て支援充実事業 268 千円

明治地区内の子育てグループやフリースペースにここに、市の子育て関係機関等が一堂に集い、団体相互の連携を図るほか、それぞれの活動を地域に発信する「明治発！子育て応援メッセ」を実施し、各団体のブースの開設やシンポジウム等を行う。

子育て世代の支援の一環として、明治地区内の子育て世代を対象に講演会を行う。

 - ・子育て応援メッセ開催経費（報償金・消耗品費・印刷製本費）
 - ・講演会開催経費（報償金）
4. 明治地区健康体操推進事業 48 千円

明治地区内住民の健康維持と住民相互の交流を図り、健康でいきいきと生活できる地域づくりを推進するため、自治会・町内会等が中心となって、公園等地区内各所で健康体操を実施することができるよう支援する。

 - ・チラシ作成（消耗品費）



明治地区マナーアップ推進事業
(マナーアップ街頭キャンペーン)



明治地区健康体操推進事業
(丸山公園健康体操)

総務費

事業名	御所見地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 04	御所見市民センター				
指針体系コード	4-3-81	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	601					601
令和元年度	995					995
対前年度	△ 394					△ 394

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが楽しめる心なごむ田園パーク・御所見」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域資源を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 田園パーク構想推進事業

601 千円

御所見地区の活性化を促進するため、地域団体やボランティアと連携して、少年の森を拠点とした散策ルートの整備を進めるとともに、地区内の農畜産物を使用した「御所見グルメ」の更なる定着及び新たな「御所見ブランド」の創出を目指す。

また、農地や樹林地、豊かな水系に恵まれた地域特性を生かし、四季折々の花に彩られた環境整備を進める。

- ・花の植栽活動（消耗品費）
- ・環境整備に関するチラシの作成（印刷製本費）
- ・散策ルートの整備、御所見グルメのPR活動等（補助金）



花の植栽活動（少年の森）



御所見グルメPR活動

総務費

事業名	遠藤まちづくり推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 05	遠藤市民センター				
指針体系コード	4-3-91	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,416				375	1,041
令和元年度	694				337	357
対前年度	722				38	684
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				375

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「“人と自然がいきづくまち” 夢のあるまち遠藤」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

- 高齢者見守りネットワーク体制推進事業 98 千円

複数の地域団体が個別に行っている高齢者のための活動を対象者にわかりやすく周知するため、情報をまとめたリーフレットを作成し、配付する。

 - ・リーフレット作成（印刷製本費）
- 自然環境推進事業 307 千円

地域と市が一体となり都市公園として整備した「いけのかしら公園」において、遠藤の農産物等をPRするとともに地域交流の場とするため、遠藤朝市の開催を支援する。

環境保全活動等の後継者を育成するため、児童生徒やその保護者等を対象に、地区の自然にふれあいながらの散策及び環境美化等の環境保全活動を行う。

また、健康の森にある竹炭祭の会場の整備を行う。

 - ・遠藤朝市の実施（補助金）
 - ・環境保全活動の実施（報償金・消耗品費）
 - ・竹林整備（燃料費・手数料）
- 遠藤魅力アップ推進事業 514 千円

2市1町広域連携による小出川彼岸花まつりをはじめ、竹炭祭、あじさいまつりの観光客等に対応するための仮設トイレ（計12基）を設置する。

また、史跡案内看板の維持補修を行う。

 - ・仮設トイレ設置、汲み取り（賃借料・手数料）
 - ・史跡案内看板の維持補修（施設修繕費）
- 地域活動の広報充実事業 417 千円

遠藤地区のPRを行うため、地区内児童生徒の視点で描く遠藤の自然や風景、農産物、お祭等をテーマとしたポスターを募集して「わがまち遠藤ポスターコンクール」を開催する。

 - ・わがまち遠藤ポスターコンクールの実施に係る物品（報償金・消耗品費）
 - ・コンクール優秀作品を使用したポスターの作成（印刷製本費）
- 道路環境整備事業 80 千円

交通安全・防犯の観点から地区内道路等について自治会ごとに点検を行い、必要に応じて注意喚起のための看板を設置する。

 - ・安全看板、設置関係物品（消耗品費）

総務費

事業名	長後地域活性化事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 06	長後市民センター				
指針体系コード	4-3-101	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,758					1,758
令和元年度	1,316					1,316
対前年度	442					442

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「さあつくろう！まちの輪・ひとの和・みどりの環」を実現するため、地域の特性を生かした事業を実施することにより、地域の活性化を図る。

- 健康づくり普及事業 150 千円
地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を専門機関と協働で実施する。
・健康づくりに関する講座の実施（報償金・消耗品費）
- 長後すくすく応援事業 136 千円
子育て世代を応援するため、地域で子育てを支援、応援している団体やボランティア等が一堂に会して行う、子育て応援事業を支援する。
・「長後子育てメッセ」の実施（補助金）
- 地産地消推進事業 160 千円
商店街の活性化及び地産地消の推進に取り組むため、地元農家や飲食店等と協力し、地場産の野菜や果実を用いた食品を販売する事業を支援する。
・「長後を食べよう！」の実施（補助金）
- 地域人材発掘・育成事業 49 千円
地域コミュニティの次世代を担う人材の発掘や育成といった課題を解決するため、地域活動・ボランティア活動に係る情報交換の場作り等に取り組む。
・人材発掘・育成に関する事業の実施（報償金・傷害保険料・損害保険料）
- ちようご見守りネットワーク事業 146 千円
住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくことができるよう、高齢者を支える「ちようご見守りネットワークシステム」の定着と推進を図る。
・「ちようご見守りネットワーク通信」の発行（印刷製本費）
- 観光・歴史資源開拓事業 622 千円
地区内の観光・歴史資源の開拓を行う。
・名所や旧跡への解説板設置、ふるさと観光マップ「長後めぐり」の発行等（施設修繕費・印刷製本費）
- 交通手段支援事業 19 千円
地区の交通不便地域解消のため、新たな交通手段の実施に向けた調査や検討を行う。
・住民ニーズの把握（消耗品費）
- 花いっぱい運動推進事業 120 千円
花があふれる地域づくり活動を行うため、花フェスタの開催、花の広場の定例作業、長後駅東口及び市民センター北側広場の花壇植栽、プランターへの植栽等を行う事業を支援する。
・花の広場の管理、プランターへの植栽等（補助金）

9. 地域活動支援事業

356 千円

防災・交通安全・防犯・生活環境衛生の知識の普及、並びに意識の高揚を図るために取り組む啓発活動の支援を行う。

- ・街頭キャンペーン等の実施（消耗品費）



健康づくり普及事業
(健康づくりに関する講座)



地域人材発掘・育成事業
(人材発掘・育成に関する事業)



観光・歴史資源開拓事業
(名所や旧跡への解説板設置)



交通手段支援事業
(市長へ提言書を提出)

総務費

事業名	辻堂地区地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 07	辻堂市民センター				
指針体系コード	4-3-111	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,293					1,293
令和元年度	942					942
対前年度	351					351

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と緑と潮風のかおる、健やかなまち”湘南辻堂”」を実現するため、各種地域まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 辻堂交流事業 562 千円

地域住民や地域団体などが、それぞれの役割を担いながら、積極的に意見を出し合い、連携・協力する仕組みを充実するための活動支援等を実施する。

- ・伝統文化継承に関する講座講師謝礼（報償金）
- ・環境美化活動に関する用具、花苗等（消耗品費）
- ・チラシ作成（消耗品費）
- ・辻堂自歩道愛称看板設置（委託料）

2. 暮らし安心・安全事業 272 千円

災害や犯罪などの脅威への対策や地域住民の健康増進等を図るための活動支援を実施する。

- ・防災に関する講演会講師謝礼（報償金）
- ・認知症に関する講演会講師謝礼（報償金）
- ・まちづくりに関する講演会講師謝礼（報償金）
- ・チラシ作成（消耗品費）

(新) 3. 広報・啓発事業 459 千円

辻堂への誇りや愛着を高めてもらうために、「辻堂プライド」という概念のもと、活動の周知及び参加を促す取組を実施する。

- ・子ども回覧板作成（消耗品費・印刷製本費）
- ・辻堂プライド啓発物品（消耗品費）



辻堂交流事業
(環境美化活動の実施)



暮らし安心・安全事業
(認知症に関する講演会)



広報・啓発事業
(子ども回覧板の作成)

総務費

事業名	善行地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 08	善行市民センター				
指針体系コード	4-3-121	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,156					1,156
令和元年度	1,211					1,211
対前年度	△ 55					△ 55

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「みんなが元気で、誰にもやさしい 坂のまち」の実現に向けた取組として、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 広報・地域活動ネットワーク構築事業 694 千円
郷土づくり推進会議の活動を地区住民に周知する。また、地域で活動する団体の情報等を発信し、住民同士のネットワークの構築を支援するとともに周知・啓発を図る。
・地区内への広報、情報発信に要する紙代等及び広報紙作成（消耗品費・印刷製本費）
・地域の活力を生かした事業に対する活動支援（補助金）
2. 交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業 209 千円
坂の多い善行で、高齢者や障がい者、子育て世代の親子など地区内を移動することに不便を感じる人に対する移動手段の運営を支援する。
・地区内への交通不便解消に向けた情報発信に要する紙代等（消耗品費）
・地域移動支援情報リーフレットの作成（印刷製本費）
3. 地域共生社会の構築事業 32 千円
藤沢型地域包括ケアシステムの推進を図るため、支え合いの地域づくりに向けて、地域におけるさまざまな福祉活動を支援するとともに、地区内への情報周知を行う。
また、こうした活動を通じて、良い取組を地区内に広げていくことを推進していく。
・地区内への地域福祉に関する情報の発信や広報に要する紙代等（消耗品費）
4. 地域活性化に向けた取組の支援・推進事業 221 千円
市民センター・公民館の改築、善行駅周辺のバリアフリー化、県立体育センターの再整備等のハード整備や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機と捉え、善行地区の活性化を図るための事業や取組を支援・推進する。
・地区内への活性化事業の周知や啓発のためのチラシなどの紙代等（消耗品費）
・地域活性化事業の周知ポスター等の作成（印刷製本費）
・朝市等の地域活性化事業の実施（補助金）



地域共生社会の構築事業
(終活セミナー)



地域活性化に向けた取組の支援・推進事業
(善行マルシェ)

総務費

事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 09	湘南大庭市民センター				
指針体系コード	4-3-131	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	453					453
令和元年度	459					459
対前年度	△ 6					△ 6

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」の実現を目指して、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

- 健康なんでも相談事業** 270 千円
 地域における健康長寿社会の実現に向けて、健康増進への意欲を高め、生き生き健康のまちづくりを推進するため、健康相談及び生活習慣病の予防や運動指導を行う。
 - ・相談会開催に伴う医師等の専門スタッフの人件費及び運営に関する経費（委託料）
 - ・健康増進講習会の講師謝礼（報償金）
- 地域のゴミゼロ運動推進事業** 160 千円
 地域内の3つの関係団体が連携しながら一緒に実施している地域の環境美化活動「ポイ捨て無くし隊」を支援し、参加者の拡充を図る。
 - ・事業活動用消耗品等（補助金）
- 健康体操普及推進事業** 23 千円
 健康体操の自主グループの育成・支援を行い、地域における健康体操の普及を図る。
 - ・自主グループへのCDラジカセ等支援物品の購入（消耗品費）



健康なんでも相談事業
(健康なんでも相談会・健康測定)



健康なんでも相談事業
(健康なんでも相談会・医療講演会)



地域のゴミゼロ運動推進事業
(ポイ捨て無くし隊)



健康体操普及推進事業
(ラジオ体操)

総務費

事業名	湘南台地域まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 10	湘南台市民センター				
指針体系コード	4-3-141	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,270				1,270	
令和元年度	1,271				1,271	
対前年度	△ 1				△ 1	
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				1,270

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「川と緑に囲まれ、豊かな文化を育て、みんなで創るまち湘南台」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

- ようこそ先輩 i n 湘南台事業** 19 千円
 地域と湘南台中学校及びPTAが連携し、中学1年生の職業観や勤労観を育てる目的で、先輩講師との交流事業「ようこそ先輩 i n 湘南台」を開催する。
 ・ようこそ先輩 i n 湘南台開催経費（報償金・消耗品費）
- 緑の回遊路事業** 93 千円
 良好な自然環境や文化施設等、地域資産を有効に活用し、多くの人が身近に自然とふれあい、憩いと安らぎを体感できる事業を開催する。
 ・ウォークイベント開催経費（消耗品費・印刷製本費）
- 子育てネットワーク事業** 238 千円
 地域の子育て環境の向上を図るため、保育園、幼稚園、子育て支援センター、各種子育てサークル等が連携して「湘南台子育て応援メッセ」を開催し、子育てに関する情報の提供や相談などの支援を行う。
 ・湘南台子育て応援メッセ開催補助（補助金）
- 地域サポーター育成事業** 220 千円
 地域活動を支える人材不足の解消を図るため、社会貢献や地域貢献に意欲のある方を対象に、さまざまな地域活動やイベントに参加協力する地域サポーターを養成する講座「はじめよう！地域ボランティア塾」を開催する。
 ・地域サポーター養成講座開催業務委託（委託料）
- 文化創造事業** 700 千円
 湘南台地区の地域性や特性を生かした文化創造の取組の一つとして、湘南台駅地下イベント広場の有効活用を図りながら、展示ギャラリーや活性化イベントなどの多目的イベントを開催する。
 ・駅地下イベント広場活用運営等業務委託（委託料）



ようこそ先輩 i n 湘南台事業



文化創造事業

〔 ビック錠とその仲間たち・PART 3 〕
『湘南台グルマン祭』

総務費

事業名	鵜沼地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 11	鵜沼市民センター				
指針体系コード	4-3-151	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,133					2,133
令和元年度	1,415					1,415
対前年度	718					718

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「緑と海と人が輝くまち 湘南ふじさわ鵜沼」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域力を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 鵜沼元気塾・鵜沼元気ひろば事業 764 千円

学習・遊び・運動等を取り入れた地域のボランティアとの温かいふれあいを通じて豊かな感性を育むため、児童の放課後の居場所づくりを行う。

対象は、地域の小学3～6年生で、それぞれ週1回実施する。

 - ・スタッフ謝礼、施設入場料、野外活動時の昼食、教材、チラシ等作成、交通費（報償金・食糧費・消耗品費・印刷製本費・使用料）
2. 鵜（くぐい）まつり事業 430 千円

地域活性化や地産地消を進めるため、鵜沼運動公園芝生広場において、地域団体や地元サークル、物販・飲食店等が参加する地域住民主体のまつりの開催を支援する。

 - ・チラシ、ポスター作成、会場運営費（印刷製本費・補助金）
3. 認知症等対策事業 261 千円

誰もが安心して住み続けることができる地域づくりを目指し、認知症等への理解を深めるための講演会や啓発等を行う。

 - ・講演会等講師謝礼、啓発物品、チラシ作成（報償金・消耗品費・印刷製本費）
4. 歴史・文化継承事業 678 千円

鵜沼に特化した歴史文化の資料に係る収集・調査並びに展示を行うことにより、地域住民の郷土理解を深めるとともに、コミュニケーションの場として、鵜沼郷土資料展示室の企画運営を行う。また、既存資料等の整理及びデータ化を行い、次世代への継承を図る。

 - ・鵜沼郷土資料展示室の運営（委託料）
 - ・鵜沼郷土資料展示室の資料整理（報償金・消耗品費）



鵜沼元気塾・鵜沼元気ひろば事業
（さつま芋の苗植え）



鵜まつり事業

総務費

事業名	藤沢地区まちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 12	藤沢公民館				
指針体系コード	4-3-161	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,587					2,587
令和元年度	1,390					1,390
対前年度	1,197					1,197

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「歴史と文化が息づく、湘南藤沢の都心部拠点」を実現するため、各種事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. 藤沢宿活性化事業

2,587 千円

藤沢宿の歴史的資源を活用した地域イベントを実施する活動を支援する。また、歴史的まちなみを落書き等から防止するために実施したトランスボックスラッピングの再施工及び、「藤沢宿まっぷ」の増刷を行う。これらの事業により、藤沢宿の積極的なPRを行い、地域の活性化を図る。

- ・地域イベント等を実施する団体への助成（補助金）
- ・トランスボックスラッピングの再施工（使用料）
- ・「藤沢宿まっぷ」の増刷（印刷製本費）



藤沢宿活性化事業（トランスボックスラッピング）

総務費

事業名	村岡いきいきまちづくり事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 2 細目 02 説明 13	村岡公民館				
指針体系コード	4-3-171	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,278					2,278
令和元年度	2,657					2,657
対前年度	△ 379					△ 379

【事業概要】

地域まちづくりのテーマ「ふれ愛 ささえ愛 絆ではぐくむ “輝ら里” むらおか」を実現するため、まちづくり事業を実施し、地域の特性を生かしたまちづくりの推進を図る。

1. マナーアップ啓発事業 477 千円
自転車の乗り方、ごみやたばこのポイ捨て、ペットの飼い方等のマナー向上を目指し、ポイ捨て等禁止看板の作製及びスタントマンを活用した自転車交通安全教室を実施する。
・啓発看板の作製等、スタントマン謝礼（消耗品費・報償金）
2. 村岡あいさつ運動事業 358 千円
あいさつ運動の充実を図るため、キャンペーン活動及びポスター・標語コンクールを実施する。
・啓発物品の作製等、コンクール記念品及び審査員謝礼（消耗品費・報償金）
3. 地域防災力強化事業 146 千円
地域防災力の強化を図るため、地区内の公共施設等に防災啓発看板を設置するとともに防災関連講座を開催する。また、災害時に自治会・町内会等と地区防災拠点本部との通信手段となる通信機器の利用を確保する。
・啓発看板の作製等、防災関連講座物品及び電波利用料（消耗品費・負担金）
4. 村岡美化活動事業 150 千円
美しく住みよい地域環境を築くため、環境に対する意識の向上を図る事業及び村岡地区独自の一斉清掃を実施する。
・講習会指導謝礼、ごみ袋の購入（報償金・消耗品費）
5. 歴史継承事業（史跡案内板設置事業から改称） 395 千円
地域の歴史的資産を継承していくため、今昔探訪ウォーキング等の事業を実施するとともに、歴史ガイドマップを増刷・配布する。
・ウォーキング事業用物品、歴史ガイドマップの増刷（消耗品費・印刷製本費）
6. 地域情報発信事業（高齢者等見守り事業から改称） 400 千円
地区内の住民等に対し、生活に役立つ地区内情報を提供するため、村岡地区便利帳を増刷・配布する。
・村岡地区便利帳の増刷（印刷製本費）
7. 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業 352 千円
まちの防犯力を高めるため、「村岡わんわんパトロール」事業を実施する。
・パトロール携行グッズ、キャンペーン物品（消耗品費）



マナーアップ啓発事業
(スタントマンによる自転車交通安全教室)



村岡あいさつ運動事業
(ポスター・標語コンクール)



地域防災力強化事業
(災害ボランティアコーディネーター養成講座)



村岡美化活動事業
(寄せ植え講習会)



歴史継承事業
(今昔探訪ウォーキング)



地域情報発信事業
(村岡地区便利帳)



犯罪のない安全安心まちづくり対策事業
(村岡わんわんパトロール)

総務費

事業名	善行市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 04 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード	5-1-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	85,266			61,800	23,466	0
令和元年度	1,166,908			838,900	279,827	48,181
対前年度	△ 1,081,642			△ 777,100	△ 256,361	△ 48,181
特定財源の内訳	(地方債)	善行市民センター改築事業債				61,800
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				23,466

【事業概要】

善行市民センター・公民館は、昭和54年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点からも建て替えを行う。

平成30年度から3カ年度で進めている改築工事（第1期工事）の3年目として、旧市民センターの解体工事を行う。また、第2期工事に向けて埋蔵文化財試掘調査を行う。

1. 事業費

- | | |
|------------------------------|-----------|
| (1) 改築工事（平成30年度～令和2年度の継続費） | 81,000 千円 |
| 旧市民センターの解体 | |
| (2) 工事監理委託（平成30年度～令和2年度の継続費） | 1,516 千円 |
| (3) 埋蔵文化財試掘調査委託 | 2,750 千円 |

＜継続費年割額＞

（単位：千円）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
工事請負費	189,371	1,099,966	81,000	1,370,337
工事監理委託費	3,030	18,761	1,516	23,307

＜スケジュール概略＞

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
改築工事（第1期） （市民センター棟・地域利用倉庫建設、西側駐車場整備、旧市民センター解体） 市民センター棟供用開始★		改築工事（第2期） （健康プラザ棟建設） 健康プラザ棟供用開始★	
		埋蔵文化財試掘調査	



解体予定の旧善行市民センター（手前）



善行市民センター（南側）

総務費

事業名	辻堂市民センター改築事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 3 細目 05 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード	5-1-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,773,479			1,322,500	450,979	
令和元年度	262,739			197,000	65,739	
対前年度	1,510,740			1,125,500	385,240	
特定財源の内訳	(地方債)	辻堂市民センター改築事業債				1,018,400
	(地方債)	消防施設整備事業債				304,100
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				450,979

【事業概要】

辻堂市民センター・公民館は、昭和53年に旧耐震基準で建設された施設で、老朽化が進み安全性の確保の観点から、南消防署辻堂出張所は、より迅速な出動態勢の確立などの観点から、ともに移転し、合築により建て替えを行う。

平成30年度に完了した改築設計に基づき、令和元年度から3カ年度で進める改築工事の2年目として、市民センター・公民館及び消防出張所の建設工事を行う。

1. 事業費

(1) 改築工事（令和元年度～令和3年度の継続費）	1,733,272 千円
(2) 工事監理委託（令和元年度～令和3年度の継続費）	30,207 千円
(3) 電柱移設負担金	10,000 千円

2. 施設概要

- (1) 構造等 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 3階建て
- (2) 延床面積 市民センター・公民館 4,059.74㎡
消防出張所 1,091.22㎡
- (3) 付帯施設 テニスコート2面、駐車場（公用車含む21台分）、
駐輪場（消防出張所用含む62台分）、バイク・スクーター置場（8台分）

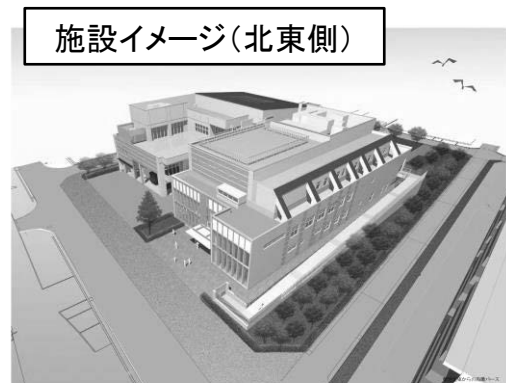
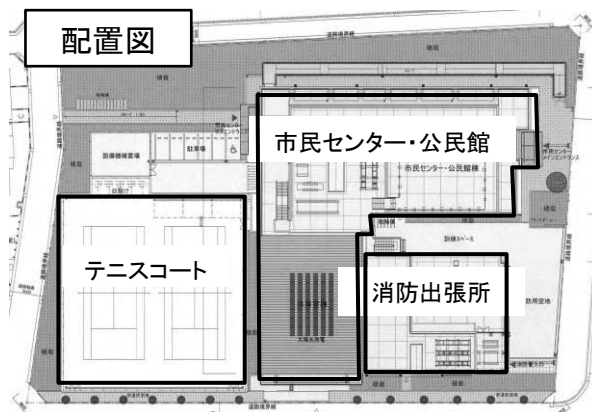
＜継続費年割額＞

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
工事請負費	16,714	1,733,272	1,123,324	2,873,310
工事監理委託費	301	30,207	19,586	50,094

＜スケジュール概略＞

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
基本構想	基本・実施・解体設計			建設工事・テニスコート整備		
		既存建物解体工事				★ 供用開始



総務費

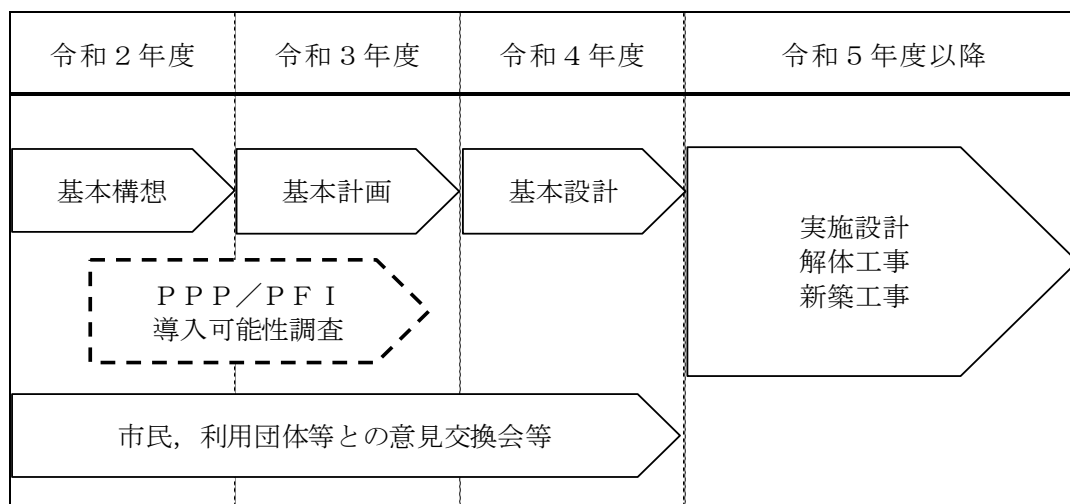
事 業 名		市民会館整備費				
予算科目	款 2 項 1 目 1 4 細目 02 説明 01		文化芸術課			
指針体系コード	5－1－171	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	21,462				20,350	1,112
令和元年度	5,242				0	5,242
対前年度	16,220				20,350	△ 4,130
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				20,350

【事業概要】

老朽化した市民会館の建て替えに向け、基本構想の策定を行う。

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 市民会館等基本構想策定検討委員会報酬 | 1,112 千円 |
| 2. 市民会館等基本構想策定業務委託料 | 20,350 千円 |

市民会館等再整備 事業スケジュール（案）



総務費

事業名	市民まつり開催費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 02 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	30,000					30,000
令和元年度	30,000					30,000
対前年度	0					0

【事業概要】

市民のふれあいと、個性豊かなふるさとづくりを推進するため、藤沢市民まつりの開催に要する事業費の一部を負担する。

- 第47回藤沢市民まつり開催費負担金 30,000千円
 - 主催 藤沢市民まつり実行委員会
 - 会場 藤沢駅周辺、秋葉台公園、遊行寺周辺、湘南台駅周辺ほか

<令和元年度の様子>



藤沢駅南北大パレード



マーチングフェスタ（秋葉台文化体育館）



遊行寺プロレス



湘南台ファンタジア

総務費

事業名	男女共同参画推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 04 説明 01	人権男女共同平和課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,782				90	7,692
令和元年度	4,183				90	4,093
対前年度	3,599				0	3,599
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				90

【事業概要】

「ふじさわ男女共同参画プラン2020（改訂版）」において、「男女で共に創ろう豊かなまち『ふじさわ』」を将来像として位置づけ、女性にとっても男性にとっても暮らしやすく共に責任を担う男女共同参画社会の実現に向けて事業の推進を図る。

1. 啓発事業の推進 2,648 千円
男女共同参画社会の理解を深めるため、市民を対象にした講演会の開催や、職員を対象にした研修を実施する。また、「ふじさわ男女共同参画ネットワーク協力員」の地域活動への支援及びDV防止対策に向けた広域連携の推進を行うとともに、男女共同参画に関する情報紙の発行や、DV相談窓口の案内カード等を作成し啓発活動に取り組む。
2. 「ふじさわ男女共同参画プラン推進協議会」の運営 954 千円
男女共同参画の総合的推進にあたり必要な助言を得るため「ふじさわ男女共同参画プラン推進協議会」を運営する。
3. 次期ふじさわ男女共同参画プランの策定 4,180 千円
「ふじさわ男女共同参画プラン2020（改定版）」の期間が令和2年度までとなっているため、情勢の変化等を踏まえ、令和3年度から10年間の期間とする次期プランの策定を行う。



ふじさわ男女共同参画プラン
2020（改定版）



男女共同参画啓発講演会
「共に生きるフォーラムふじさわ」

総務費

事業名	多文化共生推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 05 説明 01	人権男女共同平和課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,182					1,182
令和元年度	1,188					1,188
対前年度	△ 6					△ 6

【事業概要】

外国人市民と共に生きるまちづくりのため、市民、団体、関係機関との連携を図り、外国人市民への生活支援を行うとともに、互いの言葉や文化を理解し交流する場を提供し、多文化共生を推進する。

1. 藤沢市外国人市民会議の運営 420 千円
外国人市民が主体的かつ自立的に地域社会へ参加できる、暮らしやすいまちづくりを進めるため、外国人市民から成る「藤沢市外国人市民会議」を運営する。
2. 多文化共生セミナーの開催 230 千円
外国人市民の円滑な生活を支援するため、外国人市民に日本語を教えるボランティアについての講座を開催するとともに、市職員への多文化共生の意識を啓発するため、研修等を行う。
3. MINTOMO交流会の開催 100 千円
世界の異なる文化や習慣を知り、地域における国際交流を深めるため、湘南台地区において、歌や踊り、工作等を行う交流会を開催する。
4. 生活ガイド等の多言語による情報提供 273 千円
生活する上で必要な行政情報を外国人市民に的確に伝えるため、生活ガイドや休日夜間医療情報等を翻訳し、多言語で情報を提供する。
5. かながわ医療通訳派遣システム自治体推進協議会負担金 66 千円
日本語を母語としない外国人市民が安心して医療を受けられるよう、神奈川県及び県内の市町を中心に構成される協議会に参加し、連携を図る。
6. 多文化共生推進事業事務経費 93 千円
・旅費、消耗品費等



藤沢市外国人市民会議



MINTOMO交流会

総務費

事業名	平和都市宣言推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 06 説明 01	人権男女共同平和課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	14,461				14,461	
令和元年度	14,245				14,245	
対前年度	216				216	
特定財源の内訳	(その他)	平和基金繰入金				13,726
	(その他)	平和学習広島・長崎派遣参加者負担金				735

【事業概要】

日本非核宣言自治体協議会、平和首長会議と連携し、情報交換を行うとともに、核兵器廃絶と恒久平和の実現のため、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」並びに「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」の趣旨に基づき、公募による市民で構成する「平和の輪をひろげる実行委員会」と協働して、広く市民を対象にさまざまな平和事業を推進する。

1. 「平和の輪をひろげる実行委員会」と協働で行う平和事業 3,019 千円
 公募による市民で構成する「平和の輪をひろげる実行委員会」と協働してさまざまな平和推進事業を展開し、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けた平和事業に取り組む。
2. 平和学習事業（実行委員会委託以外の事業） 6,870 千円
 21世紀を担う子どもたちに、原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えることを目的に小学生とその保護者6組を広島市へ、小中高生40人を長崎市へ派遣する。被爆跡見学や平和式典への参列を通して、平和意識の高揚と相互理解の促進を図る。
3. 日本非核宣言自治体協議会等への参加 3,486 千円
 日本非核宣言自治体協議会及び平和首長会議を通じて、他自治体との連携を強化し核兵器廃絶に向けた活動を推進する。
 また、「核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議」（米国・ニューヨーク）が開催されることに伴い、日本非核宣言自治体協議会代表団として、核兵器廃絶アピール活動に参加する。
 - ・核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議代表団への参加旅費 2,478 千円
 - ・役員会、総会等への出席旅費 924 千円
 - ・協議会等負担金 84 千円
4. 事務経費 1,086 千円
 - ・旅費、消耗品費、研修会等参加負担金等



平和学習事業報告会

総務費

事業名	市民活動支援施設運営管理費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 02	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	60,195				66	60,129
令和元年度	59,682				66	59,616
対前年度	513				0	513
特定財源の内訳	(その他)	光熱水費実費収入				60
	(その他)	その他雑入				6

【事業概要】

市民活動の自立を推進し、市民活動が活発に行われることを目的として、公益的な市民活動を行い、または行おうとする市民活動団体及び個人を対象に、市民活動の場の提供、情報提供、相談、人材育成等を行う。

- 市民活動推進センター（本館）運営管理 45,163 千円
 - ・賃借料 21,376 千円
 - ・指定管理者による管理運営（指定管理料） 21,267 千円
 - ・その他管理運営費（光熱水費、電信電話料等） 2,520 千円
- 市民活動プラザむつあい（分館）運営管理 15,032 千円
 - ・指定管理者による管理運営（指定管理料） 14,903 千円
 - ・その他管理運営費（電信電話料等） 129 千円



市民活動推進センター



市民活動プラザむつあい
市民活動団体の交流機会の開催「プラザdeカフェ」

事業名	(新) ミライカナエル活動サポート事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 08 説明 05	市民自治推進課				
指針体系コード	4-3-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	4,505					4,505
令和元年度	0					0
対前年度	4,505					4,505

【施策等を必要とする背景】

今後の人口構造の変化や住民ニーズの多様化等に起因するこれからの地域課題に対し、主体的に取り組む人材及び団体の育成が求められている。本事業は、従来の公益的市民活動助成事業及びまちづくりパートナーシップ事業提案制度を見直し、市民活動の継続性や発展性に重きを置き、団体の成長過程に応じた側面的な支援を実施するものである。

【提案に至るまでの経緯】

公益的市民活動助成事業及びまちづくりパートナーシップ事業の両制度が平成26年度に制度を変更してから5年が経過したことや市民活動推進計画の見直し時期となったため、市民活動推進委員会において審議を行った。

平成31年4月～10月 市民活動推進委員会において本事業の制度について審議（6回）

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

学識経験者や市民活動関係者、事業関係者、市民公募等から構成される市民活動推進委員会で審議が行われた。

【市の策定する計画や条例との整合性】

【市民活動推進計画】

・市民活動推進計画（平成31年4月改定）において、活動資金や運営支援の充実を基本施策に位置づけ、地域課題解決型の市民活動団体の育成施策を実施する。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業は、市民活動の立ち上げ期から発展期まで段階的支援を行うことで、団体の成長を促し、市民活動団体の育成や自立が図られる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込額は次のとおり

令和2年度	4,505千円
令和3年度	8,705千円
令和4年度以降	10,705千円

【事業概要】

今後の人口構造の変化や住民ニーズの多様化を起因とする地域課題へ対応するため、叶えたい未来を想定し、その目的に向かって企画提案する市民活動団体に対し、立ち上げ期から発展期に至るまで、段階的に支援するミライカナエル活動サポート事業を行う。

(拡) 1. 市民活動団体の成長支援及び多様な主体との協働の推進 4,000 千円

市民活動団体の目標や成長度によって、市民活動への「きっかけづくり」から、現在及び将来課題を解決する「NPO等の成長支援」、「多様な主体の協働」まで段階に応じた3つのコースを設けるとともに、事業の提案期から実施期まで活動のサポートを行う。

・対象コース

コース名	支援内容	補助金（上限）	団体数
① スタート支援コース	市民活動の立ち上げ	一般 200千円	4 団体
		ユース100千円	2 団体
② ステップアップ支援コース	運営基盤強化や事業発展	500千円	3 団体
③ 協働コース	行政との協働	1,500千円	2 団体
	行政以外との協働	1,000千円	1 団体

・事業実施へのサポート

コース	事業名	内容
①、②	伴走支援業務	事業の実効性や団体の継続性を高めるため、活動ビジョンの共有から事業の実施までを伴走する。
③	コーディネート業務	地域で活動する市民活動団体の意向や特性を踏まえ、協働先となる民間法人・行政とのマッチングや事業提案の調整を行う。

・積算内訳

内容	予算額	
① スタート支援コース	1,000千円	
② ステップアップ支援コース	1,500千円	
③ 協働コース（行政との協働）	0円	※
③ 協働コース（行政以外との協働）	0円	※
①、②伴走支援業務委託	1,000千円	
③ コーディネート業務委託	500千円	

※③協働コースの事業開始は令和3年度。令和2年度は審査選考を行う。

(新) 2. 団体の成長や協働を促進する講座及び講演会の開催 100 千円

事業の更なる発展を望む団体を対象に、協働の実践理解を深める講座や資金調達に関する講演会を開催する。

(新) 3. 新たな市民活動への参画を促進するワークショップの開催 405 千円

地域における現状や課題について共有し、実践に向けた洗い出しを行うワークショップを企画及び開催する。

(前年度の公益的市民活動助成事業費と市民協働推進関係費を見直し、統合した事業)

総務費

事業名		地域コミュニティ拠点施設整備支援事業費				
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 09 説明 01		市民自治推進課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	6,877					6,877
令和元年度	2,284					2,284
対前年度	4,593					4,593

【事業概要】

地域住民の福祉と自治意識の向上に寄与するため、自治会等が行う集会所の改築及び修繕等にかかる費用に対する補助を行う。

1. 施設整備に対する補助 6,877 千円
- ・補助制度の概要
 - (1) 新築・増改築・修繕・用地取得費の1／2以内
 - (2) 登記の申請をしたときに要した登録免許税相当額
 - ※限度額 1団体につき 12,000 千円

(内訳)

種別	件数	補助額	団体名
修繕	3件	6,877千円	コーポ城山自治会・上高倉滝の上自治会・第一駒寄自治会



令和元年度に修繕を行った遊行通二丁目自治会館（藤沢東部地区）



令和元年度に修繕を行った丸山自治会館（湘南大庭地区）

総務費

事業名	市民憲章推進費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 10 説明 01	市民自治推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	860					860
令和元年度	612					612
対前年度	248					248

【事業概要】

市民生活の規範となる市民憲章のさらなる普及啓発を目指し、啓発用冊子の配布等を実施するとともに、さまざまなイベントと連携し市民憲章啓発キャンペーンを実施する。

1. 啓発用冊子の配布 190 千円
市民憲章の理念を伝える冊子を配布する。
2. 啓発キャンペーンの実施 670 千円
市民憲章の制定月である7月を「市民憲章推進月間」と定め、さまざまなイベントと連携し、啓発キャンペーンを実施する。



＜市民憲章啓発キャンペーン＞
本庁舎に懸垂幕を掲出



＜市民憲章啓発キャンペーン＞
藤沢駅南口に横断幕を掲出

総務費

事業名	人権施策推進事業費					
予算科目	款 2 項 1 目 1 8 細目 11 説明 01	人権男女共同平和課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	5,828		600			5,228
令和元年度	6,532		600			5,932
対前年度	△ 704		0			△ 704
特定財源の内訳	(県支出金)	人権啓発活動委託金				600

【事業概要】

藤沢市人権施策推進指針の基本理念である「人権を大切にし、『人権文化』を育むまちづくり」を推進し、一人ひとりの市民が尊重され、あらゆる人が共に生きる社会の実現をめざして、各種啓発事業を実施するとともに、ふじさわ人権協議会及び藤沢市いじめ問題再調査委員会を運営するなど、人権施策の推進を図る。

- 講演会及び研修会等の啓発事業の実施並びに人権啓発事業への参加 4,269 千円
多岐にわたる人権課題に関する知識・理解を深めるため、さまざまな機関と連携し講演会等の啓発事業を実施するとともに、各種研修会等への参加を通じ、職員の人権意識の啓発を図る。また、子どものいじめ防止施策の推進を図るため、子どもをいじめから守る啓発講演会を開催する。
さらに、人権啓発リーフレット及び藤沢市子どもをいじめから守る条例を周知するためのリーフレットを作成し、公共施設、人権相談機関及び学校等を通じて配布し、市民に向けて人権意識の普及・啓発を図る。
- 「ふじさわ人権協議会」の運営 393 千円
人権施策の推進について協議・検討するため、市民及び学識経験者で組織する「ふじさわ人権協議会」を開催する。
- 人権擁護委員との連携及び活動支援 641 千円
法務大臣から委嘱された人権擁護委員と連携を図り、人権相談の機会を提供するとともに、中学生人権作文コンテスト、人権教室出前授業等の啓発活動を実施する。
 - ・藤沢市人権擁護委員会運営事業交付金 433 千円
 - ・人権の花運動事業費（市内8小学校で実施予定） 208 千円
- 「藤沢市いじめ問題再調査委員会」の運営 525 千円
子どものいじめ防止施策の推進を図るため、市立の小・中・特別支援学校において、重大事態が発生した場合の再調査に備え設置した「藤沢市いじめ問題再調査委員会」を運営する。



人権啓発リーフレット



藤沢市子どもをいじめから守る啓発講演会

総務費

＜新規事業＞

事業名		(新) 国勢調査費				
予算科目		款 2 項 5 目 2 細目 01 説明 05			文書統計課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	260,922		260,922			
令和元年度	0		0			
対前年度	260,922		260,922			
特定財源の内訳	(県支出金)	統計調査事務委託金				260,922
【事業概要】 国内に居住する全ての人・世帯を対象に、人口や世帯の実態を明らかにして、各種施策の基礎資料を得るため、令和2年10月1日を基準日として、全国一斉に実施する国勢調査に係る事務を行う。 1. 国勢調査指導員・調査員報酬 212,136 千円 指導員・・・・・・ 約400人 調査員・・・・・・ 約3,600人 2. 調査票等郵送経費 10,967 千円 調査関係書類郵送料 3. 調査関係業務委託料 17,860 千円 ・ 調査票仕分作業及び調査用品配送等業務委託 ・ 調査員業務委託 ほか 4. 国勢調査広報経費 896 千円 ・ 調査員募集チラシ梱包配布手数料 ほか 5. 国勢調査事務経費 19,063 千円 ・ 調査用品用物品棚等賃借料 ほか						

総務費

総務課

事業名		航空機騒音対策推進事業費				
予算科目		款 2 項 7 目 1 細目 04 説明 01			危機管理課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	267	150			117	
令和元年度	297	150			147	
対前年度	△ 30	0			△ 30	
特定財源の内訳	(国庫支出金)	施設区域取得等事務地方公共団体委託金				150
	(その他)	平和基金繰入金				117

【事業概要】

県及び関係市と連携を図り、航空機騒音問題の解消に向けた要請行動を継続的に行うほか、本市独自の要請行動も行うことにより、問題の早期解消に努める。

1. 騒音問題に対する取組

267 千円

厚木基地騒音対策協議会や神奈川県基地関係県市連絡協議会等を通じ、騒音問題の解消に向けた要請行動を実施する。

また、住宅防音工事の迅速な実施等、騒音対策事業の充実にに向けた要請行動を実施する。

総務費

事 業 名		急傾斜地防災事業費				
予算科目	款 2 項 7 目 1 細目 05 説明 01			防災政策課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	11,515					11,515
令和元年度	24,015					24,015
対前年度	△ 12,500					△ 12,500

【事業概要】

急傾斜地崩壊危険区域内に存する宅地の安全性を確保するため、「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」（昭和44年7月1日公布）の規定により、県と締結した「急傾斜地崩壊対策工事の施行に伴う費用負担等に関する協定書」に基づき、県が行う事業の一部費用を負担する。

1. 急傾斜地崩壊危険区域内の急傾斜地崩壊対策事業費 11,500 千円
 - ・ 施行場所 片瀬山1丁目地内（2カ所）
 - ・ 施行内容 急傾斜地崩壊防止工事（延長：L＝15m）及び測量
 - ・ 市負担事業費 県事業費 57,500千円×2/10＝11,500千円
2. 神奈川県治水砂防協会年会費 15 千円

総務費

事 業 名		防災施設等維持管理費				
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 02		防災政策課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	95,010				30	94,980
令和元年度	87,043				90	86,953
対前年度	7,967				△ 60	8,027
特定財源の内訳	(その他)	広告料収入				30

【事業概要】

災害時に迅速な応急対策を行うため、防災備蓄場所や防災備蓄資機材等の維持管理などを実施する。

1. 防災備蓄場所、防災備蓄資機材等の維持管理 1,209 千円
 - ・防災備蓄資機材修繕費、防災広場電気料等 806 千円
 - ・災害対策用浄水器等点検、修繕費 403 千円
2. 防災行政無線、MCA無線、防災ラジオシステム等の維持管理 89,976 千円
 - ・防災行政無線修繕費、電気料、保険料、保守点検等委託料、回線使用料等 43,850 千円
 - ・MCA無線バッテリー交換修繕費、回線使用料、賃借料等 16,457 千円
 - ・防災情報ステーション保守点検等業務委託料、回線使用料等 9,407 千円
 - ・ふじさわメールマガジン配信サービス保守点検業務委託料 2,456 千円
 - ・防災インフォメーション維持管理業務委託料等 1,915 千円
 - ・危機管理システム維持管理業務委託料 700 千円
 - ・地震観測収集システム賃借料等 13,876 千円
 - ・被災者支援システムサーバ賃借料 671 千円
 - ・災害対策本部室映像音響設備定期点検業務委託料 440 千円
 - ・神奈川県防災行政通信網回線使用料等負担金 204 千円
3. 耐震性飲料用貯水槽の維持管理 3,825 千円
 - 清掃点検委託料、緊急遮断弁点検委託料等

(この事業は令和元年度9月補正で増額した事業)

総務費

事業名	地域防災支援事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 04			危機管理課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,263	812	406			1,045
令和元年度	10,025	3,644	1,822			4,559
対前年度	△ 7,762	△ 2,832	△ 1,416			△ 3,514
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				812
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				406

【事業概要】

地域における災害時の避難支援体制を構築することを目的として、地震等の災害時に避難支援を必要とする高齢者や障がい児者等の情報を基に避難行動要支援者名簿を作成し、自主防災組織をはじめとした避難支援等関係者に提供するなどの支援を行う。

1. 避難行動要支援者支援事業

2,263 千円

(1) 避難行動要支援者名簿の更新・提供

新規対象者に対して、名簿掲載等に関する希望確認を実施し、自主防災組織等に更新後の避難行動要支援者名簿の提供を行う。

(2) 説明会等の実施

地域における要支援者の避難支援体制づくりを推進するため、自主防災組織等に制度内容について説明を行うとともに、制度改善に向けて、避難支援等関係者から意見等を伺う。

(3) 「藤沢市避難行動要支援者避難支援プラン全体計画」等の一部見直し・配布

避難支援等関係者や対象者からの意見等を踏まえ、内容の一部見直しを行い、避難支援等関係者を中心に配布する。また、地域における避難支援体制づくりについてまとめた手順書や訪問用チラシについても配布を行い、地域における避難支援体制づくりを推進する。

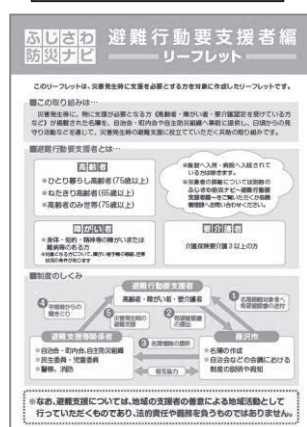
(4) 「ふじさわ防災ナビ～避難行動要支援者編～」の改訂・配布

パンフレット及びリーフレットを改訂し、障がい者手帳交付対象者やひとり暮らし高齢者を中心に配布することで、災害への備え等について周知・啓発を行う。

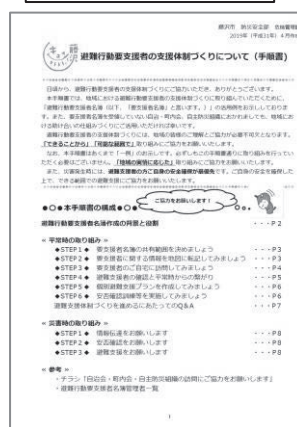
防災ナビ(パンフレット)



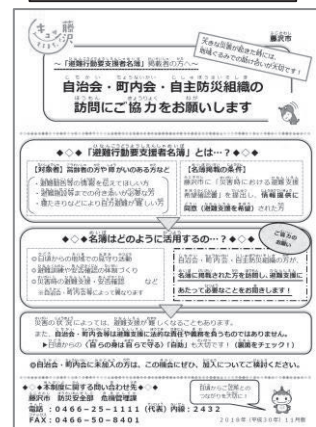
防災ナビ(リーフレット)



手順書



訪問用チラシ



総務費

事 業 名		防災設備等整備事業費				
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 05				防災政策課	
指針体系コード	1-1-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	232,672	15,964	17,341	0	7,474	191,893
令和元年度	268,342	35,623	21,716	72,300	6,524	132,179
対前年度	△ 35,670	△ 19,659	△ 4,375	△ 72,300	950	59,714
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				15,964
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				17,341
	(その他)	防災ラジオ売払収入				2,000
	(その他)	災害対応型自動販売機設置協力金				4,574
	(その他)	広告料収入				900

【事業概要】

災害に対する備えとして、防災備蓄資機材、防災ラジオ、津波避難施設、ふじさわ防災ナビ等の整備や充実・強化を推進する。

1. 防災備蓄資機材等の整備・充実 127,039 千円
 - ・おかゆ、長期保存食（ビスケット）、粉ミルク、簡易トイレ処理袋、毛布等の購入費 125,158 千円
 - ・防災拠点管理業務委託料 1,881 千円
2. 防災ラジオの市民頒布 8,140 千円

災害時等に緊急割込放送を自動受信できる防災ラジオ1,000台の購入及び頒布
3. 津波避難対策の充実・強化 27,276 千円
 - ・津波避難ビル設置用簡易トイレ処理袋等の購入費 3,260 千円
 - ・津波避難施設整備事業費補助金 5,000 千円
 - ・下藤が谷ポンプ場の敷地を活用した津波避難施設実施設計業務委託料 11,495 千円
 - ・津波ハザードマップ作成業務委託料等 7,521 千円
4. ふじさわ防災ナビの普及・充実 32,725 千円

市民配布用の冊子「みんなの防災・オーダーメイドの災害対応編」の改定
5. 防災対策の充実・強化 37,492 千円
 - ・危険ブロック塀等安全対策工事費補助金 5,100 千円
 - (新) ・洪水・土砂災害・高潮ハザードマップ作成業務委託料等 32,392 千円

総務費

事業名	危機管理対策事業費					
予算科目	款 2 項 7 目 2 細目 01 説明 07	危機管理課				
指針体系コード	1-1-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	4,978	1,275	974			2,729
令和元年度	7,674	0	1,558			6,116
対前年度	△ 2,696	1,275	△ 584			△ 3,387
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				1,275
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				974

【事業概要】

本市に想定されている災害に対し被害を最小限に留め、安全で安心なまちづくりを推進するため、指定緊急避難場所等への表示看板の設置や海拔表示公共小型看板の更新等の各種対策を実施する。また、想定されている津波及び洪水災害に備え、土地の海拔等をわかりやすく表示し、住民の避難指針の一つとするため、新たに市内郵便ポスト等に海拔等を表示したラベルを貼り付ける。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催地として、関係機関との更なる連携強化を進め、万全の危機管理体制の構築を図る。

1. 指定緊急避難場所等表示看板の設置

3,644 千円

災害時の迅速かつ円滑な避難対策の推進にあたり、市内の公共施設等を災害種別ごとの指定緊急避難場所及び指定避難所に順次指定することに伴い、指定緊急避難場所等について、災害発生時のみならず、日常的に周知・啓発を行うため、指定する施設の入口等に避難場所等であることを示す蓄光型の表示看板の設置を行う。

・令和2年度設置予定数 36カ所

2. 海拔表示公共小型看板の更新

1,034 千円

津波避難対策の一環として、平成23年度に東京電力パワーグリッド(株)所有の電柱に設置した、海拔及び津波注意喚起を表示した公共小型看板(市内1,000カ所)について、経年劣化に伴い、平成29年度から計画的に更新を行っており、令和2年度も順次更新を行う。

・令和2年度更新予定数 200カ所

(新) 3. 海拔・洪水浸水深等表示ラベルの貼付け

300 千円

令和元年7月に日本郵便株式会社藤沢市内郵便局と締結した包括連携協定に基づき、JR東海道線以南の区域及び引地川、境川等の洪水浸水想定区域に所在する郵便ポストに海拔や洪水浸水深等を表示したラベルを貼り付ける。加えて、同区域に所在する水害避難所、避難施設にも同様のラベルを貼り付ける。

・令和2年度貼付け予定数 200カ所



指定緊急避難場所等表示看板(イメージ)



海拔表示ラベル
(イメージ)



洪水浸水深表示ラベル
(イメージ)

環境保全費

事業名	地球温暖化対策関係事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 01	環境総務課				
指針体系コード	5-3-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	33,052				31,450	1,602
令和元年度	36,754				30,450	6,304
対前年度	△ 3,702				1,000	△ 4,702
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				31,450

【事業概要】

市民、事業者及び行政が一体となって、地球温暖化に対応するため、住宅用等太陽光発電システム設置者、家庭用燃料電池システム（エネファーム）設置者、電気自動車導入者等への補助などの各種施策を実施する。

- 環境に優しいエネルギーシステム普及促進 23,800 千円
再生可能エネルギー及び新エネルギーへの転換を促進するため、太陽光発電システム又はエネファームの設置者に費用の一部を補助し、両システムを同時に設置する場合は補助額を増額する。
・住宅用太陽光発電 1kW当たり15千円で上限額50千円 7,500 千円
・エネファーム 1件当たり50千円 12,500 千円
・両システム同時設置 1件当たり50千円 3,500 千円
・共同住宅、自治会館及び町内会館用太陽光発電 300 千円
1kW当たり100千円で上限額300千円
- 雨水貯留槽普及促進 450 千円
水資源の循環利用を促進するため、雨水貯留槽の購入者に費用の一部を補助する。
・雨水貯留槽購入者への補助金 1件当たり本体価格の1/2で上限額15千円
- 電気自動車普及促進 4,000 千円
電気自動車の普及促進に向け、電気自動車の導入者に費用の一部を補助する。
・電気自動車導入者への補助金 1台当たり100千円
- 定置用リチウムイオン蓄電池普及促進 2,500 千円
エネルギーの効率的な利用を促進するため、蓄電池の設置者に費用の一部を補助する。
・蓄電池設置者への補助金 1件当たり50千円
- 燃料電池自動車普及促進 700 千円
燃料電池自動車の普及促進に向け、燃料電池自動車の導入者に費用の一部を補助する。
・燃料電池自動車導入者への補助金 1台当たり350千円
- 地球温暖化対策関係団体等との連携 33 千円
地球温暖化対策地域協議会と連携し講演会等を開催するとともに、グリーン購入ネットワーク、雨水ネットワーク等へ参加する。
- 2市1町・湘南エコウェーブプロジェクト事業の推進
茅ヶ崎市・寒川町と連携し、環境イベントの実施、緑の保全、レジ袋削減等の施策を広域的に推進する。
- 地球温暖化対策関係事務経費 1,569 千円
講師・委員謝礼、消耗品費、旅費ほか

環境保全費

事業名	環境啓発推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 1 細目 03 説明 02	環境総務課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	8,925	5,000			1,160	2,765
令和元年度	11,262	8,000			930	2,332
対前年度	△ 2,337	△ 3,000			230	433
特定財源の内訳	(国庫支出金)	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金				5,000
	(その他)	環境基金繰入金				300
	(その他)	環境制度推進事業協力金				860

【事業概要】

市民、事業者及び行政が一体となって、地球温暖化防止のため、環境フェアの開催、エコライフアドバイザー派遣事業など啓発施策を実施する。

- 環境実践活動啓発関係** 2,683 千円
 啓発イベントとして、市民・環境団体・NPO法人・大学・環境関連企業等が連携し、環境活動の展示や発表を行う環境フェアを開催する。
 また、省エネに関する啓発事業として、ふじさわエコライフハンドブック概要版を作成し、全戸配布する。
 - 環境フェア開催関係費 1,709 千円
 - ふじさわエコライフハンドブック概要版関係費 974 千円
- エコライフアドバイザー派遣事業の実施** 130 千円
 日常生活の中でできる省エネの取組等の講座を市内各地で開催する。
 - エコライフアドバイザー派遣事業費 130 千円
- CO₂排出削減促進事業の実施** 5,145 千円
 地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」（賢い選択）と連携し、環境イベント等を通じて、CO₂排出削減に向けた普及啓発を推進する。
 - CO₂排出削減促進事業関係費 5,145 千円
- 環境啓発推進事務経費** 967 千円
 - 環境教育教材等消耗品費ほか



環境フェアの様子



ふじさわエコライフハンドブック 概要版

環境保全費

事業名	緑地保全事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 01	みどり保全課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	149,496		302		36,912	112,282
令和元年度	132,264		302		15,671	116,291
対前年度	17,232		0		21,241	△ 4,009
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				94
	(県支出金)	森林病虫害等防除事業補助金				108
	(県支出金)	自然環境事務委託金				100
	(その他)	みどり基金繰入金				19,333
	(その他)	森林環境譲与税基金繰入金				17,077
	(その他)	(公財)かながわトラストみどり財団樹木保全事業助成費				500
	(その他)	その他証明閲覧手数料				2

【事業概要】

市有山林・特別緑地保全地区など樹林地の維持管理及び有効利用を図るとともに、みどり豊かなまちづくりを進めるため、市民等が所有する樹林・樹木・生垣の保存指定を堅持する。

また、緑地の保全活動を市民と協働で行い、市民ボランティアの育成を図り、活動に携わった市民の郷土愛や地域コミュニティの醸成、豊かな自然環境の復元及び防犯性の向上を目的に事業を実施する。

- 市有山林、緑地、特別緑地保全地区の維持管理 106,318 千円
 - 緑地等修繕費等 27,023 千円
 - 引地川特別緑地保全地区等維持管理関係委託 5,658 千円
 - 緑地下草刈り等関係委託 53,372 千円
 - 緑地境界測量業務委託 880 千円
 - 憩いの森、自然環境保全地賃借料 1,159 千円
 - 緑地パトロール業務委託 1,149 千円
 - (新) 樹林地復元業務委託（森林環境譲与税基金を充当） 17,077 千円
- みどり保全審議会の開催 567 千円
 緑の保全及び緑化の推進について必要な事項を調査審議するため、審議会を開催する。
 （開催予定数 4回）
- 保存樹木等関係費 36,000 千円
 保存樹林・保存樹木・保存生垣の所有者に対し、奨励金を交付する。
- 緑地保全事業事務経費 1,229 千円
 消耗品費、負担金等
- 藤沢市みどり保全協働事業負担金 5,382 千円
 緑地保全活動事業、養成講座事業、環境調査事業、普及啓発事業、支援活動事業の5事業を実施する協働事業活動団体との基本協定に基づく負担金



みどり保全審議会状況



藤沢市みどり保全協働事業 作業風景

環境保全費

事業名	自然環境共生推進事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 01 説明 04	みどり保全課				
指針体系コード	5-3-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	8,809				5,086	3,723
令和元年度	6,088				5,086	1,002
対前年度	2,721				0	2,721
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				5,086

【事業概要】

藤沢市環境基本計画に位置づく事業として策定した藤沢市生物多様性地域戦略に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に資する取組を進めるとともに、市民等を対象に自然保護意識の高揚、普及啓発を図る。

また、ヒートアイランド現象の緩和、みどり豊かな都市景観の創出などを目的として、市民や事業者を対象とした建物緑化に対する助成及び普及啓発の建物緑化事業を推進する。

- | | |
|----------------------|----------|
| 1. 藤沢市生物多様性地域戦略推進事業 | 7,306 千円 |
| ・生物多様性普及啓発印刷物作成 | 347 千円 |
| ・生物多様性普及啓発講座 | 150 千円 |
| ・長久保公園管理棟劣化診断業務委託 | 3,226 千円 |
| ・ビオトープ維持管理作業等 | 3,151 千円 |
| ・自然環境実態調査（継続調査） | 181 千円 |
| ・調査箇所のカルテ作成 | 100 千円 |
| ・乾燥標本室維持管理 | 151 千円 |
| 2. 建物緑化事業 | 1,503 千円 |
| ・建物緑化への助成 | 1,200 千円 |
| 建物緑化助成事業交付金 | |
| ・緑のカーテン普及啓発 | 303 千円 |
| 緑のカーテン用絵袋種子（ゴーヤ等）の配布 | |



生物多様性普及啓発講座（裏門公園・野鳥観察及び園内見学会）

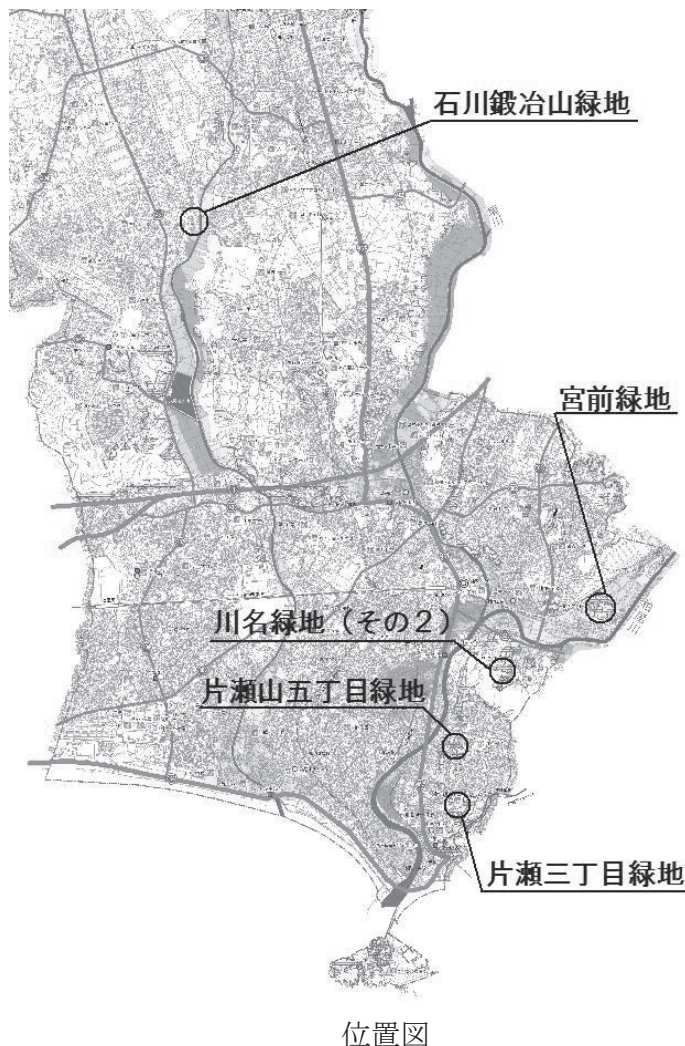
環境保全費

事業名	緑地改修事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 2 細目 05 説明 01			みどり保全課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	45,925			36,600		9,325
令和元年度	165,085			155,000		10,085
対前年度	△ 119,160			△ 118,400		△ 760
特定財源の内訳	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				36,600

【事業概要】

土砂災害警戒区域内に位置する市有山林の法面について、前年度までの成果をもとに安全性の確保に向けた対策を進める。

1. 法面調査委託 5,522 千円
「宮前緑地」、「片瀬山五丁目緑地」、「片瀬三丁目緑地」において、地質調査と測量を実施し、法面の安全性について評価を行う。
2. 法面予備設計委託 3,674 千円
「石川鍛冶山緑地」において、地質調査や測量の結果をもとに、予備設計委託を行う。
3. 法面防護工事 36,729 千円
「川名緑地（その2）」において法面防護工事を行う。



石川鍛冶山緑地



川名緑地（その2）

環境保全費

事業名	不法投棄防止等対策費					
予算科目	款 3 項 1 目 3 細目 03 説明 02	環境事業センター				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	8,163				1,168	6,995
令和元年度	8,213				1,213	7,000
対前年度	△ 50				△ 45	△ 5
特定財源の内訳	(その他)	不法投棄未然防止事業助成金				1,168

【事業概要】

良好な生活環境を保全するため、不法投棄や落書きの防止及び不法投棄物の処理やボランティア団体が清掃活動により集めたごみの処理等を行う。

1. 不法投棄防止対策 3,547 千円
 - ・不法投棄防止用看板 743 千円
 - ・不法投棄・落書き防止用カメラ 143 千円
 - ・不法投棄監視システム賃借料 115 千円
 - ・不法投棄・落書き防止夜間監視業務委託料 1,316 千円
不法投棄・落書き多発場所を夜間に巡回・監視する業務
 - ・不法投棄・落書き専用電話受付等業務委託料 264 千円
勤務時間外の不法投棄・落書きの通報（フリーダイヤル）
受付及び現地確認業務
 - ・不法投棄防犯警告灯及び不法投棄監視カメラ修繕費 880 千円
 - ・不法投棄通報カード（啓発用） 86 千円
2. ボランティア団体が清掃活動により集めたごみの収集 922 千円
 - ・ごみ袋（60,000枚） 922 千円
3. 全市域の一日清掃を実施 1,555 千円
 - ・ごみ袋（60,000枚） 1,107 千円
 - ・一日清掃デー業務委託料 448 千円
4. 車両関係経費 1,832 千円
5. 回収作業等諸経費 307 千円



不法投棄防止用看板

環境保全費

事業名		生活環境美化推進費				
予算科目	款 3 項 1 目 3 細目 04 説明 01			環境総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	4,915					4,915
令和元年度	20,858					20,858
対前年度	△ 15,943					△ 15,943

【事業概要】

藤沢市きれいで住みよい環境づくり条例に基づき、路上喫煙や空き缶等のポイ捨て、落書き、深夜花火等の迷惑行為を防止するための啓発・指導等を行う。

1. 条例の普及・啓発活動及び巡回指導等の実施 1,249 千円
 - ・キャンペーンを通じた啓発や路面シート等による周知及びきれいで住みよい環境づくり巡回指導員による路上喫煙禁止区域内の巡回指導を行う。



条例啓発キャンペーンの様子



路面シート

2. 指定喫煙所の維持・管理 2,264 千円
 - ・藤沢駅・湘南台駅・辻堂駅周辺にある指定喫煙所の維持・管理を行う。
3. 夏期の海岸における深夜花火の巡回指導及び啓発活動 733 千円
 - ・夏期（7～8月）の片瀬海岸、鵠沼海岸及び江の島入口の海岸の海水浴場等において、毎週金曜・土曜日の21時から翌日5時まで深夜花火の巡回指導等を行う。
 - ・地区青少年育成協力会や警察署などの関係機関と連携して、夏期海岸夜間パトロールを行う。
4. 落書き防止対策 669 千円

市内の落書き撲滅に向けた、落書き消去活動・予防活動・啓発活動の実施。

 - ・スマートチェック等により判明した落書きの迅速な消去活動を行う。
 - ・落書き防止ステッカーを活用し、落書きをさせない環境を整える。
 - ・啓発物品の配布や地域での消去イベントの実施により落書きへの関心を高めるとともに、地域団体等に消去物品を貸与し、落書き対策の中心的存在になってもらう。



啓発ポスター



地域での落書き消去活動の様子

環境保全費

事業名	交通安全啓発費（前年度事業名：交通安全運動費）					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 01 説明 02	防犯交通安全課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	11,225				441	10,784
令和元年度	7,198				282	6,916
対前年度	4,027				159	3,868
特定財源の内訳	(その他)	交通安全対策基金繰入金				441

【事業概要】

市民を対象として、交通安全意識の高揚を図るため、交通安全運動や交通安全事業及び交通安全教育事業を行う。

1. 各季等交通安全運動の実施 2,817 千円

交通安全推進団体等と連携し、交通安全運動を実施する。

- (1) 春の全国交通安全運動
- (2) 夏の交通事故防止運動
- (3) 秋の全国交通安全運動
- (4) 年末の交通事故防止運動

2. 交通安全事業の実施 4,626 千円

交通安全対策として各種事業を実施する。

- (1) 自転車マナーアップ運動キャンペーン
- (2) 自転車街頭点検
- (3) 交通安全研修会（幼児教育担当者、地域指導者、高齢者を対象に各1回開催）
- (4) 藤沢市民交通安全推進総ぐるみ大会
- (5) 交通安全対策のためのシールや看板等の設置

(新) (6) 高齢者安全運転診断

3. 交通安全教育事業の実施 3,782 千円

幼児、小学生、中学生、高校生、高齢者、地域団体等を対象とした交通安全教室等を実施する。

- (1) 幼稚園、保育園、学校等の交通安全教室
- (2) 各市民センター・公民館で実施する高齢者交通安全教室
- (3) シルバー四輪ドライバースクール
- (4) 二輪車安全運転教室
- (5) 視聴覚ライブラリー



自転車マナーアップ運動キャンペーン



幼児交通安全教室

（前年度の交通安全運動費と交通安全教育指導費を統合した事業）

環境保全費

事業名	防犯対策強化事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 03	防犯交通安全課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,148					7,148
令和元年度	8,679					8,679
対前年度	△ 1,531					△ 1,531

【事業概要】

市民と行政が連携して犯罪防止に取り組むため、多様な防犯活動等への積極的支援を行う。

- 街頭犯罪抑止環境整備 1,965 千円
こども110番の設置及び登録者確認作業、防犯ブザーの貸出し等により街頭犯罪抑止環境を整備する。
- インターネット等による防犯情報広報啓発事業 1,323 千円
 - 藤沢市防犯対策システムソフトウェア保守管理業務等 928 千円
不審者情報、防犯に関する注意喚起などをメール配信するための防犯対策システムソフトウェアの保守管理等を行う。
 - 防犯情報広報啓発事業 395 千円
ホームページ・SNSにより防犯情報を周知し、防犯意識を啓発する。
- 暴力追放推進協議会の活動支援 760 千円
暴力団排除への市民意識の高揚を図る暴力追放推進協議会への支援を行う。
- 各地区防犯パトロール隊の活動支援 2,300 千円
市内14地区で活動している防犯パトロール団体等にパトロール用品等の支援を行う。
- 特殊詐欺対策 612 千円
特殊詐欺被害防止のための啓発チラシ作成や迷惑電話防止機器の貸出しを行う。
- 防犯市民のつどいの開催 188 千円
防犯功労者表彰や防犯に関する講演等を行い、日頃の地域防犯活動への功績に感謝するとともに防犯意識の高揚を図る。



迷惑電話防止機器（イメージ）



防犯市民のつどい

環境保全費

事業名	安全・安心まちづくり対策会議事業費					
予算科目	款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 04	防犯交通安全課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,034					1,034
令和元年度	983					983
対前年度	51					51

【事業概要】

市民・警察・行政が一体となった、犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議を開催するとともに、総合的な防犯体制を確立し、全市的に犯罪のない安全・安心まちづくりを推進する。

1. 犯罪のない安全・安心まちづくり対策会議の開催 10 千円
2. 地域安全マップ指導者養成講座等の開催 530 千円
犯罪機会論の普及促進を目的として、市民や小学校教諭等を対象に、地域安全マップ指導者養成講座や防犯講座を実施する。
3. 防犯キャンペーン等の活動 494 千円
自転車盗難やひったくり等の街頭犯罪や特殊詐欺等の対策として、防犯チラシやグッズの配布等効果的なキャンペーンを実施する。



地域安全マップ指導者養成講座



地域安全マップづくり（小学校）



防犯街頭キャンペーン



繁華街環境浄化パトロール

環境保全費

事業名		街頭防犯カメラ設置推進事業費				
予算科目		款 3 項 1 目 4 細目 03 説明 05		防犯交通安全課		
指針体系コード	1-3-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	9,528		1,500			8,028
令和元年度	9,380		788			8,592
対前年度	148		712			△ 564
特定財源の内訳		(県支出金)	地域防犯力強化支援事業補助金			1,500

【事業概要】

市による街頭防犯カメラの設置と維持管理や、自治会・町内会が設置する防犯カメラの設置費と修繕費の補助を行う。

1. 街頭防犯カメラ設置等 2,096 千円
藤沢駅北口4台
・防犯カメラ設置費 1,980 千円
・防犯カメラ維持管理費 116 千円

2. 自治会・町内会による防犯カメラ設置費補助 6,932 千円
自治会・町内会が設置する防犯カメラ50台について設置費の一部を補助する。
・補助率：設置費の4分の3、又は1台当たり375千円の低い額を補助

(単位：千円)

自治会・町内会名	台数	補助金額
大鋸東町町内会	4	947
緑が丘町内会	6	1,533
一照会	4	1,039
表郷町内会	2	470
湘南スカイハイツ自治会	30	1,443
台谷町内会	4	1,500
合計	50	6,932

3. 自治会・町内会が設置した防犯カメラへの修繕費補助 500 千円
・補助対象：防犯カメラ本体及び周辺機器
・補助について：修繕費の4分の3、補助限度額200千円、1団体につき申請は年2回までとし、1回目の申請で補助限度額となった場合は年1回とする。



藤沢駅北口街頭防犯カメラ設置計画箇所



街頭防犯カメラ設置（イメージ）

環境保全費

事業名		浄化槽設置助成事業費				
予算科目	款 3 項 1 目 5 細目 07 説明 01			下水道総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	4,098	1,311	1,311			1,476
令和元年度	4,044	1,125	1,125			1,794
対前年度	54	186	186			△ 318
特定財源の内訳	(国庫支出金)	循環型社会形成推進交付金				1,311
	(県支出金)	浄化槽整備事業補助金				1,311

【事業概要】

生活排水による公共用水域の水質汚濁負荷を軽減するため、公共下水道事業計画区域外において、居住の用に供する住宅でみなし浄化槽又は汲み取り便槽から浄化槽へ転換する者に対して、その費用の一部を助成する。

1. 補助金

4,034 千円

(1) 浄化槽設置費補助 6 基

人槽	補助単価	基数
5	332千円	5基
7	414千円	1基
10	548千円	—

(2) 浄化槽撤去費補助

- ・ 90千円× 4 基

(3) 宅内配管工事費補助

- ・ 300千円× 5 基 (みなし浄化槽)
- ・ 100千円× 1 基 (汲み取り便槽)

2. 浄化槽設置助成事務経費

64 千円

- ・ 旅費、消耗品費及び負担金

民生費

事業名	生きがい福祉センター業務委託費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 06 説明 01		地域包括ケアシステム推進室			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	37,650					37,650
令和元年度	36,782					36,782
対前年度	868					868
【事業概要】 高齢者や障がい者、女性等に就業の機会を提供し、生きがいづくりの支援と社会参加の促進、福祉の向上を図るため、藤沢市生きがい福祉センターの管理運営を行う。						
1. 藤沢市生きがい福祉センターの管理運営 37,594 千円 高齢者及び女性等の知識と経験を活用することで、生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、指定管理者による事業運営及び施設の維持管理等を行う。						
2. 施設賠償責任保険の加入 15 千円						
3. AEDの設置（賃借料） 41 千円						

民生費

事業名	シルバー人材センター事業会計助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 06 説明 02		地域包括ケアシステム推進室			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	48,117					48,117
令和元年度	49,706					49,706
対前年度	△ 1,589					△ 1,589
【事業概要】 高齢者に就業の機会を提供し、生きがいづくりや社会参加を促進するとともに、市民福祉の向上に寄与するため、シルバー人材センターを設置した公益財団法人藤沢市まちづくり協会に対し、その運営費を助成する。						
1. シルバー人材センター運営費助成 48,117 千円 高齢者に就業機会を提供するとともに、研修・相談会等の実施による就業支援を行い、生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、シルバー人材センターの運営費を助成する。						

民生費

事業名	地域福祉活動助成費（前年度事業名：地域福祉推進事業費）					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 08 説明 01	福祉健康総務課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,460					7,460
令和元年度	78,023					78,023
対前年度	△ 70,563					△ 70,563

【事業概要】

地域福祉の推進のため、地区社会福祉協議会への助成等を行う藤沢市社会福祉協議会に対し事業経費を助成する。

また、犯罪をした者等の改善更生を助けるため、地域福祉に関する関係団体等と連携しながら更生保護活動を推進する藤沢地区保護司会に対し事業経費を補助する。

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 地域福祉活動助成事業 | 7,058 千円 |
| (1) 地区社会福祉協議会等助成事業 | |
| (2) 地域活動ホーム運営事業 | |
| 障がい児の預かり事業 | |
| 2. 藤沢地区保護司会補助金 | 402 千円 |
| (1) 更生保護活動への補助 | |

（2の事業は、前年度の青少年施策推進費から移管したもの）

事業名		(新) 地域福祉プラザ運営事業費				
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 08 説明 02			福祉健康総務課		
指針体系コード	4-1-71	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	91, 295	1, 795				89, 500
令和元年度	0	0				0
対前年度	91, 295	1, 795				89, 500
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				1, 795

【施策等を必要とする背景】

藤沢型地域包括ケアシステムの取組を推進し、本市がめざす、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者等、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく暮らし続けることができる「地域共生社会」を実現するため、地域づくりに参加する多様な主体への支援や、地域活動の担い手の育成、交流の場の整備等を目的とした地域福祉の推進拠点が求められている。

【提案に至るまでの経緯】

福祉拠点の整備については、市の総合計画への位置付けを行った経過、また「藤沢市地域福祉計画2020」の基本目標2「お互いが見守り、支えあい、つながる地域づくり」の「障がい者団体等の活動支援や人材育成を行う拠点の整備」、さらに「藤沢市地域福祉計画2020（中間見直し）」の「福祉団体の活動場所の整備・活動支援」として位置付けられ、公共施設再整備を進める中で、分庁舎の再整備において具体化することとなった。

平成30年1月 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会で報告

令和元年9月 藤沢市議会定例会厚生環境常任委員会で報告

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

障がい者団体をはじめとする関係団体から要望のあった活動室等の機能を踏まえ、施設のバリアフリー対応等について意見聴取を行った。また、地域福祉計画推進委員会において、地域福祉プラザの整備に関する課題の共有を図った。

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市地域福祉計画2020（中間見直し）】

「福祉団体の活動場所の整備・活動支援」に分庁舎再整備における福祉拠点整備を位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、多様な主体の活動拠点が整備されるとともに、地域福祉における担い手の育成が図られる。また、地域資源情報を集約し、福祉情報の配信を実施することで、様々な支援関係機関との連携による包括的な支援体制の充実が図られる。

2. 将来にわたる費用

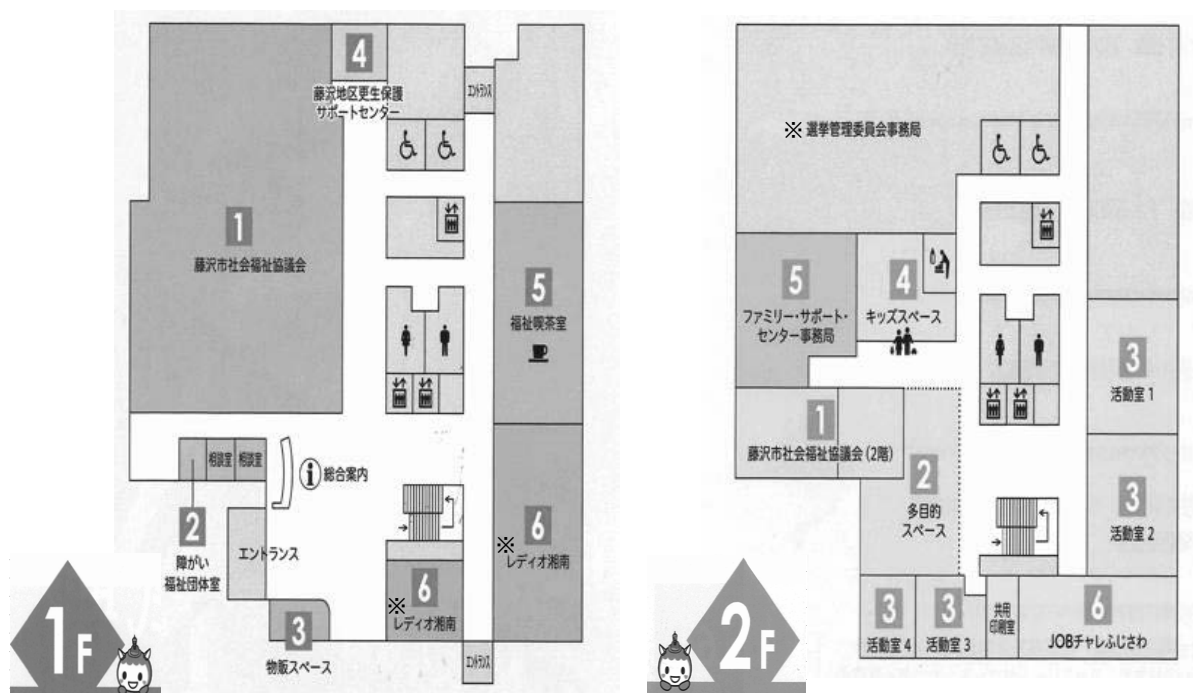
地域福祉プラザの運営に係る藤沢市社会福祉協議会職員の人件費及び福祉情報を配信するためのサイトの保守費用

【事業概要】

本市がめざす、地域住民や多様な主体の参加による、誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて、地域住民等のネットワークの拠点として、また、世代や属性を超えた総合支援拠点として藤沢市役所分庁舎1階及び2階において「地域福祉プラザ」の運営を行うにあたり、連携の中心となる藤沢市社会福祉協議会に対して、職員の人件費や事業経費を補助する。

- | | |
|--|-----------|
| 1. 藤沢市社会福祉協議会が地域福祉プラザで実施する事業費の補助 | 91,295 千円 |
| (1) 職員人件費補助 | 85,018 千円 |
| (2) 地域福祉活動センターの運営 | 1,712 千円 |
| 福祉に係るボランティア団体の担い手育成を行う藤沢市社会福祉協議会の「ふじさわボランティアセンター」の機能拡充を行い、新たに「地域福祉活動センター」を組織し、ボランティア及び障がい者をはじめとする当事者会及び家族会等の団体支援事業を実施する。 | |
| (3) 福祉情報配信の取組 | 4,231 千円 |
| 障がい者をはじめとする当事者会や福祉に係るボランティア団体等の活動情報や福祉行政に係る事業等の情報を配信する。 | |
| (4) 社会参加スペースの運営 | 271 千円 |
| 既存の社会参加の機会において、その環境に配慮を要する者等を対象として、居場所の提供やボランティアや就労体験等の事業を実施する。 | |
| (5) その他事務経費（役務費） | 63 千円 |

【地域福祉プラザの配置図（市役所分庁舎）】



※ラジオ湘南及び選挙管理委員会事務局を除く

【地域福祉プラザの主な機能】

- (1) 総合相談ほか地域福祉プラザの連携機能 藤沢市社会福祉協議会
- (2) 障がい者の社会参加 福祉喫茶室、物販スペース、障がい福祉団体室、JOBチャレふじさわ
- (3) 高齢者の社会参加 藤沢市老人クラブ連合会事務局（藤沢市社会福祉協議会内）
- (4) 再犯防止の取組 藤沢地区更生保護サポートセンター、藤沢地区保護司会事務局（藤沢市社会福祉協議会内）
- (5) 子育て支援機能 ファミリー・サポート・センター事務局、キッズスペース

（前年度の地域福祉推進事業費から分離した事業）

民生費

事業名		愛の輪福祉基金積立金				
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 09 説明 01			福祉医療給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	15,264				15,264	
令和元年度	10,500				10,500	
対前年度	4,764				4,764	
特定財源の内訳	(その他)	愛の輪福祉基金寄付金				15,000
	(その他)	愛の輪福祉基金利子収入				264

【事業概要】

社会福祉の増進を図るため、愛の輪福祉基金を設置し、目標額を12億と定め基金の積立てを行う。

(平成30年度末基金残高 527,499,248 円)

1. 寄付金 15,000 千円
パンフレットの配布等により基金の概要や趣旨の周知を行い、基金への寄付を促進する。
2. 利子収入 264 千円
利子収入を基金に積み立てる。

民生費

事業名		愛の輪福祉基金事業費					
予算科目		款 4 項 1 目 1 細目 10 説明 01			福祉医療給付課		
指針体系コード			まちづくりテーマ				
			重点施策名				
区 分		事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度		12,258				12,258	
令和元年度		10,137				10,137	
対前年度		2,121				2,121	
特定財源の内訳		(その他)	愛の輪福祉基金繰入金				12,258

【事業概要】

福祉活動の育成強化及び活動の充実を図るため、障がい者団体や福祉関係のボランティア団体等を対象として、愛の輪福祉基金を活用した助成を行う。

1. ボランティア団体等への助成 12,000 千円
愛の輪福祉基金補助金交付要綱に基づき、審査会で決定した事業を行うボランティア団体等へ補助金を交付する。
2. 補助金交付事務支援委託 137 千円
地域団体からの相談業務、補助金交付申請の集計、審査委員会の開催補助等の補助金交付事務に係る支援業務を藤沢市社会福祉協議会に委託する。
3. 事業周知のための告知媒体作成 121 千円
愛の輪福祉基金周知チラシやステッカーを作成する。

民生費

事業名	福祉総合相談支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 11 説明 01	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	287	0				287
令和元年度	5,509	283				5,226
対前年度	△ 5,222	△ 283				△ 4,939

【事業概要】

生活上の困りごと、子育てや保健など複雑かつ複合化する課題を抱える相談者に対して適切な支援を行うため、福祉総合相談支援センター及び北部福祉総合相談室において総合相談を実施するとともに、市民に身近な相談窓口として地区福祉窓口の業務を円滑に進めるため、市民センターや関係各課等との連絡調整を行う。

また、関係機関等と連携し、多様な家族介護者等（ケアラー）の支援ニーズに着目した事業を実施する。

- | | |
|---|--------|
| 1. 福祉総合相談の実施
研修会の参加費等 | 93 千円 |
| 2. 家族介護者等（ケアラー）支援事業の実施
講演会の開催及び啓発・支援ツールの作成に要する経費 | 131 千円 |
| 3. 福祉総合相談事業事務経費
消耗品費及び北部福祉総合相談室の運営に要する経費 | 63 千円 |

民生費

事業名		介護人材育成支援事業費				
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 18 説明 01			介護保険課		
指針体系コード	4-1-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	14,317		84			14,233
令和元年度	15,023		0			15,023
対前年度	△ 706		84			△ 790
特定財源の内訳	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金（介護分）事業費補助金				84

【事業概要】

高齢者一人ひとりの状況に応じた適切な介護サービスを継続的に提供できる環境づくりに向け、介護職員初任者研修等の受講者及び特別養護老人ホーム、地域密着型サービス事業所等の介護職員等の資格取得や研修参加などへの支援を行うことで、介護人材の確保と技能の向上を図る。

- (拡) 1. 介護職員等研修受講料助成事業 400 千円
 介護職員初任者研修又は介護支援専門員実務研修の修了後、市内の介護事業所等に6カ月以上就労した市民に対し、当該研修受講料の一部を助成する。
 (研修受講料の2分の1以内・上限2万円)
- (拡) 2. 特別養護老人ホーム等人材育成定着事業 10,267 千円
 特別養護老人ホーム、養護老人ホーム及び介護老人保健施設を運営する法人に対し、介護職員等の資格取得や研修への参加、職員募集に関する事業及び介護ロボット・ICT導入に係る費用の一部を助成する。(1施設当たり上限100万円)
 ※ICT導入については、Wi-Fi設備の環境整備を補助対象とする。
- (拡) 3. 地域密着型サービス事業所人材育成定着事業 2,148 千円
 地域密着型サービス事業所を運営する法人に対し、介護職員等の資格取得や研修への参加及び介護ロボット・ICT導入に係る費用の一部を助成する。
 (1事業所当たり上限10万円)
 ※ICT導入については、Wi-Fi設備の環境整備を補助対象とする。
- (新) 4. 外国人留学生又は技能実習生への住居・生活必需品費支援事業 1,320 千円
 介護福祉士資格の取得をめざす外国人留学生又は技能実習生を新たに受け入れる特別養護老人ホームやグループホーム等を運営する法人に対し、住居及び生活必需品に係る費用の一部を助成する。
 ・住居費 (1人当たり上限月額1万円・6カ月)
 ・生活必需品費 (1人当たり上限5万円)
- (新) 5. その他の介護人材育成支援事業 182 千円
 (1) 介護事業所の見学&しごと相談会(バスツアー事業)
 バスで市内介護事業所を巡り、事業所内見学と就職相談会を行う事業を、ハローワーク藤沢との共催により実施する。
 (2) 介護のしごと出前授業
 市内中学校からの依頼により、介護事業所の職員が学校を訪問して、介護の仕事内容や体験、やりがい等についての講演会などを実施する。
 (3) 介護労働環境の改善プロジェクト事業
 経済部主導による「藤沢市ロボット未来社会推進会議」の部会に位置づけられている介護労働環境プロジェクト事業を進めるにあたって、介護事業所の職員とともに、介護ロボット・ICTを先進的に導入している施設の視察研修等を行う。

民生費

事業名		成年後見制度等推進事業費				
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 19 説明 01		地域包括ケアシステム推進室			
指針体系コード	4-1-51	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	38,150	6,293	6,175			25,682
令和元年度	37,433	3,875	6,441			27,117
対前年度	717	2,418	△ 266			△ 1,435
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				4,197
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				2,096
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				2,098
	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金（介護分）事業費補助金				4,077

【事業概要】

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及啓発、また相談・支援体制の充実を図ることにより、判断能力が十分でない高齢者や障がいのある人が、適切にサービスを利用し、安心して暮らせる地域づくりを進めることを目的とし、成年後見制度利用支援事業の実施及び藤沢市社会福祉協議会内に設置している「ふじさわあんしんセンター」への助成等を実施する。

1. 市民後見人養成事業業務委託 4,234 千円
適正かつ安定的に権利擁護の推進を図るため、市民後見人の育成及び活用に向けた基盤整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
2. 成年後見制度利用促進事業業務委託 6,857 千円
中核機関としての機能である権利擁護の地域連携ネットワークの充実やチーム支援の実施、さらに成年後見制度の周知や情報発信を目的とした広報活動など、成年後見制度利用促進に向けた体制整備をふじさわあんしんセンターへの業務委託により実施
3. ふじさわあんしんセンターに対する補助等 19,625 千円
成年後見制度利用支援体制の構築に係る補助及び日常生活自立支援事業に対する事業費補助
4. 後見人に対する報酬等 7,000 千円
成年後見人等への報酬助成
5. その他旅費等 434 千円
市長申立てによる審判請求
親族等の申立てによる審判請求に係る手続費用の支援

※ 成年後見制度相談事業業務委託及び高齢者を対象とする成年後見制度利用支援事業は、介護保険事業費特別会計にて実施

民生費

事業名		生活困窮者自立支援事業費				
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 01			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード	4-1-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	44,901	27,080				17,821
令和元年度	49,561	27,897				21,664
対前年度	△ 4,660	△ 817				△ 3,843
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				1,478
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				25,602

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を実施する。

1. 自立相談支援事業（必須事業） 351 千円

《事業内容》生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、さまざまな社会資源と連携・協働しながら、相談支援を一体的かつ計画的に行う。

《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）
本庁（福祉総合相談支援センター）及び北部福祉総合相談室で実施
2. 住居確保給付金の支給（必須事業） 1,056 千円

《事業内容》離職者の住居を確保し、就職活動を支えるため、家賃相当額を支給する。

《実施機関》地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」（市直営）
3. 就労準備支援事業（任意事業） 14,569 千円

《事業内容》就労意欲の喚起や、就労に向けた基礎能力の形成を目的として、日常生活自立・社会生活自立の段階から支援を行う。

《実施方法》委託事業として実施
4. 家計改善支援事業（任意事業） 9,019 千円

《事業内容》家計管理に関する相談と指導、及び家計改善の意欲を高める支援を行うとともに、必要な貸付のあっせん等の支援を行う。

《実施方法》委託事業として実施
5. 子どもの学習・生活支援事業（任意事業） 18,104 千円

《事業内容》市内3地区（北部・東部・西部）を拠点にして、生活困窮家庭の子どもへの学習支援、居場所づくり、及び不登校等の課題を有する子どもに対する支援を、学校等の支援機関と連携して行う。また、保護者を対象とした相談等による生活環境の向上を図るための支援を行う。

《実施方法》委託事業として実施
6. 一時生活支援事業（任意事業） 1,802 千円

《事業内容》住居のない生活困窮者であって、所得が一定水準以下の者に対し、宿泊場所等を提供するとともに、入所者への自立に向けた相談支援を行う。

《実施方法》県及び市による広域・共同により、委託事業として実施

民生費

事業名	包括的支援体制推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 21 説明 02	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード	4-1-61	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	94,866	69,583				25,283
令和元年度	84,140	60,683				23,457
対前年度	10,726	8,900				1,826
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				44,631
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				24,952

<拡充事業> コミュニティソーシャルワーカーの配置拡充（１３地区への配置）

【施策等を必要とする背景】

「藤沢型地域包括ケアシステム」では、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者等すべての市民を対象とすることを基本理念の一つとし、１３地区の特色にあわせそれぞれの地域の課題に対するきめ細かな対応を掲げている。そのため、平成２８年度から生活困窮者自立支援事業を活用し、各地区においてその特色を生かし、地域のニーズに即した支えあいの地域づくりを関係機関・地域団体等と協力して進めていくコミュニティソーシャルワーカー（ＣＳＷ）の配置を進めてきた。ＣＳＷが、民生委員・児童委員をはじめ地域に根差した活動を行う団体や専門支援機関等と顔の見える関係をつくり連携体制を充実させることで、既存の相談窓口には来所できずにいた困りごとを抱えている人や世帯の早期把握、インフォーマルな活動への支援などを配置地区において順次進めており、顕在化していなかった支援ニーズが明らかになってきたこと等、地域の関係者からはより一層の体制の充実などが求められている。

【提案に至るまでの経緯】

平成２８年４月 藤沢市社会福祉協議会に自立相談支援事業を委託し、「バックアップふじさわ社協」を開設するとともに、３地区（六会、湘南大庭、鵠沼）にモデル配置

平成２９年４月 新たに２地区（村岡、長後）に配置し、計５地区に配置

平成３０年４月 新たに３地区（善行、辻堂、御所見）に配置し、計８地区配置

平成３１年４月 新たに３地区（明治、片瀬、遠藤）に配置し、計１１地区配置

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

【藤沢市地域福祉計画２０２０（中間見直し）】

「地域福祉を推進するためのコーディネーターとなりうる人材の育成・確保」「地域における福祉相談窓口の充実」にＣＳＷの配置、活動を位置づけている。

【将来にわたる効果及び費用】

１．将来にわたる効果

ＣＳＷの配置を拡充することにより、困難を抱えた人の早期把握と各地区のさまざまな支援機関との連携による包括的な相談支援が可能となるとともに、支えあいの地域づくりにもつながり地域の特性を生かした藤沢型地域包括ケアシステム推進の一助となる。

２．将来にわたる費用

現体制を維持した場合においても、人件費上昇分の増額が見込まれる。

【事業概要】

生活困窮者自立支援法に基づき、第2のセーフティネットとして、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、各種事業を藤沢市社会福祉協議会への業務委託により実施する。
なお、本事業の実施により、CSWを13地区に配置する。

- (拡) 1. 自立相談支援事業（必須事業） 59,509 千円
《事業内容》生活困窮者が抱える多様で複合的な問題に対する相談に応じ、地域の中で孤立する世帯に対し専門的な支援につなげる個別支援を行うとともに、地域のさまざまな活動団体に対する支援を行うことで、地域の特性を生かした地域づくりを行う。
2. 共助の基盤づくり事業（任意事業） 6,256 千円
《事業内容》身近な地域で誰もが安心して生活していくために、住民相互の支えあいによる共助の取組を活性化し、これらを地域全体で支える基盤を構築する。
3. 多機関の協働による包括的支援体制構築事業（任意事業） 19,154 千円
《事業内容》多分野にわたる相談支援機関の連携体制及び多職種間の連携・協働の体制を構築し、複合的な課題を抱える者に対する支援をコーディネートする。
4. 地域力強化推進事業（任意事業） 9,947 千円
《事業内容》住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくりを支援し、その活動を通して把握された個別課題を包括的に受け止め、必要に応じて支援機関につなぐことができる体制を構築する。

(参考) 本委託業務の実施体制

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
主任相談支援員（※）	1人	1人	1人	1人	1人
相談支援員（※）	3人	5人	8人	11人	13人
CSW配置地区数	3地区	5地区	8地区	11地区	13地区

※ 相談支援員はCSWとして配置し、令和2年度は主任相談支援員をCSW統括として配置するため、14人で13地区の体制となる。

また、令和元年度からCSWは第2層生活支援コーディネーター（介護保険事業費特別会計）を兼務する。

民生費

事業名	藤沢型地域包括ケアシステム推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 23 説明 01		地域包括ケアシステム推進室			
指針体系コード	4-1-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,115	582				1,533
令和元年度	2,205	582				1,623
対前年度	△ 90	0				△ 90
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				582

【事業概要】

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることができるまちをめざし、市民、地域で活動する団体・事業者等と行政との協働により、13地区ごとの特性を活かした支えあいの地域づくりと、その取組を支える仕組み・連携体制づくりを中心とした、藤沢型地域包括ケアシステムの推進に向けた施策等に取り組む。

1. 「藤沢型地域包括ケアシステム推進会議」の開催（委員報酬） 777 千円
市民、医療・福祉等の関係機関や地域団体の代表者、市社会福祉協議会や行政の職員で構成する審議会を開催し、藤沢型地域包括ケアシステムの推進における多機関との連携体制やネットワークづくりに向けた意見交換、情報共有を図る（年4回）。
2. 藤沢型地域包括ケアシステムの普及啓発 744 千円
藤沢型地域包括ケアシステムの基本理念を共有し、市民一人ひとりが地域社会の一員として地域づくりについて考え、取り組むきっかけづくりとして、身近なテーマを切り口としたシンポジウムやワークショップを開催し、啓発リーフレット等の作成・配布による普及啓発を図る。
3. 認知症に関するVR体験の実施 594 千円
地域住民へ認知症等の当事者の視点や感情を自分事として強く実感できる機会をつくるため、各地区でのVR体験会及び講義を実施する。

民生費

事業名	地域の縁側等地域づくり活動支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 24 説明 01		地域包括ケアシステム推進室			
指針体系コード	4-3-41	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	27,595	9,944				17,651
令和元年度	30,530	9,209				21,321
対前年度	△ 2,935	735				△ 3,670
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				9,944

【事業概要】

藤沢型地域包括ケアシステムの推進にあたり、支えあいの地域づくりに向けた活動を実施する団体へ運営費及び家賃等の補助を行う。

1. 支えあいの地域づくり活動に対する補助 23,391 千円
(単位：千円)

補助メニュー	団体数	予算額
地区ボランティアセンター事業 地区活動のコーディネート等による、住民を主体とした 地域支えあい活動の拠点	12	10,967
地域の縁側事業 「基本型」…誰もが気軽に立ち寄り、交流や相談ができる居場所	24 (5)	10,810
「特定型」…特定の利用対象者が自由に集え、交流できる居場所	7 (0)	
安全・安心ステーション事業 地域における防犯意識の高揚と地域住民による防犯活動の活発化を図る拠点	6 (0)	1,614

団体数のうち、() は新規団体の見込み数

2. 地域の縁側事業に係る事務経費等 4,204 千円

- (1) 地域の縁側ポイント支援金 107 千円
地域の縁側においてボランティア活動を行った者に対してポイントを付与し、活動者からの申請に基づき1ポイント100円の支援金を支給する。(上限5,000円)
- (2) 地域の縁側活動支援事業 4,097 千円
地域団体など、それぞれの運営主体による地域の縁側の活動を藤沢市社会福祉協議会と協働して支援するため、活動支援業務を委託する。

民生費

事業名		窓口業務等協働事業推進費				
予算科目	款 4 項 1 目 1 細目 25 説明 01			保険年金課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	247,159					247,159
令和元年度	97,572					97,572
対前年度	149,587					149,587

【施策等を必要とする背景】

行財政改革２０２０の取組として、個別課題である「窓口業務のあり方の検討」を進めるとともに、より具体的な事業進捗を図るため、令和元年度に実施設計等の準備業務を実施した。

その結果、保険年金課の窓口業務等において、民間事業者との協働事業（業務委託）を実施することにより、市民サービスの維持・向上に資することが可能と判断されたため、令和元年９月市議会定例会において、その方針やスケジュール等を報告した。

【市の策定する計画や条例との整合性】

行財政改革２０２０基本方針及び行財政改革２０２０実行プラン

【将来にわたる効果及び費用】

毎年度一定額の委託料が生じる一方、人件費をはじめとするコストメリットのほか、定数減員、柔軟な執行体制の活用による窓口の待ち時間縮減などの市民サービス維持・向上が見込まれる。

【事業概要】

市民サービスの維持・向上を図るため、保険年金課の一部業務を協働事業（業務委託）として実施する。

令和２年度は、令和元年度に行った実施設計等を踏まえ、国民健康保険業務を協働事業として実施するとともに、令和３年度に向けた実施設計等（後期高齢者医療・国民年金業務）の準備業務を委託する。

- (拡) １．国民健康保険業務協働事業 203,539 千円
- ・各種申請受付事務、当該申請に係るシステムへの入力などの補助的業務及び電話対応
 - ・運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの更新
 - ・月次及び年次報告書の作成
 - ・モニタリング指標の測定
 - ・内部監査の実施

- (新) ２．後期高齢者医療及び国民年金業務実施設計委託 43,620 千円
- ・運営管理マニュアル、業務フロー及びマニュアルの作成
 - ・オフィスレイアウト詳細設計
 - ・業務従事者の体制整備、研修及びリハーサルの実施

【今後のスケジュール】

- | | |
|-------|---------------------------------|
| 令和２年度 | 第１期（国民健康保険業務）協働事業（業務委託）開始 |
| | 第２期（後期高齢者医療・国民年金業務）実施設計業務委託開始 |
| 令和３年度 | 第２期（後期高齢者医療・国民年金業務）協働事業（業務委託）開始 |

民生費

事 業 名	障がい者福祉手当					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 02 説明 01			障がい福祉課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	405,397	91,881				313,516
令和元年度	399,432	91,727				307,705
対前年度	5,965	154				5,811
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特別障がい者手当等給付費負担金				91,881

【事業概要】

障がい児者の生活の安定と福祉の増進を図るため、特別児童扶養手当等の支給に関する法律及び藤沢市障がい者福祉手当条例に基づき、障がい児者に対して福祉手当を支給する。

- １．特別障がい者手当 月額27,200円 86,170 千円

20歳以上の障がい者で、国民年金の１級程度の障がい重複するなど著しく重度の障がい状態にあるため、日常生活に常時特別の介護を必要とする在宅の人に支給する。

ただし、本人、配偶者又は扶養義務者の所得が一定額以上ある人、障がい者支援施設等に入所している人、3カ月以上医療機関に入院している人を除く。
- ２．障がい児福祉手当 月額14,790円 34,564 千円

次のいずれかに該当する20歳未満の重度障がい児で、日常生活において常時の介護を必要とする在宅の人に支給する。

 - （１）身体障がい者手帳１・２級の一部の人
 - （２）知能指数20以下の人
 - （３）精神障がい者保健福祉手帳１級の一部の人、その他、常時介護が必要であると認められる人

ただし、本人、配偶者又は扶養義務者の所得が一定額以上ある人、障がいを支給事由とする公的年金を受給している人、肢体不自由児施設等に入所している人、補聴器が交付されている聴覚障がい児又は自動車運転免許証を所持している人を除く。
- ３．経過的福祉手当 月額14,790円 1,775 千円

従来の福祉手当の受給者のうち、特別障がい者手当に該当せず、障がい基礎年金も支給されない人に支給する。（経過措置として支給する手当）
- ４．藤沢市障がい者福祉手当 月額4,000円 282,872 千円

市内に居住する20歳未満の人又は個人市町村民税が課税されていない20歳以上65歳未満の人で、次のいずれかに該当する人に支給する。

 - （１）身体障がい者手帳１～３級の人
 - （２）療育手帳Ａ１・Ａ２・Ｂ１（知能指数50以下）の人
 - （３）精神障がい者保健福祉手帳１・２級の人

ただし、特別障がい者手当、障がい児福祉手当又は経過的福祉手当を受給している人、児童福祉施設又は障がい者支援施設に入所している人を除く。
- ５．特別障がい者手当審査嘱託医報酬 16 千円

民生費

事業名	心身障がい者介護手当					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 02 説明 02	障がい福祉課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	21,049					21,049
令和元年度	21,399					21,399
対前年度	△ 350					△ 350
【事業概要】 重度の心身障がい児者の福祉の増進を図るため、常時介護が必要な重度の障がい児者の介護を在宅で行っている介護者に対し、介護手当を支給する。 1. 心身障がい者介護手当 月額7,000円 21,049 千円 市内に居住する4歳以上65歳未満の障がい児者で、介護保険法によるサービスを受けていない人のうち、次のいずれかに該当する障がい児者を介護している人に支給する。 (1) 6カ月以上寝たきり又はこれと同等の状態にあり、1・2級の肢体不自由・内部障がい・視覚障がいの身体障がい者手帳が交付されている常時介護が必要な人 ただし、視覚障がいの場合は、幼児・未就学児に限る。 (2) A1・A2の療育手帳が交付されている常時介護が必要な人 ただし、次の場合を除く。 ・障がい児者が施設に入所しているとき。 ・障がい児者が医療機関に入院しているとき。 ・現に介護をしていないとき。						

民生費

事業名	学園等運営委託費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 03 説明 02	障がい福祉課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	179,000					179,000
令和元年度	177,500					177,500
対前年度	1,500					1,500
【事業概要】 障がい児者の福祉及び健康の増進を図るため、指定管理者に委託して太陽の家しいの実学園、藤の実学園及び体育館の管理運営事業を行う。 1. 学園等管理運営業務委託 179,000 千円 (1) 指定管理者により、障がい児者への支援を行う。 (2) 障がい者スポーツの振興のため、活動の場の提供、講習会、大会等を実施する。 (3) しいの実学園、藤の実学園の利用者を対象とした、歯科健診・口腔衛生指導・摂食機能指導を実施する。						

民生費

事業名		障がい者等医療助成費				
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 05 説明 01			福祉医療給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,941,042		287,103		157,199	1,496,740
令和元年度	1,811,557		293,983		128,010	1,389,564
対前年度	129,485		△ 6,880		29,189	107,176
特定財源の内訳	(県支出金)	重度障がい者医療費補助金				287,103
	(その他)	高額療養費還付金				157,199

【事業概要】

障がい者等の医療に係る経済的負担を軽減し、保健の向上及び福祉の増進を図るため、入通院の医療費の自己負担分（入院時の標準負担額を除く。）を助成する。

対象者は、次のいずれかに該当する人

- ・身体障がい者手帳1～3級の人
- ・精神障がい者保健福祉手帳1・2級の人
- ・知能指数50以下の人
- ・65歳以上で身体障がい者手帳4級の一部の人
- ・65歳以上でねたきりの人

1. 扶助費 1,912,774 千円

- ・月平均受給者数（見込み） 11,969人
- ・月平均受診件数（見込み） 34,387件

2. 審査支払い手数料 27,448 千円

医療証取扱い分における神奈川県国民健康保険団体連合会等への手数料

3. 障がい者等医療助成事業事務経費 820 千円

旅費、消耗品費、印刷製本費

（この事業は令和元年度12月補正で増額した事業）

民生費

事業名		障がい者等歯科診療事業運営費				
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 06 説明 01		障がい福祉課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	148,489		7,900			140,589
令和元年度	150,418		7,900			142,518
対前年度	△ 1,929		0			△ 1,929
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村障がい者福祉事業推進補助金				7,900

【事業概要】

障がい者等の歯科の健康の増進を図るため、一般の開業医では対応が困難な障がい児者及び要介護高齢者のための歯科診療等を藤沢市歯科医師会に委託して行う。

- 障がい児者歯科診療の実施 91,283 千円
診療日 南部診療所 火・木曜日午後
北部診療所 木・土曜日午後
- 要介護高齢者の歯科診療の実施 57,206 千円
診療日 南部診療所 木・日曜日午前
北部診療所 木・日曜日午前
- 静脈内鎮静法による診療の実施 (経費は上記 1 に含む。)
歯科診療に伴う苦痛や不安を取り除くために鎮痛薬や向精神薬を静脈に直接注入し、麻酔状態の間に診療を行う。
診療日 南部診療所 火・木曜日午後 月 4 回
北部診療所 木・土曜日午後 月 4 回
- 施設訪問歯科健診及び施設訪問口腔衛生指導の実施 (経費は上記 1 に含む。)
市内の障がい者施設を訪問し、歯科健診及び口腔衛生指導を実施する。
施設数 29 施設 各 1 回
- 藤沢市歯科医師会による摂食支援相談会の実施 (経費は上記 1 に含む。)
実施日 南部診療所 日曜日 月 1 回
- 藤沢市歯科医師会による摂食嚥下リハビリテーションの実施 (経費は上記 2 に含む。)
実施日 南部診療所 日曜日 月 1 回
- 施設管理費 (経費は上記 1 に含む。)
保健医療センター内に設置した北部診療所の施設管理を行う。

民生費

事 業 名		障がい者等福祉タクシー助成事業費					
予算科目		款 4 項 1 目 2 細目 07 説明 01			障がい福祉課		
指針体系コード		まちづくりテーマ					
		重点施策名					
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
令和2年度	136,450					136,450	
令和元年度	140,994					140,994	
対前年度	△ 4,544					△ 4,544	

【事業概要】

重度の障がい者等の行動範囲の拡大や社会参加の促進を図るため、福祉タクシー利用券を交付しタクシー利用料の助成を行う。

対象者は、次のいずれかに該当する人

- ・身体障がい者手帳上肢又は内部1級、体幹又は下肢1～3級、視覚1・2級の人
- ・療育手帳A1・A2、又は知能指数35以下の人
- ・身体障がい者手帳3級、かつ知能指数50以下の人
- ・精神障がい者保健福祉手帳1級の人
- ・特定医療費（指定難病）医療受給者証が交付されている人
- ・特定疾患医療受給者証が交付されている人

1. 福祉タクシー利用券の交付 129,035 千円

福祉タクシー利用券 1人当たり 月2, 400円分を交付

福祉タクシー利用券（時間制運賃用）

1人当たり 月2枚を交付

※人工透析による通院対象者には、上記の1. 5倍を交付

2. 福祉タクシー利用券取扱手数料 4,781 千円

3. 福祉タクシー利用券等印刷製本費 2,634 千円

民生費

事業名		障がい者就労支援事業費				
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 09 説明 01			障がい福祉課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	17,462		4,581		5,281	7,600
令和元年度	17,462		4,581		5,281	7,600
対前年度	0		0		0	0
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村障がい者福祉事業推進補助金				4,581
	(その他)	地域就労援助センター助成事業他市町負担金				5,281

【事業概要】

就労支援が必要な障がい者に対して、社会参加を促進するため、能力に応じた就労の場の確保や職場定着を支援するための事業を行う。

1. 湘南地域就労援助センター補助金

17,462 千円

障がい者の就労支援を行っている社会福祉法人電機神奈川福祉センターが運営する湘南地域就労援助センターに対して、運営費を助成する。

民生費

事業名	心のバリアフリー推進事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 11 説明 01	障がい福祉課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	3,262	840	420			2,002
令和元年度	2,565	181	90			2,294
対前年度	697	659	330			△ 292
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				840
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				420

【事業概要】

障がいに対する正しい認識と理解の浸透を図るため、啓発事業等を行う。

1. 「藤沢市障がい者差別解消支援地域協議会」の開催（委員報酬） 279 千円
障がい者差別解消法に基づく障がい者差別解消支援地域協議会を年度内に3回開催する。
2. 「心のバリアフリー講習会」の開催等の啓発事業の実施 562 千円
（報償金、消耗品費、印刷製本費、委託料）
市民や市内事業者等を対象に障がいについて理解を深めるため、講習会の実施や啓発を目的としたリーフレットを作成する。
3. 「藤沢市心のバリアフリーハンドブック」の作成（委託料） 2,148 千円
障がいに対する理解と関心を深めるため、障がい者が困っているときの対応を写真、イラストを交えてわかりやすく説明したハンドブックを作成し、市内小学4年生及び市民や事業者への配布を行う。
4. 「藤沢バリアフリーマップ」の保守（委託料） 273 千円
設備等の変更を確認した掲載施設について、最新の情報に更新する。

民生費

事業名	介護給付費等事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 13 説明 01	障がい福祉課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	6,591,939	3,148,542	1,633,872			1,809,525
令和元年度	6,401,688	3,059,052	1,584,974			1,757,662
対前年度	190,251	89,490	48,898			51,863
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者介護給付費等負担金				3,134,918
	(国庫支出金)	療養介護医療費負担金				13,624
	(県支出金)	障がい者介護給付費等負担金				1,567,459
	(県支出金)	療養介護医療費負担金				6,812
	(県支出金)	市町村障がい者福祉事業推進補助金				59,601

【事業概要】

障がい児者やその家族の身体的・精神的負担を軽減し、障がい者福祉の向上を図るため、障がい児者に対して、居宅又は施設においてそれぞれの障がいに適した支援を行う。

1. 居宅介護等 953,864 千円

居宅等において、入浴、排泄及び食事等の介護、調理・掃除等の家事、並びに生活等に関する相談及び助言、その他生活全般にわたる支援のため、居宅介護、同行援護、行動援護、重度訪問介護を行う。
2. 短期入所（ショートステイ） 175,049 千円

施設に短期間入所した障がい者に対し、入浴、排泄、食事等の介護を行う。
3. 施設等での入通所サービス 5,205,142 千円

入所又は通所する障がい者に対し、施設において食事・入浴・排泄等の介護及び日常生活上の支援、又は生産活動や創作活動を通じて必要な訓練を行うほか、重度障がい者を受け入れる市内通所施設への処遇費加算を実施する。
4. 障がい者地域生活サポート事業 47,873 千円

障がい者の地域生活を支える社会的な資源として、障がい者施設等の活用を図り、障がい者の地域生活移行を促進する。
5. 自立支援給付システム賃借料・自立支援給付費支払事務負担金等 31,019 千円
6. 障がい者施設等通所交通費助成 72,557 千円

地域で生活する障がい者の社会参加を促進し就労意欲を高めるため、通所施設等への通所交通費を助成する。
7. 共同生活援助事業 96,261 千円

障がい者が住み慣れた地域での生活を維持するため、グループホームの利用者に対する家賃及び必要な支援を行うグループホームを運営する団体に対する運営費等を助成する。
8. 宿泊型自立訓練施設家賃助成 10,174 千円

障がい者が地域で自立した生活を送るため、宿泊型自立訓練施設に入所する利用者の家賃を助成する。

（5の事業は令和元年度9月補正で増額した事業）

民生費

事 業 名		障がい児通所給付費等事業費				
予算科目		款 4 項 1 目 2 細目 13 説明 02			子ども家庭課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,066,772	1,027,569	513,784			525,419
令和元年度	1,779,429	883,944	441,972			453,513
対前年度	287,343	143,625	71,812			71,906
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい児施設措置費負担金				1,027,569
	(県支出金)	障がい児施設措置費負担金				513,784

【事業概要】

障がい児やその家族の身体的・精神的負担を軽減し、障がい児の福祉の向上を図るため、それぞれの障がい特性に応じた支援を行う。

- 障がい児通所支援等 2,055,139 千円
 - 障がい児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行う。
(児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援等)
 - 障がい児通所支援等の利用に関する相談支援を行う。(障がい児相談支援)
- 重度障がい児放課後等デイサービス受入れ推進事業 11,088 千円

障がい児の福祉の増進とその家族の支援を目的として、重度の障がい児を受け入れている事業所に対し経費の助成を行う。
- 児童発達支援センター昼食代等助成事業 360 千円

法人立の児童発達支援センターにおける昼食代等の利用者負担額の一部を助成する。
- その他事務経費 185 千円

(この事業は令和元年度6月補正及び9月補正で増額した事業)

民生費

事業名	地域生活支援事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 2 細目 16 説明 01			障がい福祉課		
指針体系コード	4-1-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	多様な主体による支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	565,413	135,324	79,925		5,868	344,296
令和元年度	605,393	144,786	86,985		7,914	365,708
対前年度	△ 39,980	△ 9,462	△ 7,060		△ 2,046	△ 21,412
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				135,324
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				67,663
	(県支出金)	市町村障がい者福祉事業推進補助金				12,262
	(その他)	障がい福祉事業所建物賃貸料収入				5,868

＜拡充事業＞ 相談支援事業の充実

【施策等を必要とする背景】

発達障がいの相談に対応するためには専門的な知識や経験を必要とし、当事者や支援者等の相談に対し早期対応ができる体制が求められているが、年々相談件数が増加しており、相談支援専門員等相談従事者の人的不足のため必要時、直ちに相談が受けられない現状がある。

迅速な相談対応と発達障がいに関する事業所支援を行い、地域での市民・支援者に対する発達障がいの理解を促進するため、相談支援事業所リートの人員を増員し、専門相談支援事業所としての相談支援・ネットワーク構築・普及啓発事業等を効率的に実施する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

平成29年度に「ふじさわ障がい者プラン2020『きらりふじさわ』中間見直し」策定のために実施した「パブリックコメント」において、発達障がいの専門的な支援体制の強化が求められている。また、平成30年度に藤沢市障がい者総合支援協議会で実施したライフステージにおける支援課題についての調査において、発達障がい者及びその家族等への相談支援体制強化に対する要望が出ている。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

「ふじさわ障がい者プラン2020『きらりふじさわ』中間見直し」策定における「パブリックコメント」及び藤沢市障がい者総合支援協議会で協議された「ライフステージにおける支援課題についての調査」

【市の策定する計画や条例との整合性】

「ふじさわ障がい者プラン2020『きらりふじさわ』中間見直し」第6章「第5期ふじさわ障がい福祉計画」

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

- ・早期対応できる体制を整備することにより、当事者やその家族、支援者が必要なタイミングでアドバイスを受けられるようにする。
- ・地域のサービス提供事業所や相談支援事業所が発達障がいに関する知識を獲得することで専門相談につながるまでの事前アセスメントが進み、地域での対応が可能となる。
- ・地域の支援者がより発達障がいについての知識を有することで、地域における発達障がいの理解促進につながる。

2. 将来にわたる費用

本事業実施による毎年度の財政負担見込み額は次のとおり

令和3年度以降 障がい者相談支援事業（発達） 24,225千円

【事業概要】

障がい児者の自立のため、障がい者総合支援法に基づき、地域の特性や利用者の状況に応じた事業（地域生活支援事業）を実施する。

- | | |
|---|------------|
| 1. 手話通訳等の派遣・設置 | 3,834 千円 |
| 聴覚障がい者等に対し、手話通訳者又は要約筆記者の派遣及び配置を行う。 | |
| (拡) 2. 障がい者相談支援事業の実施 | 95,854 千円 |
| 障がい児者及びその家族の地域生活を支援するための相談支援事業を実施するほか、発達障がいに関する相談支援体制を強化し、関係機関のネットワーク構築を図る。 | |
| 3. 日常生活用具の給付 | 117,564 千円 |
| 重度の障がい児者に対して、日常生活を円滑に行うための用具を給付する。 | |
| 4. 移動支援事業の実施 | 140,032 千円 |
| 屋外での移動が困難な障がい児者に対して、外出のための支援を行う。 | |
| 5. 日中一時支援事業の実施 | 29,480 千円 |
| 障がい児者の日中活動の場を確保し、一時的な支援を行う。また、夕方以降の支援の場を確保することで、障がい者の日常生活の安定と介護者の負担軽減を図る。 | |
| 6. 訪問入浴事業の実施 | 53,004 千円 |
| 自宅での入浴が困難な障がい児者に対して、入浴サービスの支援を行う。 | |
| 7. 手話講習会事業等の実施 | 1,837 千円 |
| 手話講習会、要約筆記体験会を実施する。 | |
| 8. 障がい児者一時預かり事業 | 33,814 千円 |
| 緊急時に障がい児者を受け入れる一時預かり事業に対して助成を行う。 | |
| 9. 障がい者虐待防止センターの運営等 | 424 千円 |
| 障がい者虐待防止法にかかる普及啓発等を行う。 | |
| 10. 地域活動支援センターへの運営費等の助成 | 86,030 千円 |
| 11. 市外の地域活動支援センター利用に対する負担金 | 2,100 千円 |
| 12. 居室確保事業 | 1,440 千円 |
| 介護者の不在等、緊急的に宿泊を伴う支援の必要が生じた際の一時的な居室を提供する。 | |

民生費

事業名	老人措置事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 01 説明 01			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	263,408				52,884	210,524
令和元年度	278,817				53,293	225,524
対前年度	△ 15,409				△ 409	△ 15,000
特定財源の内訳	(その他)	老人措置費自己負担金				52,884

【事業概要】

65歳以上の高齢者で、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な人や、身体上又は精神上著しい障がいがあるために常時の介護を必要とし、かつやむを得ない事由により介護保険法に規定するサービスを受けることが困難な人を、養護老人ホーム（市内外3施設）及び特別養護老人ホームへの入所措置等を行う。

1. 養護老人ホームの入所措置費（扶助費） 259,465 千円
養護老人ホーム3施設 計 130 人 （入所者見込数）
（1）藤沢養護老人ホーム 75 人
（2）養護老人ホーム湘風園 53 人
（3）養護老人ホーム敬愛の園 2 人

2. やむを得ない事由による措置費（扶助費） 3,704 千円
特別養護老人ホームへの入所等

3. その他経費 239 千円
 - ・入所判定会議委員報酬 186 千円
 - ・入所調査等にかかる旅費 20 千円
 - ・消耗品費 18 千円
 - ・口座振替手数料 15 千円

民生費

式三第

事業名		老人クラブ助成費				
予算科目		款 4 項 1 目 3 細目 02 説明 01			地域包括ケアシステム推進室	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	9,047		3,102			5,945
令和元年度	8,851		3,030			5,821
対前年度	196		72			124
特定財源の内訳	(県支出金)	老人クラブ等補助金				3,102
【事業概要】 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、単位老人クラブ及び藤沢市老人クラブ連合会に対する運営費等を補助し、老人クラブの育成と充実を図るとともに、高齢者福祉大会及びスポーツ大会を開催する。 1. 単位老人クラブへの運営費補助 6,342 千円 (補助予定対象146クラブ、うち30人未満8クラブ) 2. 藤沢市老人クラブ連合会への運営費及び事業費補助 1,830 千円 3. 高齢者福祉大会の開催 562 千円 藤沢市老人クラブ連合会への委託により、高齢者福祉大会を開催し、講演会や各単位老人クラブへの表彰等を行い、高齢者間の交流を図る。 4. 高齢者スポーツ大会の開催 313 千円 藤沢市老人クラブ連合会への委託により、高齢者スポーツ大会を開催し、高齢者の健康増進や介護予防を図るとともに、地域の高齢者間の交流を図る。						

民生費

事業名	敬老事業費 (前年度事業名：敬老会事業費)					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 03 説明 01	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	14,423					14,423
令和元年度	17,044					17,044
対前年度	△ 2,621					△ 2,621
【事業概要】 敬老の日を記念して、各地区の実情にあわせた敬老事業を実施するため、各地区社会福祉協議会へ補助を行う。						
1. 敬老事業の開催 14,423 千円 (1) 消耗品費 25 千円 (2) 各地区社会福祉協議会への補助 14,398 千円						

民生費

事業名	いきいきシニアセンター業務委託費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 04 説明 01		地域包括ケアシステム推進室			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	249,050					249,050
令和元年度	242,171					242,171
対前年度	6,879					6,879

【事業概要】

高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、市内在住の60歳以上の人の生きがいと健康づくりの拠点施設として市内3カ所に設置した、いきいきシニアセンター（老人福祉センター）の管理運営等を行う。

- 指定管理者によるいきいきシニアセンター3館の管理運営 248,876 千円
 高齢者の教養の向上・健康づくり等を図る講座や、地域・多世代との交流を図るイベントの開催、健康相談等の各種事業の実施により、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、指定管理者による事業運営及び施設の維持管理を行う。
- 施設賠償責任保険の加入 65 千円
- AEDの設置 109 千円

民生費

事業名	いきいきシニアセンター施設整備費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 04 説明 02		地域包括ケアシステム推進室			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	55,666		8,705	15,200		31,761
令和元年度	152,874		0	134,900		17,974
対前年度	△ 97,208		8,705	△ 119,700		13,787
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				8,705
	(地方債)	社会福祉施設整備事業債				15,200

【事業概要】

高齢者の生きがいと健康づくりの拠点施設として、市内3カ所に設置したいいきいきシニアセンター（老人福祉センター）について、利用者の安全性を確保し、快適に利用できるよう、設備の維持管理を行う。

1. いきいきシニアセンター3館の施設修繕 7,103 千円
 施設の老朽化等に伴う修繕を計画的に行い、利用者の安全性の確保と快適性の維持を図る。
2. いきいきシニアセンターの設備更新等 40,115 千円
 - (1) 湘南なぎさ荘
 - ア エレベーターリニューアル工事 26,224 千円
 部品供給期限が経過し、故障したときに部品交換ができないため、更新工事を行う。
 - イ デイサービスで使用するコールドテーブルの更新 1,740 千円
 - (2) こぶし荘
 - ア 第3駐車場の土地の賃借 1,176 千円
 近隣の土地を第3駐車場として賃借し、駐車台数を確保する。
 - イ チラー台数制御ユニット及び電磁流量計更新工事 4,576 千円
 老朽化により機器一式の交換工事を行う。
 - ウ 加圧給水装置更新工事 4,554 千円
 老朽化により機器一式の交換工事を行う。
 - エ デイサービスで使用する食器洗浄機の更新 1,845 千円
3. やすらぎ荘斜面地対策工事に伴う委託 8,448 千円
 - ・復元測量委託 1,738 千円
 - ・建物等事後調査委託 6,710 千円

民生費

事業名	湘南すまいるバス運行事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 04 説明 03	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	40,628					40,628
令和元年度	39,177					39,177
対前年度	1,451					1,451
【事業概要】 いきいきシニアセンター（老人福祉センター）3館それぞれから、交通の不便な地域を中心に、無料の巡回送迎バスを運行することにより、高齢者の外出を支援し、介護予防を推進する。 1. 湘南すまいるバスの運行（委託料） 40,626 千円 （1）運行ルート ア やすらぎ号 「亀井野・白旗」、「大庭・遠藤」ルート イ 湘南なぎさ号 「鶴沼神明・辻堂」、「村岡・片瀬」ルート ウ こぶし号 「湘南台・六会」、「御所見」、「上谷台」ルート （2）運行数 各ルート 3便／1日（午前・昼・午後） （3）運行日数 305日（いきいきシニアセンターの開所日数） （4）運行バス マイクロバス3台 2. 湘南すまいるバス運行事業事務経費 2 千円 時刻表、停車場所の表示等（消耗品費）						

民生費

事業名	養護老人ホーム湘風園施設整備助成費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 05 説明 02	地域包括ケアシステム推進室				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	5,382					5,382
令和元年度	4,165					4,165
対前年度	1,217					1,217
【事業概要】 藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の2市1町で設立した社会福祉法人湘南広域社会福祉協会が運営する養護老人ホーム「湘風園」（定員100人）の施設整備事業等を実施する。 1. 施設整備費等負担金の交付 5,382 千円 入所者が安全・安心に快適な生活を送ることができるように、老朽化が進んだ施設の修繕のため、施設整備費負担金を交付する。 2市1町の負担割合は、藤沢市60%、茅ヶ崎市34%、寒川町6% ・新館1階トイレ改修工事 5,382 千円						

民生費

事業名	要援護高齢者福祉タクシー助成事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 06 説明 01		福祉医療給付課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,248					1,248
令和元年度	1,521					1,521
対前年度	△ 273					△ 273
【事業概要】 ねたきり高齢者が通院などで福祉タクシー（リフト付キャブ）を利用する際にかかる費用について、福祉タクシー利用券を交付し経済的負担の軽減を図る。 1. 福祉タクシー利用券（距離制運賃） 1人当たり 月3,600円分を交付 1,248 千円 ・扶助費 1,152 千円 ・その他諸経費 96 千円						

民生費

事業名	寝具乾燥消毒事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 06 説明 03		地域包括ケアシステム推進室			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,810					1,810
令和元年度	2,155					2,155
対前年度	△ 345					△ 345
【事業概要】 在宅高齢者等の身体的負担の軽減及び衛生的な生活の維持を図るため、寝具の丸洗い乾燥消毒サービスの提供を行う。 1. 寝具乾燥消毒事業（委託） 1,810 千円 （1）対象者 65歳以上で介護保険の要支援・要介護認定を受けている人 （2）実施回数 市民税非課税世帯に属する人は年8回 市民税課税世帯に属する人は年4回						

民生費

事業名		紙おむつ支給事業費				
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 06 説明 05			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	32,744					32,744
令和元年度	30,445					30,445
対前年度	2,299					2,299
【事業概要】 在宅高齢者及びその介護者等の経済的・精神的負担の軽減を図るため、ねたきりや認知症等により、常時紙おむつを必要とする人に、毎月紙おむつを支給する。 1. 紙おむつ支給事業（委託） 32,744 千円 （対象者） ・ 要介護4又は要介護5に認定されている40歳以上の在宅高齢者等で、本人の年間所得が400万円未満の人 ・ 要支援1から要介護3に認定されている65歳以上の在宅高齢者等で、市民税非課税世帯に属する人						

民生費

事 業 名		緊急通報システム事業費				
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 07 説明 01			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	76,661					76,661
令和元年度	62,982					62,982
対前年度	13,679					13,679
【事業概要】 65歳以上の高齢者の安全を図るため、慢性疾患等により日常生活上注意を要する状態にあるひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯等の人を対象に、緊急通報装置を貸与し、緊急時の対応及び日常の相談を受け不安を解消するとともに、定期的な安否確認を行う。 1. 緊急通報システム事業業務委託 19,025 千円 サービス利用に係る調整、緊急通報装置及び保守物品の購入、市内9カ所の社会福祉法人に設置されている受信センター機器の賃借等を行う。 2. 緊急通報システム事業通報装置設置等業務委託 1,979 千円 利用者宅へ訪問し、緊急通報装置の設置、回収、転居時のデータ変更、電池交換等を行う。 3. 緊急通報システム事業受信センター運營業務委託 55,657 千円 (1) 市内9カ所の社会福祉法人に受信センター機能を委託し、福祉の専門職員が緊急時の対応を行うとともに、利用者の生活上の不安解消のための相談・訪問等を行う。なお、各社会福祉法人が担当している利用者全員の民間事業所への移行が完了した時点で、業務委託を終了する。 29,951 千円 (新) (2) 民間事業所に受信センター機能を委託し、新規利用者や機器の切り替えが完了した従前からの利用者の緊急時の対応を行うとともに、利用者の生活上の不安解消のための相談を行う。 25,706 千円						

民生費

事業名	高齢者いきいき交流事業費					
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 16 説明 01			福祉医療給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	223,205				10,396	212,809
令和元年度	205,295				9,775	195,520
対前年度	17,910				621	17,289
特定財源の内訳	(その他)	後期高齢者医療制度事業補助金				10,396

【事業概要】

市内在住の７０歳以上の人を対象に、健康増進や介護予防、外出機会の創出を目的として、指定はり・きゅう・マッサージ治療院、公衆浴場、いきいきシニアセンター（老人福祉センター）浴室・マッサージ室、公設スポーツ施設、保健医療センタートレーニング室で利用できる助成券を交付する。

助成券は１枚１００円で、１カ月当たり１０枚、年間１２０枚を上限にして、申請のあった月から交付する。

１．高齢者いきいき交流事業の実施	223,205 千円
（１）施設利用助成（扶助費）	200,621 千円
（２）助成券封入封緘等委託料	12,425 千円
（３）指定はり・きゅう・マッサージ治療院手数料	9,550 千円
（４）その他事務経費（消耗品費、印刷製本費等）	609 千円

<利用可能施設>（令和２年１月１日現在）

- ・指定はり・きゅう・マッサージ治療院 １５６カ所
- ・市内公衆浴場（栄湯湘南館・富士見湯・不動湯） ３カ所
- ・いきいきシニアセンター（浴室・マッサージ室） ３カ所
（やすらぎ荘・湘南なぎさ荘・こぶし荘）
- ・市内公設スポーツ施設 ４カ所
（鵜沼（八部）運動施設・秋葉台運動施設・秩父宮記念体育館・石名坂温水プール）
- ・保健医療センター（トレーニング室）

民生費

事 業 名		老人福祉施設建設助成費				
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 17 説明 01			介護保険課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	184,315		14,315	136,000		34,000
令和元年度	31,695		1,695	24,000		6,000
対前年度	152,620		12,620	112,000		28,000
特定財源の内訳	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金（介護分）事業費補助金				14,315
	(地方債)	社会福祉施設整備事業債				136,000

【事業概要】

特別養護老人ホームは、在宅生活が困難な重度の要介護高齢者を支えるセーフティネットとしての機能を果たす施設であり、「いきいき長寿プランふじさわ2020」に位置づけた整備計画に基づき、社会福祉法人が整備する施設の建設経費の一部を助成する。また、施設内保育施設にかかる整備経費の一部を助成する。

1. 特別養護老人ホーム整備に対する助成 184,315 千円

(令和元年度～令和2年度整備計画の最終年度)

- (1) 対象事業者 社会福祉法人 藤心会
- (2) 整備予定地 藤沢市遠藤869-4
- (3) 整備床数 入所定員100人
- (4) 開設予定 令和3年4月
- (5) 補助金内訳

区 分	補助単価	整備数	進捗率	補助額
本体建設費補助	2,000千円 (定員1人当たり)	100人	85%	170,000千円
施設内保育施設建設費補助	11,900千円 (1施設当たり)	1施設	85%	10,115千円
施設内保育施設開設準備経費補助	4,200千円 (1施設当たり)	1施設	100%	4,200千円
合 計				184,315千円

民生費

式三六

事業名		いきいきシニアライフ応援事業費				
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 18 説明 01			地域包括ケアシステム推進室		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,781					1,781
令和元年度	1,825					1,825
対前年度	△ 44					△ 44

【事業概要】

シニア世代が「生きがい」を感じるとともに、地域に貢献し、いきいきと充実したシニアライフを送ることができるように、シニア世代に特化した地域活動等の情報を提供し、シニア世代が地域活動等に気軽に参加できるようなきっかけづくりを行う。

1. いきいきシニアライフ応援事業費負担金

1,781 千円

(1) 「地域活動見本市」の開催

地域で活動する市民活動団体が、活動内容の展示や説明を行い、シニア世代が地域活動に関する情報を収集する機会を提供し、地域活動に気軽に参加できるようなきっかけづくりを行う。

(2) シニア世代向け情報サイトの運営

(3) シニア世代向け情報誌の発行

民生費

事 業 名		敬老祝金事業費				
予算科目	款 4 項 1 目 3 細目 19 説明 01			福祉医療給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	12,038					12,038
令和元年度	11,073					11,073
対前年度	965					965
【事業概要】 多年にわたり、社会の発展に尽くしてきた高齢者に対し、敬愛の意を表し、長寿を祝う。 1. 敬老祝金の贈呈 7,405 千円 高齢者に対し敬愛の意を表し、その長寿を祝い、敬老祝金を贈呈する。 ・祝金90歳 5,000円（対象者数 1,473人） 7,365 千円 ・その他経費（消耗品費、保険料） 40 千円 2. 100歳訪問 4,633 千円 100歳になる人の誕生月に市長の訪問による祝金品の贈呈を行う。 ・祝金100歳 20,000円（対象者数 141人） 2,820 千円 ・その他経費（色紙、記念写真、花束等） 1,813 千円						

民生費

事業名		地域密着型サービス整備助成費				
予算科目		款 4 項 1 目 3 細目 21 説明 01			介護保険課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	48,702		48,702			
令和元年度	36,800		36,800			
対前年度	11,902		11,902			
特定財源の内訳		(県支出金)	地域医療介護総合確保基金（介護分）事業費補助金			48,702

【事業概要】

地域密着型サービスは、藤沢型地域包括ケアシステムを深化していく上での核となる高齢者向けサービスであり、「いきいき長寿プランふじさわ2020」に位置づけた整備計画に基づき、整備を担う事業者に対し、施設の整備及び開設準備に要する経費の一部を助成する。

1. 看護小規模多機能型居宅介護事業所 41,151 千円

- (1) 対象事業者 株式会社キャリアドライブ
- (2) 整備予定地 藤沢市高倉570-1
- (3) 定員 登録定員29人、宿泊定員9人
- (4) 開設予定 令和3年3月
- (5) 補助金内訳

区分	補助単価	整備数	補助額
施設整備費補助	33,600千円 (1施設当たり)	1施設	33,600千円
開設準備経費補助	839千円 (宿泊定員1人当たり)	9人	7,551千円
合 計			41,151千円

2. 小規模多機能型居宅介護事業所 7,551 千円

- (1) 対象事業者 株式会社リフシア
- (2) 整備予定地 藤沢市藤が岡2-3-1 他
(仮称) 藤沢市藤が岡二丁目地区複合施設内
- (3) 定員 登録定員29人、宿泊定員9人
- (4) 開設予定 令和3年4月
- (5) 補助金内訳

区分	補助単価	整備数	補助額
開設準備経費補助	839千円 (宿泊定員1人当たり)	9人	7,551千円
合 計			7,551千円

(この事業は令和元年度9月補正で増額した事業)

民生費

事業名		地域子育て支援センター事業費				
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 02 説明 01			子育て企画課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	22,218	2,901	2,901			16,416
令和元年度	62,625	11,321	11,321			39,983
対前年度	△ 40,407	△ 8,420	△ 8,420			△ 23,567
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				2,901
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				2,901

【事業概要】

地域の中で安心して子育てができる支援体制の充実を図るため、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として、子育て支援センターを運営し、子育てひろばの開催や子育て支援に関する講習などを実施する。また、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を目的に、子育て家庭や妊産婦の個々のニーズに合った情報の提供や相談・援助などを行う。

- | | |
|--|-----------|
| 1. 子育て支援センターの運営 | 22,218 千円 |
| ・ 藤沢子育て支援センター業務委託料等 | 10,767 千円 |
| ・ 辻堂子育て支援センター施設賃借料等 | 8,014 千円 |
| ・ アドバイザー交通費、消耗品費、電話料、
辻堂子育て支援センター共益費等負担金 ほか | 3,437 千円 |

名 称	場 所
藤沢子育て支援センター	藤沢保育園内
湘南台子育て支援センター	湘南台文化センター内
辻堂子育て支援センター	辻堂神台1-3-39 タカギビル2F
六会子育て支援センター	六会市民センター内

＜実施事業の内容＞

- ・ 子育てに関わる方の交流場所の提供と交流促進のための「子育てひろば」の開催
- ・ 子育ての不安、悩みについての「個別相談」の実施
- ・ 子育てに役立つ情報の収集・提供
- ・ 子育て支援に関する講習等の実施
- ・ 産前・産後サポート事業等の実施

民生費

事業名	つどいの広場事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 02 説明 02	子育て企画課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	19,840	7,363	7,363			5,114
令和元年度	18,234	7,182	7,182			3,870
対前年度	1,606	181	181			1,244
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				7,363
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				7,363

【事業概要】

地域の中で安心して子育てができる支援体制の充実を図るため、親子同士の交流や子育てアドバイザーによる相談等を行う「つどいの広場」を運営する。

1. 「つどいの広場」の運営

18,643 千円

名 称	場 所	子育てアドバイザー人数	開催予定日数
鶴沼つどいの広場	鶴沼公民館内	3人	週3日
善行つどいの広場	善行1-26-6	3人	週6日
藤が岡つどいの広場	藤が岡1-12	3人	週3日
中里つどいの広場	中里子どもの家内	3人	週3日

＜実施事業の内容＞

- ・気軽に集い、語り合うなど、相互に交流を図ることができる場の提供
- ・子育ての不安や悩みに対する相談等の実施
- ・子育てに役立つ情報の提供
- ・子育て支援に関する講習の実施

2. 「藤沢版つどいの広場」事業

270 千円

地域において、「つどいの広場」に準ずる活動を実施している団体等に支援を行う。

名 称	活 動 場 所	開催予定回数
かたせ・にこにこ広場	片瀬市民センター	月3回
フリースペース“にこにこ”	明治市民センター	月9回
遠藤子育てさろんのびのび広場	遠藤市民センター	月1回
子育てひろばタンポポ	長後市民センター	月3回
大庭子育てさろんびよびよ広場	湘南大庭市民センター	月1回
子育てプレールーム	藤沢公民館	月1回
むらっこひろば	村岡公民館	月2回

3. つどいの広場事業事務経費

927 千円

消耗品費、電話料、傷害保険料等

民生費

事業名	ファミリー・サポート・センター事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 02 説明 05	子ども家庭課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	20,383	6,794	6,794			6,795
令和元年度	17,922	5,974	5,974			5,974
対前年度	2,461	820	820			821
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				6,794
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				6,794

【事業概要】

安心して子育てができるよう、0歳児から小学校6年生までの子どもがいる家庭を対象として、地域の人たちによる会員相互援助組織「藤沢市ファミリー・サポート・センター」を運営し、保護者の仕事と育児の両立等を支援する。

1. ファミリー・サポート・センター事業の運営 20,383 千円

＜主な活動内容＞

- ・ 保育所、幼稚園、小学校及び放課後児童クラブの開始前、終了後の子どもの預かり
- ・ 保育所等への子どもの送迎
- ・ 保護者の急用時等の子どもの預かり
- ・ 発熱等の病児・病後児の預かり
- ・ 保護者の出張等による、宿泊を伴う子どもの預かり

民生費

事業名	児童扶養手当費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 04 説明 01	子育て給付課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,230,760	410,253				820,507
令和元年度	1,532,489	510,830				1,021,659
対前年度	△ 301,729	△ 100,577				△ 201,152
特定財源の内訳	(国庫支出金)	児童扶養手当負担金				410,253

【事業概要】

父又は母と生計を同じくしていない児童を育成している家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、児童の福祉の増進を図るため、児童を監護する母、父又は養育者を対象に児童扶養手当を支給する。

1. 児童扶養手当 1,230,760 千円

(1) 支給対象児童

- ・ 18歳に達した日以降の最初の3月31日までの間にある者
- ・ 20歳未満で政令で定める程度の障がいの状態にある者

(2) 手当額

- ・ 全部支給 月額 42,910円
- ・ 一部支給 月額 42,900円～10,120円
- ・ 子の加算分（2人目）
 - 全部支給 月額 10,140円
 - 一部支給 月額 10,130円～ 5,070円
- ・ 子の加算分（3人目以降）
 - 全部支給 月額 6,080円
 - 一部支給 月額 6,070円～ 3,040円

※一部支給は所得によって支給額が異なる。

民生費

事業名		小児医療助成費				
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 05 説明 01			子育て給付課		
指針体系コード	3-2-51	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,819,803		238,848		136	1,580,819
令和元年度	1,796,455		233,910		139	1,562,406
対前年度	23,348		4,938		△ 3	18,413
特定財源の内訳	(県支出金)	小児医療費助成事業費補助金				238,773
	(県支出金)	小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付事業費補助金				75
	(その他)	高額療養費還付金				111
	(その他)	第三者行為損害賠償金				25

【事業概要】

小児の健康増進と子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、中学校3年生までの児童の入通院に係る医療費を助成する。なお、中学生についてのみ児童手当と同基準の所得制限を設ける。
また、小児慢性特定疾病児童に対し、日常生活用具を給付する。

- 医療費助成（扶助費） 1,760,905 千円
対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。
未就学児分 840,327千円 受診件数見込み 485,618件
小学生分 741,428千円 受診件数見込み 342,501件
中学生分 179,150千円 受診件数見込み 64,505件
- 審査支払手数料 56,164 千円
小児医療証取扱分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金への審査支払手数料
件数見込み 887,832件
- 小児医療助成費事業事務経費 2,584 千円
旅費、需用費、委託料、賃借料
- 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付 150 千円
件数見込み 2件

民生費

事業名	母子家庭等自立支援給付金事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 02	子育て給付課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	30,947	23,060				7,887
令和元年度	31,840	23,730				8,110
対前年度	△ 893	△ 670				△ 223
特定財源の内訳	(国庫支出金)	母子家庭等対策総合支援事業費補助金				23,060

【事業概要】

児童扶養手当受給者及び同水準の所得にあるひとり親家庭の親に対し、生活の安定と自立の促進を図るため、高等職業訓練促進給付金及び修了支援給付金並びに自立支援教育訓練給付金を支給する。

また、ひとり親家庭の親及び子が、高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講した場合、高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金を支給する。

1. 高等職業訓練促進給付金 28,824 千円
 看護師や介護福祉士及び保育士等の資格を取得するために1年以上養成機関で修業する場合、その修業期間中の経済的負担を軽減するため給付金を支給する。
 ・ 市民税非課税世帯 月額 100,000円（最後の12カ月は月額140,000円）
 ・ 市民税課税世帯 月額 70,500円（最後の12カ月は月額110,500円）
2. 高等職業訓練修了支援給付金 375 千円
 養成機関への入学時の経済的負担を軽減するため、養成機関の修業が修了した際に修了支援給付金を支給する。
 ・ 市民税非課税世帯 50,000円
 ・ 市民税課税世帯 25,000円
3. 自立支援教育訓練給付金 1,248 千円
 厚生労働省指定の教育訓練講座を受講した場合、受講料の一部を支給する。（上限あり）
 ・ 雇用保険給付の受給無資格者 受講料の60％
 ・ 雇用保険給付の受給資格者 受講料の40％
 雇用保険給付の受給資格者には、別途ハローワークから受講料の20％の補助あり
4. 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金 500 千円
 高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講した場合、修了時と認定試験合格時に受講料の一部を支給する。（上限あり）

	国の制度による 補助対象分	市単独補助分	補助合計
受講修了時	受講料の40％	受講料の20％	受講料の60％
試験合格時	受講料の20％	受講料の20％	受講料の40％

民生費

事業名		ひとり親家庭等医療助成費				
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 03			子育て給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	209,931		96,731		30	113,170
令和元年度	210,176		96,540		30	113,606
対前年度	△ 245		191		0	△ 436
特定財源の内訳	(県支出金)	ひとり親家庭等医療費助成事業費補助金				96,731
	(その他)	高額療養費還付金				5
	(その他)	第三者行為損害賠償金				25

【事業概要】

18歳まで（一部20歳未満）の児童を養育しているひとり親家庭等に対し、経済的負担を軽減するため、入通院に係る医療費を助成する。

- 医療費助成（扶助費） 204,561 千円
対象者の保険診療に係る医療費の自己負担分を助成する。
受診件数見込み 80,379件
- 審査支払手数料 5,322 千円
ひとり親家庭等福祉医療証取扱い分に係る神奈川県国民健康保険団体連合会及び社会保険診療報酬支払基金への審査支払手数料
件数見込み 78,975件
- ひとり親家庭等医療助成費事業事務経費 48 千円
福祉医療証の印刷製本費

民生費

事業名		養育者支援金事業費				
予算科目	款 4 項 2 目 1 細目 06 説明 04			子育て給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	3,727					3,727
令和元年度	4,614					4,614
対前年度	△ 887					△ 887

【事業概要】

公的年金等との併給調整により児童扶養手当の全部又は一部が支給対象とならない養育者に対し、公的年金等を含む所得に応じて児童扶養手当相当額（児童扶養手当として支給される部分を除く）を養育者支援金として支給する。

1. 扶助費

養育者支援金の支給 3,727 千円

対象者数見込み

・継続受給者	4 人	2,182 千円
・新規受給者	3 人	1,545 千円

民生費

事業名	法人立保育所運営費等助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 05	保育課				
指針体系コード	3-2-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,338,992	168,470	135,442		90,480	1,944,600
令和元年度	2,021,550	124,793	131,822		89,659	1,675,276
対前年度	317,442	43,677	3,620		821	269,324
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				81,578
	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				86,892
	(県支出金)	民間保育所特別経常費補助金				14,131
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				81,578
	(県支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				12,642
	(県支出金)	保育緊急対策事業費補助金				19,696
	(県支出金)	保育エキスパート等研修代替保育士雇用費補助金				4,845
	(県支出金)	短時間保育士雇上事業費補助金				2,550
	(その他)	法人立保育所建物賃料収入				90,284
	(その他)	法人立保育所用地賃料収入				196

＜拡充事業＞ 保育士人材確保策の強化（就職支援補助金の新設、奨学金返済補助金及び宿舍借り上げ支援事業補助金の対象拡大）

【施策等を必要とする背景】

現在、本市では待機児童が生じていることから、藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）に基づき、保育所の新設整備や既存保育施設の定員拡大等の取組を進めている。しかしながら、待機児童の解消を図るためには、施設整備等による受け皿の確保だけでなく、そこで働く保育士の確保が不可欠であることから、これらを待機児童対策の両輪として取組を進めている。

近年、全国的に保育士不足が顕著となる中、本市においても保育士不足により平成31年4月の保育施設入所選考において83人の児童の受け入れに影響が生じており、保育士確保に向けた取組が急務となっている。

【提案に至るまでの経緯】

平成28年 1月 保育のしごと相談会の開始
 平成28年 4月 保育士等確保事業補助金を新設
 平成29年 4月 保育士宿舍借り上げ支援事業補助金を新設
 平成30年 9月 保育士確保のための県外保育士養成校訪問事業の開始
 平成30年10月 現在、保育に従事していない保育士資格保有者（潜在保育士）の復職に向けた、公立保育所での保育体験事業を実施
 平成31年 4月 保育士奨学金返済補助金及び潜在保育士保育体験費用補助金を新設、保育士宿舍借り上げ支援事業補助金の補助対象者数を拡大
 令和 元年 8月 保育士募集案内用リーフレットの作成・配布

これまで保育士の安定確保に向けて様々な事業を実施してきたが、依然として保育士不足の状況が続いていることから、保育所で働く現役保育士や関係団体の意見等を踏まえ、新たな支援事業の実施や既存事業の対象拡大等について検討を進めた。

【市の策定する計画や条例との整合性】

藤沢市保育所整備計画（ガイドライン）＜令和2年度～令和6年度＞（案）

【将来にわたる効果及び費用】

- 将来にわたる効果
 保育士が安定的に確保されることにより、施設整備等による保育の受け皿確保と相まって、待機児童の解消が図られるとともに、保育の質の確保とその向上につながる。
- 将来にわたる費用
 事業の拡充に要する費用については、待機児童数の動向に応じて継続的な支出が必要となる。

【事業概要】

法人立認可保育所の保育内容の向上及び施設運営の安定を図るため、認可保育所設置者に対し、保育所の運営費等を助成する。併せて、特別保育や保育士確保に向けた各種補助事業等を実施する。

1. 法人立保育所運営等業務委託等 1,890,795 千円
市内法人立認可保育所に対する人件費及び安定した施設運営を図るための管理費のほか、一時預かりや病児・病後児保育、年度限定保育などの特別保育の実施に要する経費等
2. 保育士確保に向けた事業 84,736 千円
＜保育士への支援事業＞
 - (新) ・保育士就職支援補助金 1,350 千円
本市の認可保育施設への就職を希望する県外在住の保育士が、市内の法人立認可保育所等に面接等で来所する際に要する交通費（上限 5 万円）及び就職に至った場合の引っ越し費用等（上限 10 万円）を補助する。
 - (拡) ・保育士奨学金返済補助金 6,075 千円
奨学金制度を利用して保育士資格を取得し、市内の法人立認可保育所等に就職した保育士に対し、奨学金の返済に要した費用の 1/2（上限 20 万円）を 3 年間補助する。令和 2 年度から補助対象者を新卒者のみから採用後 5 年目の職員まで拡大する。
 - ・潜在保育士保育体験費用補助金 50 千円
市内保育施設への復職を希望する潜在保育士に対し、公立保育所での保育体験に要する交通費及び検査費を補助する。＜保育所等への支援事業＞
 - (拡) ・保育士宿舍借り上げ支援事業補助金 51,660 千円
保育士のための宿舍借り上げを行う市内の法人立認可保育所等に対し、当該費用の 3/4（月額上限 61,500 円）を雇用開始後 10 年間補助する。令和 2 年度から対象となる宿舍の所在地要件を拡大するとともに、1 施設当たりの補助対象者数を 3 人から 5 人へ拡大、また補助対象施設を法人立認可保育所のみから小規模保育事業所まで拡大する。
 - ・保育士等確保事業補助金 25,003 千円
市内で認可保育所を設置運営する法人に対し、保育士等の人材確保を図るために要した広告経費、出張旅費及び人材派遣手数料の一部を補助する。＜その他の事業＞
 - ・保育士募集案内用リーフレット及びチラシの作成等 598 千円
3. 法人立保育所特別経常費補助金 54,822 千円
施設及び設備整備のために資金を借り入れた法人に対し、償還元金の一部を補助する。
4. 法人立保育所の設置運営に係る経費の補助 176,875 千円
土地や建物を賃借して認可保育所を設置する法人に対し、その経費の一部を補助する。
 - ・社会福祉法人立保育所用地賃借料補助金 14,285 千円
 - ・分園設置運営補助金 10,000 千円
 - ・保育所建物設置賃借料補助金 152,590 千円
5. 認可保育所事務負担軽減補助金 16,498 千円
6. 湘南 C－X 内保育所建物賃借料、その他保育所土地賃借料等 103,422 千円
7. 市外法人立認可保育所等に在園する本市在住児童への法外扶助費 8,912 千円
8. その他法人立認可保育所の運営等に係る事務経費等 2,932 千円

（この事業は令和元年度 9 月補正で増額した事業）

民生費

事業名		藤沢型認定保育施設保育料助成費				
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 06		保育課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	11,220					11,220
令和元年度	13,878					13,878
対前年度	△ 2,658					△ 2,658

【事業概要】

市が定める基準を満たして認定を受けた藤沢型認定保育施設を利用する世帯の経済的な負担軽減を図るため、所得状況に応じて保育料の軽減を行った施設の設置者に対し、その軽減に係る費用を補助する。

1. 藤沢型認定保育施設保育料補助金 11,155 千円

補助対象要件に該当する児童の保育料軽減に係る費用を世帯の所得状況の区分に応じて補助する。

・補助対象要件

施設の利用児童のうち、保育を必要とし、施設等利用給付認定を受けていない2歳以下の児童で、各月初日に在籍（月極契約）していること

・補助単価等（利用児童1人・1月あたり）

区 分（世帯の所得状況）			補助月額
市町村民税	60,700円未満		15,000円
	60,700円以上	148,200円未満	10,000円
	148,200円以上	196,000円未満	5,000円
所得割課税世帯	196,000円以上	249,000円未満	2,000円
	249,000円以上		0円

※非課税世帯は、幼児教育・保育の無償化における施設等利用給付認定に該当するため、本補助金の対象外

2. 藤沢型認定保育施設保育料補助事務謝礼（報償費） 65 千円

民生費

事業名		藤沢型認定保育施設補助事業費				
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 07			保育課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	67,581		8			67,573
令和元年度	63,848		386			63,462
対前年度	3,733		△ 378			4,111
特定財源の内訳	(県支出金)	届出保育施設助成費補助金				8

【事業概要】

藤沢型認定保育施設の安定的な運営を支援し、保育環境の充実と質の向上を図るため、施設の設置者に対し、運営費を補助する。

また、市内私設保育施設（認可外保育施設）の適切な安全・衛生環境を確保するため、施設の設置者に対し、入所児童の健康診断等に要する経費の一部を補助する。

(拡) 1. 藤沢型認定保育施設運営費補助金 67,563 千円

平成25年度から市独自の制度として開始した藤沢型認定保育施設は、平成28年度に3類型に拡充し、多様な保育ニーズへの対応を図ってきたが、近年、施設数が減少傾向にある状況を踏まえ、保育の受け皿を確保するとともに、質の向上を図るため、補助基準の見直しを行う。

- ・対象施設 藤沢型認定保育施設（A型・B型・C型）

（施設数の推移）※各年度4月1日現在（令和2年度は見込）（単位：施設）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
A 型	10	9	9	5	5
B 型	1	1	1	0	2
C 型	10	6	6	6	6
計	21	16	16	11	13

- ・主な見直し内容
 - 補助単価の引上げ
 - 保育料上限額の引下げ
 - 保育従事者における有資格者割合の一部引上げ
 - 安全対策等のマニュアル整備の義務化
 - 認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書の取得

- ・補助単価（対象児童1人・1月あたり）（単位：円）

	改正前			改正後		
	A 型	B 型	C 型	A 型	B 型	C 型
0 歳	46,000	4,500	3,000	52,000	44,000	31,000
1・2 歳	32,000	2,250	1,500	33,000	28,000	20,000
3 歳	8,000	750	500	14,000	12,000	8,000
4 歳以上	8,000	450	300	12,000	10,000	7,000

- ・補助金額 施設の類型及び対象児童の年齢ごとに、（各月初日の児童数×補助単価）で積算した金額の合計

2. 届出保育施設利用者支援事業費補助金 18 千円

- ・対象施設 市内の私設保育施設（藤沢型認定保育施設・幼児教育施設を除く）
- ・対象経費 調理・調乳担当職員等の保菌検査料
- ・補助金額 対象経費に係る所要額の2/3以内

※届出保育施設とは、児童福祉法第59条の2第1項の規定により、施設の名称や所在地等について都道府県知事に届出を行った私設保育施設（認可外保育施設）を言う。

民生費

事業名	法人立保育所等施設整備助成事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 08	子育て企画課				
指針体系コード	3-2-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	288,402	177,860	16,596			93,946
令和元年度	662,933	0	411,356			251,577
対前年度	△ 374,531	177,860	△ 394,760			△ 157,631
特定財源の内訳	(国庫支出金)	保育対策総合支援事業費補助金				46,666
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				16,596
	(国庫支出金)	保育所等整備交付金				114,598
	(県支出金)	子ども・子育て支援整備交付金				16,596

【事業概要】

既存保育施設における保育環境の向上及び保育需要への対応として、法人立認可保育所等の整備及び病児保育施設の新設にかかる経費を補助する。

1. 既存保育所等の再整備 212,173千円

(1) 遠藤保育園（認可保育所） 185,923千円

築51年が経過する当該園舎について、保育環境の維持・向上を図るため、敷地内で建て替えを行う。

- ・設置運営法人 社会福祉法人 六会・遠藤福祉会
- ・所在地 遠藤2469
- ・定員 114人（建て替え後、120人に増員予定）
- ・整備期間 令和2年4月～令和3年9月（予定）

(2) 保育ルーム フロール（小規模保育事業） 26,250千円

定員拡大を図るため、近接地へ移転を行う。

- ・設置運営法人 一般社団法人 望英
- ・所在地 善行7-6-10
- ・定員 13人（移転後、19人に増員予定）
- ・整備期間 令和2年4月～9月（予定）

2. 認可保育所分園の本園化 26,250千円

第2湘南まるめろ保育園について、本園化による定員拡大を図るため、園舎の改修を行う。

- ・設置運営法人 社会福祉法人 永寿会
- ・所在地 城南1-21-17
- ・定員 60人（本園化後、108人に増員予定）
- ・整備期間 令和2年6月～9月（予定）

(新) 3. 病児保育施設の新設 49,789千円

多様な保育ニーズに対応するため、病児保育施設の整備を行う。

- ・施設名 (仮称) 病児保育室湘南
- ・実施医療機関 長後中央医院
- ・所在地 下土棚444-8
- ・定員 4人
- ・整備期間 令和2年4月～9月（予定）

4. 保育所等設置運営者選考委員会委員報酬 190千円

公募の審査選定を行う保育所等設置運営委員会の専門委員に対する報酬

（この事業は令和元年度6月補正、9月補正及び12月補正で増額した事業）

民生費

事業名		浜見保育園アスベスト対策事業費				
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 01 説明 09			保育課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	3,105					3,105
令和元年度	4,987					4,987
対前年度	△ 1,882					△ 1,882

【事業概要】

浜見保育園園児アスベスト健康被害対策として、アスベスト関連疾患検診（胸部X線写真等の撮影機会の提供・読影）及び見舞金の支給を行う。

1. アスベスト関連疾患検診の実施 1,259 千円
検診希望者のアスベスト関連疾患の兆候を発見するため、藤沢市石綿関連疾患対策委員会検診相談部会の専門医による読影を行う。
また、藤沢市石綿関連疾患対策委員会委員同席のもと、検診説明会や検診結果に対する相談会を行う。
 - (1) 対象者
 - ・昭和47年4月～昭和60年2月の在園児
 - ・平成11年4月～平成18年2月の在園児
（ただし、平成11年4月～平成16年3月は、在園期間1年以下の園児は対象外）
 - (2) 胸部X線写真取得方法
 - ・健康診断等で、すでに撮影済の写真データを市が医療機関等から取得する。
 - ・撮影済の写真が無い場合は、市が設ける撮影機会にて取得する。撮影機会参加者には、検診手当等として、一律4千円を支給する。
 - ・市が設ける撮影機会以外で、新たに撮影を行った場合は、写真データを市が医療機関等から取得する。その際の撮影費用等については、実費相当額を支給する。
2. 見舞金の支給 300 千円
アスベスト関連疾患の発症の有無にかかわらず、見舞金として1万円を支給する。
 - (1) 対象者
 - ・昭和47年4月～昭和60年2月の在園児
 - ・平成11年4月～平成18年2月の在園児
3. その他事務経費 1,546 千円

民生費

事 業 名		幼児教育振興助成費				
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 03			保育課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	140,535					140,535
令和元年度	19,340					19,340
対前年度	121,195					121,195

【事業概要】

令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化の対象とならない幼児教育施設の利用児童を対象に、経済的な負担軽減を図るための保育料補助を行うとともに、無償化に伴う市内幼稚園での事務負担の増加に対し、負担軽減に向けた補助を行う。

また、市内の幼稚園及び幼児教育施設の教育環境の充実を図るため、教材教具の購入や健康管理等に要する経費を補助する。

1. 幼児教育施設利用者への保育料補助 107,818 千円

- ・対象施設 「藤沢市幼児教育施設」として認定を受けた施設
- ・対象児童 幼児教育施設の利用児童のうち、施設等利用給付認定を受けられない児童（無償化の対象とならない児童）
- ・対象経費 利用児童の保護者が対象施設に支払う保育料
- ・補助金額 施設ごとに国が定める認可外保育施設指導監督基準の適合状況に応じて設定した補助上限月額×在籍月数（12月）

	補助上限月額	施設数	対象園児数	補助見込額
基準適合施設	25,700円	16施設	344人	106,089,600円
基準不適合施設	9,000円	2施設	16人	1,728,000円

2. 幼稚園への事務負担軽減補助 13,464 千円

- ・対象施設 市内の幼稚園（32施設）
- ・対象経費 無償化給付事務等に係る対応経費
（請求金額内訳書兼在園児名簿作成、領収書兼支援提供証明書発行、給食食材料費（副食費）免除対象者個別対応等）
- ・補助金額 園児割単価×各施設の対象園児数×在籍月数（12月）

	園児割単価	対象園児数	補助見込額
事務負担軽減補助	170円	6,600人	13,464,000円

3. 幼稚園等の教育環境の充実に係る経費の補助 19,253 千円

- ・対象施設 市内の私立幼稚園及び幼児教育施設
- ・対象経費 ①教材教具の購入費
②職員・児童の健康管理等に要する経費
- ・補助金額 各経費の園割単価＋園児割単価×各施設の対象園児数

	施設数	園割単価(上限)	対象園児数	園児割単価	補助見込額
幼稚園	32施設	① 177,000円	5,900人	1,600円	17,984,000円
		② 90,000円			
幼児教育施設	13施設	① 46,000円	200人	1,600円	1,269,000円
		② 27,000円			

（この事業は令和元年度9月補正で増額した事業）

民生費

事 業 名		幼稚園等預かり保育推進事業費				
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 04 説明 04			保育課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	37,430	4,762	4,762			27,906
令和元年度	38,913	5,689	4,918			28,306
対前年度	△ 1,483	△ 927	△ 156			△ 400
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				4,762
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				4,762

【事業概要】

保護者の多様な保育ニーズに対応するため、預かり保育を行う市内幼稚園等の設置者に対し、当該事業の実施に係る人件費を補助するとともに、施設型給付を受ける幼稚園等へ一時預かり事業を委託する。

1. 私立幼稚園預かり保育推進事業費補助金 23,141 千円
 預かり保育担当教員を配置し、次のいずれかに該当する預かり保育を実施する私学助成を受ける市内幼稚園に対し、預かり保育の実施に要する人件費を補助する。

補助対象区分	補助単価 (年額)	施設数 (見込)	補助金額 (見込)
課業日 年間を通じて継続的に平日の開園日に1日2時間以上実施	293,500円 ～ 1,360,400円	21施設	13,093,200円
長期休業日 春・夏・冬季休業日に、1日8時間以上かつ年間30日以上実施	329,600円 ～ 1,276,400円	17施設	9,980,300円
休業日 長期休業日を除く土日・祝日に1日4時間以上かつ年間35日以上実施	67,200円 ～ 981,600円	1施設	67,200円

※補助単価は、各補助対象区分の実施日数、1日平均実施時間、配置教員数に応じて決定

2. 一時預かり事業（幼稚園型） 14,289 千円
 子ども・子育て支援新制度における施設型給付を受ける幼稚園及び認定こども園へ一時預かり事業を委託する。（藤沢市在住の児童が在園する市外幼稚園等を含む）

民生費

事 業 名		子ども・子育て支援施設等利用給付費				
予算科目	款 4 項 2 目 2 細目 06 説明 01			保育課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,259,129	1,115,115	580,754			563,260
令和元年度	0	0	0			0
対前年度	2,259,129	1,115,115	580,754			563,260
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子育てのための施設等利用給付交付金				1,103,855
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				11,260
	(県支出金)	子育てのための施設等利用給付県費負担金				551,927
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				11,260
	(県支出金)	子ども・子育て支援事業費補助金				17,567

【事業概要】

子どもたちに幼児教育の機会を保障するとともに、子育て世代の経済的な負担軽減を図るため、令和元年10月から実施された幼児教育・保育の無償化に伴う給付費として、幼稚園や私設保育施設（認可外保育施設）等の利用に係る費用の給付及び補助を行う。

- 幼稚園・私設保育施設等の利用に係る給付費 2,207,778 千円
 - 対象者等 対象施設等を利用する3歳児から5歳児までの児童、及び0歳児から2歳児までの住民税非課税世帯の児童
 - 対象施設等及び上限額

対象施設等	上限額(月額)
私学助成を受ける幼稚園	25,700円
幼稚園の預かり保育事業	(3～5歳児) 11,300円
	(0～2歳児) 16,300円
私設保育施設（認可外保育施設） 一時預かり事業、病児保育事業 ファミリー・サポート・センター事業 ※複数施設等の併用が可能	(3～5歳児) 37,000円
	(0～2歳児) 42,000円

- 副食費に係る補足給付事業 33,783 千円

私学助成を受ける幼稚園を利用する児童の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補足給付事業により、給食食材料費（副食費）に係る費用を補助する。

 - 対象者 私学助成を受ける幼稚園を利用する年収360万円未満相当世帯の児童、又は第3子以降の児童
 - 補助月額 1食あたり副食費相当額×提供日数（上限4,500円）
- 無償化に伴う給付・認定作業に係る業務委託 12,799 千円
 - 対象児童の給付管理に係るシステム改修 6,799 千円
 - 対象児童の認定・給付に係るデータ入力作業 6,000 千円
- 無償化の実施に係る事務費 4,769 千円

消耗品費、印刷製本費、通信運搬費

（この事業は令和元年度9月補正で増額した事業）

民生費

事業名	少年の森整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 03 説明 02	青少年課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	3,864					3,864
令和元年度	46,683					46,683
対前年度	△ 42,819					△ 42,819
【事業概要】 青少年の健全育成のための野外活動施設である少年の森の利用者が、安全で快適に過ごせるよう施設の整備を行う。 1. 施設修繕 3,864 千円 (1) 園路土留め修繕 (2) 正面入口スロープ設置修繕 (3) 学習水田西側水路土留め及び北側橋土留め修繕 (4) みどりの泉東側外柵修繕						

民生費

事業名

地域子どもの家等整備事業費

予算科目

款 4 項 2 目 3 細目 04 説明 02

青少年課

指針体系コード

まちづくりテーマ

重点施策名

区 分

事業費

国庫支出金

県支出金

地方債

その他

一般財源

令和 2 年度

22, 391

15, 900

6, 491

令和元年度

0

0

0

対前年度

22, 391

15, 900

6, 491

特定財源の内訳

(地方債)

地域子どもの家等整備事業債

15, 900

【事業概要】

地域における子どもたちの安全・安心な居場所や健全育成の場として、地域子どもの家等の設備環境の整備を行う。

1. 藤が岡二丁目地区整備事業における（仮称）大道子どもの家開設準備経費

2, 393 千円

(1) 見守る人謝礼

(2) 運営委員会会議費用等

(3) 固定電話設置費用

(4) 見守る人ボランティア保険

(5) 備品等

2. 鵜洋児童館空調機更新工事

19, 998 千円

民生費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団青少年事業関係費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 05 説明 01		青少年課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	330,633		400		858	329,375
令和元年度	328,809		400		706	327,703
対前年度	1,824		0		152	1,672
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				400
	(その他)	青少年会館使用料				858

【事業概要】

青少年の健全育成を目的として、地域における青少年及び青少年団体の活動の場と機会を提供するため、(公財) 藤沢市みらい創造財団へ事業を委託し、青少年施設の管理運営と青少年健全育成事業等を行う。

1. 青少年施設の管理運営及び青少年健全育成事業 316,568 千円
 - (1) 青少年会館管理運営業務(指定管理)
 - (2) 少年の森管理運営業務(指定管理)
 - (3) 地域子どもの家管理運営業務(指定管理)
 - (4) 児童館管理運営業務(指定管理)
 - (5) S L 広場管理運営業務委託
 - (6) 青少年事業業務委託
 - ・成人式
 - ・親子ふれあいコンサート
 - ・青少年体験学習事業
 - (7) 成人式屋外誘導警備業務委託
 - (8) 少年の森宿泊研修施設運営費負担金

2. (公財) 藤沢市みらい創造財団青少年事業関係事務経費 14,065 千円
 - ・青少年会館 A E D 賃借料等
 - ・(公財) 藤沢市みらい創造財団運営補助金

民生費

事業名		子ども・若者育成支援事業費				
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 06 説明 01			青少年課		
指針体系コード	3-3-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	11,490		676			10,814
令和元年度	11,385		676			10,709
対前年度	105		0			105
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				676
【事業概要】 ニート・ひきこもり等の社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者とその家族を対象に、きめ細かな相談により若者一人ひとりと向き合い、それぞれの状況に応じた自立を支援する事業を実施する。 また、学校教育相談センター等と連携し、中学校卒業後の進路未決定者等について相談等の引き継ぎを行い、切れ目ない支援を実施することで、社会的自立を支援する。 1. 若者サポート事業業務委託 11,490 千円 困難を有する若者や家族からの相談に対して専門スタッフがきめ細かな面談（カウンセリング）を行い、個々の状況に応じた自立に向けて、ユースワークふじさわや関係機関等と連携を図りながら継続的に支援を実施する。 (1) 対象者 市内在住・在勤・在学の概ね15歳から30歳代までの若者とその家族 (2) 支援内容 ・専門スタッフによる電話・来所・Eメールによる相談、地域出張相談 ・自立に向けた具体的な個別支援計画の作成 ・福祉、保健・医療、就労的自立支援等の個別機関・団体等への引き継ぎ及び同行支援 ・学校教育相談センターや各学校との連携による切れ目ない支援						

民生費

事業名		放課後児童健全育成事業費				
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 01			青少年課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	815,933	190,270	190,270			435,393
令和元年度	740,385	168,165	168,165			404,055
対前年度	75,548	22,105	22,105			31,338
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				190,270
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				190,270
【事業概要】						
保護者が就労等により放課後不在となる家庭等の児童の健全育成と、保護者の就労と子育てを支援するため、児童に居場所や生活の場を提供する放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ事業）を行う。						
また、児童クラブの安定的な運営とより質の高い人材確保等に向けて、児童クラブ指導員の処遇改善事業を実施する。						
1. 放課後児童健全育成事業運営費負担金						815,066 千円
・法人が運営する69クラブの運営費の負担金						752,927千円
・放課後児童支援員等処遇改善事業負担金						62,139千円
2. その他経費						867 千円
・除草作業						

民生費

事業名	放課後児童クラブ整備事業費					
予算科目	款 4 項 2 目 3 細目 07 説明 03			青少年課		
指針体系コード	3-2-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	8,618	2,266	2,266	0	0	4,086
令和元年度	242,010	55,362	27,140	96,800	24,439	38,269
対前年度	△ 233,392	△ 53,096	△ 24,874	△ 96,800	△ 24,439	△ 34,183
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				2,266
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				2,266

【事業概要】

第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき、設置運営事業者の公募を行うとともに、(公財) 藤沢市みらい創造財団と連携して放課後児童クラブを整備する。
また、大越小学校区の放課後児童クラブ新設のため、元医師公舎の解体撤去工事を行う。

- 放課後児童クラブの整備 2,000 千円
第2期藤沢市放課後児童クラブ整備計画に基づき移転1カ所の整備を行う。

小学校区	整備手法	備考
大道	藤が岡二丁目地区再整備事業の複合施設に移転	チンチロ児童クラブ

- 元医師公舎解体撤去工事 4,000 千円
- 移転クラブの旧施設の原状回復 2,500 千円
- 放課後児童クラブ設置運営事業者選考委員会委員報酬 118 千円
令和3年4月開所に向け放課後児童クラブ設置運営事業者の審査選定を行うため、学識経験者等に対し選考委員会委員報酬を支払う。

(この事業は令和元年度9月補正で増額した事業)

民生費

事業名		児童虐待防止対策関係費					(前年度事業名：児童虐待防止対策事業費)	
予算科目		款 4 項 2 目 4 細目 01 説明 01			子ども家庭課			
指針体系コード		まちづくりテーマ						
		重点施策名						
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
令和2年度	2,031	576	576			879		
令和元年度	27,355	12,261	0			15,094		
対前年度	△ 25,324	△ 11,685	576			△ 14,215		
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金					576	
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金					576	

【事業概要】

児童の家庭における安定と児童福祉の向上を図るため、児童や保護者等からの相談を受け、専門的な指導・助言を行う。

また、児童虐待のおそれがあるなど、特に支援が必要な家庭に対しては「藤沢市要保護児童対策地域協議会」の構成機関が各々の専門性を活かして連携し、児童虐待の予防・早期発見及び迅速な対応と家庭への指導・支援を行うとともに、子ども家庭総合支援拠点として通所支援並びに在宅支援を行う。

1. 相談機関としての業務の実施 616 千円
 - (1) 児童虐待に関する相談や通告を受け、児童の安全確認、要保護児童対策地域協議会の構成機関等への調査及び保護者への指導や継続的支援を実施する。
 - (2) 子ども・子育ての相談に対して専門相談員による助言や情報提供を行い、必要に応じて専門機関に引き継ぐ。
2. 要保護児童対策地域協議会の運営 152 千円
 - (1) 藤沢市要保護児童対策地域協議会（代表者会議）の開催
定例会：年1～2回
 - (2) 藤沢市要保護児童対策地域協議会（実務者会議）の開催
定例会：年2回程度、部会：年4回程度
 - (3) 支援内容検討のための個別ケース検討会議の開催
 - (4) 児童虐待防止のための啓発事業の実施
3. 養育支援訪問事業の実施 1,263 千円
 - (1) 保健師、保育士等による養育に関する専門的指導・助言の実施
 - (2) 育児・家事援助ヘルパーの派遣

（前年度の児童虐待防止対策事業費と養育支援訪問事業費を統合した事業）

民生費

事業名	子ども発達相談関係費（前年度事業名：子ども発達支援事業費）					
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 02 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	3,340	479	164			2,697
令和元年度	1,171	169	84			918
対前年度	2,169	310	80			1,779
特定財源の内訳	(国庫支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				329
	(国庫支出金)	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金				150
	(県支出金)	障がい者地域生活支援事業費補助金				164

【事業概要】

障がい児や発達に心配のある子どもについての相談支援を行うとともに、ライフステージに応じた一貫した支援が受けられるよう、ネットワークによる支援や啓発事業を実施する。

- | | |
|--|----------|
| 1. 障がい児や発達に心配のある子どもの相談支援 | 1,626 千円 |
| 2. 保護者や支援者向け啓発事業の実施 | 360 千円 |
| ・ 自閉症スペクトラム連続講座 | |
| ・ 市民及び支援者向け啓発講座 | |
| 3. 発達障がい児等支援者養成事業の実施 | 644 千円 |
| ・ 発達支援コーディネーター養成講座 | |
| ・ 保育園や幼稚園への専門相談員の巡回による相談・助言指導 | |
| 4. 子ども発達支援連絡会議の開催 | 169 千円 |
| ・ 関係機関のネットワークによる発達支援の推進を図るための連絡会議
(構成機関：児童相談所、児童福祉施設、私立幼稚園協会、民間保育園園長会等) | |
| 5. 子どもサポートファイル及び発達障がい啓発冊子の普及・啓発 | 389 千円 |
| 6. その他事務経費 | 152 千円 |

(前年度の子ども青少年発達相談事業費と子ども発達支援事業費を統合した事業)

民生費

事 業 名		子どもの生活支援事業費				
予算科目	款 4 項 2 目 4 細目 03 説明 01			子ども家庭課		
指針体系コード	3-3-11	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	8,276	3,784				4,492
令和元年度	9,508	0				9,508
対前年度	△ 1,232	3,784				△ 5,016
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				3,784
【事業概要】 経済的に困難を抱えるなど、養育環境に課題がある家庭の子どもに、夕方から夜までの時間を安心して過ごすことができる場を提供し、基本的な生活習慣の習得、学習習慣の定着、食事の提供等の支援を行うことで、子どもの豊かな人間性や社会性を育む事業を実施する。 1. 子どもの生活支援事業業務委託 8,276 千円 《実施場所》 市内2カ所 《実施日数》 月12日以上（平日の夜間等に実施）						

民生費

事 業 名		自立支援推進事業費				
予算科目		款 4 項 3 目 1 細目 03 説明 01			生活援護課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	217	116				101
令和元年度	7,133	4,086				3,047
対前年度	△ 6,916	△ 3,970				△ 2,946
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金				26
	(国庫支出金)	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金				90
【事業概要】 生活保護世帯及び生活困窮世帯の社会的自立を促進するため、子ども支援員、就労支援相談員を配置し、個別のきめ細かな、寄り添い型の支援を実施する。 1. 子ども支援員の配置（旅費）120 千円 生活保護世帯及び生活困窮世帯の子どもの健全育成と将来に向けた自立を図るため、子ども支援員を2人配置し、さまざまな困難を有する子どもの生活状況を把握するとともに、日常生活支援、養育支援、教育支援、就労支援等の寄り添い型の支援を実施する。 2. 就労支援相談員の配置（旅費）5 千円 生活保護利用者の経済的な自立を図るため、就労支援相談員を1人配置し、ハローワークと連携しながら、安定就労に向けて個別の支援を実施する。 3. 支援員・相談員業務消耗品92 千円						

民生費

事 業 名		生活保護扶助費				
予算科目	款 4 項 3 目 2 細目 01 説明 01			生活援護課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	9,311,893	6,923,169	153,849			2,234,875
令和元年度	9,578,253	7,123,689	201,603			2,252,961
対前年度	△ 266,360	△ 200,520	△ 47,754			△ 18,086
特定財源の内訳	(国庫支出金)	生活扶助費等国庫負担金				3,596,467
	(国庫支出金)	医療扶助費等国庫負担金				3,158,855
	(国庫支出金)	介護扶助費等国庫負担金				167,847
	(県支出金)	生活保護費負担金				153,849

【事業概要】

生活保護法に基づき、生活困窮者の最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図るため、生活扶助費等を支給し、必要な支援を実施する。

1. 扶助費の支給	9,311,893 千円		
対象数	4,162 世帯	5,473 人 (月平均)	
(内訳)			
生活扶助費	3,632 世帯	4,771 人 (月平均)	2,868,964 千円
住宅扶助費	3,817 世帯	5,014 人 (月平均)	1,851,658 千円
教育扶助費	250 世帯	374 人 (月平均)	34,065 千円
介護扶助費	821 世帯	831 人 (月平均)	223,796 千円
医療扶助費	3,665 世帯	4,529 人 (月平均)	4,232,807 千円
出産扶助費	3 世帯	3 人 (年間)	500 千円
生業扶助費	124 世帯	137 人 (月平均)	21,907 千円
葬祭扶助費	165 世帯	165 人 (年間)	33,363 千円
施設事務費	19 世帯	19 人 (月平均)	41,249 千円
就労自立給付金	33 世帯	33 人 (年間)	1,684 千円
進学準備給付金	15 世帯	15 人 (年間)	1,900 千円

民生費

事業名	災害見舞金関係費					
予算科目	款 4 項 4 目 1 細目 01 説明 01	福祉健康総務課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	2,500					2,500
令和元年度	2,500					2,500
対前年度	0					0
【事業概要】 藤沢市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づき、火災又は自然災害（床上浸水等）等の災害による罹災者に対し、弔慰金、見舞金の支給を行う。 1. 災害弔慰金及び見舞金の支給 2,500 千円 （１）災害弔慰金の支給 火災又は自然災害等により死亡した人の遺族に対し、災害弔慰金を支給する。 （２）災害見舞金の支給 火災又は自然災害等により住居等が被害を受けた人、またその災害により負傷した人に対し、災害見舞金の支給を行う。 （３）災害援護資金の貸付 火災又は自然災害等により住居もしくは家財が被害を受けた世帯の世帯主に対し、生活の立て直しに資するため、災害援護資金の貸付けを行う。						

衛生費

事業名	乳幼児健診等事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 01	子ども健康課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	339,710					339,710
令和元年度	350,041					350,041
対前年度	△ 10,331					△ 10,331
【事業概要】 すべての子どもが健やかに成長できるよう、妊婦の健康及び乳幼児の発育・発達の確認を行う健康診査を実施する。健康診査において、疾病及び発達や運動機能等の障がいや早期発見し、適切な保健指導を行い、養育や発達過程に応じた相談及び発達支援につなげる。 1. 妊婦健康診査 237,126 千円 積極的な妊婦健康診査の受診を促し、妊婦の健康確保を図るため、１４回の公費負担を実施する。 また、里帰り出産等について、安心して妊婦健康診査が受診できるよう、償還払いにより公費負担を実施する。 2. 乳児健康診査 57,593 千円 ４カ月児及び９～１０カ月児を対象に、医療機関での個別健康診査を実施する。 3. 幼児健康診査 41,033 千円 １歳６カ月児、２歳児（歯科）、３歳６カ月児を対象に、南・北保健センターでの集団健康診査を実施する。また、４・５歳児を対象に尿検査を実施する。 4. 乳幼児健診等事業事務経費 3,958 千円 報酬、報償費、消耗品費、印刷製本費 ほか （この事業は令和元年度１２月補正で増額した事業）						

衛生費

事業名	母子保健事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 02	子ども健康課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	9,493	330	330		165	8,668
令和元年度	61,669	11,195	11,195		198	39,081
対前年度	△ 52,176	△ 10,865	△ 10,865		△ 33	△ 30,413
特定財源の内訳	(国庫支出金)	子ども・子育て支援交付金				330
	(県支出金)	子ども・子育て支援交付金				330
	(その他)	歯科予防処置手数料				165

【事業概要】

母子保健の向上を図るため、妊娠、出産、育児（思春期含む）についての知識の普及や育児支援、未熟児や慢性疾患児等に対する療育支援を実施する。

また、南・北保健センターを子育て世代包括支援センターとして位置づけ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談支援を提供する。

- 各種教室、各種相談の実施 6,777 千円

両親学級、ぱくぱく教室（1歳～1歳2カ月児）、もぐもぐ教室（7カ月児）、育児支援教室等を行う。

また、赤ちゃんの健康相談、お母さんと子どもの健康相談、心理相談経過観察、幼児健診事後相談、歯科相談等を行う。
- 各種訪問、産前産後サポート事業等の実施 2,716 千円

こんにちは赤ちゃん事業（生後4カ月までの全戸訪問事業）、未熟児訪問指導、慢性疾患児訪問指導等を行うとともに、子育て支援センター等と連携し、産前・産後サポート事業等、継続的な育児支援を実施する。

衛生費

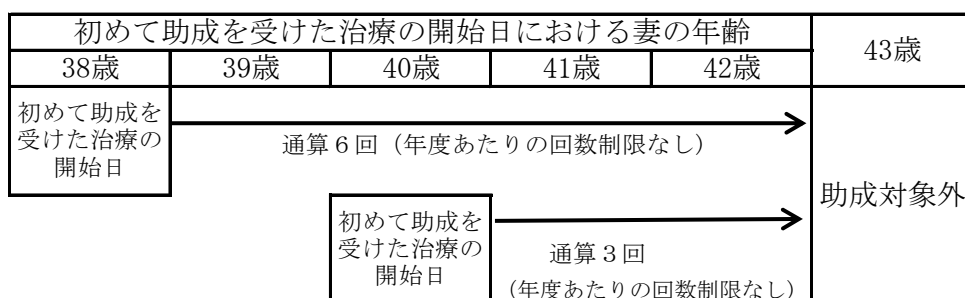
事業名	特定不妊治療助成事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 03	子ども健康課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	64,558					64,558
令和元年度	64,429					64,429
対前年度	129					129

【事業概要】

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療に要した費用を助成する。

- 特定不妊治療に要した費用に対する助成 64,558 千円
 特定不妊治療に要した費用のうち、神奈川県による助成額を控除した額について、1回の治療につき10万円まで、初回助成の対象となる治療開始日に妻の年齢が39歳以下の場合は通算6回、40歳以上43歳未満の場合は通算3回を限度に助成する。
 また、所得制限額を超えたことにより、神奈川県における助成対象とならない夫婦に対して、助成対象となる治療開始日に妻の年齢が43歳未満の場合に1回の治療につき10万円まで、通算3回を限度に助成する。

<助成イメージ>



※所得制限額を超えた者については、開始年齢に関わらず、43歳になるまでに通算3回まで助成

衛生費

事業名	不育症治療助成事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 02 説明 04	子ども健康課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	350					350
令和元年度	350					350
対前年度	0					0

【事業概要】

厚生労働省不育症研究班に属する医師のいる医療機関、または同等の能力を有する協力医療機関において、不育症と診断されたのち、治療や検査を受けた夫婦の経済的負担を軽減するため、治療や検査に要した費用（保険診療分は対象外）を助成する。

- 不育症治療に要した費用に対する助成 350 千円
 - 治療等に要した費用の2分の1を助成
 - 1年度当たり上限30万円（回数制限なし）、通算3年度助成
 - 助成対象年齢は、治療開始時の妻の年齢が42歳まで（43歳未満）
 - 夫婦の前年（1月から5月までの申請は前々年）の所得の合計額が730万円未満

衛生費

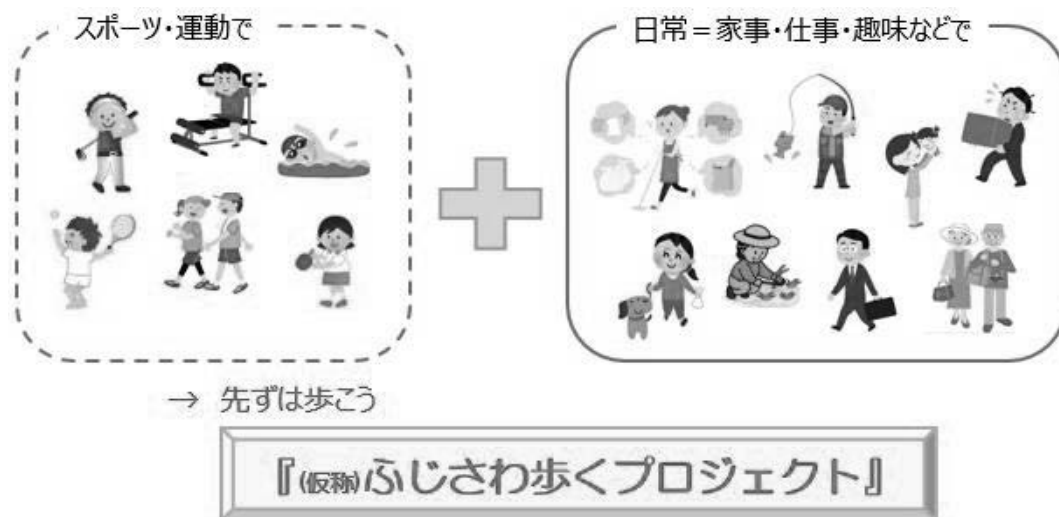
事業名	健康づくり推進事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 01	健康増進課				
指針体系コード	4-2-11	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	86,014	6,488	2,441			77,085
令和元年度	96,368	7,242	2,441			86,685
対前年度	△ 10,354	△ 754	0			△ 9,600
特定財源の内訳	(国庫支出金)	受動喫煙対策促進事業補助金				831
	(国庫支出金)	地方創生推進交付金				4,339
	(国庫支出金)	国民健康・栄養調査委託金				1,318
	(県支出金)	健康増進事業費補助金				2,441

【事業概要】

藤沢市健康増進計画（第2次）の到達目標である「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」を達成するため、生活習慣病予防及び重症化予防を目的とする健康教育・健康相談等、健康づくり事業を実施し、市民が健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備を図る。

- 健康づくり施策の進捗状況や事業の検証を行うための会議の開催 1,040 千円
健康づくり推進会議・タバコ対策協議会・食育推進会議・歯科保健推進会議
- がん対策や健康づくり、生活習慣病予防等に関する各種事業の実施 72,158 千円
身体活動・運動、栄養・食生活、歯・口腔等の健康づくりに関する7分野の普及啓発、人材育成等の各種事業を実施する。
・健康づくりに関する健康教育や健康相談の実施
・保健医療センターの専門職による健康増進事業の実施
・市民活動団体の育成及び健康づくり応援団事業の実施
・健康づくりに関する普及啓発の実施
- 健康増進法に基づく国民健康・栄養調査の実施 1,319 千円
- 健康増進法に基づく受動喫煙防止対策及びタバコ対策事業の実施 2,432 千円

- (拡) 5. 健康寿命日本一をめざすリーディングプロジェクトの推進 9,065 千円
健康寿命のさらなる延伸に向け、健康増進計画（第2次）の中間評価において課題となった身体活動の促進を図るため、「（仮称）ふじさわ歩くプロジェクト」をスタートし、家事や仕事、趣味など日常生活のあらゆる行動も「運動」につながるという「気づき」を促すとともに、歩くことが楽しくなる環境づくりを展開する。



衛生費

事業名		がん検診事業費				
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 03			健康増進課		
指針体系コード	4-2-21	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	748,042	7,738				740,304
令和元年度	673,007	2,361				670,646
対前年度	75,035	5,377				69,658
特定財源の内訳	(国庫支出金)	がん検診総合支援事業補助金				7,738

【事業概要】

がんの早期発見、早期治療のため、市内指定医療機関でがん検診を実施する。対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。

特に女性のがんについては、国の補助による無料クーポン券の配布を継続するとともに、検診車によるマンモグラフィ検診の実施により普及啓発を図る。

1. 胃がん検診（実施期間4月～3月）

145,877 千円

・40歳以上の市民を対象にバリウムによる検診を行う。

57,160 千円

(括) ・50歳以上の該当年齢の市民を対象に内視鏡検査を行う。

88,717 千円

自己負担額は3,000円（バリウムは70歳以上無料）

2. 胃がんリスク検診（実施期間6月～10月）

13,231 千円

40～70歳の5歳刻みの年齢の市民を対象に採血による検診を行う。

自己負担額は1,000円

3. 子宮頸がん検診（実施期間4月～3月）

193,957 千円

20歳以上の女性市民を対象に細胞診検診を行う。

自己負担額は2,000円（無料クーポン券対象の20歳、及び70歳以上は無料）

4. 乳がん検診（実施期間4月～3月）

107,585 千円

40歳以上の女性市民を対象にマンモグラフィによる検診を行う。

自己負担額は40歳～49歳まで（2方向撮影）は3,000円（無料クーポン券対象の40歳は無料）、50歳以上（1方向撮影）は1,800円（70歳以上は無料）

5. 肺がん検診（実施期間6月～10月）

112,914 千円

40歳以上の市民を対象に胸部X線検査及び喀痰検査による検診を行う。

自己負担額は600円（70歳以上は無料）

6. 大腸がん検診（実施期間6月～10月）

48,125 千円

40歳以上の市民を対象に便潜血反応検査による検診を行う。

自己負担額は600円（70歳以上は無料）

7. 前立腺がん検診（実施期間6月～10月）

31,841 千円

50歳以上の男性市民を対象にPSA検査による検診を行う。

自己負担額は1,000円

8. マンモグラフィ検診車による集団検診の実施

3,021 千円

9. がん検診デジタル読影の実施

60,841 千円

胃がん、乳がん、肺がんの各検診の二次読影において、デジタル読影を実施する。

10. その他事務経費

30,650 千円

消耗品費、印刷製本費他

衛生費

第三頁

事業名		歯科健康診査事業費				
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 03 説明 04			健康増進課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	41,764		6,630			35,134
令和元年度	44,194		7,603			36,591
対前年度	△ 2,430		△ 973			△ 1,457
特定財源の内訳	(県支出金)	健康増進事業費補助金				6,630
【事業概要】 8020運動を推進し、歯の健康に対する意識の高揚と、歯科疾患の予防及び早期発見を図るため、市内指定歯科医療機関で成人歯科健康診査を実施するとともに、口腔がん集団検診を実施する。 成人歯科健康診査対象者には個別通知を行い、受診率の向上を図る。 1. 成人歯科健康診査（実施期間6月～10月） 20～70歳の5歳刻みの年齢の市民を対象に成人歯科健康診査を実施 自己負担額は500円（70歳は無料） 34,784 千円 2. 口腔がん検診（集団検診） 口腔がん集団検診を実施 年2回100人（各50人） 申込制 自己負担額は500円 1,113 千円 3. その他事務経費 郵便料、印刷製本費他 5,867 千円						

衛生費

事業名	保健医療センター整備事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 09 説明 02	福祉健康総務課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	22,682	0				22,682
令和元年度	76,549	53,000				23,549
対前年度	△ 53,867	△ 53,000				△ 867
【事業概要】 保健、医療、福祉に関する総合的な市民サービスを実施している藤沢市保健医療センターの機能維持のため、火災報知設備の更新を行う。						
1. 火災報知設備更新工事 22,682 千円 老朽化が進んでいる火災報知設備の更新工事を行う。						

衛生費

市営斎場整備事業費

事業名	市営斎場整備事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 10 説明 02			福祉医療給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	15,312		5,104			10,208
令和元年度	17,479		5,826			11,653
対前年度	△ 2,167		△ 722			△ 1,445
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				5,104

【事業概要】

安心して通夜・告別式・法事等を行える環境を整備するため、藤沢市斎場の整備事業を行う。

1. 市営斎場屋根塗装補修工事（小ホール）

15,312 千円

衛生費

事業名	ふれあい入浴事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 12 説明 01	福祉医療給付課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	9,108					9,108
令和元年度	9,285					9,285
対前年度	△ 177					△ 177
【事業概要】 市内の公衆浴場における公衆衛生の確保及び世代間交流や地域交流の活性化に資するため、藤沢浴場組合の事業費や設備整備等の費用の一部を補助する。 1. 藤沢浴場組合に対する補助 9,108 千円 藤沢浴場組合が実施する交流事業や公衆衛生の確保のための設備整備等に対し、補助金を交付する。 (1) 交流事業補助 7,692 千円 浴場組合が実施する世代間交流や地域交流を促進するための事業に対して補助する。 ・ファミリー入浴デー事業 週に2回、65歳以上又は同一世帯の家族の入浴に対し、利用料金を割引する。 ・イベント事業 地域交流や健康の促進を図る事業を行う。 (2) 運営補助 416 千円 各事業の広報活動等に関する費用を補助する。 (3) 設備整備補助 1,000 千円 内装、外装、給水湯設備等の整備に関する費用を補助する。						

衛生費

事 業 名		医師会立看護専門学校運営費補助金				
予算科目	款 5 項 1 目 1 細目 13 説明 01			福祉健康総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	22,109				1,800	20,309
令和元年度	22,109				1,800	20,309
対前年度	0				0	0
特定財源の内訳	(その他)	土地貸付収入				1,800

【事業概要】

湘南東部医療圏(藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町)の医療機関において看護師を確保するために藤沢市医師会が設立した湘南看護専門学校の運営費を助成する。

1. 湘南看護専門学校運営費に対する補助 22,109 千円
補助対象事業者 公益社団法人藤沢市医師会

<学校概要>

名称 湘南看護専門学校(平成25年4月開校)
所在地 藤沢市大庭5062番地3
学科等 看護学科(3年課程)、定員120人(1学年定員40人)

衛生費

事業名		各種予防接種費				
予算科目	款 5 項 1 目 2 細目 01 説明 01			健康増進課・子ども健康課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,022,159		9,286			1,012,873
令和元年度	1,019,471		9,416			1,010,055
対前年度	2,688		△ 130			2,818
特定財源の内訳	(県支出金)	予防接種健康被害救済費補助金				6,400
	(県支出金)	風しん予防接種事業費補助金				2,886

【事業概要】

感染の恐れがある疾患の発生及びまん延の予防のため、予防接種法で定める定期の予防接種対象者に、指定医療機関において各種予防接種（四種混合、三種混合、二種混合、不活化ポリオ、日本脳炎、麻しん・風しん、BCG、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎、子宮頸がん）を実施する。

風しんの流行に伴う緊急対策として、抗体保有率の低い世代の成人男性の風しんワクチン定期予防接種を実施するとともに、平成25年5月から開始した風しんワクチン予防接種も継続して実施する。

また、骨髄移植等の医療行為により接種済みの定期予防接種の効果が期待できなくなった者に対する再接種費用の助成を新たに開始する。

1. 各種予防接種の実施	1,008,479 千円
・各種定期予防接種委託料	510,428 千円
・緊急対策としての風しん予防接種委託料等	41,256 千円
・医薬材料費（ワクチン）	447,229 千円
・各種定期予防接種実施に係る市民病院への負担金	4,275 千円
・里帰り出産等による定期予防接種費用の助成	4,263 千円
(新) ・骨髄移植等の医療行為により接種済みの定期予防接種の効果が期待できなくなった者に対する再接種費用の助成	1,028 千円
2. 予防接種健康被害給付金等の給付	8,635 千円
・障がい年金	4,630 千円
・障がい児養育年金	3,011 千円
・医療費、医療手当	894 千円
・健康被害見舞金	100 千円
3. その他事務経費	5,045 千円

（前年度の各種予防接種費と子宮頸がんワクチン予防接種事業費を統合した事業）

衛生費

事業名		火葬場整備事業費				
予算科目	款 5 項 1 目 4 細目 02 説明 02			福祉医療給付課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	144,575	28,000		84,900		31,675
令和元年度	116,067	14,000		94,300		7,767
対前年度	28,508	14,000		△ 9,400		23,908
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				28,000
	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				84,900

【事業概要】

藤沢聖苑（火葬場）の安全・確実な運営を維持するため、火葬場整備事業を行う。

- 藤沢聖苑火葬炉2～4号炉全耐火物積替工事 35,629 千円
経年劣化により通常火葬に懸念のある火葬炉2～4号炉の全耐火物積替工事を行う。
- 藤沢聖苑空調設備改修工事 18,821 千円
経年劣化等により空調効果が低下している空調機のオーバーホールを行う。
- ハロン消火設備容器弁検査新品交換 5,150 千円
法令により義務付けられた検査年数及び耐用年数を迎えるため、ハロン消火設備容器弁の検査及び交換を行う。
- 藤沢聖苑斜面地対策工事（北側） 84,975 千円
藤沢聖苑北側斜面地の法面防護工事を行う。【継続費】

<継続費年割額>

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	合計
藤沢聖苑斜面地対策工事（北側）	84,975	146,157	231,132

衛生費

事業名		感染症対策事業費				
予算科目	款 5 項 1 目 5 細目 02 説明 01			保健予防課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	77,987	40,657				37,330
令和元年度	70,155	33,983				36,172
対前年度	7,832	6,674				1,158
特定財源の内訳	(国庫支出金)	結核対策費負担金				5,804
	(国庫支出金)	感染症予防費負担金				2,301
	(国庫支出金)	感染症発生動向調査事業費負担金				2,222
	(国庫支出金)	結核対策費補助金				760
	(国庫支出金)	性感染症検査等事業補助金				29,570

【事業概要】

市民の健康を守るため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の罹患予防やまん延防止に向けた検診（健診）や保健指導、情報の収集及び提供、普及啓発等の感染症対策事業を行う。

また、風しんの流行に伴う緊急対策として、抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査を引き続き実施する。

1. 結核対策事業

18,270 千円

結核登録患者の家庭を訪問し、不安の軽減や療養支援等の指導相談及び被感染者の早期発見のための接触者健康診断を行うとともに、結核医療費助成の診査を行い、国の補助を受けて医療費を負担する。

2. その他の感染症対策事業

59,717 千円

- ・ 定点医療機関からの感染症発生動向調査による感染症情報の収集及び提供
- ・ 感染症患者発生時の疫学調査及び必要に応じた検体の検査の実施
- ・ 新型インフルエンザ等感染症対策の推進
- ・ 妊娠を希望する女性とパートナー等を対象にした風しん抗体検査の実施
- ・ 抗体保有率の低い世代の成人男性を対象にした風しん抗体検査の実施

衛生費

事業名	精神保健対策事業費					
予算科目	款 5 項 1 目 5 細目 02 説明 04	保健予防課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,625		2,398			5,227
令和元年度	13,251		4,278			8,973
対前年度	△ 5,626		△ 1,880			△ 3,746
特定財源の内訳	(県支出金)	地域自殺対策強化交付金事業費補助金				1,905
	(県支出金)	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業委託金				493

【事業概要】

地域における精神保健福祉の正しい理解と精神障がい者の自立と社会参加、社会復帰を図るため、地域や関係機関との連携による普及啓発事業及び専門医や専門職による相談事業などの精神保健対策事業を行う。

また、自殺対策、認知症疾患対策等の事業を庁内関係各課及び地域団体と連携して実施する。

- 精神保健福祉相談・訪問事業（嘱託医報酬他） 3,202 千円
 - 嘱託医による「精神保健福祉相談」（3回／月）と専門職による相談及び家庭訪問。
 - 措置入院者等退院後支援事業
入院中から関係機関とケース会議を開催し、概ね退院後6か月間の支援計画を作成し、当事者・家族の地域移行を支援する。
 - 認知症疾患対策事業 嘱託医による「もの忘れ相談」（2回／月）、若年性認知症の方の交流会等を行う。
- 自殺対策事業（協議会委員報酬、講演会講師謝礼、委託料他） 3,209 千円
 - 自殺未遂者緊急介入支援事業
自殺未遂で救急病院に搬送された方や家族等へ、専門相談員を派遣する。
 - 自殺未遂者・家族個別支援事業
「まごころホットライン」を設置し、専門相談員による電話相談・面接等を行う。
 - 当事者、家族等への支援
うつ病の当事者、家族等への支援及び自死遺族支援「藤沢わかちあいの会」の開催
 - 人材育成
ゲートキーパー養成講座の開催
 - 普及啓発
携帯電話等を使用してうつの自己チェックを行う「こころの体温計」の運用及び自殺予防週間キャンペーン、講演会等を開催する。
- 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進事業
（協議会委員報酬、講演会講師謝礼、委託料他） 1,214 千円
市内の関係機関と連携し、当事者・家族等が安心して暮らせる地域づくりを行う。
 - 精神障がい者地域生活支援事業
精神障がい者の退院への意欲向上を図るため、宿泊や居宅介護、日中活動等の体験の機会を提供する。
 - 当事者、家族等への支援
 - 精神障がい者の疾病教育や社会参加等を目的とした、「生活教室」「当事者支援セミナー」「家族教室」等を開催する。
 - 精神障がい者、ひきこもりの方、認知症の方の家族会及び断酒会等の活動を支援する。
 - 普及啓発・人材育成
 - 本人、家族等が携帯電話等を使用して認知症のチェックを行う「認知症簡易チェックシステム」の運用。
 - 精神疾患や生活障がいに関する知識を普及し、偏見のない地域づくりの推進を図ることを目的に、講演会や精神障がい者福祉事業所等のパネル展示等を行う。また、関係団体等の職員を対象とした研修会を実施する。

衛生費

事業名		ごみ減量推進事業費				
予算科目		款 5 項 2 目 1 細目 03 説明 01			環境総務課・環境事業センター	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	259,595				249,938	9,657
令和元年度	240,673				231,566	9,107
対前年度	18,922				18,372	550
特定財源の内訳	(その他)	一般廃棄物処理手数料				239,302
	(その他)	生ごみ処理容器売払収入				571
	(その他)	環境基金繰入金				8,970
	(その他)	広告料収入				1,095

【事業概要】

ごみの排出抑制や減量、再使用及び再生利用の促進を図るため、ごみ処理有料化制度の継続や生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成、ごみの減量・資源化の啓発を行う。
食品ロスの削減に向けた取組の推進及びプラスチックごみの問題に関する啓発等を実施する。

- 指定収集袋の流通システムの運営 241,237 千円
家庭及び小規模事業所から排出する際に用いる指定収集袋の流通システムの運営を行う。
 - 指定収集袋製造・保管及び配送業務委託料 160,611 千円
 - 指定収集袋流通管理等業務委託料 16,083 千円
 - 指定収集袋取扱手数料 62,608 千円
 - 免除対象者用引換券関係経費 1,935 千円
- 生ごみ処理器及び家庭用電動生ごみ処理機の購入費助成 7,528 千円
 - 生ごみ処理器購入費助成 3,097 千円
 - 家庭用電動生ごみ処理機購入費補助金 4,281 千円
 - 生ごみ処理器等申し込み用リーフレット 150 千円
- ごみ減量・資源化啓発事業の実施 1,896 千円
 - 市内小学4年生及び保育園児・幼稚園児を対象としたごみ体験学習会の実施
 - ごみ減量推進店の認定 1,096 千円
 - (新) 食品ロス啓発物品 400 千円
 - (新) プラスチックごみ削減啓発物品 400 千円
- ごみNEWSの作成及び配布 2,252 千円
ごみNEWS（年1回）16万1千部を作成し、各世帯に配布
- ごみ検索システム・ごみ分別アプリの運営・管理 792 千円
- 藤沢市廃棄物減量等推進審議会の運営 998 千円
- プラスチック製容器包装再商品化経費 3,666 千円
- ごみ減量推進事業事務経費 1,226 千円

衛生費

事業名		廃棄物等戸別収集事業費				
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 01 説明 01			環境事業センター		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,583,018				663,737	919,281
令和元年度	1,573,734				646,314	927,420
対前年度	9,284				17,423	△ 8,139
特定財源の内訳	(その他)	一般廃棄物処理手数料				474,202
	(その他)	環境基金繰入金				170,240
	(その他)	ペットボトル再商品化収入				19,250
	(その他)	その他雑入				45

【事業概要】

市民生活の衛生保持のため、市内の一般家庭等から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源等を収集する事業を行う。

- 可燃ごみ収集事業** 543,302 千円
 一般家庭等から排出される可燃ごみを定曜日に戸別収集する。
 - ・可燃ごみ収集運搬業務委託料 478,608 千円
 - ・その他収集運搬業務委託料 62,490 千円
 - ・収集業務事務費 2,204 千円
- 不燃ごみ収集事業** 121,353 千円
 一般家庭等から排出される不燃ごみを隔週の定曜日に戸別収集する。
 - ・不燃ごみ収集運搬業務委託料 119,701 千円
 - ・収集業務事務費 1,652 千円
- 資源収集事業** 865,017 千円
 一般家庭等から排出される資源を戸別・集積所収集するとともに、大型商品プラスチック、羽毛布団・スプリングマット等及び剪定枝をコール制により各戸収集する。
 また、収集した資源の中間処理の一部において、障がい者雇用を促進する。
 - ・資源回収事業補助金 438,675 千円
 - ・剪定枝資源化事業費 33,576 千円
 - ・ビン搬送・ペットボトル等収集運搬業務委託料 90,821 千円
 - ・プラスチック製容器包装収集運搬業務委託料 242,084 千円
 - ・大型資源収集運搬業務委託料 35,065 千円
 - ・羽毛布団・スプリングマット等資源収集運搬業務委託料 6,856 千円
 - ・周知関係事務費（収集日程カレンダー等） 15,663 千円
 - ・収集業務事務費 2,277 千円
- 江の島島内及び藤沢駅周辺区域廃棄物等収集運搬事業** 41,462 千円
 江の島島内及び藤沢駅周辺の廃棄物等収集運搬業務を委託する。
- 福祉大型ごみ収集運搬事業** 11,884 千円
 超高齢社会を迎える中、大型ごみを持ち出せない高齢者等への対応として福祉大型ごみ収集運搬業務を委託する。

衛生費

事業名	石名坂環境事業所整備費					
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 02 説明 05	石名坂環境事業所				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	192,029			0	189,900	2,129
令和元年度	1,007,643			457,800	87,000	462,843
対前年度	△ 815,614			△ 457,800	102,900	△ 460,714
特定財源の内訳	(その他)	一般廃棄物処理手数料				87,000
	(その他)	環境基金繰入金				102,900

【事業概要】

焼却施設の処理能力を良好に保つため、機械設備等の補修工事を実施する。

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 施設整備工事 | 191,884 千円 |
| (1) 廃熱ボイラー水管補修工事 | 145,783 千円 |
| (2) ろ過式集じん器ろ布取替工事 | 46,101 千円 |
| 2. 石名坂環境事業所整備事務経費 | 145 千円 |

衛生費

事業名		環境事業センター整備費				
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 02 説明 07		環境事業センター			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	28,301			20,900	7,061	340
令和元年度	0			0	0	0
対前年度	28,301			20,900	7,061	340
特定財源の内訳	(地方債)	環境事業センター整備事業債				20,900
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				7,061

【事業概要】

昭和55年竣工の施設で老朽化が著しく、早期の改築が必要となっていることに加え、2拠点体制で行う必要が薄れたごみ収集体制を見直し、より効率的な収集を行うため、南北収集事務所を統合した収集事務所として改築を行うとともに、待機児童が見込まれる石川小学校区に新たな放課後児童クラブを設置する必要があることから、複合化により一体整備を行う。

令和元年度から2カ年継続で基本・実施設計を行い、改築工事のための準備を行う。

- 事業費 28,301 千円
 - 基本・実施設計委託(令和元年度～令和2年度の継続費) 27,961 千円
 - その他諸経費 340 千円

2. 施設概要

- 構造等 鉄筋コンクリート造 地上3階建て
- 延床面積 2,600㎡程度(複合施設を含む)
- 複合施設 石川小学校区新設放課後児童クラブ

<継続費年割額>

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	合計
環境事業センター改築基本・実施設計委託	11,983	27,961	39,944

<スケジュール概略>

	令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度			
仮設事務所建設									建設工事				仮設事務所での業務				解体・復旧工事			
									事前調査									事後調査		
新事務所建設													建設工事							
																		事後調査		

(この事業は令和元年度9月補正で実施した事業)

衛生費

事業名		一般廃棄物中間処理施設整備事業費				
予算科目	款 5 項 2 目 2 細目 06 説明 01			北部環境事業所		
指針体系コード	5-1-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	819,525	160,065		499,100	159,660	700
令和元年度	974,208	147,029		646,700	178,887	1,592
対前年度	△ 154,683	13,036		△ 147,600	△ 19,227	△ 892
特定財源の内訳	(国庫支出金)	廃棄物処理施設整備交付金				160,065
	(地方債)	焼却施設整備事業債				499,100
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				159,660

【事業概要】

廃棄物を円滑に処理するため、藤沢市焼却施設整備基本計画に基づく北部環境事業所新2号炉の建設工事を行い、専門的知識を有するコンサルタントに設計・施工監理業務を委託する。
藤沢市北部環境事業所土地利用履歴調査の結果報告に基づき、土壌分析を行う。
また、石名坂環境事業所の整備に向け、土壌汚染の有無を確認するため地歴調査を行う。

- 工事請負費** 761,616 千円
 ・ 藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事 761,616 千円
 期間 平成30年度から令和4年度
 総額 11,383,578千円（契約金額）
 敷地面積：約15,058㎡ 施設規模：150t/日
 令和2年度は、建設工事に着手する。
- 委託料** 57,209 千円
 ・ 藤沢市北部環境事業所新2号炉設計・施工監理業務委託 44,820 千円
 期間 平成30年度から令和4年度
 総額 180,360千円（契約金額）
 設計監理、各種申請・許可等届出、現場監理、工場検査、性能試験等
 ・ 藤沢市北部環境事業所新2号炉建設工事土壌分析業務委託 12,389 千円
 分析対象項目：鉛及びその化合物、調査地点：25地点（予定）
- 役務費** 669 千円
 ・ クローズドコンテナ装置点検手数料 122 千円
 ・ 石名坂環境事業所地歴調査手数料 547 千円
- 一般廃棄物中間処理施設整備事業事務経費** 31 千円

藤沢市北部環境事業所新2号炉整備・運営事業に関するスケジュール

事業名称	主な内容	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	～	R24年度
建設工事		H30年2月 契約								
既設解体工事	旧2号炉解体									
建設工事	新2号炉建設									
試運転	プラント単体 総合試運転									
外構工事	新2号炉建屋 周辺工事									
新2号炉 運営・維持管理業務	焼却炉運転 施設の点検等									
新2号炉 設計・施工監理業務	設計監理 工事監理	H30年3月 契約								

労働費

事業名	就労支援事業費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 02 説明 02	産業労働課				
指針体系コード	3-3-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	29,006					29,006
令和元年度	28,532					28,532
対前年度	474					474

【事業概要】

就労支援事業として、困難を有する若者を対象とした「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」及び求職者や勤労者を対象とした就労支援・資格取得講座を実施する。また、地域の雇用状況の改善を図るため、求職者を対象として、広域連携により「湘南合同就職面接会」を実施する。

- 若年者就労支援事業「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」 17,412 千円
ニート、ひきこもり等の就労に困難を有する若者を対象に、専門スタッフによるきめ細かな相談、社会参加、就労体験等の各種プログラムを通じて自立・就職・定着に至るまでを支援する。また、その保護者を対象にセミナーや相談を実施する。
(1) 対象者
市内に在住・在勤・在学の概ね15歳から39歳の若者とその家族
(2) 支援内容
①各種相談
・専門スタッフによる相談
・個別継続支援
②就労準備応援
・社会参加プログラム（コミュニケーションワークショップ、生活・金銭管理講座等）
・就労準備セミナー、職業訓練プログラム（職業適性検査、マナー講座等）
③就労応援
・就労支援プログラム（パソコン教室、職業人セミナー等）
・社会体験（ボランティア体験）・就労体験
④就労後応援・家族応援
・電話・来所・Eメールによる相談・定着支援
・家族交流会やセミナーの実施
- 就労支援・資格取得講座 11,305 千円
就職氷河期世代、女性、障がい者などに向けた就労支援セミナー、資格取得講座、キャリアデザインセミナーなど就労支援事業を実施する。
- 湘南合同就職面接会 289 千円
藤沢公共職業安定所管内の3市1町（藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市・寒川町）で広域連携を図り、神奈川県、藤沢公共職業安定所、商工会議所、商工会と連携し、短時間で効率的な就職機会と人材発掘の場を提供する求職・求人支援事業を実施する。

労働費

労働費

事業名	勤労者生活資金貸付金					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 03 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	280,000				280,000	
令和元年度	280,000				280,000	
対前年度	0				0	
特定財源の内訳	(その他)	勤労者生活資金貸付金元金収入				280,000

【事業概要】

市内に在住又は在勤する勤労者の生活の安定と向上を図るため、中央労働金庫に貸付金を預託し、低利な生活資金の融資を行う。

1. 勤労者生活資金融資事業

280,000 千円

・貸付限度額

300万円

(在勤者については、他市町村の勤労者生活資金貸付制度との合計額)

・返済期間

10年以内（50万円以下は3年以内）

・取扱金融機関

中央労働金庫

労働費

事 業 名		勤労者住宅資金等利子補助金				
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 03 説明 02			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	26,497	2,223				24,274
令和元年度	29,293	2,829				26,464
対前年度	△ 2,796	△ 606				△ 2,190
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				2,223
【事業概要】 勤労者の経済的負担の軽減を図るため、中央労働金庫から住宅資金又は教育資金を借り入れた市内在住の勤労者に、住宅資金利子及び教育資金利子の一部を補助する。 1. 勤労者住宅資金利子補助金24,701 千円 勤労者が自己の居住用として、市内に住宅を購入又は建築するための資金を中央労働金庫から借り入れたとき、借入金利子の一部を補助する。 ・補助対象額 借り入れた額のうち600万円までの額に係る利子 ・補助金額 年3%以内の別途定める額 ・補助期間 4年間（48カ月） 2. 勤労者教育資金利子補助金1,796 千円 勤労者が子の教育資金を中央労働金庫から借り入れたとき、借入金利子の一部を補助する。対象となる教育資金については、学校教育法に規定する高等学校、大学、高等専門学校、専修学校に在学又は入学する際に要するものとする。 ・補助対象額 1子につき借り入れた額のうち200万円までの額に係る利子 ・補助金額 支払利子総額の2分の1（上限2万円） ・補助期間 入学又は在学する教育機関の修業年限（4年以内）						

労働費

事業名	技能振興関係費					
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 03 説明 04	産業労働課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	8,312					8,312
令和元年度	4,722					4,722
対前年度	3,590					3,590

【事業概要】

技能の振興、発展及び後継者の育成を目的として、技能職団体等と連携し各種事業を実施する。

1. 藤沢市マイスター事業 1,966 千円
優れた技能・技術を有し、後進の目標となる卓越した技能者等を藤沢マイスターとして認定し、その活動を通じて市民に技能等を幅広く周知し、ものづくりを尊重する風土の醸成及びものづくり業界の活性化を図る。
2. 技能者表彰事業 978 千円
長く同一の職に従事し、後進の育成、技能の錬磨等、その職に寄与した技能者を表彰しその功績をたたえる。
3. 技能まつり事業 360 千円
2020ふじさわ産業フェスタに出展し、技能者の優れた技能を市民に広くPRする。
4. “ザ・職人”技能展事業 50 千円
技能の振興、発展のため、技能者の優れた技能を市民に広くPRする。
5. 職人版インターンシップ事業 150 千円
技能職の担い手確保のため、若年者を対象とした技能職職場体験を実施する。
6. 学校訪問事業 480 千円
技能者の後継者育成及び技能者の仕事を身近に感じてもらうため、技能者が小中学校等を訪問し、技能の講演・実演・体験教室を実施する。
7. 技能職団体の育成及び助成 4,178 千円
技能の振興、発展及び後継者の育成のため、藤沢市技能職団体連絡協議会（藤技連）及びその加盟団体に対して助成を行う。
・藤技連運営事業 4,137 千円
・その他（旅費、参加負担金） 41 千円
8. オリンピック文化事業 150 千円
市民及び国内外から訪れる方々を対象に、技能者の技能や技術を発信するため、セーリングワールドカップ江の島大会会場等の周辺にておもてなし事業を実施する。

労働費

事業名		障がい者就労関係費				
予算科目	款 6 項 1 目 1 細目 04 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	736					736
令和元年度	7,606					7,606
対前年度	△ 6,870					△ 6,870

【事業概要】

障がい者の就労・雇用の促進を図るため、公共職業安定所及び県等の労働・福祉関係機関と連携を密にしながら、障がい者の就労・雇用に関する情報収集、情報提供及び制度の啓発事業等を行うとともに、庁内障がい者雇用の促進を図る。

- 障がい者雇用促進事業所訪問等啓発事業の実施 151 千円
 (1) 障がい者雇用促進事業所訪問、見学会の実施
 公共職業安定所と連携して市内事業所を訪問し、障がい者の雇用促進と定着に向けた要請や、本市で実施している障がい者雇用の場「JOBチャレふじさわ」の見学会を開催して啓発を図る。
 (2) 障がい者雇用啓発講演会・企業向け障がい者雇用促進セミナーの実施
 労働団体、支援機関等と連携し、市内事業者向けの障がい者雇用の理解促進につながる講演会や、少人数制のセミナーを開催して、市内事業者への啓発を図る。
- 庁内障がい者雇用の促進 411 千円
 「JOBチャレふじさわ」を設置し、障がい者雇用のノウハウを蓄積し、市内事業者への啓発を図る。
 また、障がい者雇用推進庁内会議を開催し、「JOBチャレふじさわ」の事業報告や、事業拡充に向けた計画などについて意見を収集して、庁内の障がい者雇用の理解促進に努める。
- 就労を希望する障がい者への就労体験の実施
 社会的自立に向けた就労体験機会の提供を行うため、県内特別支援学校生徒等を対象に、職場実習を実施する。
- 湘南地区障がい者卓球大会実施の支援 150 千円
 障がい者の親睦を深め、友好の輪を広げるための卓球大会の実施を支援する。
- 障がい者雇用優良事業所への感謝状贈呈 24 千円
 公共職業安定所の推薦に基づき、障がい者雇用の促進に貢献のあった市内事業所等を対象に、感謝状の贈呈を行う。

農林水産業費

事業名	地産地消推進事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 2 細目 03 説明 01	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	5,337					5,337
令和元年度	4,342					4,342
対前年度	995					995

【事業概要】

藤沢産農水産物等の市内流通・利用促進を図り、地産地消を推進することにより市内農水産業の持続的な発展及び健康で豊かな市民生活の実現を図る。

1. 地産地消推進計画の実施管理等 933 千円

地産地消推進計画に基づく取組内容や事業進捗の審議等のため、藤沢市地産地消推進協議会を年3回開催する。また、市民の地産地消に対する意識や購買動向等を把握するためアンケート調査を行う。

 - ・地産地消推進協議会委員報酬 500 千円
 - ・アンケート調査費用 433 千円
2. 地産地消講座の開催 387 千円

藤沢産農水産物の利用促進、市内農業への理解を深めるため、栽培収穫体験型講座（7月～12月、全8回）、収穫体験型講座（年4回）、料理学習型講座（年6回）を開催する。
3. 「おいしい藤沢産」情報発信事業 1,413 千円

地産地消の推進を図るため、ホームページやSNS等を活用して藤沢産農水産物や地産地消イベント・講座等の各種情報を市民へ提供する。
4. 地産地消推進イベント開催事業 1,600 千円

藤沢産農水産物等の普及拡大と地産地消の意識高揚を図るため、「藤沢市地産地消推進事業実行委員会」が主体となって、生産者、事業者と連携したPRイベントを開催する。
5. 地産地消のPR 841 千円

藤沢産農水産物の普及促進を図るため、市内各地で実施されるさまざまな地産地消推進イベントの情報を掲載した地産地消推進強化期間のポスターや市内産果物及び花卉のリーフレット等を作成し、市内各所に掲示・配架等してPRする。また、藤沢産をPRするために藤沢産ロゴマークシールを作成し、普及啓発を図る。
6. 地産地消推進事業事務経費 163 千円

旅費、消耗品費

農林水産業費

事業名	水田保全事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 2 細目 03 説明 03	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	20,000				20,000	
令和元年度	25,000				25,000	
対前年度	△ 5,000				△ 5,000	
特定財源の内訳	(その他)	環境基金繰入金				20,000

【事業概要】

環境に配慮した減農薬等による水稻栽培に取り組む水田耕作者を対象として、水田の持つ生物多様性の確保や、水源のかん養、治水などの多様な機能の保全・拡大を図るため、水稻栽培面積に応じた奨励金を交付する。

1. 水田保全事業奨励金 20,000 千円
水稻生産を行う有機農業者及び神奈川県知事の認定を受けたエコファーマーに対して、
10a 当たり 5 万円（50 円／㎡以内）の奨励金を交付する。

農林水産業費

事業名	担い手育成支援事業費					
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード	5-4-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	22,833		21,910			923
令和元年度	25,161		24,160			1,001
対前年度	△ 2,328		△ 2,250			△ 78
特定財源の内訳	(県支出金)	農業人材力強化総合支援事業補助金				21,910

【事業概要】

市内農業の新たな担い手や農業後継者、担い手不足の農業者を支援する市民ボランティアに対する支援を行う。

- 地域住民との交流、農業理解促進活動の実施 688 千円
 - 景観形成事業
 - 委託先：さがみ農協藤沢市青少年藤友会
 - 委託内容：遊休農地において景観作物(コスモス等)を栽培し摘み取りイベントを行う。
- 援農ボランティア養成講座の開催 100 千円
 - 期 間：4～12月
 - 対 象 者：援農ボランティア活動を希望する市民 40人程度
- 新規就農者に対する支援 21,910 千円
 - 農業次世代人材投資資金等の交付 21,750 千円
 - 次世代を担う農業者となることについて強い意欲を有する新規就農者に対して、国が実施する農業人材力強化総合支援事業に基づき補助金を交付する。
 - 対 象 者：経営開始から5年以内で50歳未満の独立自営就農者
 - 支援内容：年間最大150万円の補助金を交付
 - 新規就農指導員謝礼 160 千円
 - 農業次世代人材投資資金交付対象者に対し支援を行う「サポート体制」の活動に参加する農業者に対し、謝礼を支払う。
- 農業後継者研修受入支援事業 90 千円
 - 農業後継者の育成のため、新規就農希望者に対して農業技術及び経営に関する研修を行う団体に対し補助金を交付する。
 - 対 象 者：藤沢市農業経営士協議会
 - 支援内容：研修生1人当たり3万円の補助金を交付
- 担い手育成支援事業事務経費 45 千円
 - 旅費、消耗品費

農林水産業費

農 業 水 産 課 費		産地競争力強化事業費				
事 業 名						
予算科目	款 7 項 1 目 3 細目 04 説明 01	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	2, 627		649			1, 978
令和元年度	2, 981		0			2, 981
対前年度	△ 354		649			△ 1, 003
特定財源の内訳	(県支出金)	都市農地保全支援事業補助金				649

【事業概要】

産地競争力の強化を図るため、生産工程の省力化や農産物の品質向上を図る機械、資材の導入を支援する。

1. 都市農地保全支援事業（補助率 県 1／3、市 1／3 以内） 1,298 千円
作業の効率化を図るため、堆肥の散布機を導入する際に要する費用の一部を助成する。
2. 施設用除湿機導入事業（補助率 1／2 以内） 981 千円
花の品質向上により生産の安定を図るため、ハウス内の除湿機を導入する際に要する費用の一部を助成する。
3. 防虫ネット導入事業（補助率 1／2 以内） 348 千円
近年、害虫のアザミウマによる被害が増加しており、施設野菜全体の生産安定を図るため、防除効果の高い防虫ネットを導入する際に要する費用の一部を助成する。

農林水産業費

事業名		野菜生産出荷対策事業費				
予算科目	款 7 項 1 目 4 細目 01 説明 01			農業水産課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	12,896					12,896
令和元年度	14,187					14,187
対前年度	△ 1,291					△ 1,291

【事業概要】

地場農産物のPRを図るとともに、市内産野菜の安定生産と安定出荷を図るため、市内の農協共販野菜及び市場出荷野菜の出荷資材であるダンボール箱や、テープ等のその他資材の購入に対して支援を行う。

1. 出荷資材の購入に対する助成 12,896 千円
農協共販農家及び湘南野菜出荷推進協議会会員のうち、市内生産者を対象に出荷資材の購入に要する費用の一部を助成する。
 - (1) 農協共販出荷用資材費補助（補助率 25／100 以内） 11,896 千円
 - ・ダンボール購入費補助 11,089 千円
 - ・その他資材購入費補助 807 千円
 - (2) 市場出荷用資材費補助（補助率 25／100 以内） 1,000 千円
 - ・ダンボール購入費補助 100 千円
 - ・その他資材購入費補助 900 千円

農林水産業費

農 業 水 産 課 費		湘南野菜生産育成事業費				
事 業 名						
予算科目	款 7 項 1 目 4 細目 01 説明 02	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	4,194					4,194
令和元年度	4,194					4,194
対前年度	0					0

【事業概要】

湘南藤沢地方卸売市場への地場産農産物の出荷を推進するため、市場出荷用レンタルコンテナ利用料に対する助成及び生産者で組織される団体に対する活動費の助成を実施し、市場出荷量の維持確保及び地産地消の推進を図る。

1. 湘南野菜レンタルコンテナ促進事業（補助率25／100以内） 2,400千円
生産者の負担軽減及び量販店等の事業者ニーズに対応したレンタルコンテナ使用による出荷を推進するため、市場出荷野菜の生産者のうち、市内生産者を対象に利用料の一部を助成する。
2. 出荷団体育成事業（補助率1／2以内） 1,794千円
市場に出荷する生産者で組織される湘南野菜出荷推進協議会の活動事業に対して助成を行う。

農林水産業費

農水産業費						
事業名	学校給食用農水産物生産出荷対策費					
予算科目	款 7 項 1 目 4 細目 03 説明 01			農業水産課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,645					1,645
令和元年度	1,577					1,577
対前年度	68					68

【事業概要】

地産地消の推進と市内産農産物の利用促進による安定的な生産及び出荷を図るため、市内産の新米、大豆等を市内の小中学校や特別支援学校の給食食材として提供する際に生産者団体が行う配達等に要する費用を負担する。

- 市内小学校等の給食に対する市内産農産物の提供 1,645 千円
 - 市内産新米の精米及び配達費用 830 千円
市内の小中学校や特別支援学校において市内産米を提供する「新米の日」に必要な市内産米の精米及び配達に係る費用を負担する。
 - 市内産大豆の集荷、仕分け及び配達費用 713 千円
市内の小学校や特別支援学校において使用する市内産大豆（津久井在来大豆）の集荷、仕分け及び配達に係る費用を負担する。
 - 市内産小麦粉の仕分け及び配達費用 60 千円
市内の小中学校や特別支援学校において使用する市内産小麦粉の仕分け及び配達に係る費用を負担する。
 - 市内産きな粉の配達費用 42 千円
市内の小学校や特別支援学校において使用する市内産大豆（津久井在来大豆）きな粉の配達に係る費用を負担する。

農林水産業費

農 業 水 産 課 費		畜産振興対策事業費						
事 業 名								
予算科目	款	7	項	1	目	5 細目 02 説明 01	農 業 水 産 課	
指針体系コード		まちづくりテーマ						
		重点施策名						
区 分	事業費	国庫支出金		県支出金	地方債	その他	一般財源	
令和2年度	8,595						8,595	
令和元年度	5,780						5,780	
対前年度	2,815						2,815	

【事業概要】

畜産経営における防疫体制の強化と衛生環境の向上、家畜の資質改良及び後継乳牛の確保のため、畜産農家が行う家畜の伝染病予防の検査や投薬、注射、病虫害防除資材の購入、肉質・乳質に優れた家畜の繁殖及び後継となる乳牛の生産に対して助成を行う。

1. 家畜防疫対策事業 5,810 千円
家畜の伝染病予防のための検査や投薬、注射の実施及び病虫害防除資材の購入に要する経費に対して助成を行う。
・ 監視伝染病予防注射等推進事業（補助率 1 / 4 以内） 4,780 千円
監視伝染病の発生を予察するために行う検査、投薬、注射等に要する経費の一部を助成する。
・ 家畜衛生対策事業（補助率 1 / 3 以内） 1,030 千円
畜舎における病虫害や臭気の発生防止のために使用する薬剤の購入に要する経費の一部を助成する。
2. 家畜改良増殖事業 1,846 千円
繁殖性に優れた家畜の導入や品質に優れた家畜の繁殖に要する経費に対して助成を行う。
・ 乳牛資質改良事業（補助率 1 / 3 以内） 700 千円
酪農経営において、より多くの乳量を出す雌乳牛を生産するために行う受精卵移植等に要する経費の一部を助成する。
・ 肉豚資質改良事業（補助率 1 / 3 以内） 1,146 千円
養豚経営において、繁殖性に優れた母豚の導入や肉質に優れた豚の繁殖に要する経費の一部を助成する。
3. 後継乳牛生産支援事業（補助率 1 / 3 以内） 900 千円
酪農経営において、生産基盤となる乳用種の生産に要する経費の一部を助成する。
4. 畜産振興対策事業事務経費 39 千円
旅費、消耗品費

（この事業は令和元年度 1 2 月補正で増額した事業）

農林水産業費

農 業 水 産 課 費		畜産経営環境整備事業費						
事 業 名								
予算科目	款	7	項	1	目	5 細目 04 説明 01	農業水産課	
指針体系コード		まちづくりテーマ						
		重点施策名						
区 分	事業費	国庫支出金		県支出金	地方債	その他	一般財源	
令和2年度	15,472						15,472	
令和元年度	41,639						41,639	
対前年度	△ 26,167						△ 26,167	

【事業概要】

畜産業の活性化や生産性の向上、周辺環境衛生等に配慮した畜産農場にするため、畜産経営に必要な畜舎や設備機器、家畜排せつ物処理施設等の改修・更新を行う畜産農家に対して助成を行う。

1. 臭気調査費 493 千円
有機質資源再生センター運営事業の廃止に伴い整備した戸別処理施設等に対して、臭気のモニタリング調査を実施する。（年2回分）
2. 畜産緊急支援基金 1,900 千円
緊急の設備修復に対応するために、市と畜産会が2分の1ずつ出資して創設した基金について、前年度分の基金利用金額に応じて補填する。
3. 畜産経営環境整備事業（補助率1／2以内） 13,079 千円
畜産物の品質の向上及び畜産経営により生じる悪臭等を防止するため、施設の改修及び付帯設備等の更新に要する経費の一部を助成する。
 - ・堆肥処理施設屋根改修工事 3,613 千円
 - ・搾乳機更新工事 2,420 千円
 - ・豚舎屋根改修工事 489 千円
 - ・牛舎屋根改修工事 4,070 千円
 - ・豚舎給餌機改修工事 2カ所 2,487 千円

農林水産業費

事業名		農業用水路等改修事業費				
予算科目	款 7 項 1 目 6 細目 01 説明 02			農業水産課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	10,548					10,548
令和元年度	7,341					7,341
対前年度	3,207					3,207

【事業概要】

水田等への安定した用水を確保し農業生産の維持を図るため、水利組合等が実施している老朽化の著しい取水堰等の補修及び用水路の改修に対し助成を行う。

1. 取水堰等の補修及び用水路等の改修に対する助成

10,548 千円
(単位:千円)

団体名	事業内容	対象事業費	補助金額	補助率
上高倉水利組合	用水路改修 L=55m	819	573	70%以内
高倉水利組合	用水路改修 L=128m	1,138	796	
藤沢市西俣野土地改良区	土留設置等 L=56m	1,870	1,309	
石川堰水利組合	堰点検 N=1カ所等	480	335	
城稻荷水利組合	用水路改修 L=56.5m	1,265	885	
用田堰水利組合	土留修繕等	2,008	1,405	
目久尻川用排水組合	用水路改修 L=30m	966	676	
小出川矢崎水利組合	堰改修 N=1カ所	156	109	
打戻左岸用水組合	用水路改修 L=30m	2,921	2,044	
大庭稻荷水利組合	用水路改修 L=12m等	2,244	1,570	60%以内
打戻灌水利利用組合	配水管修繕等	1,411	846	



(用水路改修前)



(用水路改修後)

農林水産業費

農 業 水 産 課 費		農業基盤整備事業費				
事 業 名						
予算科目		款 7 項 1 目 6 細目 02 説明 01			農業水産課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	52, 403		18, 862			33, 541
令和元年度	78, 646		18, 101			60, 545
対前年度	△ 26, 243		761			△ 27, 004
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村事業推進交付金				18, 862

【事業概要】

農作業の機械化を進め農業生産の向上を図るため、一般車両の通行によって損傷、通行困難となった農道や老朽化の著しい用水路の改修整備を行う。

1. 農道等整備 38,000 千円

(単位:千円)

工事名	延長	金額
宮原地区目久尻川右岸農業用道路改修工事	L= 26m	6,500
宮原地区目久尻川右岸農業用水路改修工事	L= 23m	7,500
西俣野地区農道整備工事	L= 100m	24,000

2. 委託（調査・測量） 4,291 千円

西俣野地区の農道整備のための調査等を行う。

(単位:千円)

委託名	範囲	金額
補償物件調査委託	N=一式	1,210
地籍測量委託	N=25筆	3,081

3. 用地取得 4,891 千円

西俣野地区の農道・用水路整備のための用地取得を行う。

(単位:千円)

内容	面積	金額
農業用道路用地	A=375m ²	2,063
農業用水路用地	A=68m ²	1,284
不動産鑑定料	N=25筆	1,544

4. 補償 4,730 千円

ビニールハウス等損失補償 3棟

5. 農業基盤整備事業事務経費 491 千円

- ・神奈川県土地改良事業団体連合会負担金
- ・神奈川県土地改良事業団体連合会湘南支部負担金
- ・旅費、印刷製本費ほか



(施工前)



(施工後)

農林水産業費

農 業 水 産 課 費		漁港機能保全対策事業費						
事 業 名								
予算科目	款	7	項	2	目	1 細目 02 説明 01	農 業 水 産 課	
指針体系コード		まちづくりテーマ						
		重点施策名						
区 分	事業費	国庫支出金		県支出金	地方債	その他	一般財源	
令和2年度	95,623	37,000			46,500		12,123	
令和元年度	935	0			0		935	
対前年度	94,688	37,000			46,500		11,188	
特定財源の内訳	(国庫支出金)	水産物供給基盤整備事業補助金					37,000	
	(地方債)	漁港整備事業債					46,500	

＜拡充事業＞ 片瀬漁港西防波堤越波対策工事の実施

【施策等を必要とする背景】

片瀬漁港については、近年の大型台風襲来による大規模な被害が生じており、施設の安全性を確保するため、予備費や補正予算等で対応している。

被害を被る原因のひとつとして、近年大型化している台風による高潮や異常潮位により、南西方向から到達する波は防波堤を超える高さとなり、既設転落防止柵を破損・損壊させ、陸域施設においては、護岸を越流する波により海浜砂や漂流物の堆積等が生じている。

【提案に至るまでの経緯】

西防波堤の越波対策については、漁業協同組合から泊地内に停泊する漁船の安全確保のため、要望されていたことから、平成28年度に補正予算を組み越波対策事業検討委託を実施し事業化へ向け動き出した。

越波対策は漁港管理者として解決すべき課題であり、特定財源の確保も含め漁業者や国・県と調整を行い、令和2年度に実施するもの。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

片瀬漁港機能保全計画において、漁港施設及び船舶の安全を確保するため、漁港施設の機能保全対策の実施を位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

本事業の実施により、漁港施設への被災規模の軽減と停泊する漁船の安全性の向上が図られるとともに、漁業活動の安定に繋がる。

【事業概要】

効率的な漁業活動を維持するため、漁港管理者として良好な漁港施設の保全を行うとともに、必要な機能向上に取り組む。

1. 片瀬漁港海水滅菌処理施設維持修繕

1,662 千円

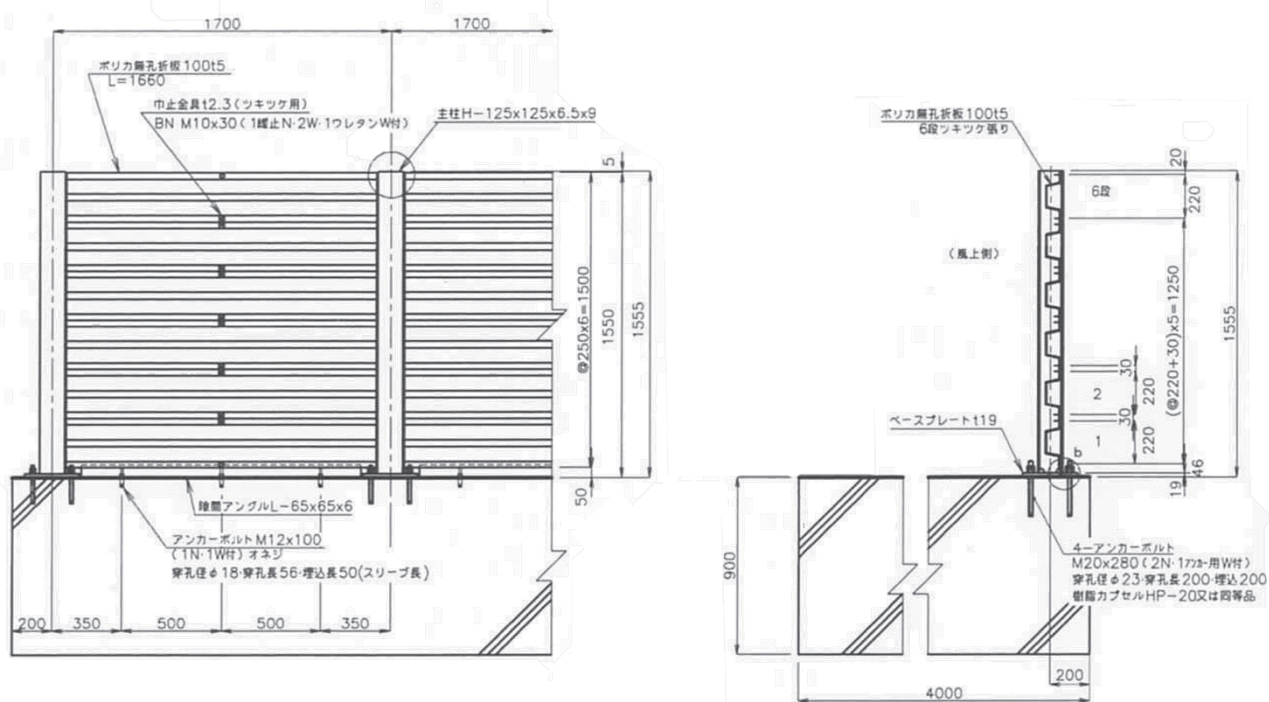
荷さばき施設で使用する海水細菌浄化施設について、計画的な維持管理並びに機能向上のための修繕を行う。

(拡) 2. 片瀬漁港西防波堤越波対策工事

93,786 千円

台風等の襲来による越波から漁港内の被災を防ぎ、停泊する漁船及び港内安全性の向上と避難経路を確保する。

- ・越波防止柵設置工 $L = 260\text{ m}$
- ・消波石被覆工 $A = 80\text{ m}^2$
- ・西護岸防潮堤設置工 $L = 85\text{ m}$



(越波防止柵 構造図)



(平成29年台風第21号による越波状況)

3. 漁港機能保全対策事業事務経費

175 千円

旅費、消耗品費、印刷製本費

農林水産業費

事業名	つくり育てる漁業推進事業費					
予算科目	款 7 項 2 目 2 細目 01 説明 01	農業水産課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	4,131					4,131
令和元年度	6,034					6,034
対前年度	△ 1,903					△ 1,903

【事業概要】

水産物の資源維持を図り、市内水産業の発展を目指すため、つくり育てる漁業を推進するとともに、漁業者、漁業協同組合と連携して、持続可能な水産業に向けた取組を行う。

また、市民を対象に市内水産業や自然環境への理解を深めるPRイベントを実施する。

1. 漁港イベント業務委託 206 千円
漁船乗船体験（漁場見学）、地場農水産物の販売、魚のさばき方教室等、片瀬漁港において水産業のPRイベントを行う。
2. 地引網漁業体験学習イベント業務委託 166 千円
市内在住の親子を対象に、地引網漁業体験学習イベントを行う。
3. 放流体験イベント業務委託 293 千円
市内在住の親子を対象に、魚介類の放流体験イベントを行う。
※マダイ稚魚放流・ハマグリ稚貝放流
4. ワカメ養殖体験イベント業務委託 105 千円
市内在住の親子を対象に、種付けから刈り取りまでのワカメ養殖体験イベントを行う。
5. 魚介類放流事業補助（補助率9／10以内） 2,907 千円
漁業協同組合が行う魚介類の放流事業に対する助成
・マダイ稚魚放流 5,000尾
・ヒラメ稚魚放流 8,000尾
・サザエ稚貝放流 20,000個
・アワビ稚貝放流 15,000個
・ハマグリ稚貝放流 500kg
6. 水産多面的機能発揮対策事業補助金（補助率1.5／10） 420 千円
国・県・活動団体と協働して、江の島周辺の藻場の保全、海底清掃などの環境保全活動に対する助成
7. つくり育てる漁業推進事業事務経費 34 千円
印刷製本費



（地引網漁業体験学習イベント）

商工費

事業名	新産業創出事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 04 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-31	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	41,162					41,162
令和元年度	40,967					40,967
対前年度	195					195

【事業概要】

新しい産業や雇用機会を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官連携（市内企業・起業家等と市内4大学・近隣大学等の連携）を進めるとともに、ベンチャー企業の育成及び既存企業の新事業進出を支援する。

1. 湘南新産業創出コンソーシアム事業 25,945 千円
産学官で構成する「湘南新産業創出コンソーシアム」が中心となり、ベンチャー企業育成及び既存企業の新事業進出を支援するための各種事業を展開する。
・湘南ビジネスコンテスト事業
・都市拠点型起業家育成施設運営事業（湘南藤沢インキュベーションセンターの運営）
・創業機運醸成フォーラム事業
・スタートアップ・ツーリズム事業（創業関連施設の見学等）
・海外事業展開等支援事業
・コミュニティビジネス支援事業（セミナー・事例発表会等） など
2. 大学連携型起業家育成施設支援事業 9,723 千円
大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の運営のため、インキュベーションマネージャー等を派遣し、入居者に対する総合的支援を行う。
3. 大学連携型起業家育成施設入居支援事業 4,081 千円
大学連携型起業家育成施設「慶應藤沢イノベーションビレッジ」の入居者に対し、賃料の一部を補助する。（補助単価は1,000円/㎡）
4. コミュニティビジネス支援事業（創業補助） 663 千円
コミュニティビジネスの創業時に要する経費（賃借料及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の40%以内、女性やシニア世代の事業者の賃借料は45%以内）
5. ポストインキュベーション支援事業 750 千円
市内公的インキュベーション施設を退去後、市内に新たに事業所等を開設する際に要する経費（敷金相当額及び改装工事費）の一部を補助する。（対象経費の50%以内）

商工費

事業名		企業立地等促進事業費				
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 06 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,807					7,807
令和元年度	8,707					8,707
対前年度	△ 900					△ 900

【事業概要】

市内産業の活性化と雇用機会の拡大を図り、本市の経済発展と市民生活の向上に寄与するため、本市の産業振興の上で重要と認められる地域において、企業立地のための優遇措置を講じることなどにより、企業誘致の促進と既存企業の再投資の誘発を図る。

- 税制上の支援措置等の実施 195 千円

「藤沢市企業立地等の促進のための支援措置に関する条例」に基づく事業計画の認定及び税制上の支援措置（固定資産税・都市計画税の軽減措置）の決定をする。

神奈川県企業誘致促進協議会のホームページや当該協議会が作成するパンフレット及び各種展示会等を通じて、本市の持つ優遇制度等を効果的にアピールする。

 - ・企業誘致パンフレット印刷製本費 154 千円
 - ・神奈川県企業誘致促進協議会負担金 41 千円
- 重点産業立地促進助成金 3,000 千円

今後成長が見込まれる産業分野の企業がテナントビル等に進出する際に賃料等の一部を助成する。

 - ・補助率 1 / 2 以内（上限 50 万円）
 - ・補助期間 6 カ月（入居企業がロボット分野に係る事業を行う場合は、12 カ月）
- 企業立地促進融資利子補助金 4,612 千円

県の企業誘致促進に関する融資を利用し、市内進出や市内再投資を行った企業への利子補給をする。

 - ・補助対象企業数：3 社（予定）

商工費

事業名	ロボット産業推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 1 細目 07 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-41	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	32,259		8,884			23,375
令和元年度	32,117		1,334			30,783
対前年度	142		7,550			△ 7,408
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				8,884

【事業概要】

「藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト」に基づき、生活支援ロボットの普及啓発等を図るとともに、市内企業のロボット産業への参入を支援する。

- 生活支援ロボット普及啓発等推進事業 25,264 千円
地域経済団体と連携し、生活支援ロボットの展示ショールーム「ロボテラス」において、展示するロボットや開催するイベント等をより一層充実させ、ロボットが生活の中で身近に感じられるよう普及啓発等を行う。
- ロボット産業に対する参入支援・人材育成 3,490 千円
地域経済団体等と連携し、市民等を対象に先端的なロボットに関する基調講演などを行う「ふじさわロボットフォーラム」、市内企業等を対象にロボット産業に関する理解を深めることを目的とした「藤沢ロボット産業研究会」、子どもたちがモノづくりの楽しさを体験し、ロボットのメカニズムを通して工学の基礎を学習し、創造性を養うことを目的とした「少年少女ロボットセミナー」を開催する。
- ロボット産業推進事業補助金 2,114 千円
市内中小企業のロボット産業への参入、及びロボットに関する研究開発の促進を図るため、ロボットの試作開発等に要する経費に対し助成を行う。
- 行政課題等の解決に向けたロボット利活用促進・実証実験支援事業 1,391 千円
行政が抱えるさまざまな課題を把握し、その課題を解決するために適したロボット（AIなど要素技術を含む）を実証的に活用することで、ロボットの利活用における先進的な取組を行う。



(ロボテラスにおけるドローン体験イベント)



(本庁舎における草刈りロボットの実証実験)

商工費

事業名		中小企業勤労者福祉サービスセンター事業費				
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 01 説明 01			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	60,886					60,886
令和元年度	62,070					62,070
対前年度	△ 1,184					△ 1,184

【事業概要】

中小企業の福利厚生増進及び従業員の定着と経営の安定を図るため、鎌倉市及び茅ヶ崎市と連携し、公益財団法人湘南産業振興財団が実施する中小企業勤労者福祉サービスセンター事業（湘南勤労者福祉サービスセンター事業）の円滑な実施を支援する。

1. 中小企業勤労者福祉サービスセンター事業負担金 60,886 千円

湘南勤労者福祉サービスセンター事業（しおかぜ湘南）

実施主体	公益財団法人湘南産業振興財団
対象	藤沢市・鎌倉市・茅ヶ崎市に所在する、従業員数300人以下の中小企業の事業主・従業員（令和2年1月1日会員数11,661人）
会費月額	500円（従業員1人当たり、原則事業主負担）
主な事業内容	慶弔給付金等給付事業（入学祝金、死亡弔慰金、永年勤続報奨金等） 厚生事業（レクリエーション事業、総合健診補助、施設利用補助等）



（令和元年度厚生事業例「鵠沼海岸 地引網大会」）

商工費

事業名	地域密着型商業まちづくり推進事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 01	産業労働課				
指針体系コード	5-4-51	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	18,315					18,315
令和元年度	18,315					18,315
対前年度	0					0

【事業概要】

多様化する消費者ニーズに対応した商業集積を進めるため、指導事業及び商店街団体が商店街の活性化を目的に行う特色づくり等への支援のほか、「ふじさわ元気バザール」事業及び「まちゼミ」事業の実施に対し支援する。

1. 商店街にぎわいまちづくり支援事業 10,595 千円

商店街ににぎわいや直接の消費をもたらすため、商店街が実施する特色づくりの取組に対し、専門家派遣により事業の企画・実施・効果検証までの一連を支援するとともに、販売促進イベントによるにぎわいづくり等の事業に対し事業費の一部を助成する。

2. ふじさわ元気バザール事業 6,720 千円

地域経済の活性化に向け、にぎわいの創出、市内での経済循環などを図るため、市民が主役の産業振興を目指す「ふじさわ元気バザール」事業に対し事業費の一部を助成する。

3. まちゼミ事業 1,000 千円

商店街を中心とする地域商業の活性化に向け、地域住民とのコミュニケーションの場から、地域コミュニティの核となる商店街の構築と集客力向上を図るため、一般社団法人藤沢市商店会連合会が実施する「まちゼミ」事業に対し事業費の一部を助成する。

商工費

事業名	商店街経営基盤支援事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 02	産業労働課				
指針体系コード	1-3-21	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	29,082					29,082
令和元年度	39,503					39,503
対前年度	△ 10,421					△ 10,421

【事業概要】

地域コミュニティの核として市民生活を支える商店街を維持するため、商店街団体の共同施設の運営や維持管理、新設及び修繕など基盤整備事業等に対する助成を行い、商店街経営基盤の安定を図る。

- 商店街駐車場運営事業補助金 11,289 千円

消費者の利便性の向上と快適な買物空間の創出及び違法駐車の減少を図るため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置した顧客用駐車場の運営費の一部を助成する。

 - ・提携駐車場に対する助成 10,794 千円

14カ所 遊行通り4丁目商店街振興組合 ほかに2商店街
 - ・借上駐車場に対する助成 495 千円

1カ所 片瀬竜の口商店街振興組合
- 商店街街路灯電灯料補助金 11,085 千円

商店街の活性化及び安全・安心なまちづくりを推進するため、一般社団法人藤沢市商店会連合会に加盟している商店街団体が設置及び管理する街路灯の電灯料に対し、補助対象電灯料を全額助成する。

 - ・街路灯 2,706灯 本町白旗商店街振興組合 ほかに33商店街
- 商店街共同施設設置事業補助金 6,708 千円

商店街の環境を改善し、活性化を図るため、共同施設の設置または改修、修繕を実施する商店街団体に対し、その設置費用または改修、修繕費用の一部を助成する。

 - ・街路灯等改修 辻堂元町商店会 ほかに2商店街 5,708 千円
 - ・防犯カメラ修繕 1,000 千円

商工費

事業名	拠点駅等周辺商業活性化事業費					
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 02 説明 03	産業労働課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	6,200					6,200
令和元年度	7,974					7,974
対前年度	△ 1,774					△ 1,774

【事業概要】

本市の主要な都市拠点として藤沢の顔・玄関口の性格を有する藤沢駅をはじめとする拠点駅周辺の商業振興を図るため、点在する歴史的資源等の地域資源を活用したまちづくりや拠点駅周辺商店街の回遊性を向上させる取組に対し支援する。

1. 遊行の盆事業補助金 5,000 千円

藤沢の新しい創作踊り等を中心とした市民参加型イベントとして例年より規模を拡大して開催する「第15回藤沢宿・遊行の盆」事業に対し、その事業費の一部を助成する。



(遊行ばやしコンテスト)



(遊行寺境内での盆踊り)

2. 街なみ継承地区魅力向上店舗集積事業補助金 1,200 千円

藤沢駅北口から遊行寺を中心とした街なみ継承地区（旧東海道藤沢宿周辺地区）において、藤沢宿のレトロでモダンなイメージを取り入れた飲食や商品販売の店舗を開業した事業者に対し、事業実施に係る経費の一部を助成する。

商工費

事業名		藤沢ものづくりブランド応援事業費				
予算科目	款 8 項 1 目 2 細目 05 説明 01			産業労働課		
指針体系コード	5-4-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	2,615					2,615
令和元年度	2,756					2,756
対前年度	△ 141					△ 141

【事業概要】

藤沢商工会議所が実施する市内中小企業を対象とした展示会共同出展支援事業に対して、市が出展料、装飾費用、事務経費の一部を補助する。

このことにより、多くの来場者が集う展示会において一定のブース面積や優位なエリアを確保することができ、販路拡大及び本市の「ものづくりのまち」としてのブランド価値の向上を図るもの。

1. 藤沢ものづくりブランド応援事業補助金 2,615 千円

- ・補助対象者 藤沢商工会議所
- ・対象展示会 出展効果及び出展業種を勘案し、年2回出展
- ・出展事業者数 1展示会当たり8者
- ・補助対象経費
 - 出展料 : 出展料の最大3分の2以内 1,900 千円
 - 装飾費用 : 共同出展にかかる装飾費用 600 千円
 - 事務経費 : 藤沢商工会議所の事務経費に対して2分の1を補助 115 千円

商工費

事業名		中小企業融資制度利子補助金				
予算科目	款 8 項 1 目 3 細目 01 説明 04			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	16,811					16,811
令和元年度	14,664					14,664
対前年度	2,147					2,147

【事業概要】

融資制度利用者の負担を軽減するため、金融機関へ支払った利子を助成する。

1. 中小企業融資制度利子補助金 16,811 千円
(対象資金)
 - 市制度融資
 - ・ 中小企業支援資金（設備導入特別資金分） 1,156 千円
 - ・ 景気対策特別資金 2,366 千円
 - ・ 小規模企業緊急資金 2,702 千円
 - ・ 創業支援資金 1,847 千円
 - 県制度融資
 - ・ 創業支援融資・スタートアップ融資 4,316 千円
 - 日本政策金融公庫
 - ・ 小規模事業者経営改善資金（マル経融資） 3,522 千円
 - ・ 女性、若者／シニア起業家支援資金 902 千円

商工費

事 業 名		信用保証料補助金				
予算科目	款 8 項 1 目 3 細目 01 説明 05			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	30,985					30,985
令和元年度	35,512					35,512
対前年度	△ 4,527					△ 4,527

【事業概要】

融資制度利用者の負担を軽減するため、神奈川県信用保証協会へ支払った信用保証料を助成する。

1. 信用保証料補助金 30,985 千円

対象資金	補助率	補助上限額	補助金額
中小企業支援資金	90%	20万円	16,851 千円
景気対策特別資金	90%		5,110 千円
小規模企業緊急資金	90%		4,344 千円
創業支援資金	100%		4,680 千円

商工費

事業名		金融対策関係事務費				
予算科目	款 8 項 1 目 3 細目 01 説明 07			産業労働課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	11,550					11,550
令和元年度	10,806					10,806
対前年度	744					744

【事業概要】

市内中小企業の振興と経営の安定を図るため、中小企業融資制度を円滑に運営する。

- パンフレット、融資申込書の作成 154 千円
 - 藤沢市中小企業金融のしおり 5,000 部
 - 中小企業融資申込書 1,000 部
- 中小企業融資制度業務委託 11,252 千円
 - 藤沢市中小企業融資制度の相談受付、審査等の窓口業務
 - 中小企業融資制度利子補助及び信用保証料補助の受付・審査業務
 - 中小企業信用保険法に基づく認定事務 など

＜藤沢市中小企業融資制度＞貸付金額(預託金額):11億6,800万円 融資可能額:57億3,750万円

資金名	対象・利用要件	貸付限度額	貸付期間	貸付利率
中小企業支援資金	市内中小企業者	5,000万円	1年以内 (一括返済)	1.5%以内
借換資金	借換保証により資金調達の円滑化が図られること		1年超 10年以内 (元金均等 割賦返済)	(5年以内) 1.8%以内 (10年以内) 2.1%以内
設備導入特別資金	市内における事業活動に必要な設備導入を計画していること			※設備導入特別資金は1.5%以内
景気対策特別資金	最近3カ月又は6カ月の売上額等の合計が直近3カ年のいずれかの年の同期と比べて減少している市内中小企業者	2,000万円	7年以内 (元金均等 割賦返済)	1.4%以内
小規模企業緊急資金	従業員20人以下の市内小規模企業者(商業・サービス業(※)は5人以下) ※宿泊業・娯楽業は20人以下	500万円	5年以内 (元金均等 割賦返済)	1.8%以内
(新) 創業支援資金	開業前の個人 (藤沢市に住民登録がある者) 開業後5年未満の中小企業者 (藤沢市に本店登記がある者)等 ※NPO法人、医療法人等は除く	1,000万円 ※運転資金 500万円以内	運転資金 5年以内 設備資金 7年以内 (元金均等 割賦返済)	1.8%以内 ※特定創業支援等事業を受けた者は1.6%以内

- 中小企業信用保険補助金 144 千円

「小規模企業緊急資金」利用者の債務不履行に対して、神奈川県信用保証協会が代位弁済したことにより生じた損失額の一部を補助金として交付する。

事 業 名		(新) 創業支援資金貸付金				
予算科目		款 8 項 1 目 3 細目 01 説明 08			産業労働課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	63,000				63,000	
令和元年度	0				0	
対前年度	63,000				63,000	
特定財源の内訳	(その他)	創業支援資金貸付金元金収入				63,000

【施策等を必要とする背景】

本市では、市内で創業する者への融資支援として、これまで神奈川県制度「創業支援融資」利用者に対して信用保証料補助等を実施してきた。しかしながら、県制度利用者については、市外在住者や市外金融機関の取引先など、市内定着や市税の増収が期待できないケースも多く見受けられた。そのため、市制度として「創業支援融資」を新設することで、市内金融機関や経済団体と連携し、市内で創業する者や市内金融機関の取引先等の新規増加及び市内定着化を図るものである。

【提案に至るまでの経緯】

平成30年9月から本市、神奈川県信用保証協会、藤沢商工会議所及び（公財）湘南産業振興財団の4者連携によるワーキンググループを定期的の実施し、藤沢市版「創業支援資金」の創設を目指してきた。

制度設計にあたっては、ワーキンググループ内で現行の県制度や近隣市（特に横浜市、川崎市、平塚市）の制度を研究し、ワーキンググループ参加団体同士の連携強化やワーキンググループ参加団体の既存メニューとの相乗効果、県制度と比較した手続の簡易化、相談業務の充実等も含め、創業者の継続的な事業活動を支援する資金となるよう協議を重ねた。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【将来にわたる効果及び費用】

市内で創業する者の継続的な事業活動を支援する融資支援が充実することで、市内で創業する者や市内金融機関の取引先等の新規増加及び市内定着化が期待できる。

【事業概要】

取扱金融機関に貸付運転資金を預託し、市内で創業する者（開業5年未満）を対象に必要な事業資金（運転資金・設備資金）の融資を行う。

1. 創業支援資金融資事業

63,000 千円

資金名	利用要件	貸付限度額	貸付期間	貸付利率
創業支援資金	開業前の個人 （藤沢市に住民登録のある者） 開業後5年未満の中小企業者 （藤沢市に本店登録のある者）等 ※NPO法人、医療法人等は除く	1,000万円 ※運転資金 500万円以内	運転資金 5年以内 設備資金 7年以内 （元金均等 割賦返済）	1.8%以内 ※特定創業 支援等事業 を受けた者 1.6%以内

貸付金名	貸付金額 (預託金額)	協調 倍率	融資可能額
創業支援資金貸付金	63,000千円	3.0	189,000千円

**藤沢市中小企業融資
創業支援資金「キュンとするスタートアップ」**

キュン★スタ

【資金概要】

融資期間	運転 5年以内（据置 12か月以内） 設備 7年以内（据置 12か月以内）
融資可能額	1,000万円（運転資金500万円以内）
融資利率	1.8%以内 ※特定創業支援等事業を受けた事業者の場合は、1.6%以内 ※藤沢市による利子補給制度あり
対象者	開業前の個人（藤沢市に住民登録のある者） 開業後5年未満の中小企業者（藤沢市に本店登記のある者）等 ※NPO法人、医療法人等は除く
資金使途	藤沢市内で継続的な事業活動を新たに開始するための運転資金・設備資金 ※新規創業・新分野進出・事業転換・事業拡大等
返済方法	元金均等・割賦返済
担保及び保証人等	すべて信用保証協会の定めによる
信用保証料率	0.8%（創業関連保証、創業等関連保証） ※特定創業支援等事業を受けた事業者の場合は、0.7% ※藤沢市による信用保証料補助あり
その他	藤沢市中小企業融資要綱の定めによる

【藤沢市による補助制度】
 信用保証料補助制度：100%（上限20万円）
 借入時に支払った保証料について、市へ申請すると20万円まで補助が受けられます。
 利子補給制度：年1.8%以内（全額）、2年間
 返済時に支払った利子について、毎年、市へ申請すると、当初2年間は全額補助が受けられます。
 ※それぞれ税の滞納がないことなどの要件があります。

【申込方法】
 1. 創業支援資金「キュンとするスタートアップ」対象確認資料（このパンフレットの裏面）及び該当する
 基付書類を作成・用意する。
 特定創業支援等事業を受けた事業者の場合は、藤沢市が発行した「証明書」によって、省略可能。
 2. 藤沢市中小企業融資のしおり「融資利用までの流れ」のとおり、
 （公財）湘南産業振興財団の受付窓口やホームページ、取扱金融機関の窓口などで配布しています。
 ご利用を希望される方は、**問い合わせ先・受付窓口**へお気軽にご相談ください。

【問い合わせ先・受付窓口】
公益財団法人 湘南産業振興財団 融資担当
 〒251-0052 藤沢市藤沢907番地の1 藤沢商工会館2階
 TEL (0466) 21-3811 FAX (0466) 24-4500
 受付時間9:00～16:30（12:00～13:00除く、土日祝・年末年始除く）
 ホームページ：https://ssc.city.fujisawa.na.jp/yushi/
 ※藤沢市では、融資受付業務を（公財）湘南産業振興財団に委託しています。

案内チラシ（イメージ）

商工費

事業名	市観光協会関係費					
予算科目	款 8 項 2 目 1 細目 02 説明 01	観光シティプロモーション課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	108,630					108,630
令和元年度	111,880					111,880
対前年度	△ 3,250					△ 3,250

【事業概要】

観光客に対する利便を図るため、観光案内等のサービス向上を目的として観光案内業務を委託するとともに、公益社団法人藤沢市観光協会に人件費の助成を行う。

1. 観光案内業務委託

40,771 千円
藤沢市観光センター、片瀬江の島観光案内所、湘南藤沢コンシェルジュにおける観光案内業務を行う。
2. 市観光協会人件費補助金

67,859 千円
公益社団法人藤沢市観光協会の人件費の助成

商工費

事業名	誘客宣伝事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 01	観光シティプロモーション課				
指針体系コード	2-2-21	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	68,379		4,773		22,625	40,981
令和元年度	51,819		2,698		19,345	29,776
対前年度	16,560		2,075		3,280	11,205
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				4,773
	(その他)	江の島岩屋使用料				15,941
	(その他)	片瀬東浜駐車場使用料				6,684

＜拡充事業＞ 外国人観光客誘致対策事業、観光客実態調査事業、宝探し事業（エノシマトレジャー）の実施

【施策等を必要とする背景】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後も、国内外から更なる誘客を図るため年間を通じた施策を展開する必要がある。

【提案に至るまでの経緯】

国はインバウンドを推進し、現状として訪日外国人は大幅に増加している。

また、観光振興計画では、外国人観光客数を数値目標に掲げており、この推計には、県が実施していたビッグデータの集計システムを利用していた。しかしながら、県は既に運用を廃止していることから、外国人観光客数の実数を正確に把握し、今後の施策を展開する上で、ビッグデータの導入は不可欠である。

宝探し事業（エノシマトレジャー）は、冬の閑散期の誘客施策として、2005年度から開催し、第14回目の開催となった2018年度には、過去最高の参加人数となった。

宝探し事業を軸に、年間を通じて観光客の市内の回遊性を高めるため、新規展開を図る。

【市民参加の実施の有無とその内容】 無

【市の策定する計画や条例との整合性】

観光振興計画において、観光客数の調査・把握をし、今後の観光振興施策の戦略データとして活用するため、「観光に関する調査の実施」及び外国人観光客誘致の推進に向け、「ビッグデータを活用した外国人観光客数及び観光行動の把握」を戦略プログラムと位置付けている。

また、藤沢の観光魅力づくりの実現に向け、「歴史や文化を活用した事業の推進」を戦略プログラムと位置付けている。

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

客観的で、より実態に即したKPIの設定や効果検証によるPDCAが可能。

東京2020大会の開催を契機に、今後ますます増加が見込まれる観光客に対し、継続的な誘致活動を行うとともに、回遊性のあるイベントを実施することで、本市の更なる観光振興及び地域経済の活性化に繋がる。

2. 将来にわたる費用

保守・更新費用が必要経費として継続的に生じる。

【事業概要】

国内外から広く観光客を誘客するため、県外での観光キャラバンによるキャンペーン、海外旅行博への参加などによる外国人観光客誘致対策事業の実施、観光ホームページによる情報発信、メディアを活用した観光情報の提供、民間団体等が実施するイベントへの参画等により、誘客宣伝事業を行う。

1. 観光宣伝事業委託	63,802 千円
＜主な事業＞	
・観光キャラバン事業	4,600 千円
・メディアによる観光宣伝事業	1,485 千円
・観光ホームページによる宣伝事業	1,790 千円
・松本市交流事業	220 千円
・観光用土産袋の製作事業	326 千円
・北部観光振興事業	200 千円
・旅行情報誌ブランドを活用した観光PR事業	11,738 千円
・江の島イラストマップの作成	1,397 千円
・外国語版江の島イラストマップの作成	3,718 千円
(拡) ・外国人観光客誘致対策事業	26,386 千円
外国人観光客を対象として、ビッグデータの収集・分析を行う。	
(拡) ・宝探し事業（エノシマトレジャー）	9,517 千円
秋・冬の観光誘客事業として、藤沢宿エリアを含めて実施する。	
(拡) ・観光客実態調査事業	1,485 千円
観光施策推進のため、観光客の実態・回遊状況を把握する。	
・観光親善大使関連事業	601 千円
2. 海と山との市民交歓会開催委託	1,091 千円
姉妹都市・松本市との市民交流事業の実施	
3. 地域観光振興事業補助金	500 千円
8月に開催される遊行寺薪能事業への助成	
4. 新春藤沢・江の島歴史散歩事業補助金	530 千円
1月に藤沢七福神各神社・寺院で開催される新春藤沢・江の島七福神スタンプラリーへの助成	
5. 全日本ライフセービング選手権大会補助金	300 千円
10月に片瀬海岸西浜で開催される全日本ライフセービング選手権大会への助成	
6. サイクルチャレンジカップ藤沢事業補助金	2,000 千円
市内北部地域で開催されるサイクルロードレース大会への助成	
7. 誘客宣伝事業事務経費	
講師謝礼、特別旅費	156 千円

商工費

事業名	江の島マイアミビーチショー負担金					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 02		観光シティプロモーション課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	5,143					5,143
令和元年度	5,143					5,143
対前年度	0					0

【事業概要】

本市有数の観光資源である片瀬海岸東浜、西浜における各種イベントの実施、街頭宣伝事業による誘客を実施する。

1. 江の島マイアミビーチショー負担金 5,143 千円

- ・街頭宣伝事業（実施時期：6月～7月上旬）
小田急電鉄及びJR沿線の主要駅における、夏のイベントチラシ及び観光マップ等の配布、CATV出演や新聞紙面への掲出等
- ・海開き事業（実施日：7月1日）
場所：片瀬海岸西浜
内容：安全祈願、くす玉割り、レスキューデモンストレーション
- ・その他各種海浜イベント（東浜ステージショーほか）



（海開き・くす玉割り）



（東浜ステージショー）

商工費

事業名	湘南江の島フェスティバル事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 03	観光シティプロモーション課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	15,740					15,740
令和元年度	15,741					15,741
対前年度	△ 1					△ 1
【事業概要】 四季を通じた通年型観光地づくりを目指し新たな観光資源の発掘、既存の観光資源の有効活用について、地元観光事業者等と連携し一体となった事業展開を行う。						
1. 江の島大道芸フェスティバルへの負担金 500 千円 6月上旬に江の島島内で開催する大道芸フェスティバルに要する費用の一部を負担する。						
2. 龍の口竹灯籠事業への負担金 500 千円 8月上旬に龍口寺境内で竹にロウソクを灯す事業に要する費用の一部を負担する。						
3. ふじさわ江の島花火大会への負担金 8,376 千円 10月中旬に片瀬海岸西浜にて開催予定の花火大会に要する費用の一部を負担する。						
4. 湘南の宝石事業への負担金 4,290 千円 11月下旬から2月中旬まで開催する江の島島内のライトアップ事業に要する費用の一部を負担する。						
5. 湘南江の島春まつり事業への負担金 2,074 千円 3月中旬に江の島島内で行う稚児行列、和太鼓演奏等のイベント開催に要する費用の一部を負担する。						

商工費

事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費					
予算科目	款 8 項 2 目 2 細目 01 説明 04	観光シティプロモーション課				
指針体系コード	2-2-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	27,745					27,745
令和元年度	26,236					26,236
対前年度	1,509					1,509
【事業概要】 本市を舞台とする国内外の映画・ドラマ・CM等のロケーション撮影や映像作品の誘致及び市内全域における撮影環境の調整を行い、メディアを通して観光地藤沢としての情報を発信するほか、撮影隊の来藤による直接的・間接的な経済効果を図る。						
1. 湘南藤沢フィルム・コミッション事業負担金 27,745 千円 ・ロケハン（ロケ地探し）への協力（ロケ地情報の提供・写真提供など） ・撮影許可申請の案内 ・ロケの立ち会い ・食事や宿泊施設の紹介及び調整 ・市民エキストラ、支援施設の募集及び手配 ・市民向けフォーラムの開催 ・制作宣伝部とのPR企画・実施協力						

商工費

事 業 名		観光施設整備費				
予算科目		款 8 項 2 目 4 細目 01 説明 02		観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-91	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	28,743		7,297	15,900	5,546	
令和元年度	148,916		20,568	88,600	39,748	
対前年度	△ 120,173		△ 13,271	△ 72,700	△ 34,202	
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				7,297
	(地方債)	観光施設整備債				15,900
	(その他)	江の島サムエル・コッキング苑使用料				4,546
	(その他)	観光案内サイン整備事業寄付金				1,000

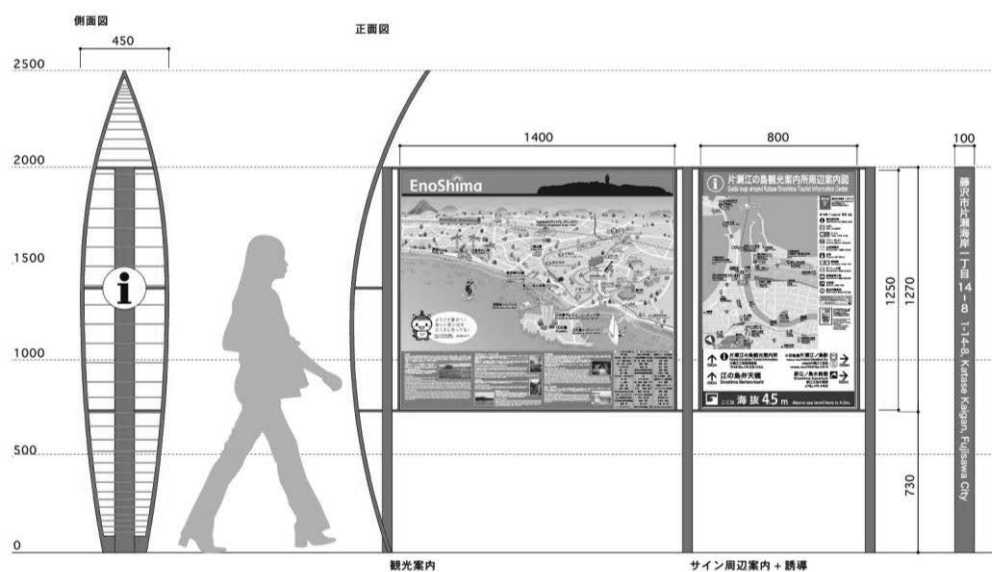
【事業概要】

本市を訪れる観光客に円滑に観光地を回遊してもらうため、観光案内サイン整備工事を行う。
また、観光案内サイン整備事業の実施にあたり、市内外から幅広い支援・協力を募るため、クラウドファンディングを活用する。

1. 観光案内サイン整備事業

28,743 千円

国内外から本市を訪れる多くの観光客に対し円滑に観光地を回遊してもらうため、湘南海岸公園内及び江ノ電江ノ島駅前に統一感がある観光案内サインの整備を行う。



(観光案内サイン整備事業)

商工費

事業名		シティプロモーション関係費				
予算科目	款 8 項 2 目 5 細目 01 説明 01			観光シティプロモーション課		
指針体系コード	2-2-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	16,448		1,833			14,615
令和元年度	18,293		1,332			16,961
対前年度	△ 1,845		501			△ 2,346
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				1,833

【事業概要】

藤沢の魅力やイメージを効果的かつ継続的にアピールすることで、藤沢のブランド価値を高め藤沢を発展させていくため、「ふじさわシティプロモーション推進方針（第2期）」に基づき、「キュンとするまち。藤沢」のキャッチフレーズのもと、市民や企業（団体）等を巻き込んだ、「市民参加型」のプロモーションを展開する。

市外に対しては、市民からの発信力強化による「クチコミ」「SNS」の拡散効果によるブランド力の向上を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機ととらえ、藤沢の魅力を発信するための取組を推進する。

1. ふじさわシティプロモーション推進事業業務委託

5,500 千円

市民自らが拡散性の強いSNSを活用し、まちの魅力を発信する等の行動（アクション）を促す取組を行う。

2. ふじさわファンクラブ事務局運營業務委託

2,018 千円

藤沢を応援するコミュニティである「ふじさわファンクラブ」の自発的活動の支援を行う。

3. 公式キャラクター運營業務委託

1,000 千円

公式マスコットキャラクター（ふじキュン♡）を活用したプロモーションを行う。

4. 公式WEBサイト運用管理業務委託

2,497 千円

ふじさわシティプロモーション公式WEBサイトの運用管理を行う。

(拡) 5. ダンスプロモーション業務委託

963 千円

キュンダンスの普及を目的として、講習会やイベントの企画・実施を行うとともに、公認指導者「アンバサダー」の育成及び認定を行う。

(新) 6. フォトブックの制作

765 千円

藤沢の良好なロケーションやライフスタイルを視覚的にPRするフォトブックを作成する。

(新) 7. 市制80周年記念事業Instagram写真展の実施

119 千円

Instagramで写真を募集し、入選作品の決定・表彰後、市民ギャラリーに展示を行う。

8. 市民アンケート調査の実施

423 千円

藤沢への愛着度や居留意欲、ふじさわシティプロモーションの認知度等を測定するため市民アンケート調査を行う。

9. シティプロモーション関係事務経費

3,163 千円

・報償費（講師謝礼、記念品等）

252 千円

・旅費

219 千円

・委託料（イラストデザイン作成）

99 千円

・その他（啓発品、消耗品、Wi-Fi回線使用料等）

2,593 千円

土木費

事業名	建築物等防災対策事業費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 03	建築指導課				
指針体系コード	1-1-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	60,698	23,326	10,916			26,456
令和元年度	50,045	17,530	11,449			21,066
対前年度	10,653	5,796	△ 533			5,390
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				23,326
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				7,794
	(県支出金)	沿道建築物耐震化支援事業費補助金				3,122

【事業概要】

災害対策を充実するため、市内の建築物の耐震性能の把握と向上を図るとともに、藤沢市住宅耐震化緊急促進アクションプログラムに基づき、住宅耐震化に向け個別通知等による普及啓発に取り組む。

昭和56年新耐震基準以前に建築された在来軸組構法2階建て木造住宅（以下「対象住宅」という。）の所有者及び非木造の分譲マンションの管理組合、耐震診断が義務化された緊急輸送道路沿道建築物の所有者を対象に、既存建築物の耐震化促進事業を行う。

1. 木造住宅耐震診断補助 2,700 千円
対象住宅の所有者を対象に、耐震診断に要する費用の1/2を補助する。
・一般診断（補助上限 60,000円） 45 件
2. 木造住宅耐震改修工事補助 26,520 千円
耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅の耐震改修工事を行う所有者を対象に、耐震改修工事に要する費用の1/2を補助する。さらに、木造住宅耐震診断補助を受けた後に耐震改修工事の実施に至った場合には、診断における自己負担分の追加補助を行う。
・耐震改修工事（補助上限 900,000円） 28 件
・耐震診断自己負担分（補助上限 60,000円） 22 件
3. 木造住宅耐震シェルター・ベッド設置補助 200 千円
耐震診断の総合評点が1.0未満の対象住宅に耐震シェルター・ベッドの設置を行う所有者を対象に、設置に要する費用の1/2を補助する。
・耐震シェルター・ベッド設置（補助上限 200,000円） 1 件
4. 分譲マンション耐震診断補助 1,800 千円
昭和56年新耐震基準以前に建築された、非木造の分譲マンションの管理組合を対象に、予備診断又は本診断に要する費用の1/2を補助する。
・予備診断（補助上限 150,000円） 2 件
・本診断（補助上限 1,500,000円） 1 件
5. 分譲マンション耐震改修工事等補助 13,200 千円
耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された分譲マンションの管理組合を対象に、耐震改修設計及び耐震改修工事に要する費用の一部を補助する。
津波浸水予測区域内の津波避難ビルについては、補助率及び補助限度額を引き上げる。
・耐震改修設計（補助率 2/3、補助上限 100,000円/戸） 1 件
6. 耐震診断義務対象沿道建築物耐震診断補助 13,896 千円
耐震改修促進計画に基づき、耐震診断が義務付けられた緊急輸送道路沿道の旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）の所有者を対象に、診断に要する費用の一部を補助する。
・本診断（補助率 5/6） 14 件

- | | |
|--|----------|
| 7. 耐震診断義務対象沿道建築物耐震改修工事等補助 | 1,400 千円 |
| 耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された緊急輸送道路沿道の、旧耐震建築物（要安全確認計画記載建築物）の所有者を対象に、耐震改修設計、耐震改修工事及び除却に要する費用の一部を補助する。 | |
| ・耐震改修設計（補助率 2／3、補助上限 1,400,000円） | 1 件 |
| 8. 耐震アドバイザー講師謝礼 | 200 千円 |
| 分譲マンションの耐震化促進に向けた合意形成を図るため、管理組合等に対し専門家の立場からサポートするアドバイザー（建築士等）を派遣する。 | |
| ・講師謝礼（20,000円／回） | 10 回 |
| 9. 建築物等防災対策事務経費 | 782 千円 |

土木費

事業名	建築情報管理運営費					
予算科目	款 9 項 1 目 2 細目 01 説明 05			建築指導課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	52,508	219			20,201	32,088
令和元年度	12,718	354			12,364	0
対前年度	39,790	△ 135			7,837	32,088
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				219
	(その他)	建築確認等手数料				19,981
	(その他)	住居表示台帳交付等手数料				220

【事業概要】

複数箇所に分散している建築や都市計画に係る情報の閲覧及び証明交付の窓口を一元化することにより、市民サービスの拡充へつなげる。併せて、情報提供及びデータ入力等の業務については、アウトソーシングを行うことで、業務の効率化を図り、更なる市民サービスの向上を図る。

1. 委託料 22,763 千円
 - ・ 窓口業務等業務委託
建築確認申請等のデータの入力業務、窓口での簡易な受付業務、定期報告業務及び都市計画法に基づく用途地域等の電話問合せ対応の業務を行う。
2. 使用料及び賃借料 23,688 千円
 - ・ 指定道路図等インターネット公開システム利用料 1,782 千円
 - ・ 建築まちづくりGISシステム賃借料 20,977 千円
 - ・ 建築統合GISシステム賃借料 750 千円
 - ・ 住居表示台帳システム賃借料 179 千円
3. 需用費 6,057 千円
 - ・ 消耗品費 5,165 千円
印刷用トナー代及びプロッターインクカートリッジ代等
 - ・ 印刷製本費 892 千円
改ざん防止用紙代等

(前年度の建築情報管理運営費と建築確認関係費の一部と住居表示管理費の一部を統合した事業)

土木費

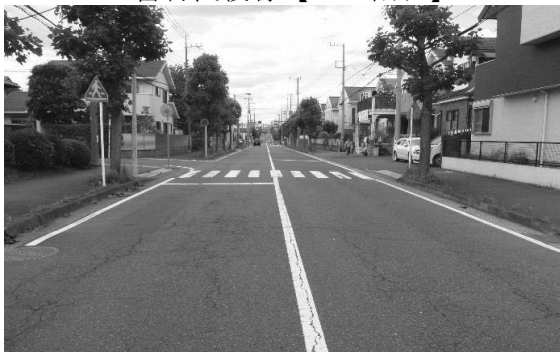
事業名		道路改修舗装費				
予算科目	款 9 項 2 目 2 細目 03 説明 01			道路維持課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	852,900	101,650		183,300		567,950
令和元年度	842,727	82,150		179,400		581,177
対前年度	10,173	19,500		3,900		△ 13,227
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				101,650
	(地方債)	道路整備事業債				183,300

【事業概要】

車両の円滑な通行と市民生活の安全を確保するため、藤沢市道路舗装修繕計画に基づき、舗装の老朽化が著しい箇所について舗装打換等を行う。

- 施設修繕費** 248,045 千円
 老朽化が著しい一般市道等の小規模修繕を行う。
- 委託料** 11,865 千円
 舗装打換予定路線における既設舗装各層の健全度を把握する調査を行うとともに、道路に面した法面の保護のため地質調査及び擁壁設計委託を行う。また、工事に伴う境界復元測量委託を行う。
 - ・ FWD調査委託 10路線 L=5,825m
 - ・ 地質調査及び擁壁詳細設計委託 1箇所
 - ・ 道路境界復元測量委託 L=190m
- 工事請負費** 592,350 千円
 1・2級道路については藤沢市道路舗装修繕計画に基づく舗装打換、その他の一般市道については市民要望が強く修繕対応では困難な場所の舗装打換等の工事を行う。
 - ・ 国庫補助対象事業 10路線 L=1,490m A=10,001㎡
 - ・ 国庫補助対象以外の事業 29路線 L=3,573m A=18,142㎡
- 道路改修舗装事務経費** 640 千円
 ・ 旅費、消耗品費、印刷製本費

善行長後線【ひび割れ】



村岡106号線【ひび割れ】



(3の事業の一部については令和元年度12月補正で債務負担行為を設定)

土木費

事業名		道路施設改修事業費				
予算科目		款 9 項 2 目 2 細目 04 説明 01			道路維持課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	211,103	35,700		55,300		120,103
令和元年度	234,721	39,060		41,900		153,761
対前年度	△ 23,618	△ 3,360		13,400		△ 33,658
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				35,700
	(地方債)	道路整備事業債				55,300

【事業概要】

老朽化が進む道路施設について、利用者の安全を確保するため、専門業者による定期的な点検の実施とともに、点検結果に基づき道路施設の改修工事等を行う。

1. 委託料 99,751 千円

道路施設の安全確保及び修繕計画策定のため、調査、点検等を行う。

- ・路面下空洞調査委託
- ・大型カルバート定期点検委託
- ・道路保護擁壁等点検委託
- ・道路照明灯点検委託
- ・大庭トンネル非常用施設等更新詳細設計委託

2. 工事請負費 89,457 千円

道路施設の安全確保のため、調査、点検結果等に基づき、改修・更新工事等を行う。

- ・南部地域路面下空洞補修工事
- ・高山地下道排水ポンプ改修工事
- ・辻堂駅北口エスカレーター改修工事
- ・藤沢市内道路照明灯更新工事
- ・長後865号線道路照明灯更新工事
- ・藤沢駅南口デッキ改修工事

3. 施設修繕費 16,460 千円

道路施設の調査、点検結果等に基づき、小規模修繕を行う。

4. 道路施設改修事務経費 5,435 千円

- ・旅費、報償費、印刷製本費、手数料、使用料

【大庭トンネル】非常用施設(一部)



【高山地下道】



土木費

事業名	市道新設改良費					
予算科目	款 9 項 2 目 3 細目 01 説明 01			道路整備課		
指針体系コード	5-1-141	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
	5-1-151	重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	435,687	61,154	5,900	220,000		148,633
令和元年度	729,967	90,584	110,000	341,000		188,383
対前年度	△ 294,280	△ 29,430	△ 104,100	△ 121,000		△ 39,750
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				61,154
	(県支出金)	県立体育センター西側昇降機建設負担金				5,900
	(地方債)	道路整備事業債				220,000

【事業概要】

安全で快適な道路環境と安心して移動できる歩行空間の確保のため、道路の新設改良、無電柱化、善行駅周辺地区の道路のバリアフリー化、藤沢本町駅周辺の道路詳細設計等を行う。

1. 道路の新設改良事業 295,711 千円
 - (1) 戸中橋線（工事、補償）
 - (2) 藤沢駅辻堂駅線（工作物等調査、工事、補償）
 - (3) 藤沢652号線（詳細設計、駅自由通路基本設計負担金）
 - (4) 六会554号線（測量、工事【第1期・第2期】）
 - (5) 宮原百石線（埋蔵文化財調査、工事）
 - (6) 高倉遠藤線（工事）
2. バリアフリー化事業 73,300 千円
 - (1) 善行駅周辺地区
教育センター南通り線（工事）
善行12号線他（測量）
県立スポーツセンター（旧県立体育センター）西側昇降機（建物等調査、補償）
3. 無電柱化事業 44,000 千円
 - (1) 藤沢394号線外1路線（建物等調査、工事）
4. その他の事業 10,499 千円
 - (1) 藤沢287号線（用地取得、補償）
5. 市道新設改良事務経費 12,177 千円
 - (1) 旅費、需用費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金

<継続費>

(1) 六会554号線道路改良工事（第1期）				(単位：千円)
年割額	令和元年度	令和2年度	合計	
	51,064	5,700	56,764	
(2) 六会554号線道路改良工事（第2期）				(単位：千円)
年割額	令和2年度	令和3年度	合計	
	37,315	33,599	70,914	
(3) 藤沢394号線外1路線道路改良工事				(単位：千円)
年割額	令和元年度	令和2年度	合計	
	15,290	40,000	55,290	

土木費

事業名		道路安全対策費				
予算科目	款 9 項 2 目 4 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	85,745					85,745
令和元年度	82,412					82,412
対前年度	3,333					3,333

【事業概要】

道路交通事故の防止及び安全で快適な道路環境を提供するなどの安全対策を図るため、安全施設の設置や補修等を行う。

1. 委託料 12,129 千円
道路管理者が管理する道路反射鏡の清掃・調整を行う。
・道路反射鏡清掃及び管理業務委託 清掃 700 基・方向直し 450 基他
2. 工事請負費 55,658 千円
道路反射鏡、交差点発光板など道路安全施設及び道路区画線標示の新設・補修を行う。
・道路交通安全施設設置工事 道路反射鏡等新設・建替 34 基
・道路区画線標示補修等工事 道路区画線標示 約 38,600 m
3. 施設修繕費 16,680 千円
道路反射鏡など道路安全施設の小規模修繕を行う。
4. 役務費 1,278 千円
道路反射鏡などに支障となる樹木の剪定等を行う。

【道路区画線標示補修等工事 施工事例】



(この事業は令和元年度9月補正で増額した事業)
(2の事業は令和元年度12月補正で債務負担行為を設定)

土木費

事業名		橋りょう改修費				
予算科目	款 9 項 2 目 5 細目 01 説明 02			道路維持課		
指針体系コード	1-1-51	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	371,537	127,270		172,900		71,367
令和元年度	470,305	140,800		241,900		87,605
対前年度	△ 98,768	△ 13,530		△ 69,000		△ 16,238
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				127,270
	(地方債)	橋りょう整備事業債				172,900

【事業概要】

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、定期点検等の委託及び塗装塗替、伸縮装置補修等の維持補修工事を行う。また、地震発生時の避難路確保を図るため、境川に架かる境橋と新藤沢（山崎）跨線橋北側の耐震化工事及び、鵜沼歩行者専用道の国道を跨ぐ箇所の耐震化設計委託を行う。

1. 委託料 75,317 千円

- ・鵜沼歩行者専用道耐震化設計委託
- ・長寿命化修繕計画に基づく橋りょう定期点検委託等

2. 工事請負費 296,220 千円

- ・境橋、新藤沢（山崎）跨線橋耐震化工事
- ・橋りょう長寿命化修繕計画に基づく塗装塗替、伸縮装置補修、断面修復等維持補修工事（町屋橋、清水橋、大塚川橋、稲荷橋、大庭大橋、石川陸橋、新藤沢跨線橋等）

境橋（境川）【耐震化工事】



新藤沢（山崎）跨線橋 北側エリア
【耐震化、塗装塗替等工事】



町屋橋（柏尾川）【塗装塗替工事】



石川陸橋【伸縮装置交換等工事】



（この事業は令和元年度12月補正で増額した事業）

土木費

事業名	橋りょう架替事業費					
予算科目	款 9 項 2 目 6 細目 01 説明 01			道路維持課		
指針体系コード	1-1-61	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	187,379		164,939		30	22,410
令和元年度	175,757		156,070		1,639	18,048
対前年度	11,622		8,869		△ 1,609	4,362
特定財源の内訳	(県支出金)	蓼川橋りょう架替事業費負担金				164,939
	(その他)	蓼中橋添架負担金				30

【事業概要】

神奈川県が実施する河川改修事業にあわせて、蓼川の蓼中橋及び蓼中人道橋の架替事業を行う。

- 工事請負費 161,176 千円
令和2年度は左岸側の護岸の築造及び上部工製作・架設、取付道路工事等を実施する。
また、蓼中人道橋の上部工撤去を実施する。
・蓼中橋架替工事（左岸護岸工）
・蓼中橋架替工事（鋼上部製作・架設工）
・蓼中橋架替工事（取付道路工等）

<継続費>

(1) 蓼中橋架替工事（左岸護岸工） (単位：千円)

年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	51,840	61,792	113,632

(2) 蓼中橋架替工事（鋼上部製作・架設工） (単位：千円)

年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	5,552	71,085	76,637

- 委託料 12,023 千円
工事箇所周辺の家屋調査委託を実施する。
・家屋調査（事後）委託
- 補償費及び負担金 12,572 千円
・移設していた橋りょう添架管及び、架空線の復旧作業に伴う補償費と負担金
- 橋りょう架替事務経費 1,608 千円
・需用費（施設修繕費）、賃借料

蓼中橋【左岸橋台完成】



蓼中橋【左岸護岸築造】



土木費

事業名		自転車対策費				
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 01		道路河川総務課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	153,281				105,018	48,263
令和元年度	161,052				105,773	55,279
対前年度	△ 7,771				△ 755	△ 7,016
特定財源の内訳	(その他)	放置自転車等移動・保管手数料				5,548
	(その他)	自転車等駐車場指定管理者納付金収入				98,405
	(その他)	撤去自転車売却収入				1,065

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保を図るため、放置自転車等の移動・保管を行うとともに、市営自転車等駐車場・保管所の維持管理を行う。

1. 委託料 102,230 千円
 - ・ 自転車等札付け及び移送業務委託（市営自転車等駐車場の滞留自転車等の移動）
 - ・ 駅前自転車等整理業務委託（街頭指導、放置自転車等の移動・保管業務）
 - ・ 移動自転車等保管所消防用設備保守点検業務委託（保管所の消防設備法定点検）
2. 使用料及び賃借料 45,387 千円
 - (1) 土地・建物賃借料 30,577 千円
 - ・ 藤沢駅北口第2自転車等駐車場土地賃借料
 - ・ 鵜沼海岸駅第2自転車駐車場土地賃借料
 - ・ 湘南台駅西口自転車駐車場土地賃借料
 - ・ 片瀬江ノ島駅第2自転車駐車場土地賃借料
 - ・ 湘南海岸公園駅東口自転車等駐車場土地賃借料
 - ・ 鵜沼駅自転車駐車場土地賃借料
 - (2) 賃借料（土地・建物以外） 14,810 千円
 - ・ 藤沢駅南口路上自転車駐車場管理設備賃借料
 - ・ 長後駅西口自転車等駐車場管理設備賃借料
 - ・ 藤沢駅南口路上第2自転車駐車場管理設備賃借料
 - ・ 善行駅西口自転車等駐車場管理設備賃借料
 - ・ 湘南台駅東口路上自転車駐車場管理設備賃借料
 - ・ 善行駅東口自転車等駐車場管理設備賃借料
3. 施設修繕費 2,986 千円
 - ・ 自転車等駐車場・保管所施設修繕
4. 自転車対策事務経費 2,678 千円
 - ・ 旅費、需用費、役務費、負担金

土木費

事業名	自転車駐車場整備費					
予算科目	款 9 項 2 目 7 細目 01 説明 02	道路河川総務課				
指針体系コード	1-3-31	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	防犯・交通安全対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,070			0		7,070
令和元年度	26,922			12,800		14,122
対前年度	△ 19,852			△ 12,800		△ 7,052

【事業概要】

歩行者の安全かつ円滑な通行の確保や自転車等の利用者の利便性の向上を図るため、自転車等駐車場の整備を進める。

1. 使用料及び賃借料 5,990 千円
 - ・片瀬江ノ島駅第1自転車駐車場管理設備機器賃借料
2. 自転車駐車場整備事務経費 1,080 千円
 - ・旅費、需用費

(この事業は令和元年度12月補正で増額した事業)
(1の事業は令和元年度12月補正で債務負担行為を設定)

土木費

事業名	河川水路修繕費					
予算科目	款 9 項 3 目 1 細目 02 説明 02			河川水路課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	21,008			9,000		12,008
令和元年度	45,629			10,400		35,229
対前年度	△ 24,621			△ 1,400		△ 23,221
特定財源の内訳	(地方債)	河川改修事業債				9,000

【事業概要】

老朽化が顕著になった準用河川及び普通河川の河川管理施設等の適切な維持管理のため、職員による目視点検等を基に適正な対策を講じ、市民の生命及び財産を守り、災害の発生を未然に防止する。

また、浸水被害の発生している準用河川一色川・白旗川・滝川において、簡易型の河川監視カメラによって河川のリアルタイムな状況を把握することにより、市民の安全・安心の確保と逃げ遅れゼロの取組を進める。

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. 工事請負費 | 10,153 千円 |
| ・ 滝川フェンス改修工事 L = 1 2 9 m | |
| ・ 菖蒲沢地内水路フェンス改修工事 L = 1 2 0 m | |
| 2. 需用費 | 10,080 千円 |
| ・ 施設修繕費 | |
| ・ 河川監視カメラ電気代 | |
| 3. 河川水路修繕事務経費 | 775 千円 |
| ・ 役務費、使用料及び賃借料 | |

土木費

事業名	一色川改修費					
予算科目	款 9 項 3 目 2 細目 01 説明 01			河川水路課		
指針体系コード	1-1-71	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	災害対策の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	82,625	9,000		58,600		15,025
令和元年度	131,851	10,000		98,000		23,851
対前年度	△ 49,226	△ 1,000		△ 39,400		△ 8,826
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				9,000
	(地方債)	河川改修事業債				58,600

【事業概要】

一色川流域の浸水被害を軽減し、流域住民の安全・安心を確保するため、準用河川一色川整備基本計画に基づき、稲荷山橋架替工事を行うとともに、河川改修に必要な事業用地の取得及び補償等を行う。

1. 工事請負費 59,700 千円
- ・稲荷山橋架替工事（左岸下部工・護岸工）
 - ・稲荷山橋架替工事（右岸下部工・上部工）

<継続費>

- (1) 稲荷山橋架替工事（左岸下部工・護岸工） (単位：千円)

年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	74,891	12,000	86,891

- (2) 稲荷山橋架替工事（右岸下部工・上部工） (単位：千円)

年割額	令和2年度	令和3年度	合計
	47,700	54,000	101,700

2. 公有財産購入費及び補償金 15,100 千円
- ・事業用地取得費
 - ・事業用地取得に伴う補償
3. 委託料 5,000 千円
- ・稲荷山橋架替に伴う安全施設点検委託
4. 一色川改修事務経費 2,825 千円
- ・旅費、需用費、役務費、使用料及び賃借料

【稲荷山橋架替工事】



土木費

事業名	総合交通体系推進業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 03 説明 01			都市計画課		
指針体系コード	5-2-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	誰もが移動しやすい交通体系の構築			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	23,666	3,200				20,466
令和元年度	60,816	0				60,816
対前年度	△ 37,150	3,200				△ 40,350
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				3,200

【事業概要】

都市基盤や公共交通の充実に向けた総合交通体系整備を推進するとともに、誰もが利用しやすく、地域に根差した公共交通網の整備を進める。

1. 負担金補助及び交付金 10,826 千円
 - ・神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会年会費 180千円
 - ・地域提案型交通システム導入支援補助（善行地区・六会地区） 3,034千円
 - ・ノンステップバス導入補助 5,600千円
 - ・福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシー含む）導入補助 2,000千円
 - ・総合都市交通計画研修負担金 12千円
2. 委託料 9,746 千円
 - ・藤沢市交通実態分析等業務委託 9,746千円

平成30年度に実施された第6回東京都市圏パーソントリップ調査の集計データを分析し、課題点等を整理することで、本市の現況交通実態を今後の都市交通計画等のための基礎的資料としてとりまとめる。
3. 総合交通体系推進業務事務経費 3,094 千円

土木費

事業名		健康と文化の森整備事業費				
予算科目		款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 01		西北部総合整備事務所		
指針体系コード	5-1-121	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	121,156	0		0		121,156
令和元年度	174,020	17,535		92,500		63,985
対前年度	△ 52,864	△ 17,535		△ 92,500		57,171

【事業概要】

本市の都市拠点の一つに位置づけられている健康と文化の森地区では、いずみ野線延伸の計画において新駅の設置が想定されており、現在、鉄道延伸の計画を見据えながら、地権者をはじめとする関係者とともに、本地区のまちづくりの検討を進めている。今後も引き続き、本市の新たな活力創造の場を創出する都市拠点としてふさわしいまちづくりを推進する。

また、台風や大雨時に慢性的に発生している道路冠水の解消を目的として、「健康と文化の森地区浸水対策基本計画」に基づき地区内の浸水対策を行う。

- | | | |
|-------------------|-----------|-----------|
| 1. 健康と文化の森地区まちづくり | | 83,919 千円 |
| ・まちづくり事業化等推進委託 | 56,430 千円 | |
| ・境界測量委託 | 10,835 千円 | |
| ・地質調査委託 | 16,654 千円 | |
| 2. 健康と文化の森地区浸水対策 | | 37,237 千円 |
| ・雨水排水管築造工事 | 34,685 千円 | |
| ・仮設調整池維持管理費 | 2,552 千円 | |

土木費

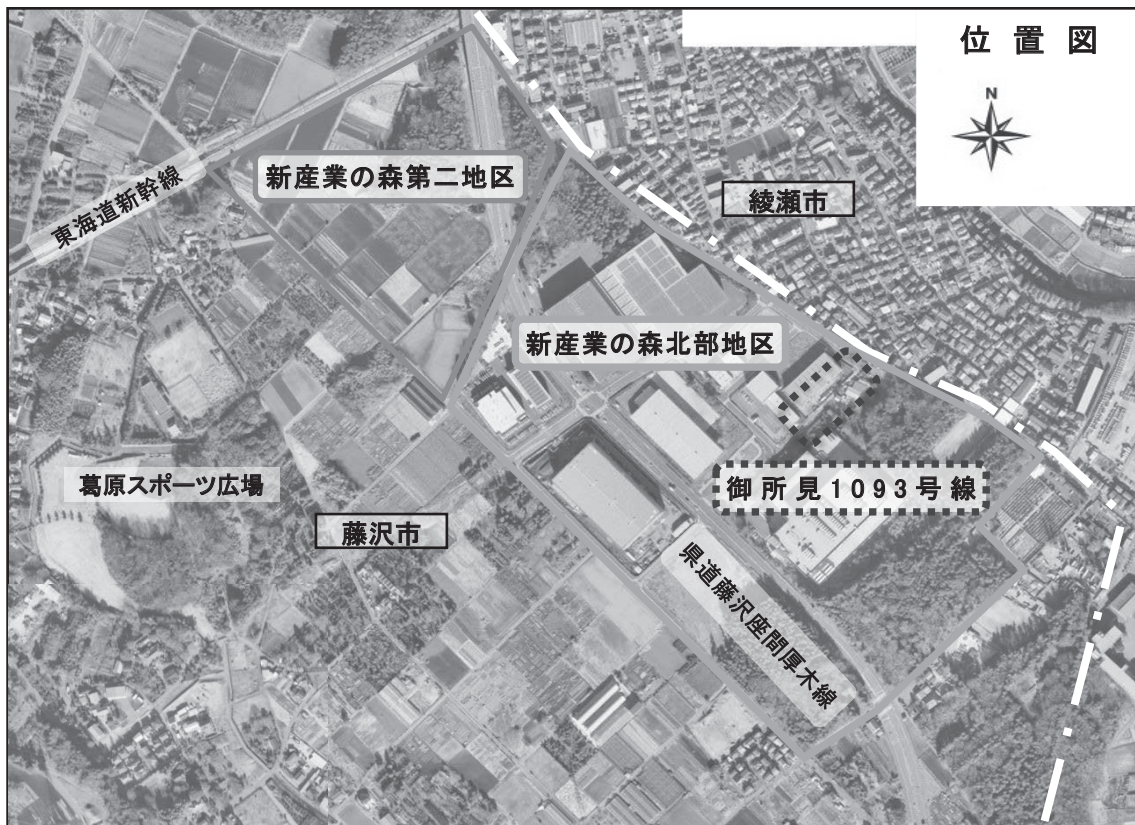
事業名		新産業の森整備事業費				
予算科目		款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 02		西北部総合整備事務所		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	9,691			0		9,691
令和元年度	32,266			23,700		8,566
対前年度	△ 22,575			△ 23,700		1,125

【事業概要】

新たな産業拠点の創出により、地域経済の活性化及び雇用の創出を図るため、既に市街化区域に編入している新産業の森北部地区に引き続き、隣接する第二地区においても、広域交通機能の利便性を活かしたまちづくりを進める。

また、地区内を通る御所見1093号線の工事完了に伴い、確定測量を実施する。

1. 新産業の森第二地区のまちづくり 5,830 千円
・まちづくり支援業務委託
2. 御所見1093号線の整備 3,861 千円
・確定測量委託



新産業の森位置図

土木費

事業名		健康の森保全再生整備事業費				
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 06 説明 05			西北部総合整備事務所		
指針体系コード	5-3-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	自然との共生に向けた環境保全の推進・エネルギーの地産地消の推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	49,013					49,013
令和元年度	7,166					7,166
対前年度	41,847					41,847

【事業概要】

市内三大谷戸の一つである健康の森（遠藤笹窪緑地）の貴重な谷戸環境を保全しつつ、地域活性化に資する施設として、（仮称）遠藤笹窪谷公園の整備を行う。

1. （仮称）遠藤笹窪谷公園の整備 40,680 千円
 - ・地質調査委託 3,487 千円
 - ・地耐力調査委託 387 千円
 - ・建物新設工事に伴う設計委託 8,206 千円
 - ・汚水排水管築造工事 28,600 千円
2. 健康の森の里山保全再生に向けた取組 6,430 千円
 - ・市民活動団体等からの提案活動交付金 2,500 千円
 - ・施設修繕費 1,300 千円
 - ・樹林地管理作業 2,630 千円
3. 健康の森保全再生整備事業事務経費 1,903 千円



（仮称）遠藤笹窪谷公園のイメージ図

土木費

事業名	藤沢駅周辺地区再整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 07 説明 01	藤沢駅周辺地区整備担当				
指針体系コード	5-1-111	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,017,487	156,040	2,010	410,900	16,780	431,757
令和元年度	815,666	35,810	0	527,000	11,005	241,851
対前年度	201,821	120,230	2,010	△ 116,100	5,775	189,906
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				156,040
	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				2,010
	(地方債)	藤沢駅周辺地区再整備事業債				410,900
	(その他)	藤沢駅北口交通広場再整備工事負担金				16,780

【事業概要】

藤沢都心部の再活性化に向け、交通結節機能の更新を核とした駅周辺街区の再整備について、現在実施中の藤沢駅北口交通広場再整備工事の完成を目指すとともに、引き続き藤沢駅南北自由通路の拡幅に向けた基本設計を実施する。また、藤沢駅東西地下通路再整備工事に着手する。

あわせて、整備が完了した藤沢駅北口ペDESTリアンデッキ等を活用した、にぎわい創出に係るエリアマネジメント運営支援等、各プロジェクトの推進を図る。

1. 委託料 43,835 千円

- ・ 藤沢駅周辺地区再整備に伴う推進支援業務委託
- ・ 藤沢駅南北自由通路拡幅整備に関する設計検証業務委託 等

2. 工事請負費 683,050 千円

- ・ 藤沢駅北口交通広場再整備工事【継続費】
- ・ 藤沢駅東西地下通路再整備工事【継続費】

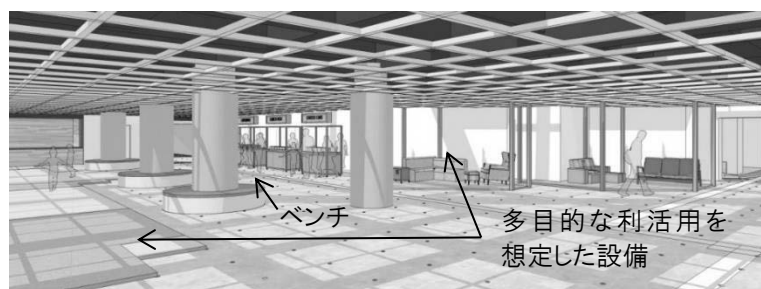
3. 負担金 282,463 千円

- ・ 藤沢駅自由通路拡幅整備基本設計負担金【継続費】
- ・ 藤沢駅周辺地区エリアマネジメント運営支援負担金 等

4. 藤沢駅周辺地区再整備事業事務経費 8,139 千円

<継続費年割額> (単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
藤沢駅北口交通広場再整備工事	-	327,783	87,007	-	414,790
藤沢駅東西地下通路再整備工事	-	-	596,043	1,014,885	1,610,928
藤沢駅自由通路拡幅整備基本設計負担金(小田急)	46,585	7,590	15,703	-	69,878



<藤沢駅東西地下通路(広場空間)のリニューアルイメージ>
(3の事業の一部は令和元年度6月補正で債務負担行為を設定)
(この事業は令和元年度9月補正で増額した事業)

土木費

事業名	長後地区整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 08 説明 02		都市整備課長後地区整備事務所			
指針体系コード	5-1-131	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	20,099	500		12,700		6,899
令和元年度	112,718	40,290		42,200		30,228
対前年度	△ 92,619	△ 39,790		△ 29,500		△ 23,329
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				500
	(地方債)	道路整備事業債				12,700

【事業概要】

長後駅周辺の交通混雑緩和を図るため、高倉下長後線の都市計画変更に向けた関係機関協議及び事業化に向けた検討を行う。また、歩行者等の安全性向上を図るため、長後725号線の道路北側の歩道整備に向け、長後市民センター東側区間における一部の土地について用地取得等を行う。

- 高倉下長後線整備事業 586 千円
 - 委託料（埋蔵文化財予備調査）
- 長後725号線歩道整備事業 19,291 千円
 - 役務費（不動産鑑定・分筆登記） 825 千円
 - 委託料（移転補償費算定） 7,128 千円
 - 工事請負費 3,476 千円
 - 公有財産購入費（用地） 6,293 千円
 - 補償補填及び賠償金（移転補償） 1,569 千円
- 長後地区整備事業事務経費 222 千円



事業位置図

土木費

事業名	江の島地区周辺整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 1 細目 10 説明 01			江の島地区周辺整備担当 (新課名：道路整備課)		
指針体系コード	2-2-81	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	72,048			19,500		52,548
令和元年度	16,435			0		16,435
対前年度	55,613			19,500		36,113
特定財源の内訳	(地方債)	江の島地区周辺整備事業債				19,500

【事業概要】

片瀬・江の島周辺における回遊性の向上及び交通機能の強化を図るため、片瀬江ノ島駅前通り線の交通空間の整備及び周辺道路の交通安全対策として鵠沼海岸10号踏切の改良工事等を行う。

1. 賃借料 1,932 千円
・道路用地（交通空間の一部）

2. 工事請負費【継続費】 26,000 千円
・片瀬江ノ島駅前通り線の交通空間整備工事

(単位：千円)

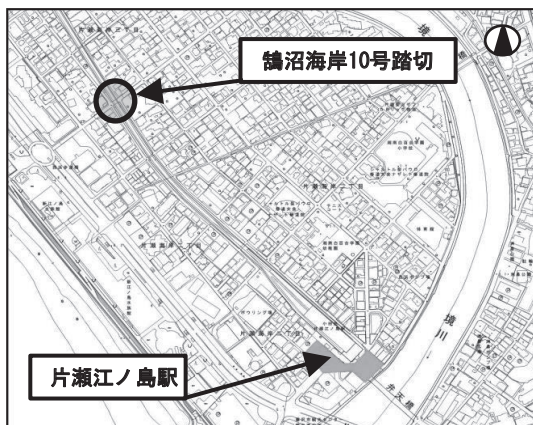
年割額	令和元年度	令和2年度	合計
	25,000	26,000	51,000

3. 負担金 41,968 千円
・鵠沼海岸10号踏切の改良工事に伴う負担金

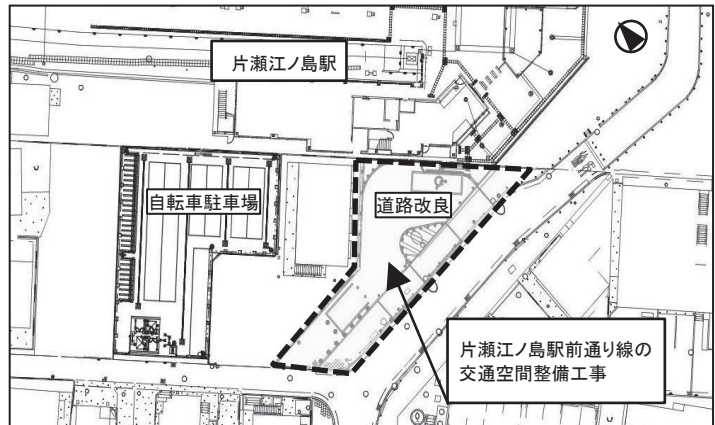
4. 江の島地区周辺整備事業事務経費 2,148 千円

<スケジュール>

	令和元年度				令和2年度			
片瀬江ノ島駅前通り線の交通空間整備			自転車駐車場	道路改良	20	東京20		
鵠沼海岸10号踏切の改良				踏切改良		大会	軌道調整	



【位置図】



【交通空間の計画平面図】

(この事業は令和元年度9月補正で増額した事業及び債務負担行為を設定)

土木費

事業名	村岡地区都市拠点総合整備事業費					
予算科目	款 9 項 4 目 2 細目 02 説明 01			都市整備課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	139,922	4,500	0		0	135,422
令和元年度	24,899	11,448	2,692		5,384	5,375
対前年度	115,023	△ 6,948	△ 2,692		△ 5,384	130,047
特定財源の内訳	(国庫支出金)	街路交通調査費補助金				4,500

【事業概要】

村岡新駅の設置を含めた村岡・深沢地区全体整備構想（案）の実現に向け、神奈川県、鎌倉市と広域連携を図りながら、まちづくりの具体化や新駅設置の検討を行う。

- 委託料 39,182 千円
 - 村岡新駅周辺地区基本設計業務委託 15,686 千円
村岡新駅周辺地区で整備を予定する公共施設及び造成計画等について、必要な調査を行うとともに基本設計を行う。
 - 村岡新駅周辺地区概略換地等設計委託 16,379 千円
村岡新駅周辺地区の土地区画整理事業の実現性精査のため、概略換地設計を行う。
 - 村岡新駅周辺地区官民連携導入機能等調査委託 7,117 千円
村岡新駅周辺地区の土地利用の需要調査結果及びまちづくりへの民間関与の意向を踏まえ、導入機能及びまちづくりの効果について整理を行う。
- 負担金 100,140 千円
 - 湘南地区整備連絡協議会負担金 100 千円
会運営費
 - 村岡新駅（仮称）設置協議会負担金 40 千円
会運営費
 - 村岡新駅概略設計負担金 100,000 千円
概略設計及び概略設計監理負担金
- 村岡地区都市拠点総合整備事業事務経費 600 千円

＜村岡地区都市拠点総合整備事業の概略スケジュール＞

項目\年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降
新駅整備	神奈川県・鎌倉市・ 藤沢市の合意 村岡新駅（仮称）設 置協議会の立上げ JR東日本へ 新駅設置要望		概略設計	新駅設置の 最終判断 JR東日本との 基本協定
まちづくり		事業費の精査 及び コスト削減策の検討等	事業費の精査 及び コスト削減策 の検討 事業の具体化 及び 効果の検討	土地区画整理 事業の手続き 都市計画決定

※ については、新駅設置の最終判断で、事業実施となった場合のスケジュールを示しています。

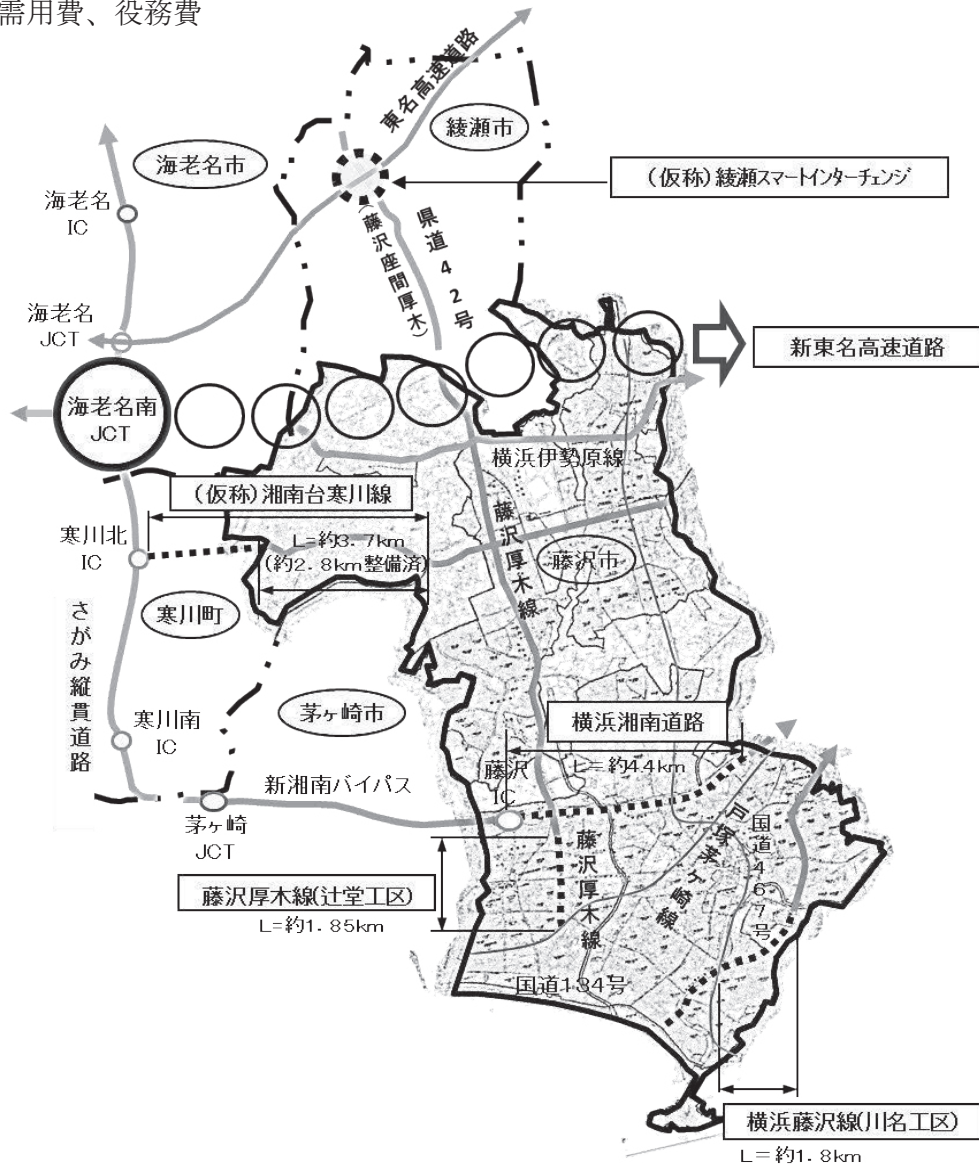
土木費

事業名	主要幹線道路対策費					
予算科目	款 9 項 4 目 3 細目 03 説明 01	道路河川総務課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	866					866
令和元年度	866					866
対前年度	0					0

【事業概要】

都市の骨格を形成する主要幹線道路網の整備により、首都圏及び全国各圏域との交流を容易にし、市民・企業等の交流・連携をささえ、都市の活力を創造するため、国道（横浜湘南道路、新東名高速道路、（仮称）綾瀬スマートインターチェンジ）及び県道（横浜藤沢線、藤沢厚木線、（仮称）湘南台寒川線）の事業調整、促進及び要望活動を行う。

- 負担金補助及び交付金 167 千円
 - 首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会他負担金
- 主要幹線道路対策費事務経費 699 千円
 - 旅費、需用費、役務費



土木費

事業名	公園管理業務費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 01		公園課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	722,668				6,010	716,658
令和元年度	687,373				2,471	684,902
対前年度	35,295				3,539	31,756
特定財源の内訳	(その他)	公園使用料				6,000
	(その他)	その他証明閲覧手数料				10

【事業概要】

公園利用者に、安全・安心で、みどり豊かな潤いと憩いのある空間を提供し、都市環境の向上を図るために、公園緑地内の定期的な維持管理を行う。

また、鶴沼海浜公園の再整備に向けて、公募設置管理制度（P a r k - P F I）手法を活用した検討を進めるとともに、市の花制定50周年を記念し、フジ記念誌やフジロードリーフレットを作成する。

1. 施設修繕費 42,369 千円
指定管理公園、近隣・街区公園等の修繕を行う。

2. 委託料 569,952 千円
指定管理公園、近隣・街区公園等の定期的な維持管理（清掃、草刈、樹木剪定等）を行う。
・新林公園ほか11公園指定管理料 237,028 千円
・近隣・街区公園等公園管理業務委託 等 332,924 千円

3. 役務費 25,565 千円
指定管理公園、近隣・街区公園等の維持管理（老朽化施設撤去等）を行う。

4. 使用料及び賃借料 56,745 千円
・公園駐車場管理装置賃貸借料 等 24,923 千円
・公園用地賃貸借料 31,822 千円

5. 公園管理業務事務経費 28,037 千円
(新) ・フジ記念誌、フジロードリーフレットの作成 1,846 千円
(新) ・P a r k - P F I 委員会委員報酬 122 千円
・光熱水費 等 26,069 千円

土木費

事業名	公園改修費					
予算科目	款 9 項 4 目 4 細目 02 説明 03			公園課		
指針体系コード	4-2-31	まちづくりテーマ	健康で豊かな長寿社会をつくる			
		重点施策名	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	224,958	0		149,100		75,858
令和元年度	339,370	18,000		210,500		110,870
対前年度	△ 114,412	△ 18,000		△ 61,400		△ 35,012
特定財源の内訳	(地方債)	土砂災害防止対策事業債				149,100

【事業概要】

公園利用者が安全・安心に利用できる環境をつくるため、遊具等の公園施設の改修や専門業者による保守点検を実施し、適切な維持管理と老朽化等への対応を図るとともに、「藤沢市健康増進計画」に基づき、健康遊具を増設する。

また、土砂災害警戒区域内に位置する公園の法面について、周辺住民及び施設利用者等の安全確保のため、対策工事及び工事実施に向けた設計委託を行う。

1. 公園施設の老朽化対策等 64,666 千円
 - (1) 委託料 4,638 千円
 - ・都市公園遊具点検業務委託（271公園）
遊具に起因する事故の発生を未然に防ぐため、国の指針に基づき定期点検を行う。
 - (2) 工事請負費 13,266 千円
 - ・施設改修工事（長久保公園）
 - ・公園内健康遊具増設工事（烏森公園他5公園）
 - (3) 施設修繕費 29,766 千円
 - 劣化が進んでいる遊具等の公園施設について、延命化を図るための塗装や小規模修繕を行う。
 - (4) 役務費 13,315 千円
 - 公園の適正な維持管理を行うために、老朽化した施設の撤去や樹木の剪定等を行う。また、市の花であるフジについて、剪定等の管理を実施し、保護及び育成を図る。
 - (5) 事務経費 3,681 千円
2. 法面对策 160,292 千円
 - (1) 委託料 22,198 千円
 - ・法面予備設計委託（本在寺公園）
 - ・法面実施設計委託（御所ヶ谷緑地）
土砂災害警戒区域内の法面について、計画的に対策工事を進めるため、予備設計委託及び実施設計委託を行う。
 - (2) 工事請負費 138,094 千円
 - ・法面对策工事（大庭城址公園第2期工区）
土砂災害警戒区域内の法面について、対策工事を行う。

（この事業は令和元年度9月補正で増額した事業）

土木費

事業名		近隣・街区公園新設事業費				
予算科目		款 9 項 4 目 4 細目 03 説明 02			公園課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	160,040	2,500		110,600		46,940
令和元年度	513,324	174,000		255,000		84,324
対前年度	△ 353,284	△ 171,500		△ 144,400		△ 37,384
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				2,500
	(地方債)	公園建設事業債				110,600

【事業概要】

地域コミュニティ形成の場や災害時の一時避難場所としての役割を担い、かつ市民に潤いと安らぎを与える身近なみどりの空間を確保するため、街区公園の整備を行う。

- 吉野町公園 149,502 千円

藤沢公民館・労働会館等複合施設との一体的利用に向けて、計画区域内の用地取得を進めるとともに、整備に向けた調査等を行う。

 - ・地質調査委託
 - ・現況測量委託
 - ・用地取得
 - ・移転補償
 - ・事務経費
- 折戸公園 5,896 千円

公園西側入口の整備に向けた地質調査を行う。

 - ・地質調査委託
 - ・事務経費
- 大門公園予定地 4,642 千円

大門公園の都市計画変更に向けて、予定地の現況測量を行う。

 - ・現況測量委託



吉野町公園 事業位置図

土木費

事業名		住宅環境整備事業費				
予算科目		款 9 項 5 目 1 細目 03 説明 01			住宅政策課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	238,711	136,435		75,900		26,376
令和元年度	517,164	216,632		245,100		55,432
対前年度	△ 278,453	△ 80,197		△ 169,200		△ 29,056
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				27,840
	(国庫支出金)	住宅防音事業補助金				108,595
	(地方債)	市営住宅改修事業債				75,900

【事業概要】

市営住宅の良好な居住環境の整備・改善を図るため、藤沢市市営住宅等長寿命化計画に基づき改修工事を実施し、市営住宅ストックの長寿命化を進められるよう住宅環境の整備を行う。

市営滝ノ沢住宅外壁等改修及び防音工事については、平成27年度から令和元年度にかけて、5棟を実施した。今回、残る1棟について、工事を実施する。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 工事請負費 | 227,810 千円 |
| ・外壁等改修及び防音工事 | 市営滝ノ沢住宅6号棟 |
| 2. 住宅環境整備事業事務経費 | 10,901 千円 |

工事予定箇所（市営滝ノ沢住宅6号棟）



土木費

事業名	住宅政策推進費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 01			住宅政策課		
指針体系コード	5-4-11	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	484	130				354
令和元年度	1,262	126				1,136
対前年度	△ 778	4				△ 782
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				130

【事業概要】

少子超高齢社会、本格的な人口減少社会を迎える中で、長期的な視野に立ち、総合的な住宅政策を推進する。

1. 藤沢市住宅マスタープランの進捗管理 95 千円

藤沢市住宅マスタープランに基づき、各課との連携を図り事業の進捗管理を行う。また、藤沢市居住支援協議会の運営及び団地再生に向けた地域と連携した取組を実施する。

・旅費、消耗品等

- | | |
|--------|---------------------------|
| 重点施策－1 | 居住支援協議会による住宅確保要配慮者への支援 |
| 重点施策－2 | 空き家の適正管理の促進と利活用の推進 |
| 重点施策－3 | 市営住宅の長寿命化等による居住性の向上と活用の推進 |
| 重点施策－4 | 団地再生に向けた地域と連携した取組の推進 |

2. 高齢者住まい探し相談会の実施 389 千円

本市の民間賃貸住宅への入居に困窮している高齢者等に対し、相談会を実施するなど、居住の安定を図るための入居支援事業を行う。

- | | |
|--------------------------|--------|
| ・高齢者円滑入居支援事業業務委託 | 289 千円 |
| ・公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会年会費 | 100 千円 |

土木費

事業名	空き家対策関係費					
予算科目	款 9 項 5 目 1 細目 04 説明 02			住宅政策課		
指針体系コード	5-4-21	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	市民生活に不可欠な社会資本・経済環境の整備			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	3,388	450				2,938
令和元年度	15,869	5,455				10,414
対前年度	△ 12,481	△ 5,005				△ 7,476
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				450

【事業概要】

藤沢市空き家対策基本方針に基づき、空き家の適正管理の促進、特定空き家の認定と措置及び空き家の利活用の推進などの空き家対策を行う。

1. 空き家の適正管理の促進 150 千円

広報やホームページ等を活用し、空き家の適正管理に関する意識啓発を行う。また、空き家の損壊状況や周囲への衛生上の影響を現地にて調査し、空き家所有者等に対して、実態に即した助言・指導を行う。

 - ・ 訪問等調査に係る旅費 60 千円
 - ・ 空き家対策に関する研修会参加負担金 90 千円
2. 特定空き家の認定及び特定空き家審査会の開催 424 千円

放置すれば著しく保安上危険、衛生上有害な空き家を特定空き家として認定し、所有者等に対し法に基づく指導を行い是正を促す。

 - ・ 特定空き家審査会委員報酬 285 千円
 - ・ 審査会会議録筆耕翻訳料 139 千円
3. 空き家の利活用の推進 1,853 千円

藤沢市空き家利活用マッチング制度、藤沢市空き家利活用事業補助金制度の実施により、空き家の利活用の推進を図る。

 - ・ 空き家利活用事業補助金 1 件 1,000 千円
 - ・ 空き家利活用事業審査会委員報酬 127 千円
 - ・ 審査会会議録筆耕翻訳料 185 千円
 - ・ 空き家移動相談会・利活用セミナー広告料 541 千円
4. 空き家対策関係事務経費 961 千円

消防費

事業名		応急手当普及啓発推進事業費				
予算科目		款 10 項 1 目 1 細目 04 説明 03			救急救命課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	6,417					6,417
令和元年度	8,186					8,186
対前年度	△ 1,769					△ 1,769
【事業概要】 市民の応急手当に関する知識・技術の普及啓発を図るため、特定非営利活動法人ふじさわ救命普及推進会及び藤沢市救命普及指導員等と協力し、普通救命講習を実施する。また、応急手当に精通した市民の育成を図るため、上級救命講習や応急手当普及員講習を実施する。						
1. 各種救命講習及び応急手当教育の実施		6,417 千円				
普通救命講習、上級救命講習及び応急手当普及員講習や、市内中学校の生徒に対する応急手当教育を実施する。						
・救命普及指導員、保育ボランティア報償費		792 千円				
・配布教材費、消耗品費等		2,756 千円				
・賃借料、保険料		309 千円				
・救命講習指導事業負担金		2,560 千円				

消防費

消 防 団		消防団充実強化推進事業費				
予 算 科 目		款 1 0 項 1 目 2 細目 01 説明 05			警防課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	1,743		823			920
令和元年度	2,593		1,229			1,364
対前年度	△ 850		△ 406			△ 444
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				823
【事業概要】 消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律の施行を受け、地域防災の中心である消防団の充実強化を図るため、個人装備や救助活動用資機材の整備を行う。 1. 消耗品費 ・ 小型動力ポンプ中継媒介金具 ・ 救助用ロープ ・ レスキューフローティングベスト ・ 救助用浮環 ・ フローティングロープ ・ 水難救助用スローバック 1 1 個 1 0 巻 8 着 2 個 2 巻 8 個 1,651 千円 605 千円 682 千円 141 千円 20 千円 84 千円 119 千円 2. 負担金 ・ 無線免許取得講習負担金 3 人 92 千円						

消防費

事 業 名		消防自動車等整備費				
予算科目	款 1 0 項 1 目 3 細目 01 説明 04			警防課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	424,509	72,777	34,007	278,100		39,625
令和元年度	127,126	13,396	0	94,600		19,130
対前年度	297,383	59,381	34,007	183,500		20,495
特定財源の内訳	(国庫支出金)	緊急消防援助隊設備整備費補助金				72,777
	(県支出金)	市町村地域防災力強化事業費補助金				34,007
	(地方債)	消防施設整備事業債				278,100

【事業概要】

車両更新計画に基づき、老朽化した消防車両等の更新を行う。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 車両等購入費 | 413,471 千円 |
| ・ 消防車 | 北消防署長後出張所 53,748 千円 |
| ・ 水槽付き消防車 | 北消防署西部出張所 72,545 千円 |
| ・ 救助工作車 | 南消防署 205,872 千円 |
| ・ 連絡車 | 南消防署 8,437 千円 |
| | 南消防署鵠沼出張所 |
| ・ 高規格救急車 | 南消防署 39,733 千円 |
| ・ 団小型動力ポンプ付き積載車 | 第4分団 33,136 千円 |
| | 第23分団 |
| 2. 車両整備関係費 | 11,038 千円 |
| ・ 旅費（中間検査等） | 384 千円 |
| ・ 需用費（自動車継続検査） | 10,027 千円 |
| ・ 役務費（自賠責保険等） | 269 千円 |
| ・ 公課費（重量税） | 358 千円 |

消防費

事 業 名		大規模震災等対策強化事業費				
予算科目	款 1 0 項 1 目 3 細目 01 説明 06			警防課		
指針体系コード	1-2-11	まちづくりテーマ	安全で安心な暮らしを築く			
		重点施策名	危機管理対策の推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	49,686	38,691		3,200		7,795
令和元年度	11,406	0		3,000		8,406
対前年度	38,280	38,691		200		△ 611
特定財源の内訳	(国庫支出金)	消防・救急体制整備費補助金（東京2020オリパラ大会）				38,691
	(地方債)	消防施設整備事業債				3,200

【事業概要】

近年中に発生が懸念されている大規模地震や台風及び集中豪雨等による風水害、また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や大規模イベントにおけるテロ等の特殊災害への対策を強化するため、災害対応資機材等の整備を行う。

1. 災害対応資機材等の整備 10,995 千円
 - ・浸水害対応救助ボート（FRP製ボート） 5 艇 3,575 千円
 - ・土砂災害対応資機材（レスキューサポート） 1 セット 2,640 千円
 - ・特殊災害対応資機材の更新（化学防護服、検知資機材等） 3,413 千円
 - ・特殊災害対応資機材の点検 1,367 千円

2. 大規模イベントにおける特殊災害対応資機材等の整備 38,691 千円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における消防対策基本計画及び消防特別警戒計画に基づき、オリンピック関連施設及びオリンピック重点警戒施設におけるテロ災害等の発生に備え、特殊災害対応資機材等を整備する。

 - ・特殊災害対応資機材（化学防護服、検知器等） 31,006 千円
 - ・使用料及び賃借料（映像監視用システム、待機所等） 7,685 千円



【 化学防護服 】



【 化学剤検知器 】



【 特殊災害対応訓練中の隊員 】

教育費

事業名	奨学金給付事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 2 細目 02 説明 11	教育総務課				
指針体系コード	3-3-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,996				7,680	316
令和元年度	5,837				5,520	317
対前年度	2,159				2,160	△ 1
特定財源の内訳	(その他)	教育応援基金繰入金				7,680

【事業概要】

意欲と能力のある高校生等が、経済的理由により進学を断念することなく、大学等での修学の機会が得られるよう、給付型奨学金制度を実施するとともに、医学部・歯学部を進学対象とした白石敬子奨学金についても継続して実施する。

また、令和2年4月から始まる国の高等教育修学支援新制度において、大学等における授業料等減免制度の創設と給付型奨学金の拡充が実施されることから、本市独自の給付型奨学金を見直し、対象世帯と給付人数を拡充する。

- (拡) 1. 奨学金の給付 7,680 千円
 これまでに選考した奨学生に対し、学費奨学資金を給付するとともに、面談等により入学後のアフターフォローを行う。
 また、新たな奨学生を募集し、入学準備奨学資金を給付する。
- ・学費奨学資金 6,480 千円
 - ・入学準備奨学資金 1,200 千円
2. 奨学金給付審査委員会委員報酬 148 千円
 奨学生の選考等に関する審査を行う奨学金給付審査委員会委員に対して、日額報酬を支払う。
3. 奨学金関係事務経費 168 千円
 奨学金給付事業に必要な事務用品等

教育費

事業名	人権環境平和教育関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 02	教育指導課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	608					608
令和元年度	606					606
対前年度	2					2

【事業概要】

児童生徒を対象に、人権、環境、平和についての知識の習得や理念の啓発を行う。また、児童生徒に対する人権教育、環境教育、平和教育の有効性を高めるため、教員を対象とした研修を実施する。

- 児童生徒及び教職員を対象とした、人権、環境、平和教育に関する講演会等の実施
 - 人権教育移動教室講師謝礼 4回×20千円 95千円
 - 人権・環境・平和教育担当者会講師謝礼 1回×15千円
- 小・中・特別支援学校への人権、環境、平和教育に関する参考図書等の配布 383千円
- 子どもの権利条約リーフレット等の作成・配布 95千円

「児童の権利に関する条約」の存在を広く児童生徒に知らせ、条約の精神を日常生活の中で生かすことを目的に配布する。

 - 配布対象 小学校1、4年生及び中学校1年生
- セクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットの作成・配布 35千円

児童生徒が自分を大切にすることを通して、自分以外の人も同じように大切にするという人権意識の啓発を目的に配布する。

 - 配布対象 小学校4年生及び中学校1年生

小|学|校|高|学|年|の|み|な|さ|ん|へ

わたしとみんな

「子どもの権利条約」をるまえで

世界の子どもの生命や生活を守るために、1989年、世界の国々の代表が話し合って「子どもの権利条約」を定めました。この条約には、

**世界のすべての子どもたちが
幸せに暮らせるように**

という願いがこめられています。

この条約の意味を理解することによって、今の生活をよりよくするきっかけになればと思い、学校にかかわることを中心に13の条約を取りあげました。高学年のみなさんにはできることがたくさんあります。いじめられたり、無視されたり、仲間はずれにされたりしている字はいませんか。その子たちの笑顔を取り戻すために何ができるでしょうか。そして、子どもの権利についておうちの方や先生、そして、友達とを考えてみましょう。



ふじきゅん♡

藤沢市教育委員会

STOP!!

スクール・セクハラ
デートDV

中学生のみなさんへ

スクール・セクハラとは？

◇学校という場所で起きるセクハラ（セクシュアル・ハラスメント）です。

たとえば・・・

- ① 個人の体型や顔について話題にする。
- ② 性的なからかいや冗談を言う。
- ③ 性的な体験をたずねたり、話したりする。
- ④ 教室や部室などに水着の写真やポスターを貼る。
- ⑤ 必要もないのに体をさわる。
- ⑥ 着ているところを見たり、のぞいたりする。
- ⑦ 携帯電話などで性的なメールや画像を送る。

セクハラとは、性的な言葉や行動で相手を不快にさせることを言います。セクハラかどうかは、基本的に受け手がそれを不快に感じるかどうかによって決まります。親しみのつもり、軽い気持ちで行ったことでも相手がいやだと感じたら、それはセクハラです。

また、「悪のくせに」とか「女らしく」などといった男女についての固定的な考え方もセクハラにつながります。

***「セクハラ」は、みんなできくしいかきければきくしいことです!!**

楽しい学校生活を過ごすために・・・

◇不快なことを、言われたりされたりしたときは、がまんせず「やめて!」ときっぱり言しましょう。

◇セクハラをする人は「他の人に言っちゃいけない。」など口止めるかも知れません。しかし、そのままにしておく、「セクハラ」がますますエスカレートする可能性があります。

◇自分の中に抱えている不安や悩み、先生、スクールカウンセラーさんなど信頼できる人に気持ちを話して相談してみましょう。

※ あなたのプライバシーは、守られます。安心して相談しましょう。

***もし、セクハラを見聞きしたり、被害を相談されたら!**

見て見ぬふりではなく、嫌な思いをしている人に声をかけ、話を聞いてあげましょう。直接、声をかけるのが難しいときは、身近な信頼できる人に相談しましょう。

セクハラを防止するには、セクハラ行為を注意する勇気も大切です。

るだんからこんなことを心がけよう!

悪気はなく、軽い気持ちで言ったつもりが、結果として相手の心を傷つけることがあります。自分がセクハラをされたらどんな気持ちだろうと考えることは、セクハラ防止に有効です。

男女がお互いの違いを認め、対等な存在として尊重しあうことが大切です。

相手の話をよく聞いて気持ちを理解し、お互いの持っている良さを認めあっていきましょう。

子どもの権利条約リーフレット
(小学校4年生配布用)

セクシュアル・ハラスメント等
防止リーフレット (中学校1年生配布用)

教育費

事業名	国際教育推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 03	教育指導課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	80,234					80,234
令和元年度	77,393					77,393
対前年度	2,841					2,841

【事業概要】

学校における国際教育を推進するため、外国語指導講師等を学校に派遣し、授業を行うことによる国際教育の実施と、外国につながるのある児童生徒に対し、学校教育への適応に向けた支援を行う。

- 外国語指導業務委託（F L T） 65,837 千円
英語を第一言語とする外国語指導講師を委託業務として派遣し、小学校3～6年生の外国語活動・外国語（英語）及び中学校1～3年生の外国語（英語）の授業をチーム・ティーチングで行う。
- 国際理解協力員派遣事業 2,546 千円
異文化やコミュニケーションに対する興味、関心及び共生への理解を高めるため、国際理解協力員と学級担任がチーム・ティーチングで授業を実施する。
・小学校1～4年生 年間1学級2時間
・特別支援学校 年間1学年1時間
- 日本語指導員の派遣事業 11,358 千円
日本語指導を必要とする外国につながるのある児童生徒に対し、12カ国語に対応して日本語指導員を派遣し、日本語指導と学校生活へ適応するための支援を行う。
・支援を必要としている児童生徒人数 約160人
- 国際教育教材費等経費 373 千円
指導教材費、傷害保険料及び損害保険料、外国語指導業務事業者選定委員会委員報酬
- 研修会の実施 120 千円
教員の指導力向上のため、外国語及び外国語指導に関する研修会を行う。



（国際理解協力員派遣事業）

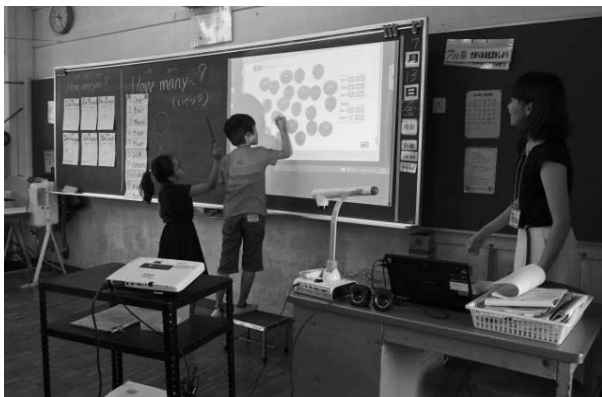
教育費

事業名	教育情報機器関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 04	教育総務課				
指針体系コード	3-1-31	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	404,733					404,733
令和元年度	417,136					417,136
対前年度	△ 12,403					△ 12,403

【事業概要】

文部科学省が公表している「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針について」及び「GIGAスクール構想」に基づき、ICT環境の整備を行う。

- 学習用端末等整備事業** 344,036 千円
 学習で使用するためのICT環境の整備を行う。
 - ・ネットワーク管理費 13,551 千円
 - ・デジタル教科書使用料 11,000 千円
 - ・既存端末等賃借料 319,485 千円
- ICT機器活用サポート業務委託** 38,398 千円
 ICT機器の活用をサポートするICT支援員の派遣や、さまざまな契約により導入された機器の故障等へ対応するための窓口を担うヘルプデスク業務を行う。
- ICT周辺機器等整備事業** 22,299 千円
 体育館用プロジェクターやプログラミング教材等の整備を行うとともに、既存機器等の修理対応を行う。



(ICT機器を活用した授業)



(タブレット端末の実用例)

教育費

事 業 名		学校安全対策関係費				
予算科目		款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 05			教育指導課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	15,075	2,319				12,756
令和元年度	15,010	0				15,010
対前年度	65	2,319				△ 2,254
特定財源の内訳		(国庫支出金)	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金			2,319

【事業概要】

小・中・特別支援学校の安全管理及び児童生徒の安全確保や防災意識の向上を図るための対策を講じる。

1. 学校非常通報システム維持管理 7,560 千円
2. ジュニアライフセービング教室の実施 418 千円
小・中学校で海の安全に関する意識を高めるための講演や体験教室を実施する。
3. スクールガード・リーダーの配置（10地域・35小学校区） 7,007 千円
「六会」、「御所見・遠藤」、「長後・湘南台」、「湘南大庭」、「善行」、「村岡」、「明治」、「藤沢」、「片瀬・鵜沼」、「辻堂」地域に配置する。
・スクールガード・リーダー謝礼、被服費及び損害保険料
4. 学校防災アドバイザーによる研修会 90 千円
各学校の実情に応じた児童生徒の防災意識を高めるための授業や指導方法等についての教職員向け研修会を実施する。



(スクールガード・リーダー活動の様子)



(ジュニアライフセービング教室の様子)

教育費

事業名	学校教育相談センター関係費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 06	教育指導課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	6,841					6,841
令和元年度	148,036					148,036
対前年度	△ 141,195					△ 141,195

【事業概要】

さまざまな困難を抱える児童生徒及び保護者を支援するための相談活動や不登校児童生徒を対象とした相談支援教室の運営を行う。

1. 小・中学校に在籍する児童生徒及び保護者等への支援 994 千円
 - (1) スクールカウンセラーの配置
小・中・特別支援学校にスクールカウンセラーを配置し、学校生活において、さまざまな困難を抱える児童生徒及びその保護者・教職員を対象に相談活動を行う。
 - (2) スクールソーシャルワーカーの派遣
福祉的な支援が必要な家庭に対し、学校や関係機関と連携した家庭訪問等による支援を行う。
 - (3) 就学相談の実施
市内の幼稚園、保育所、児童発達支援センター等において周知を図りながら、次年度就学予定児童の就学及び就学後の教育的支援に関する相談活動を行う。
 - (4) 相談支援教室の運営
さまざまな課題を抱える児童生徒に対し、善行分室内の教室での個別学習や体験活動、カウンセリング等、学校復帰に向けた支援を行う。
 - (5) 学校教育相談センターにおける教育相談活動
電話及び来所による教育相談を行う。
(受付時間)
・平日 午前9時～午後5時
・土曜日 午前9時～正午
2. 研修・講演会事業 820 千円
 - ・特別支援に関する校内研修や事例研究会への開催支援
 - ・特別支援学級及び白浜養護学校への特別支援教育スーパーバイザーの派遣
 - ・教員を対象とした個別指導計画作成及びスクールカウンセラー等の専門性向上のための研修会の実施
3. 学校教育相談センター善行分室の施設維持管理及びその他事務経費 5,027 千円

教育費

事業名		いじめ暴力防止対策費				
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 09			教育指導課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	5,128					5,128
令和元年度	7,165					7,165
対前年度	△ 2,037					△ 2,037

【事業概要】

いじめ防止対策推進法、「藤沢市子どもをいじめから守る条例」の基本理念に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のための対策を学校、保護者、警察、各種関係団体と連携し、総合的かつ効果的に推進する。また、児童生徒に対し、いじめ防止に関する各種リーフレットを配布し、法令の趣旨をはじめ、いじめ相談ホットラインなどの周知を継続的に実施するとともに、体罰についても、その根絶に向けて取り組む。

1. 藤沢市いじめ問題対策連絡協議会の運営 377 千円
いじめ防止対策推進法第14条に基づき、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携を図るため、「藤沢市いじめ問題対策連絡協議会」を運営する。
2. 藤沢市いじめ問題調査委員会の運営 3,016 千円
いじめ防止対策推進法第28条に基づき、小・中・特別支援学校におけるいじめ問題で、重大事態が発生した際に調査することを目的として「藤沢市いじめ問題調査委員会」を開催する。
3. いじめ防止対策担当スクールカウンセラーの配置 50 千円
いじめの早期発見・早期対応のために心理の専門性を有するスクールカウンセラーを配置する。
 - ・学校からの緊急要請への対応
 - ・学校訪問による児童生徒のカウンセリング、教職員の相談対応
 - ・教職員、保護者向けの研修会の実施
4. いじめ相談の充実 503 千円
 - ・いじめ相談ホットラインの運営 42 千円
 - ・「藤沢市子どもをいじめから守る条例」趣旨紹介リーフレット、いじめ相談機関紹介カード、いじめ防止リーフレット等の作成・配布 461 千円
 - ・いじめ相談メールの運営
5. 中学生いじめ防止対策報告会「Stopいじめ！中学生の集い in ふじさわ」の開催 51 千円
6. いじめ防止講演会の開催 30 千円
小・中・特別支援学校の教職員等を対象とした講演会の実施
7. いじめ防止教室の実施 420 千円
8. 体罰調査アンケート 600 千円
学校生活全般における体罰に関するアンケート調査を実施し、実態の把握に努め、体罰の根絶に取り組む。
9. 児童・生徒指導支援に関する会議の開催 81 千円
学校、保護者、警察、各種関係団体の連携協力を深め、児童・生徒指導上の情報交換や対応について、検討協議を行う。

教育費

事業名	教育情報化推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 01 説明 10	教育総務課				
指針体系コード	3-1-41	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
		重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	107,277					107,277
令和元年度	37,089					37,089
対前年度	70,188					70,188

【事業概要】

令和元年度に再構築した学校ICT基盤を活用することで、文部科学省が公表している「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に則した情報セキュリティ対策を行いながら、学校ICT機器を円滑に利用できるようなICT環境の実現を図る。

また、学校グループウェアを使い、校内外の連絡を円滑にすることで、教職員の働き方改革を推進する。

1. 学校ICT基盤の運用 87,724 千円

2. セキュリティ対策ソフトの運用 5,280 千円

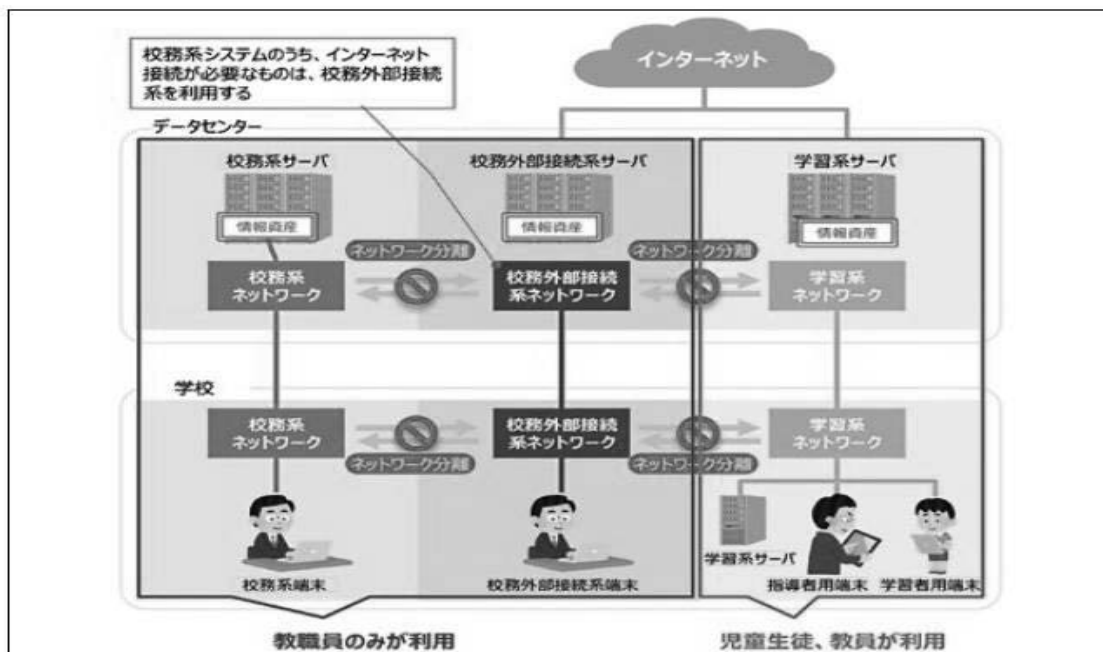
3. 学校グループウェアの運用 7,315 千円

学校グループウェアを活用し、学校内、学校間、学校と教育委員会の情報連携を円滑にして校務の効率化を推進する。

4. 学校ホームページの運用 6,930 千円

保護者や地域住民等へ学校の活動状況を報告するとともに、緊急時の連絡ツールとして活用する。

5. 先進ICT整備研究旅費 28 千円



ネットワーク分離イメージ図

(文部科学省：「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」ハンドブックから引用)

教育費

事業名	特別支援教育運営費					
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 01	教育総務課・教育指導課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	71,381				744	70,637
令和元年度	81,860				594	81,266
対前年度	△ 10,479				150	△ 10,629
特定財源の内訳	(その他)	茅ヶ崎市教育事務受託料				744

【事業概要】

小・中・特別支援学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、教育の充実や適切な支援を行う。

- 特別支援教育協議会の運営 221 千円
本市の特別支援教育充実のための方策について協議を行う。
- 特別支援学級、通級指導教室の運営 6,494 千円
 - ・研究会の開催等 798 千円
 - ・特別支援学級教材購入 742 千円
 - ・「のびゆく子ら作品展」委託 181 千円
 - ・「みんなの学習会」講師派遣、消耗品 131 千円
 - ・聴力検査器保守点検等機器保守 92 千円
 - ・消耗品、物品修繕等 4,550 千円
- 湘南台小学校・白浜養護学校土曜日体育館開放事業 400 千円
指導員の配置
- 介助員派遣事業 63,092 千円
特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対し、学校生活や宿泊行事における介助や支援を行う。また、担任と協力して困難な問題を抱える児童生徒への対応や学習支援等を行う。
 - ・介助員謝礼 61,264 千円
 - ・損害保険料 198 千円
 - ・宿泊介助員派遣負担金 1,630 千円
- 医療的ケア児童生徒への支援 1,174 千円
小・中学校及び白浜養護学校において、比較的短時間かつ定時の対応により終了する医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行うために、該当児童生徒の在籍する学校を巡回し、児童生徒の健康及び学習環境の維持を図る。

教育費

事業名		特別支援教育整備事業費				
予算科目	款 1 1 項 1 目 3 細目 02 説明 04		教育指導課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	7,565					7,565
令和元年度	10,389					10,389
対前年度	△ 2,824					△ 2,824

【事業概要】

特別な教育的支援を必要とする児童生徒への教育の充実や適切な支援など、本市の特別支援教育を推進するため、教育環境の整備を行う。

- (拡) 1. 長後小学校・大清水中学校特別支援学級開設の準備 6,565 千円
令和3年4月より長後小学校・大清水中学校に特別支援学級を開級するため、教室等の整備を行う。
2. 既存特別支援教室の維持管理 1,000 千円
特別支援教室の適切な教育環境維持のため、既存教室等の修繕を行う。
- ・特別支援教室設置数（令和2年度学級開設予定を含む。）
小学校 19校
中学校 13校

教育費

事業名		校務支援システム構築事業費（小・中・特別支援学校）				
予算科目	2 款 1 1 項 3 目 1 細目 03 説明 01 4		教育総務課			
指針体系コード	3-1-21	まちづくりテーマ	笑顔と元気あふれる子どもたちを育てる			
	3-1-22 3-1-23	重点施策名	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	175,085					175,085
令和元年度	211,159					211,159
対前年度	△ 36,074					△ 36,074

【事業概要】

小・中・特別支援学校において、成績処理や教材作成など校務を適切かつ効率的に行うため、教職員一人ひとりが個々で使用するパソコンの維持管理を行う。

- 校務用パソコン等賃貸借 173,831 千円
 - ・小学校分 125,491 千円
 - ・中学校分 44,651 千円
 - ・特別支援学校分 3,689 千円
- 校務用パソコンサポート業務委託 1,254 千円
校務用パソコンを円滑に活用できるようヘルプデスク等の業務委託を行う。

教育費

事業名	要保護準要保護児童援助費					
予算科目	款 1 1 項 2 目 2 細目 02 説明 01	学務保健課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	119,672	314	276			119,082
令和元年度	132,438	371	450			131,617
対前年度	△ 12,766	△ 57	△ 174			△ 12,535
特定財源の内訳	(国庫支出金)	要保護児童援助費補助金				314
	(県支出金)	被災児童就学支援事業費補助金				276

【事業概要】

保護者の経済的負担の軽減や義務教育の円滑な実施を図るため、経済的理由により就学困難と認められる小学校に通う児童の保護者に対し、児童が学校生活を送る上で必要な費用を援助する。
また、令和3年度に小学校・中学校へ入学予定者の保護者に対し、入学準備金を支給する。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 扶助費 | 119,045 千円 |
| ・学用品費等 | 40,350 千円 |
| ・修学旅行費、社会見学費等 | 16,756 千円 |
| ・医療費 | 132 千円 |
| ・めがね購入費等 | 2,899 千円 |
| ・卒業アルバム購入費 | 4,617 千円 |
| ・入学準備金（令和3年度中学校入学予定者） | 29,446 千円 |
| ・入学準備金（令和3年度小学校入学予定者） | 24,845 千円 |
| 2. 要保護準要保護児童等援助事務経費 | 627 千円 |
| ・消耗品等 | |

教育費

事業名	学校施設環境整備事業費（小学校）					
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 01 説明 01	学校施設課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	123,225	6,748				116,477
令和元年度	93,389	0				93,389
対前年度	29,836	6,748				23,088
特定財源の内訳	（国庫支出金）	防衛施設周辺防音事業補助金				6,748

【事業概要】

小学校の教育環境の向上を図るため、環境整備事業を行う。

- | | |
|---|------------|
| 1. 工事に伴う設計委託 | 16,885 千円 |
| ・ 六会小学校空調復旧防音補助事業に伴う設計委託 | 8,998千円 |
| ・ 空調設備更新及び新設工事設計委託 | 7,887千円 |
| 2. 空調設備の賃貸借 1 1 校 | 103,271 千円 |
| (小糸小学校、鵠南小学校、鵠洋小学校、片瀬小学校、藤沢小学校、
鵠沼小学校、大道小学校、俣野小学校、滝の沢小学校、大鋸小学校、
大清水小学校) | |
| 3. 環境整備事業費事務経費 | 3,069 千円 |
| ・ 手数料 | |

（この事業は令和元年度 9 月補正で増額した事業）

教育費

事業名		諸整備事業費（小学校）				
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 02 説明 01		学校施設課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	158,464	35,282				123,182
令和元年度	147,398	0				147,398
対前年度	11,066	35,282				△ 24,216
特定財源の内訳	(国庫支出金)	特定防衛施設周辺整備調整交付金				35,282
【事業概要】 小学校の施設維持管理及び教育環境の整備を図るため、諸整備事業を行う。 1. 大鋸小学校高圧機器等更新電気工事 40,282 千円 2. 施設修繕・手数料 55,787 千円 3. 校内放送設備の賃借 10校 3,971 千円 既設 8校（村岡小学校、大庭小学校、新林小学校、 滝の沢小学校、高谷小学校、亀井野小学校、 富士見台小学校、湘南台小学校） 新設 2校 4. 児童数増に対応するための仮設校舎の賃借 11校 58,153 千円 （鵜洋小学校、六会小学校、辻堂小学校、天神小学校、 片瀬小学校、八松小学校、明治小学校、長後小学校、 大鋸小学校、高谷小学校、羽鳥小学校） 5. 諸整備事業費事務経費 271 千円 印刷製本費、委託料						

教育費

事業名		鵜南小学校改築事業費				
予算科目	款 1 1 項 2 目 3 細目 03 説明 01			学校施設課		
指針体系コード	5-1-61	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	22,880			0	22,880	
令和元年度	131,456			87,900	43,556	
対前年度	△ 108,576			△ 87,900	△ 20,676	
特定財源の内訳	(その他)	公共施設整備基金繰入金				22,880
【事業概要】 仮設校舎について、賃貸借期間の満了に伴い、継続使用が不要となったため解体を行う。 1. 仮設校舎解体費22,880 千円						

教育費

事業名		要保護準要保護生徒援助費				
予算科目	款 1 1 項 3 目 2 細目 02 説明 01			学務保健課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	133,151	1,364	138			131,649
令和元年度	136,587	1,129	481			134,977
対前年度	△ 3,436	235	△ 343			△ 3,328
特定財源の内訳	(国庫支出金)	要保護生徒援助費補助金				1,364
	(県支出金)	被災生徒就学支援事業費補助金				138
【事業概要】 保護者の経済的負担の軽減や義務教育の円滑な実施を図るため、経済的理由により就学困難と認められる中学校等に通う生徒の保護者に対し、生徒が学校生活を送る上で必要な費用を援助する。						
1. 扶助費		133,151 千円				
・学用品費等		41,633 千円				
・修学旅行費、社会見学費等		44,191 千円				
・学校給食費		39,656 千円				
・医療費		390 千円				
・めがね購入費等		3,909 千円				
・卒業アルバム購入費		3,372 千円				

教育費

事業名		学校施設環境整備事業費（中学校）				
予算科目		款 1 1 項 3 目 3 細目 01 説明 01			学校施設課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	11,803	6,831		0		4,972
令和元年度	149,975	0		108,500		41,475
対前年度	△ 138,172	6,831		△ 108,500		△ 36,503
特定財源の内訳		(国庫支出金)		防衛施設周辺防音事業補助金		6,831
【事業概要】 中学校の教育環境の向上を図るため、環境整備事業を行う。 1. 工事に伴う設計委託 10,219 千円 ・ 長後中学校空調復旧防音補助事業に伴う設計委託 7,590 千円 ・ 空調設備更新及び新設工事設計委託 2,629 千円 2. 環境整備事業費事務経費 1,584 千円 ・ 手数料						

教育費

事業名	六会中学校屋内運動場改築事業費					
予算科目	款 1 1 項 3 目 3 細目 03 説明 01	学校施設課				
指針体系コード	5-1-71	まちづくりテーマ	都市の機能と活力を高める			
		重点施策名	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	41,767	13,922		25,000	2,845	0
令和元年度	601,064	125,680		366,000	100,873	8,511
対前年度	△ 559,297	△ 111,758		△ 341,000	△ 98,028	△ 8,511
特定財源の内訳	(国庫支出金)	学校施設環境改善交付金				13,922
	(地方債)	大規模改造事業債				25,000
	(その他)	公共施設整備基金繰入金				2,845

【事業概要】

新屋内運動場が完成したため、旧屋内運動場等の解体工事を実施する。

1. 屋内運動場等解体工事 41,767 千円

教育費

事業名	中学校給食運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 5 目 2 細目 03 説明 01	学校給食課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	234,568					234,568
令和元年度	290,762					290,762
対前年度	△ 56,194					△ 56,194

【事業概要】

給食提供機会の充実を図るため、学校給食実施基準等に基づき、市の栄養士が作成した献立に従って民間施設で業者が調理し、弁当箱に詰めて中学校に配送するデリバリー方式の給食と、家庭から持参する弁当との選択制の中学校給食を全校で実施する。

1. 委託料 227,982 千円
・給食調理業務委託料 207,984 千円
・給食予約システム運用業務委託料 19,998 千円
2. 主食・副食用ランチボックス、箸、配送用コンテナ等購入費用 6,249 千円
3. 中学校給食パンフレット印刷製本費 337 千円



(小学生向け中学校給食試食会の様子)

教育費

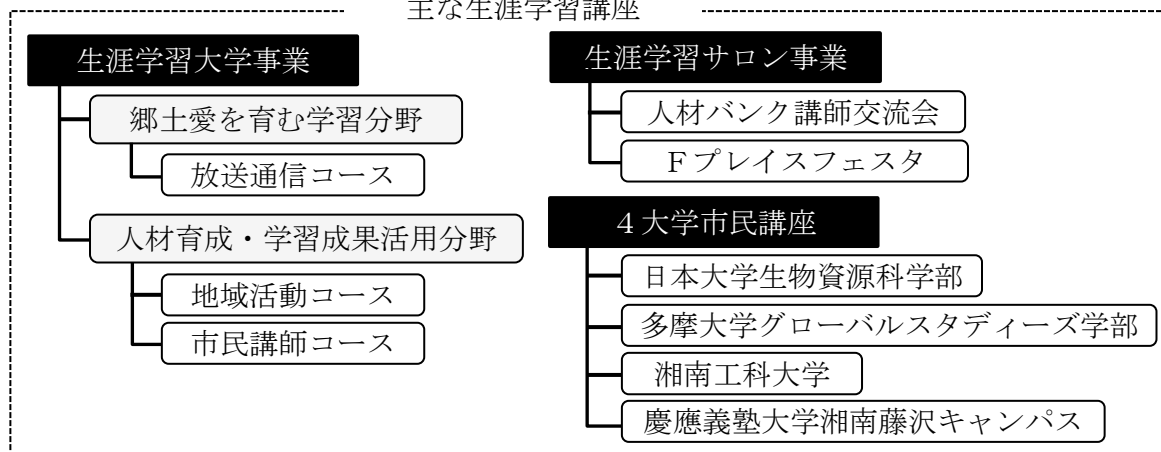
事業名	生涯学習推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 03 説明 01	生涯学習総務課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	6,211					6,211
令和元年度	5,032					5,032
対前年度	1,179					1,179

【事業概要】

市民の主体的な学習を推進し、その成果を生かすことができる生涯学習社会を構築するため、全市的な生涯学習活動拠点として藤沢市生涯学習活動推進室を設置し、藤沢市生涯学習大学をはじめとした生涯学習講座の実施、藤沢市生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」及び生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢塾です」の運営を行う。

- 藤沢市生涯学習活動推進室の管理・運営 170 千円
生涯学習活動を行う個人・団体や市民講師が、自由に集い、交流し、学習できる全市的な拠点として、生涯学習活動推進室の管理・運営を行う。
 - 通信運搬費電信電話料 162 千円
 - 手数料 8 千円
- 生涯学習講座の実施 6,019 千円
各種団体・機関や庁内各課と連携し、市民の主体的な学習を推進し、地域コミュニティを活性化することを目的として、生涯学習大学をはじめとした生涯学習講座を実施する。
 - 講師謝礼等 1,174 千円
 - 委託料 4,624 千円
 - 消耗品費 128 千円
 - 印刷製本費 93 千円

主な生涯学習講座



- 藤沢市生涯学習人材バンク「湘南ふじさわ学びネット」の運営 11 千円
登録している市民講師が有するさまざまな知識や技術、豊かな体験や経験を地域へ還元することで、市民の学習のきっかけづくりを支援する。
 - 消耗品費
- 生涯学習出張講座「こんにちは！藤沢塾です」の運営 11 千円
市民の要望に応じて、市職員が行政の取組や情報・専門知識を直接届けることで、市民への学習機会の提供、自主的な学習活動の支援を行う。
 - 消耗品費

（前年度の生涯学習推進事業費と社会教育関係事業費を統合した事業）

教育費

事業名		生涯学習表彰費				
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 04 説明 01			生涯学習総務課		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	555					555
令和元年度	555					555
対前年度	0					0

【事業概要】

本市在住・在学・在勤等で、文化・芸術・スポーツ・読書活動・その他の生涯学習分野において活躍された個人や団体に対し、その栄誉と功績を称えることにより一層の活躍を期待するとともに、広く市民に周知を図ることにより、更なる生涯学習活動の普及、促進が図られるよう藤沢市生涯学習特別貢献表彰を行う。

1. 藤沢市生涯学習特別貢献表彰
被表彰者 50件（見込数）

555 千円



（令和元年度藤沢市生涯学習特別貢献表彰式）

教育費

事業名		文化財保護費				
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 06 説明 01		郷土歴史課			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	27,541	4,384	1,461			21,696
令和元年度	30,540	4,329	1,425			24,786
対前年度	△ 2,999	55	36			△ 3,090
特定財源の内訳	(国庫支出金)	埋蔵文化財確認調査費補助金				4,384
	(県支出金)	市町村事業推進交付金				1,461

【事業概要】

文化財保護の推進のため文化財の調査・研究、保存・管理の指導及び補助、普及・活用事業、開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理などを実施する。

- 調査・研究** 1,423 千円
文化財保護委員会の開催、市内に存在する各種別の文化財について調査を実施する。
 - 文化財保護委員報酬 281 千円
 - 調査、文化財保護推進員謝礼 960 千円
 - その他経費（消耗品、印刷製本費、旅費） 182 千円
- 保存・管理の指導及び補助** 5,314 千円
市指定文化財の修理・復旧等事業について、補助申請があった所有者に対し、費用の1／3以内で補助する。また、所有者の維持管理と活用、後継者育成の一助となるよう、保存管理奨励交付金を交付する。
 - 市指定重要文化財等修理等補助金 3,471 千円
 - 市指定重要文化財等保存管理奨励交付金 1,843 千円
- 普及・活用事業** 1,567 千円
市民の郷土に対する理解と関心を深めるため、刊行物を発行し、展示や講座など各種の普及・啓発事業を実施する。また、文化財説明板等の設置・修繕を行う。
 - 執筆、講演等謝礼 440 千円
 - 報告書印刷製本費、説明板修繕費、消耗品 478 千円
 - 説明板設置等役務費 512 千円
 - 委託料、賃借料 137 千円
- 開発に伴う埋蔵文化財の調査・資料整理** 19,237 千円
諸開発に伴い、埋蔵文化財の確認調査の実施や記録保存のための発掘調査を指導する。南鍛冶山遺跡発掘調査の資料整理を実施する。
 - 消耗品、印刷製本費、旅費 1,122 千円
 - 委託料（埋蔵文化財確認調査、資料整理） 18,115 千円

教育費

事業名		ふじさわ宿交流館運営管理費				
予算科目		款 1 1 項 6 目 1 細目 07 説明 01			郷土歴史課	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	30,337				60	30,277
令和元年度	31,125				60	31,065
対前年度	△ 788				0	△ 788
特定財源の内訳	(その他)	ふじさわ宿交流館使用料				60

【事業概要】

旧東海道藤沢宿周辺地区の活性化を図るため、歴史的まちづくりの拠点となるふじさわ宿交流館の運営管理を行う。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. ふじさわ宿交流館の運営管理 | 30,337 千円 |
| ・委託料（指定管理料） | 29,551 千円 |
| 指定管理者：（公社）藤沢市観光協会 | |
| ・展示用消耗品費、講師謝礼 | 412 千円 |
| ・その他経費 | |
| パソコン等賃借料、警備委託料 | 374 千円 |



（箱根駅伝当日の様子）



（郷土資料展示室）

教育費

事業名	藤澤浮世絵館運営管理費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 07 説明 02	郷土歴史課				
指針体系コード	2-2-41	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	51,361				1,200	50,161
令和元年度	64,830				1,200	63,630
対前年度	△ 13,469				0	△ 13,469
特定財源の内訳	(その他)	浮世絵館関連グッズ売上収入				1,200

【事業概要】

本市所蔵の浮世絵をはじめとする郷土歴史及び文化に関する資料を展示公開することにより市民の郷土への愛着を育み、文化の向上に寄与するため藤澤浮世絵館の運営管理を行うとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催及び市制施行80周年を迎えることを契機とし、さらに藤沢市の歴史や文化を発信していくよう取り組む。

1. 藤澤浮世絵館の運営管理 51,361 千円
 - ・ 藤澤浮世絵館運営委員会委員報酬等 229 千円
 - ・ 講演会、資料調査等講師謝礼 570 千円
 - ・ 展示用消耗品、備品購入費、修繕費 4,132 千円
 - ・ 印刷製本費（展示ガイド・ポスター・チラシ作成等） 6,067 千円
 - ・ マット加工、浮世絵修復等手数料、翻訳料、運搬料 4,366 千円
 - ・ ココテラス湘南賃借料、共益費、光熱水費 33,970 千円
 - ・ その他経費（パソコン賃借料、動画制作委託料等） 2,027 千円



（大学生を対象としたワークショップ）



（有識者による展示関連講演会）

教育費

事業名	旧東海道藤沢宿活性化推進事業費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 1 細目 10 説明 01			藤沢公民館		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	300					300
令和元年度	278					278
対前年度	22					22

【事業概要】

旧東海道藤沢宿の更なる活性化を推進するため、民間事業者等とのマルチパートナーシップにより、誘客宣伝につながるイベント等を誘致する。効果的な事業展開及び情報発信を行うために「藤沢宿にぎわい創出協議会」を通じて、関係団体との情報共有・調整を行う。

- 藤沢宿にぎわい創出協議会の開催・運営 10千円
 - 会議体の構成 自治会（町内会）、地域活動団体、商店街、商工会議所、観光協会、鉄道事業者、市関係部署等
- 藤沢宿にぎわい創出協議会構成団体等との連携及び事業展開 290千円
 - 藤沢宿にぎわい創出協議会構成団体等と藤沢宿の活性化について情報を共有するとともに、支援・連携を進める。
 - 藤沢宿関連イベントの参加者及びまち歩きをする人等が藤沢宿に愛着を持てるような物品等の配布を行う。



（旧東海道藤沢宿PR用うちわ）

教育費

事 業 名		公民館事業費				
予算科目	款 1 1 項 6 目 2 細目 02 説明 01		生涯学習総務課・1 3 公民館			
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	29,163				2,714	26,449
令和元年度	5,186				0	5,186
対前年度	23,977				2,714	21,263
特定財源の内訳	(その他)	公民館使用料				2,684
	(その他)	公民館陶芸窯燃料代収入				30

【事業概要】

市民の学習活動の支援・促進を図るため、市内13公民館において、社会教育事業の企画実施等、公民館運営を行うことにより、さまざまな分野の学習機会や自主的な活動の場等を提供する。

1. 公民館事業に係る事務経費等（生涯学習総務課） 4,632 千円
事業用旅費、消耗品、物品修繕、海洋科学教室業務委託、公民館事業用バスの使用、公民館事業用著作権の使用
2. 公民館事業に係る経費等（13 公民館） 24,531 千円
講師等謝礼、消耗品、印刷製本、ピアノ調律、公民館まつり等業務委託、印刷機、DVD等賃貸借

公民館別予算額

公民館名	金額	公民館名	金額
藤沢	1,486 千円	遠藤	1,973 千円
鵜沼	2,024 千円	長後	1,917 千円
御所見	1,949 千円	明治	1,937 千円
片瀬	1,834 千円	善行	1,883 千円
村岡	1,583 千円	湘南大庭	1,936 千円
六会	1,952 千円	湘南台	2,043 千円
辻堂	2,014 千円	合計	24,531 千円



(公民館事業の様子)

(前年度の公民館事業費と公民館運営業務費と公民館管理費の一部を統合した事業)

教育費

事業名		南市民図書館等運営管理費				
予算科目	款 1 1 項 6 目 3 細目 01 説明 02			総合市民図書館		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	142,817				2,126	140,691
令和元年度	183,665				1,004	182,661
対前年度	△ 40,848				1,122	△ 41,970
特定財源の内訳	(その他)	市民ギャラリー使用料				1,233
	(その他)	奥田公園駐車場公共施設利用者駐車料金納付金				893

【事業概要】

南市民図書館及び市民ギャラリーが、令和元年7月にODAKYU湘南GATE 6階へ暫定移設したことにより、南市民図書館及び市民ギャラリーの維持管理・運営を行うとともに、旧南市民図書館施設を安全に保つための管理を行う。

- 南市民図書館及び市民ギャラリーの維持管理・運営費 140,675 千円
 - 施設賃借料 102,036 千円
 - 光熱水費・警備費・設備点検費・全館設備管理費負担金 24,825 千円
 - 清掃委託料 5,503 千円
 - 機器等賃借料 2,178 千円
 - その他経常事務経費 6,133 千円
- 旧南市民図書館の管理に係る経費 2,142 千円
旧南市民図書館施設の維持管理等を行う。



(南市民図書館 フロア)



(おはなし会実施風景)

教育費

事業名		総合市民図書館市民運営費				
予算科目	款 1 1 項 6 目 3 細目 01 説明 06			総合市民図書館		
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和 2 年度	250, 753					250, 753
令和元年度	143, 371					143, 371
対前年度	107, 382					107, 382

【事業概要】

効率的かつ効果的な図書館の運営及びサービスの充実を図るため、専門的な知識を持ち、本市図書館とつながりのあった市民スタッフを中心に組織された「NPO法人市民の図書館・ふじさわ」へ、辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館に加えて、南市民図書館の運営業務を委託することで、引き続き質の高いサービスの提供及び地域に密着したサービスの充実を図る。

また、総合市民図書館は、3館の運営状況を検証するとともに、施設管理・予算執行・サービス業務の支援等を行う。

(拡) 1. NPO法人への図書館運営業務委託料

250,753 千円

図書館の効率的かつ効果的な運営を行うため、行財政改革2020実行プランにおいて外部資源を活用した業務運営の導入を検討した結果に基づき、すでに辻堂市民図書館及び湘南大庭市民図書館の業務を委託し、良好な運営を行っているNPO法人へ、令和2年4月から南市民図書館についても運営業務の委託を行う。

- ・図書資料の貸出・予約等窓口業務
- ・図書資料に関するレファレンス(調べものサポート)業務
- ・図書資料等の選定業務
- ・おはなし会・映画会・講座等の開催業務
- ・宅配サービス業務
- ・子ども読書活動推進事業に関する業務
- ・会議室等の貸出業務
- ・施設使用料等の収納業務



(辻堂市民図書館「明治地区が誇る文化遺産」)



(湘南大庭市民図書館「図書館ではじめよう毎日できる健康づくり」)

教育費

事業名		子ども読書活動推進事業費				
予算科目		款 1 1 項 6 目 3 細目 05 説明 01			総合市民図書館	
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	6,146				300	5,846
令和元年度	5,054				1,600	3,454
対前年度	1,092				△ 1,300	2,392
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				300

【事業概要】

「ふじさわ子ども読書プラン2020～第3次藤沢市子ども読書活動推進計画～」に基づき、子どもの豊かな心と健やかな成長を育むため、子ども（おおむね18歳以下）及び子どもの読書活動推進に関わる人を対象に、子どもが本に出会い、楽しみ、親しめる機会を提供し、子どもと本に関わる豊かな環境の整備を進めるための事業を実施する。

1. 幼児と保護者を対象としたブックスタート事業の実施 3,066 千円
ボランティアの協力により、1歳6カ月児健診時に幼児とその保護者に対して、絵本の読み聞かせを行うとともに、絵本1冊と子育て支援に関する資料を入れたブックスタートパックを手渡す。
南・北保健センターにて年48回実施、対象者約3,800人
2. 子どもや保護者が集う施設へのブックリストの配布や図書資料の提供 300 千円
地域子どもの家、児童館、保育園等の施設へ、乳幼児と保護者向けのブックリストを配布し、ブックリストに掲載された絵本を配本するなど図書資料の提供を行う。
絵本等配本図書セットの子どもに関わる施設・団体10カ所への提供
3. 乳幼児と保護者を対象とした推薦絵本等のリーフレットの作成・配付 245 千円
子どもの年齢ごとに実施される保健事業等の機会に合わせて配付、対象者約3,800人
4. 子どもの読書活動に関わるボランティアの交流会、研修会等の実施 60 千円
図書館・図書室おはなし会ボランティア連絡会・研修会、年5回程度実施
ブックスタートボランティア交流会、研修会 各年1回実施
5. 子どもの読書活動推進のための市民向け啓発講座、講演会の開催 60 千円
年3回程度実施
6. 藤沢市子ども読書活動推進計画の改定にかかる策定委員会の開催及び計画書作成 2,415 千円
藤沢市子ども読書活動推進計画策定委員会の開催 年5回
藤沢市子ども読書活動推進計画書作成

教育費

事業名		文化行事費				
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 03		文化芸術課			
指針体系コード	2-2-61	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	9,653				1,320	8,333
令和元年度	7,730				1,242	6,488
対前年度	1,923				78	1,845
特定財源の内訳	(その他)	文化振興基金繰入金				1,320

【事業概要】

文化芸術の振興のため、鑑賞機会の充実を図り、将来の本市の文化芸術を担う人材を育成するための事業を実施する。また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムとして位置づける文化芸術事業の実施主体となる団体に対して補助を行うことにより、大会開催に向けて気運の醸成を図る。

- 文化団体への補助金の交付 5,720 千円
 - 郷土芸術文化推進事業補助金 3,420 千円
藤沢市文化団体連合会が実施する、児童生徒を対象とした伝統文化の体験事業「ワクワク体験ひろば」や、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムの取組の一つとして実施する、外国人観光客等を対象とした日本の伝統文化を紹介する「おもてなし」等の事業に対する補助を行う。
 - 市民シアター第九演奏会事業補助金 2,300 千円
「市民シアター第九を唱う会」が実施する東京2020大会の気運醸成のための事業や、イルミネーション湘南台での演奏会に対する補助を行う。
- 「こころの劇場」招待事業 2,500 千円
市内小学校35校の6年生等を対象に、優れた演劇に触れるきっかけを与え、豊かな感性と創造性を育むことを目的に劇団四季が実施するミュージカル「こころの劇場」への招待事業を行う。
日程：6月4日、5日（予定）
会場：市民会館大ホール
招待児童数：約4,000人
- セイジ・オザワ松本フェスティバル事業 1,320 千円
松本市で開催される「セイジ・オザワ松本フェスティバル」のオーケストラコンサートを生中継で鑑賞するスクリーンコンサートを行う。
- 藤沢市文化芸術振興計画の進行管理 113 千円
本市の文化芸術振興計画について、学識経験者、文化団体関係者等により進行管理を行う。

教育費

事 業 名		アートスペース運営管理費				
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 01 説明 04		文化芸術課			
指針体系コード	2-2-71	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	74,986				1,522	73,464
令和元年度	73,816				1,749	72,067
対前年度	1,170				△ 227	1,397
特定財源の内訳	(その他)	アートスペース使用料				507
	(その他)	文化振興基金繰入金				1,000
	(その他)	アートスペース関連グッズ売上収入				15

【事業概要】

藤沢市アールスペースの運営管理を行い、藤沢にゆかりのある若手芸術家等の美術作品の創作や展示・発表の支援を行うとともに、市民に身近な場所で美術の魅力に触れる機会及び美術学習の場を提供し、美術の振興を図る。

また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに位置づける文化芸術事業として、アールスペースを活用した企画展を開催する。

1. 施設管理、運営管理 36,721 千円
建物賃借料、共益費、光熱水費、清掃委託、機器賃借料、電話料等

2. 事業運営費 38,265 千円

- ・若手芸術家の創作活動及び展示・発表等の支援

藤沢市や湘南地域で活動する若手芸術家や、全国からの公募により選出した芸術家による公開制作や制作作品の展示・発表を行う。

- ・身近な美術鑑賞の機会の提供

藤沢ゆかりの作家や湘南地域で活動する若手芸術家を中心とした絵画、彫刻、写真等の作品や、本市所蔵の美術作品の企画展を開催する。

- ・美術作品の展示・発表の場の提供

個展及びグループ展が開催できるよう展示ルームを貸し出し、作品発表の場を提供する。

- ・美術学習の場の提供

子ども向けを中心としたワークショップや各世代で楽しめる美術講座等を開催し、市民に体験的、学術的な美術学習の場を提供する。

- ・藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに位置づける事業の開催

前回の東京オリンピックにゆかりのある芸術家や国際的に活躍する若手芸術家による企画展、姉妹・友好都市の芸術家と本市の若手芸術家による交流企画展を開催する。

- ・パブリックアート紹介冊子の作成

市内に設置されているパブリックアートについて、平成30年度から開始した調査結果を冊子にまとめて刊行する。



(令和元年度企画展Ⅱ姉妹友好都市間文化交流事業「木目をつくる」)

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 6 目 4 細目 02 説明 01			文化芸術課		
指針体系コード	2-2-51	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	オリンピック・パラリンピックを契機とした都市の魅力(レガシー)の創出			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	149,239					149,239
令和元年度	132,311					132,311
対前年度	16,928					16,928

【事業概要】

文化芸術創造の活性化及び市民文化活動の支援・育成を図るため、公益財団法人藤沢市みらい創造財団に対し補助を行う。

1. (公財) 藤沢市みらい創造財団芸術文化振興事業補助金 149,239 千円
 ゆとりと潤いの実感できるこころ豊かな市民生活の実現を図るため、芸術鑑賞事業や体験発表事業等を実施する。また、藤沢市オリンピック・パラリンピック文化プログラムに関連する事業を行う。
 - ・音楽、演劇等を鑑賞する機会の提供
 藤沢にゆかりのある音楽家たちシリーズ等
 - ・市民オペラ公演の実施
 演目：園田隆一郎芸術監督 2018-2020 シーズン
 第24回藤沢市民オペラ「ナブッコ」
 - ・芸術文化の創造の機会の提供
 学校訪問事業、演劇ワークショップ等
 - ・芸術文化の普及
 ロビーコンサート、ワンコインコンサート等
 - ・地域における芸術文化及び伝統文化の継承
 藤沢市展 日程：5月26日～6月14日
 会場：藤沢市民ギャラリー
 ふじさわ合唱祭、市民短歌大会等



(G. ロッシーニ「湖上の美人」演奏会形式)



(令和元年度第69回藤沢市展)

教育費

事業名	団体育成費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 03	スポーツ推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	17,325					17,325
令和元年度	16,135					16,135
対前年度	1,190					1,190

【事業概要】

子どもから高齢者、障がいのある方も誰もが健康で豊かなスポーツライフが過ごせるよう、地域スポーツ・競技スポーツ・レクリエーションの団体、スポーツ少年団の育成並びに組織強化を図るため、各団体の活動や事業を支援する。

また、障がい者スポーツの普及・推進を図るためのイベントや、スポーツに関係する著名人を招いた講演会を開催するとともに、各種スポーツ大会において優秀な成績を収められた方々を表彰する。

- | | |
|-------------------------|----------|
| 1. 地区社会体育振興協議会活動費補助金 | 9,555 千円 |
| 2. 藤沢市体育協会補助金 | 3,650 千円 |
| 3. 藤沢市レクリエーション協会補助金 | 450 千円 |
| 4. 藤沢市スポーツ少年団本部補助金 | 700 千円 |
| 5. 障がい者スポーツ推進事業業務委託 | 717 千円 |
| 6. スポーツ人の集い開催業務委託 | 170 千円 |
| 7. 地域スポーツ活動推進のためのAEDリース | 2,083 千円 |



(第34回スポーツ人の集い)



(パラスポーツフェスタ2019)

教育費

事業名		ビーチバレー大会開催関係費				
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 06			スポーツ推進課		
指針体系コード	2-1-31	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	10,900				3,000	7,900
令和元年度	11,000				3,000	8,000
対前年度	△ 100				0	△ 100
特定財源の内訳	(その他)	スポーツ拠点づくり推進事業助成金				3,000

【事業概要】

広く市民を対象として、「観るスポーツ」の機会を提供するため、ビーチバレー発祥の地である鵠沼海岸ビーチバレーコートにおいて「第34回ビーチバレージャパン」を開催する。

また、湘南の地域特性を生かした生涯スポーツ活動の推進及びビーチバレー競技人口の底辺拡大を図るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の盛り上がりを生かし、中学生の夢や希望を育むためのビーチバレー県大会と、その上位チームに加え全国の予選を勝ち抜いた中学生を対象とした全国大会を同会場にて開催する。

- 第34回ビーチバレージャパン（開催負担金） 6,000 千円
開催月：8月（3日間）（予定）
主 管：ビーチバレージャパン実行委員会
- 第14回神奈川県中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 900 千円
開催月：7月（1日間）（予定）
主 管：神奈川県中学生ビーチバレー大会実行委員会
- 第11回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会（開催負担金） 4,000 千円
開催月：8月（2日間）（予定）
主 管：湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバレー大会実行委員会



（第33回ビーチバレージャパン）



（第10回湘南藤沢カップ
全国中学生ビーチバレー大会）

事業名	(新) ねんりんピックかながわ2021開催関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 02 説明 09	スポーツ推進課				
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	5,000					5,000
令和元年度	0					0
対前年度	5,000					5,000

【施策等を必要とする背景】

ねんりんピック（全国健康福祉祭）は、厚生労働省及び開催地の都道府県・政令都市等が主催となり、スポーツや文化の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、主に60歳以上の高齢者を中心に健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図り、ふれあいと活力あふれる長寿社会の形成に寄与するため、昭和63年から毎年開催されている。

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会は、令和3年11月に神奈川県で「ねんりんピックかながわ2021」として開催されることが決定している。

【提案に至るまでの経緯】

平成31年2月1日に神奈川県において、本大会の開催を円滑に推進するために、「ねんりんピックかながわ2021実行委員会」が設立され、県内17市9町において32種目の交流大会を開催することが決定した。

本市は、ゲートボール及びソフトバレーボール競技の会場となり、円滑な準備と運営を行うため、「ねんりんピックかながわ2021藤沢市実行委員会」を設立し、交流大会を開催する。

【市民参加の実施の有無とその内容】 有

交流大会には、60歳以上で組織された団体及び個人が県内各地で行われる各種目の予選会を経て、神奈川県代表として参加する。

また、交流大会の円滑な運営や全国から集まる選手等のおもてなしを行うため、関係する団体やボランティアの市民参加を促進する。

【市の策定する計画や条例との整合性】

1. みらいふじさわスポーツ元気プランーみんなの健康づくりー高齢者の体力向上方策の推進
2. いきいき長寿プランふじさわ2020ー生きがいづくりの支援ー高齢者の多様な活動・居場所の支援

【将来にわたる効果及び費用】

1. 将来にわたる効果

交流大会の開催を契機に、高齢者が日頃からスポーツに親しみ、元気にいきいきと暮らすことで、健康寿命の延伸が図られる。

2. 将来にわたる費用

交流大会開催に要する費用については、実行委員会等の継続的な運営費と、啓発グッズの作成、会場周辺のドレッシングなど、大会開催を盛り上げるための事業費が見込まれる。

【事業概要】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の盛り上がりと、独自ボランティアの企画、運営などの実績を生かし、ねんりんピックかながわ2021ゲートボール交流大会及びソフトバレーボール交流大会の成功に向け、関係機関・団体と連携し計画的に開催準備を進める。

- | | |
|--|----------|
| 1. ねんりんピックかながわ2021 藤沢市実行委員会に対する負担金 | 5,000 千円 |
| (1) 実行委員会運営費
(総会等の開催経費、事務局運営費等) | |
| (2) 交流大会開催準備費
(ポスター、広報啓発グッズ等の作成、岐阜大会への視察調査費等) | |
| (3) リハーサル大会運営費
(ゲートボール、ソフトバレーボールのリハーサル大会実施に要する経費) | |
| (4) 競技主管団体準備費
(競技主管団体開催準備補助金) | |

令和2年度	令和3年度
令和2年	令和3年
5月 藤沢市実行委員会設立 第1回実行委員会	4月 第2回実行委員会
10月 ソフトバレーボールリハーサル大会 ねんりんピック岐阜2020視察	11月 開始式（6日） ゲートボール交流大会（7、8日） ソフトバレーボール交流大会 （7、8日）
11月 ゲートボールリハーサル大会	表彰式（8日） ※会場はいずれも神奈川県立体育 センター

※神奈川県立体育センターは、令和2年4月に「神奈川県立スポーツセンター」へ名称変更し、供用開始予定



(ねんりんピックかながわ2021大会啓発ポスター)

教育費

事業名	(公財) 藤沢市みらい創造財団スポーツ事業関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 03 説明 01	スポーツ推進課				
指針体系コード	2-1-21	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	47,342		4,854			42,488
令和元年度	44,353		6,000			38,353
対前年度	2,989		△ 1,146			4,135
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				4,854

【事業概要】

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機としたセーリング競技に関する体験会、障がい者スポーツに関連する事業及び子ども達の夢や希望を育むための各種事業を展開することで、両大会に対する市民の興味・関心を高めるとともに、市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進する。

また、健康寿命日本一を目指し、市民が「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでも」健康で豊かなスポーツライフが過ごせるよう各種事業を開催する。

1. スポーツ事業業務委託

47,342 千円

(1) 東京2020オリンピック競技大会関連業務

- ・ふじさわセーリングフェスタ2020の開催
- ・ビーチバレー中学生県大会及び全国大会の開催
- ・ジュニアのためのスポーツ栄養講座の開催
- ・気運醸成のための市民参加型スポーツ大会等の開催
- ・セーリングサポートプログラムの支援業務

(2) 東京2020パラリンピック競技大会関連業務

- ・藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会と連携したふじさわボッチャ競技大会をはじめとする各種イベントの開催
- ・障がい者スポーツを推進するための支援協力者の育成

(3) 藤沢市健康増進関連業務

- ・「おはよう！キュンとするまち。藤沢ラジオ体操2020」の開催
- ・健康、体力づくりに関連する各種イベントの開催

(4) 藤沢市スポーツ推進計画関連業務

- ・ビーチレクリエーションゾーンの管理運営
- ・子どもの体力テスト事業の実施
- ・藤沢市駅伝競走大会の開催
- ・スポーツ施設マップの作成



(ふじさわセーリングフェスタ2019)



(ふじさわボッチャ競技大会)

教育費

事業名	オリンピック開催準備関係費					
予算科目	款 1 1 項 7 目 1 細目 04 説明 01 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室					
指針体系コード	2-1-11	まちづくりテーマ	「2020年」に向けてまちの魅力を創出する			
		重点施策名	市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	475,741		14,569			461,172
令和元年度	116,601		15,605			100,996
対前年度	359,140		△ 1,036			360,176
特定財源の内訳	(県支出金)	市町村自治基盤強化総合補助金				12,771
	(県支出金)	市町村スポーツ施策推進補助金				1,798

【事業概要】

東京2020大会の開催を目前に控え、大会に向けた気運を高める取組や、市民が喜びや感動を分かち合うための様々な事業を実施する。また、市民参加型のオリンピック・パラリンピックを実現するため、おもてなしの顔となるシティキャストフジサワ（藤沢市・都市ボランティア）の運営を行うほか、「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」を核に市民参加を促進する事業に取り組み、大会後のレガシーとしてボランティア文化の醸成・定着につなげていく。

- (拡) 1. 気運を高める取組 355,354 千円
- (1) 聖火リレー等の大会関連イベント、セーリングワールドカップシリーズ江の島大会などを通じて気運の盛り上げを図るほか、会場関連自治体として、暑さ対策グッズやパンフレットの作製等を行う。 19,996 千円
 - (2) 市民の心に残る大会とするため、大会終了後におけるアスリート報告会、オリンピック・パラリンピアンによるスポーツ教室、セーリング競技に関連する体験イベントを実施する。 15,608 千円
 - (3) 市民が喜びや感動を分かち合うための取組として、シティドレッシング（都市装飾）の実施、東京2020ライブサイトの開催、ポルトガルパラリンピック委員会の事前キャンプ受入れを行う。（令和元年度12月補正で債務負担行為を設定） 319,750 千円
- (拡) 2. ボランティアに関する取組 104,570 千円
- (1) ボランティアwebサイトの運用をはじめ、大会期間中におけるシティキャストフジサワの運営、聖火リレー・ライブサイト等の大会関連イベントにおける独自ボランティアの運営、大会終了後の感謝祭等を実施する。 55,996 千円
 - (2) 市民参加型のオリンピック・パラリンピックを実現するため、「2020応援団 藤沢ビッグウェーブ」による情報発信や、応援団員の事業参加推進、応援団員による自主イベントを支援するとともに、応援団の取組を大会後に残すため、関連する事業・団体等への引継ぎを行う。 10,650 千円
 - (3) オールジャパンとして一体感のあるおもてなしの実現を図るため、シティキャストフジサワの大会公式ユニフォームを購入する。（令和元年度当初で債務負担行為を設定） 37,924 千円
3. その他事務経費 15,817 千円



（東京2020大会で江の島が会場となるセーリング競技）



（事前キャンプ協定締結式でおもてなしをするシティキャストフジサワ）

北部第二（三地区）土地区画整理事業費

事業名	北部第二（三地区）土地区画整理事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	北部区画整理事務所
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区 分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	2,680,125	441,600	180,000	380,100	1,419,375	259,050
令和元年度	2,776,527	555,000	180,000	577,000	1,264,477	200,050
対前年度	△ 96,402	△ 113,400	0	△ 196,900	154,898	59,000
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				441,600
	(県支出金)	都市計画事業費補助金				180,000
	(地方債)	都市計画事業債				380,100
	(その他)	一般会計繰入金				1,419,375

【事業概要】

地区内住民の快適で良好な生活環境を確保するとともに産業の集積を進めるため、住宅と産業が共存できる土地利用を図り、都市計画道路等の整備による交通体系の確立、公園・下水道等の都市基盤の整備による健全な市街地を形成する。

- 業務委託費 377,685 千円
測量管理委託、建物等調査委託、埋蔵文化財発掘調査委託等
- 工事費 387,762 千円
街路築造工事 1,185 m
宅盤造成工事 36,960 m²
- 補償費 1,167,000 千円
建物移転 32戸 35棟
用地補償 15ha
- 工事負担金 77,500 千円
給水管移設 φ100/L=462m
東電柱等移設 電柱移設等 N=11本
下水道事業受益者負担金 下水道を使用開始している宅地に対する受益者負担金
- 補修費 41,806 千円
舗装修繕、道路構造物修繕、緊急対策（照明灯LED化）等
- 事務費 222,133 千円
給与費、審議会運営費、一般事務費
- 公債費 406,139 千円
公債費内訳 元金 386,318 千円
利子 18,541 千円
一時借入金利子 1,280 千円
- 予備費 100 千円

（この事業は令和元年度１２月補正で増額した事業）

墓園事業費

事業名	墓園事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	福祉医療給付課
指針体系コード		まちづくりテーマ				
		重点施策名				
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	617,614				195,808	421,806
令和元年度	604,554				195,367	409,187
対前年度	13,060				441	12,619
特定財源の内訳	(その他)	墓園基金繰入金				188,067
	(その他)	カロート実費収入				6,800
	(その他)	利子及び配当金				441
	(その他)	墓地使用許可証再交付等手数料				500

【事業概要】

緑豊かで快適に利用できる公園墓地として大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理を行うとともに、墓地の貸付業務等を行い、墓地需要への対応を図る。

1. 墓園管理費 328,639 千円
公園墓地としての大庭台墓園の環境整備及び施設の維持管理に要する経費
(主な経費)
墓園墓所管理等業務委託 42,441 千円
園内清掃等業務委託 53,968 千円
機械警備業務委託 198 千円
自家用電気工作物保安管理業務委託 407 千円
管理業務委託（A区、B区、C区、D区） 175,351 千円
墓地管理料納入通知書封入封緘業務委託 350 千円
普通墓地測量委託 2,002 千円
光熱水費（電気・上下水道代） 6,030 千円
2. 墓園事業費 106,649 千円
(1) 貸付事務費 7,429 千円
墓所使用者募集及び貸付事務、電算機器の賃借料等に要する経費
(主な経費)
大庭台墓園管理システム機器賃借料 3,970 千円
(2) 工事費 99,220 千円
大庭台墓園の環境整備を図るための経費
普通墓地排水機能改良及び土留柵改修工事 44,451 千円
芝生墓地芝生張替工事 40,480 千円
外周フェンス改修工事 6,204 千円
芝生墓地カロート設置工事 8,085 千円
3. 基金積立金 179,926 千円
大庭台墓園基金条例第2条及び第4条に基づく基金積立金及び積立金利子
4. 諸支出金 1,900 千円
墓地永代使用料等還付金
5. 予備費 500 千円

国民健康保険事業費

事業名	国民健康保険事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	保険年金課
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	37,850,180	14,483	26,020,810		3,117,425	8,697,462
令和元年度	38,594,942	15,362	25,723,924		3,300,662	9,554,994
対前年度	△ 744,762	△ 879	296,886		△ 183,237	△ 857,532
特定財源の内訳	(国庫支出金)	国民健康保険システム整備費補助金				14,483
	(県支出金)	保険給付費等交付金				26,020,810
	(その他)	一般会計繰入金				3,117,025
	(その他)	利子及び配当金				400

【事業概要】

国民健康保険法に基づき、藤沢市国民健康保険加入者を対象に、健康の保持増進と生活の安定を図るため、療養の給付や療養費・高額療養費・出産育児一時金・葬祭費等の保険給付事業や、特定健康診査、特定保健指導等の保健事業等を行う。

- １．被保険者数 83,000人 (27,800人)
(１)一般被保険者 83,000人 (27,800人)
(２)退職被保険者 0人 (0人)

※ () 内は介護保険第２号被保険者数

- ２．加入世帯数 54,000世帯 (23,800世帯)
(１)一般被保険者 54,000世帯 (23,800世帯)
(２)退職被保険者 0世帯 (0世帯)

※ () 内は介護保険第２号被保険者の属する世帯数

- ３．保険料賦課現年度内訳 (※後期分＝後期高齢者支援金分)

一般被保険者分							(千円)
	所得割	均等割	平等割	軽減見込額	調定見込額	収納率	予算計上額
医療分	3,634,824	2,012,135	843,799	660,392	5,830,366	90.0%	5,247,329
介護分	579,837	320,981	134,605	95,851	939,572	90.0%	845,614
後期分	1,497,815	829,148	347,707	274,845	2,399,825	90.0%	2,159,842

退職被保険者分							(千円)
	所得割	均等割	平等割	軽減見込額	調定見込額	収納率	予算計上額
医療分	114	63	26	20	183	90.0%	165
介護分	33	18	8	5	54	90.0%	49
後期分	50	28	12	10	80	90.0%	72

※ 被保険者数は０人だが、遡って賦課や還付が生じる可能性があるため予算計上する。

被保険者１人当たり現年度調定見込額 医療分 70,248円
介護分 33,799円
後期分 28,915円

介護保険事業費

事業名	介護保険事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	介護保険課・地域包括ケアシステム推進室
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	29,101,615	6,165,703	4,048,477		12,605,428	6,282,007
令和元年度	28,130,643	5,964,520	3,952,043		12,011,453	6,202,627
対前年度	970,972	201,183	96,434		593,975	79,380
主な特定財源の内訳	(国庫支出金)	介護給付費負担金				4,771,509
	(県支出金)	介護給付費負担金				3,750,172
	(その他)	介護給付費交付金				7,079,551
	(その他)	一般会計繰入金				4,488,945

【事業概要】

介護保険法に基づき、介護保険事業の円滑な運営を図るため、被保険者の資格管理及び保険料の賦課徴収並びに介護認定の審査を実施し、要介護（要支援）認定を受けた人に対して、介護（予防）サービスを提供する。また、藤沢型地域包括ケアシステムの深化に向けた取組の一つとして、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）をはじめとする地域支援事業を実施し、介護予防を推進するとともに、高齢者が地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援の充実を図る。

さらに、行財政改革２０２０の取組として、市民サービスの向上を図ることを目的に、介護保険課業務の一部を協働事業（業務委託）とするため、実施設計等の準備業務を民間事業者へ委託する。

１．対象者

- （１）６５歳以上で介護や支援が必要な人
- （２）４０歳以上６５歳未満で特定疾病により、介護や支援が必要な人

２．対象者数内訳 「第７期藤沢市介護保険事業計画」 (単位：人)

区分	人数	うち要介護者等
第１号被保険者（６５歳以上）	108,988	18,208
第２号被保険者（４０歳以上６５歳未満）	155,787	372
被保険者合計	264,775	18,580

３．第１号被保険者保険料賦課総額 6,261,774 千円 保険料基準額（年額） 56,400 円（4,700円×12月）

４．保険給付費の総額（主なサービス費） 26,225,322 千円

- （１）居宅介護サービス費 12,622,130 千円
- （２）地域密着型介護サービス費 4,341,573 千円
- （３）施設介護サービス費 7,058,754 千円
- （４）介護予防サービス費 764,865 千円
- （５）地域密着型介護予防サービス費 46,737 千円

５．地域支援事業費の総額 2,108,935 千円

（１）介護予防・日常生活支援総合事業（主な事業）

要支援認定を受けた人及び基本チェックリストにより事業対象者に該当した人に対し、介護予防・生活支援サービス事業を実施するとともに、すべての第１号被保険者等を対象に一般介護予防事業を行う。

ア 介護予防ケアマネジメント費（介護予防・生活支援サービス事業）

148,187 千円

イ 訪問型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業）

（ア）訪問介護相当サービス費 438,388 千円

（イ）訪問型緩和基準サービス費（訪問型サービスＡ） 1,414 千円

- (ウ) 訪問型短期集中予防サービス費（訪問型サービスＣ） 759 千円
- ウ 通所型サービス費（介護予防・生活支援サービス事業） 876,767 千円
- エ 一般介護予防事業費（一般介護予防事業） 67,853 千円
介護予防や健康増進についての啓発を行うとともに、地域での介護予防に資する活動に対して支援を行う。
- オ いきいきパートナー事業費（一般介護予防事業） 3,668 千円
福祉施設等におけるボランティア活動に対してポイントを付与し、そのポイント数に応じた支援金を交付する。
- カ 地域ささえあいセンター運営事業費（一般介護予防事業） 10,503 千円
高齢者の生きがいづくりや多世代交流等を推進する藤沢市地域ささえあいセンターの運営経費を助成する。

(2) 包括的支援事業（主な事業）

- ア 包括的支援事業費 439,596 千円
高齢者への包括的な支援を行う地域包括支援センターの設置・運営を行う。
- イ 認知症総合支援事業費 2,704 千円
認知症の人及びその家族に対する早期支援等、認知症施策を推進する。
- ウ 生活支援体制整備事業費 51,611 千円
ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター」を配置するとともに、関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取組を推進するための協議体を設置する。
また、総合事業の多様な担い手を養成するための研修会を実施する。
- エ 在宅医療・介護連携推進事業費 11,479 千円
在宅医療推進会議の開催、多職種研修会や在宅医療拠点運営事業を行う。
- オ 地域ケア会議運営事業費 4,167 千円
地域における包括的・継続的なケア体制を構築するため、地域ケア会議を開催する。

(3) 任意事業（主な事業）

- (拡) ア 介護給付費等適正化事業費 9,949 千円
介護保険サービス利用者への介護給付費の通知のほか、ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアマネジャー等に対する支援及びケアプラン点検を実施するとともに、リハビリテーション専門職による住宅改修及び福祉用具貸与点検を実施する。
- イ 介護相談員派遣事業費 5,328 千円
介護保険サービス利用者の日々の生活での不安や疑問等に対応するため、介護保険施設等に介護相談員を派遣する。
- ウ 成年後見制度利用支援事業費 25,020 千円
判断能力が十分でない認知症高齢者等の権利を守るため、成年後見制度利用のための相談支援や市長申立てによる審判請求、制度の普及啓発事業を行う。
- エ 家族介護者教室事業費 1,749 千円
高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場として、家族介護者教室を開催する。
- オ 認知症サポーター養成事業費 604 千円
認知症を正しく理解し、偏見を持たず、地域において認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターを養成する。

(新) 6. 窓口業務等協働事業実施設計業務委託等 59,766 千円

- (1) 外部委託の実施設計（業務フローの再構築及びマニュアル作成等）
- (2) オフィスレイアウト詳細設計
- (3) 市との連絡調整会議開催
- (4) 外部委託実施設計書の作成
- (5) 業務従事者の体制整備、研修及びリハーサルの実施等
- (6) 審査選定委員会報酬・筆耕翻訳料

後期高齢者医療事業費

事業名	後期高齢者医療事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	保険年金課
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	6,414,178				6,414,178	
令和元年度	5,717,635				5,717,635	
対前年度	696,543				696,543	
特定財源の内訳	(その他)	後期高齢者医療保険料・延滞金				5,595,516
	(その他)	保険基盤安定繰入金				704,085
	(その他)	運営費繰入金				94,177
	(その他)	保険料還付金・還付加算金				20,400

【事業概要】

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、75歳以上の者及び65歳から74歳までの一定の障がいのある後期高齢者医療制度加入者を対象に医療給付等を実施し、後期高齢者の福祉の増進を図る。事業は神奈川県後期高齢者医療広域連合が主体となっていくが、市町村事務として各種申請受付及び保険料の徴収を行う。

- 被保険者数 55,112 人
- 総務費 92,177 千円
 - (内訳) 給与費 53,180 千円
 - 一般管理運営費 20,489 千円
 - 徴収費 18,508 千円
- 後期高齢者医療広域連合納付金 6,299,601 千円
徴収した保険料及び保険基盤安定制度拠出金を神奈川県後期高齢者医療広域連合へ納付する。
- 諸支出金 20,400 千円
過年度に徴収した保険料が過誤納になった場合に返還する。
- 予備費 2,000 千円

下水道事業費

事業名	下水道事業費					
予算科目	款	項	目	細目	説明	下水道総務課 ほか3課
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和2年度	20,210,070	614,905		2,750,200	4,537,602	12,307,363
令和元年度	21,761,527	615,032		3,787,100	4,405,027	12,954,368
対前年度	△ 1,551,457	△ 127		△ 1,036,900	132,575	△ 647,005
特定財源の内訳	(国庫支出金)	社会資本整備総合交付金				614,905
	(地方債)	公共下水道債				2,739,600
	(地方債)	流域下水道債				10,600
	(その他)	一般会計負担金				4,537,602

【事業概要】

市民が健康で安全かつ快適な生活を送れるよう、雨水の排除による浸水の防除、生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全を図るため、下水道の整備及び維持管理を行う。

また、安全で安定した下水道サービスの確保、継続的な経営改善と経営基盤の強化を図るため、令和5年度のアセットマネジメント運用に向けた段階的な導入作業を進めるとともに、ストックマネジメント計画に基づいた改築工事を行う。

1. 収益的支出の主な事業 12,252,047 千円

(1) 管渠維持管理事業 884,079 千円

管渠及び取付管修繕、マンホール蓋の交換 2 3 3 カ所ほか

下水道管路の調査及び浚せつ清掃等業務委託 管渠調査延長 3 3 0 k m、
路面下空洞調査業務委託ほか

(2) ポンプ場維持管理事業 1,078,056 千円

ポンプ場 1 5 カ所等の維持管理に係る業務委託、予防保全等の修繕工事、電気使用料ほか

(3) 浄化センター維持管理事業 3,074,887 千円

辻堂及び大清水浄化センターの維持管理に係る業務委託、予防保全等の修繕工事、電気使用料ほか

(4) 水洗便所普及促進事業 21,570 千円

下水道フェアをはじめとした下水道PR活動、水洗化促進

令和2年度末見込み 水洗化戸数 1 9 6 , 3 0 0 戸 水洗化率 9 8 . 5 %

(5) 減価償却費、支払利息等 7,193,455 千円

2. 資本的支出の主な事業 7,958,023 千円

(1) 南部処理区管渠建設事業 1,377,889 千円

辻堂南部放流管築造工事（その2）（令和元年度～令和3年度）

合流管路（新設）延長 1 8 8 m

江の島東ポンプ場圧送管（三次）改修工事（令和元年度～令和2年度）

汚水管路（改築）圧送管延長 3 8 9 m

鵜沼松が岡五丁目地内管渠更生工事 合流管路（改築）延長 2 9 4 mほか

(2) 東部処理区管渠建設事業 577,368 千円

善行四丁目地内管渠更生工事 汚水管路（改築）延長 1 1 6 mほか

- (3) 南部処理区ポンプ場建設事業 43,975 千円
下藤が谷ポンプ場他計装設備更新工事ほか
- (4) 東部処理区ポンプ場建設事業 89,284 千円
御殿辺雨水ポンプ場他耐震診断等委託ほか
- (5) 辻堂浄化センター建設事業 520,940 千円
雨水滞水池建設工事委託ほか
- (6) 大清水浄化センター建設事業 577,821 千円
水処理第1系列最終沈殿池改築電気工事（令和2年度～令和3年度）
耐震診断委託ほか
- (7) 新市街地下水道建設事業 132,801 千円
土地区画整理事業施行地域における汚水及び雨水管渠築造工事
北部第二（三地区） 汚水管路（新設）延長 3 9 7 m
雨水管路（新設）延長 3 2 1 m
- (8) 相模川流域下水道建設事業 214,869 千円
宮原地内汚水管渠築造工事 汚水管路（新設）延長 3 2 3 mほか
- (9) 水洗便所普及促進事業（貸付金） 5,500 千円
水洗便所改造等工事資金の貸付
水洗便所改造等資金貸付金 1 0 件 区域外水洗便所改造等資金貸付金 1 件
- (10) 企業債償還金等 4,417,576 千円



辻堂南部放流管 計画位置図



下水道フェアの様子

市民病院事業

事業名	市民病院事業					
予算科目	款	項	目	細目	説明	病院総務課
指針体系コード			まちづくりテーマ			
			重点施策名			
区分	事業費	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
令和２年度	23,581,553	19,571	90,824	229,100	1,460,395	21,781,663
令和元年度	22,527,704	19,503	85,657	493,200	1,328,536	20,600,808
対前年度	1,053,849	68	5,167	△ 264,100	131,859	1,180,855
特定財源の内訳	(国庫支出金)	臨床研修費等補助金				19,571
	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金事業費補助金 (小児救急医療拠点病院運営事業)				46,227
	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金事業費補助金 (産科医師等分娩手当補助事業)				2,136
	(県支出金)	地域医療介護総合確保基金事業費補助金 (新人看護職員職場内研修事業費補助事業)				960
	(県支出金)	がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金				7,350
	(県支出金)	感染症指定医療機関運営事業費補助金				8,179
	(県支出金)	周産期救急医療事業費補助金				23,751
	(県支出金)	新型インフルエンザ等対策医療機器整備費補助金				2,221
	(地方債)	医療器械購入事業債				229,100
	(その他)	一般会計負担金				1,457,386
	(その他)	一般会計補助金				3,009

【事業概要】

高度急性期・急性期医療を担う地域の基幹病院として、患者が安心して受けられる医療を提供し、次の役割を果たしながら医療の質を高め、地域全体で治し支える地域完結型の医療を目指す。

- ・湘南東部二次保健医療圏の地域医療支援病院として、地域医療機関との機能分担・連携を推進し、地域医療の向上に積極的に取り組む。
- ・救命救急センターとして、重症及び重篤な患者の受け入れをはじめ、２４時間にわたり高度な救急医療を提供する。
- ・小児救急医療拠点病院として、小児科二次救急及び夜間等空白時間帯の初期診療など２４時間にわたり小児救急医療を提供する。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療を提供するとともに、地域医療機関と連携して質の高い医療体制を確保する。また、がん医療のさらなる充実と「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」の指定を目指し「緩和ケアセンター」を開設する。
- ・周産期救急医療中核病院として、ハイリスクな出産に対する医療を提供するとともに、より安心した出産ができるよう施設環境の整備に取り組む。

１．収益的支出の事業

(１) 病院運営事業

21,848,368 千円

入院診療では主に急性期患者を対象とした診療、外来診療では地域医療機関からの紹介予約制に基づく専門外来での診療及び救急外来における２４時間体制での診療による病院運営を行う。

また、患者サービスの向上を図り、患者の多様化するニーズと地域医療機関との連携に対応し、患者と家族の総合的支援を推進するため「患者総合支援センター」を開設する。

- (2) 特別損失等 168,540 千円
会計年度任用職員制度の導入に伴い新たに支給する期末手当に対する過年度分の賞与及び法定福利費等

2. 資本的支出の事業

- (1) 医療総合情報システム整備事業 441,145 千円
手術室システムの導入を行い、手術室内における業務の電子化を図る。また、令和元年度に引き続き、当院の基幹システムである医療総合情報システムの老朽化に伴うハードウェアの更新にかかる業務を行う。
- (2) その他施設整備事業 47,000 千円
産科病棟において出産後の母児が同室で過ごすことができる環境を提供するため、機器設置工事等を行う。
- (3) 医療器械等購入事業 603,375 千円
診断や治療機能の維持向上を図り、質の高い医療サービスを提供するため、多項目自動血球分析装置、高気圧酸素治療装置をはじめとした医療器械・備品の導入及び更新を行う。また、患者サービス向上のため、患者用W i - F i 環境の整備を行う。
- (4) 企業債償還金等 473,125 千円
建設改良事業の財源に充てるために借り入れた企業債の償還等を行う。

